

2020 年度

専門科目教育要項

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科
口腔保健衛生学専攻

ま え が き

この教育要項は、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の授業を受ける学生の皆さんに、2020年度に行われる予定の専門教育科目を示し、それらの授業計画および授業内容の概要を知らせるためのものです。

学生の皆さんが、本学における口腔保健衛生学専攻教育の内容を把握すると共に、充実した履修が行えるよう本要項を有意義に活用されることを希望します。

2020年4月

歯学部口腔保健学科教育委員会

口腔保健学科

基本的理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成する。

一般教育目標

口腔保健学科では、次のような一般教育目標の基に教育を行っています。

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. 心身の様々な状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。
8. 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。
9. QOLの向上に関わるものづくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。

基本理念、教育理念、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー等

●基本理念

「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」

学問と教育の聖地、湯島・昌平坂に建つ本学は、医療系総合大学として「知と癒しの匠」を創造し、東京のこの地から世界へと翼を広げ、人々の健康と社会の福祉に貢献します。

・教育について

幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成します。

・研究について

さまざまな学問領域の英知を結集して、時代に先駆ける研究を推し進め、その成果を広く社会に還元します。

・医療について

心と身体を癒す質の高い医療を、地域に提供するとともに、国内さらに世界へと広めていきます。

この理念に基づき、本学の全構成員がそれぞれの役割を自覚し、自らの使命を果たします。

●教育理念

1. 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養を目指す

病める人と向き合う医療人は、患者の痛みが分かり、そして患者を取り巻く様々な状況をも理解しなければなりません。それには豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を備えなければなりません。

2. 自己問題提起、自己問題解決型の創造力豊かな人間を養成する

学業あるいは研究に当たっては、何事も鵜呑みにすることなく、疑問を投げかけ、種々の情報を収集、解析し、自ら解決する能力が求められます。そうしてはじめて、独創的な研究を推進できる人材が育まれます。

3. 国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する

研究成果が即座に世界に伝播する現代において、医療の分野でもその情報と時間の共有化が益々進んでいます。このような状況の中で、立ち遅れない、むしろ最先端に行く人材の養成に努めます。そのために海外教育研究拠点、海外国際交流協定校への派遣を積極的に推進します。

歯学部口腔保健学科

●教育理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成します。

●教育目標

〈口腔保健衛生学専攻〉

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. 心身のさまざまな状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

◆ディプロマ・ポリシー

歯学部口腔保健学科では、教養部および各専攻における、基礎から臨床、実践に統合する体系的学習を行い、進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1. 幅広い教養と豊かな感性

全学共通科目から専門の臨床・臨地実習に至る全教育課程を通して、口腔保健・医療・福祉領域の専門職に必要とされる幅広い教養ならびに人々の心情と行動を理解できる豊かな感性と高い倫理観を身につけている。

2. 問題提起、解決能力

口腔保健・医療の急速な進歩ならびに口腔保健・医療・福祉への多様なニーズに対応できるよう、科学的根拠に基づいた論理的思考力と、主体的に問題を提起、解決する能力を有している。

3. 国際性

口腔保健・医療・福祉分野における国際貢献への高い関心を有し、国際活動・協力を実践するための基礎力を備えている。

歯科衛生および歯科技工の領域において指導的役割を担えるよう、専門職としての高度な知識と技能を有していることが求められる。また、近年は関連他職種と連携した口腔保健の実践が求められており、チームとしての保健・医療・福祉活動に専門職として参加できる基礎力を修得していることが必須である。

◆カリキュラム・ポリシー

〈口腔保健衛生学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および歯学部口腔保健学科の教育理念に基づき、口腔保健衛生学専攻の教育目標をふまえて、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下のとおり定める。

1. 全学共通科目の人文・社会科学、および専門科目の相談援助関連の履修全体を通じて、人を思いやれる心とコミュニケーション力を育て、医療人としての倫理観を培う教育を行う。
2. 全学共通科目の自然科学の学びを基礎に、専門課程では人体の構造と機能及び疾病、疾病の成り立ちと回復過程の促進、卒業研究等の履修により、学際的科学の視点と研究への意欲を培う。
3. PBL テュートリアル授業およびグループ討論で学ぶ口腔保健と専門職、社会保障など幅広い科目の履修をとおして、人々の健康・生活における諸問題を発見・分析し、解決へとつなげる力を養成する。
4. 歯科衛生過程の基礎理論、健康教育の基礎および企画・実践・評価、歯科衛生臨床・臨地実習等の履修をとおして、歯科衛生に関する知識と技術を基礎から応用まで段階的に学び、人々の口腔と全身の健康を守り、推進するための専門的な力を醸成する。
5. 保健医療サービス、介護福祉関連科目等の履修および他学科・専攻との合同授業をとおして、保健・医療・福祉分野等の他職種と連携した口腔保健を実践するための基礎力を育成する。
6. 科学英語、口腔保健と国際協力等の科目の履修をとおして、国際協力に関心をもち、海外の文化、社会への理解を深め、国際貢献への姿勢と能力を身につける教育を行う。

目 次

まえがき	
基本的理念	
一般教育目標	
口腔保健学科のディプロマポリシー	
口腔保健衛生学専攻のカリキュラムポリシー	
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成28年度以降入学者）	1
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成27年度以前入学者）	12
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規	17
東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項	18
東京医科歯科大学試験規則	20
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規	23
ユニット試験（筆記試験）時の注意事項	24
学生周知事項等	
歯科衛生士国家試験について	26
社会福祉士国家試験について	27
学生周知事項	28
災害関係連絡事項	32
学生・女性支援センター（5号館3階）について	34
保健管理センター（5号館2階）について	35
検査ワクチン実習要件について	36
図書館（M&Dタワー3・4階）について	38
国立美術館キャンパスメンバーズについて	40
1号館西・2号館・7号館の管理、使用について	41
湯島キャンパス案内	44
1号館西6～8階平面図	45
2号館見取り図	46
7号館平面図	47
2020年度歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻専門課程科目授業計画表	48
歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻科目責任者連絡先一覧	49

第 1 学年 履修ユニット

人体の構造と機能Ⅰ	51
栄養と代謝	53
公衆衛生学	55
社会保障Ⅰ	57
口腔保健と専門職	59
歯科衛生学総論	61
メディア情報学	63
臨床体験実習	65

第 2 学年 履修ユニット

臨床体験実習	68
人体の構造と機能Ⅱ	70
科学英語Ⅰ	74
科学英語Ⅱ	76
歯・口腔の構造と機能	78
歯の形態学	84
口腔保健衛生基礎科学	88
病理学総論	92
病原微生物と生体防御	94
口腔病理学	97
薬理学	99
社会保障Ⅱ	102
保健医療サービス	104
歯科保存学	107
小児歯科学	110
歯科補綴学	113
口腔外科・歯科麻酔学	115
臨床医学Ⅰ	118
口腔疾患予防基礎学Ⅰ	121
口腔疾患予防基礎学Ⅱ	125
口腔疾患予防基礎学実習	128
健康教育の基礎Ⅰ	133
健康教育の基礎Ⅱ	135
食生活教育	138
生体材料学	141

臨床検査.....	143
歯科診療補助論Ⅰ.....	145
歯科診療補助論Ⅱ.....	148
臨床口腔保健衛生実習Ⅰ.....	151
歯科衛生過程の基礎.....	154
児童・家庭福祉Ⅰ.....	156
障害児・者福祉Ⅰ.....	158
地域福祉Ⅰ.....	160
高齢者福祉Ⅰ.....	163
介護福祉Ⅰ.....	164
相談援助の基盤と専門職Ⅰ.....	166
相談援助演習Ⅰ.....	167
児童・家庭福祉Ⅱ.....	169
障害児・者福祉Ⅱ.....	171
地域福祉Ⅱ.....	173
高齢者福祉Ⅱ.....	175
現代社会と福祉Ⅰ.....	177
現代社会と福祉Ⅱ.....	178
ソーシャルワークⅠ.....	180

第3学年 履修ユニット

歯科薬理・薬剤学.....	183
矯正歯科学.....	186
歯科放射線学.....	188
チーム医療の基礎.....	190
チーム医療の実践.....	192
口腔機能管理実習.....	194
高齢者歯科学.....	197
障害者歯科学.....	199
臨床医学Ⅱ.....	201
口腔疾患予防応用学.....	204
口腔疾患予防応用学実習.....	206
健康教育の企画と実践Ⅰ.....	211
健康教育の企画と実践Ⅱ.....	214
歯科診療補助論Ⅲ.....	216
臨床口腔保健衛生実習Ⅱ.....	218

歯科衛生臨床実習Ⅰ.....	221
歯科衛生過程専門演習.....	225
社会調査の基礎.....	228
卒業研究.....	231
相談援助演習Ⅱ.....	236
口腔保健と国際協力.....	238
歯科衛生研究.....	240
口腔保健衛生エクスターンシップ.....	242
公的扶助.....	244
コミュニティーワーク.....	246
相談援助の基盤と専門職Ⅱ.....	248
相談援助の基盤と専門職Ⅲ.....	250
介護福祉Ⅱ.....	252
ソーシャルワークⅡ.....	254
権利擁護.....	257
社会福祉行政.....	259
司法福祉.....	260
就労支援サービス.....	261
相談援助実習.....	262
相談援助実習指導.....	263

第4学年 履修ユニット

臨床口腔保健応用学.....	266
健康教育の企画と実践Ⅲ.....	268
歯科衛生臨床実習Ⅱ・Ⅲ.....	270
歯科衛生臨地実習.....	274
卒業研究.....	275
歯科衛生学演習.....	280
歯科衛生臨床・臨地応用実習.....	283
口腔保健マネジメント論.....	285
保健行動科学.....	286
地域口腔保健論.....	288
在宅訪問・災害口腔保健医療.....	290
先端歯科医療学.....	292
福祉計画.....	294
福祉運営管理.....	295
相談援助演習Ⅲ.....	297

相談援助実習指導.....	300
相談援助実習.....	302
口腔保健エクスターンシップ	303

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目(以下「専門科目」という。)の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間

(2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部(以下「在籍学部」という。)において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

- 第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあつては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
 - 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
 - 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

- 第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

- 第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目	単位数	履修対象学年						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

- ※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。
 ※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。
 ※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。
 ※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターン シップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（平成28年11月7日規則第159号）

- この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語							○	
--------	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1）研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附則（平成30年5月8日規則第32号）

- 1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3）短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）
生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附則（平成30年12月20日規則第119号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1

口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年							
					1年		2年		3年		4年	
		必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎分野	科学英語Ⅰ	1					○					
	科学英語Ⅱ			1				○				
	人体の構造と機能及び疾病	4				○	○	○				
	歯・口腔の構造と機能	6					○	○				
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6					○	○	○			
	公衆衛生学	1				○						
	社会保障Ⅰ	2				○						
	社会保障Ⅱ	2					○					
	保健医療サービス	2						○				
専門分野	口腔保健と専門職	1			○							
	歯科衛生学総論	1				○						
	臨床歯科医学	7					○	○	○	○		
	チーム医療の基礎	1								○		
	チーム医療の実践	1								○		
	口腔機能管理実習	1								○		
	高齢者歯科学	1								○		
	障害者歯科学	1								○		
	臨床医学	4						○	○			
	口腔疾患予防学	8						○	○	○	○	
	臨床口腔保健応用学	1									○	
	健康教育の基礎	2						○	○			
	メディア情報学	1					○					
	食生活教育	1						○	○			

	健康教育の企画と実践	3						○	○	○	○
	生体材料学	1				○					
	臨床検査	1					○				
	歯科診療補助論	5				○	○	○			
	臨床口腔保健衛生実習	2				○	○	○			
	歯科衛生臨床実習	13							○	○	○
	歯科衛生臨地実習	6								○	○
	臨床体験実習	1			○	○	○				
統合分野	歯科衛生過程	2					○	○			
	社会調査の基礎	2						○			
	卒業研究	4						○	○	○	○
	児童・家庭福祉Ⅰ		1			○					
	障害児・者福祉Ⅰ		1				○				
	地域福祉Ⅰ		1			○					
	高齢者福祉Ⅰ		1			○					
	介護福祉Ⅰ		1			○					
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1				○					
	相談援助演習Ⅰ		1				○				
	相談援助演習Ⅱ		1					○			
	口腔保健と国際協力	1						○	○		
	歯科衛生学演習	1								○	○
口腔保健衛生選択科目	歯科衛生臨床・臨地応用論		1							○	○
	歯科衛生研究		1						○	○	
	口腔保健衛生エクスターンシップ		1						○	○	○
	口腔保健マネジメント論		1							○	○
	保健行動科学		1							○	○
	地域口腔保健論		1							○	○
	在宅訪問・災害口腔保健医療		1							○	○
	先端歯科医療学		1							○	○

社会福祉選択科目	児童・家庭福祉Ⅱ		1			○				
	障害児・者福祉Ⅱ		1			○				
	地域福祉Ⅱ		1		○					
	公的扶助		2				○			
	コミュニティーワーク		2				○			
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ		1				○			
	相談援助の基盤と専門職Ⅲ		2				○			
	介護福祉Ⅱ		1				○			
	高齢者福祉Ⅱ		1			○				
	現代社会と福祉Ⅰ		2		○					
	現代社会と福祉Ⅱ		2			○				
	ソーシャルワークⅠ		4		○	○				
	ソーシャルワークⅡ		4				○	○		
	権利擁護		1				○			
	社会福祉行政		1				○			
	福祉計画		1				○			
	司法福祉		1				○			
	福祉運営管理		2					○		
	就労支援サービス		1				○			
	相談援助演習Ⅲ		3				○	○	○	○
相談援助実習指導		2				○	○	○	○	
相談援助実習		4				○	○	○	○	
計	98	7	49							

※選択科目から4単位以上修得する。

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）

（1）第1学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第2学年に進級することができない。

公衆衛生学、社会保障Ⅰ、口腔保健と専門職、歯科衛生学総論、メディア情報学、
（第1学年に実施される授業を対象とする）人体の構造と機能及び疾病、臨床体験実習

（2）第2学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年に進級することができない。

科学英語Ⅰ、人体の構造と機能及び疾病、歯・口腔の構造と機能、社会保障Ⅱ、保健医療サービス、健康教育の基礎、食生活教育、生体材料学、臨床検査、臨床体験実習、相談援助の基盤と専門職Ⅰ、

（選択科目である）児童・家庭福祉Ⅰ、障害児・者福祉Ⅰ、地域福祉Ⅰ、高齢者福祉Ⅰ、介護福祉Ⅰ、相談援助演習Ⅰのうち少なくとも3単位

（第2学年に実施される授業を対象とする）疾病の成り立ちと回復過程の促進、臨床歯科医学、臨床医学、口腔疾患予防学、歯科診療補助論、臨床口腔保健衛生実習、歯科衛生過程

（3）第3学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年後期以降の授業科目を履修することができない。

疾病の成り立ちと回復過程の促進、臨床医学、歯科診療補助論、臨床口腔保健衛生実習、歯科衛生過程、社会調査の基礎、口腔保健と国際協力

（選択科目の4単位目として選択した場合の）相談援助演習Ⅱ、

（第3学年前期に実施される授業を対象とする）臨床歯科医学、口腔疾患予防学、健康教育の企画と実践

別表 1

口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数		履修学年								
				1年		2年		3年		4年		
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学英語Ⅰ	1				○						
	科学英語Ⅱ		1				○					
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病	6			○	○	○					
	歯・口腔の構造と機能	4				○	○					
	口腔保健衛生基礎科学実習	1				○	○					
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6				○	○					
	公衆衛生学	1			○							
	社会保障Ⅰ	2			○							
	社会保障Ⅱ	2				○						
	保健医療サービス	2					○					
専門分野	口腔保健と専門職	1		○								
	歯科衛生学概論Ⅰ	1			○							
	歯科衛生学概論Ⅱ	1			○							
	口腔衛生学	1				○						
	臨床歯科医学	8				○	○	○	○			
	口腔疾患予防学	8				○	○	○	○			
	口腔健康科学	1				○						
	健康教育の基礎	2				○	○					
	食生活教育	1					○					
	高齢者福祉	2							○			
	社会調査の基礎	2							○			
	健康教育の企画と実践	3							○	○	○	
	生体材料学	1					○					
	臨床検査	1						○				
	歯科薬理・薬剤学	1							○			
介護福祉	2							○				

	歯科口腔保健衛生基礎学	2				○						
	臨床口腔保健衛生応用学Ⅰ	2					○					
	臨床口腔保健衛生応用学Ⅱ	2						○	○			
	歯科衛生臨床実習	13							○	○	○	
	歯科衛生臨地実習	5							○	○	○	
	歯科衛生臨床・臨地応用実習		1							○	○	
	全身と口腔の健康評価	1								○		
	顎口腔機能の育成と回復	1										○
統合分野	臨床体験実習	1			○	○	○					
	歯科衛生過程	2				○	○	○	○			
	卒業研究	4						○	○	○	○	
	児童・家庭福祉Ⅰ	1						○				
	障害児・者福祉Ⅰ	1						○				
	地域福祉Ⅰ	1						○				
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1						○				
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	1						○				
	相談援助演習Ⅰ	1								○		
	相談援助演習Ⅱ	2									○	
展開分野	口腔保健と国際協力		2					○				
	口腔疾患予防学演習		1								○	○
	口腔健康教育演習		1								○	○
	臨床口腔保健衛生基礎学演習		1								○	○
	児童・家庭福祉Ⅱ		1					○				
	障害児・者福祉Ⅱ		1					○				
	地域福祉Ⅱ		1					○				
	公的扶助		2								○	
	コミュニティーワーク		2								○	
	相談援助の基盤と専門職Ⅲ		2							○		
	相談援助演習Ⅲ		2									○
	現代社会と福祉Ⅰ		2				○					

現代社会と福祉Ⅱ		2				○				
ソーシャルワークⅠ		4			○	○				
ソーシャルワークⅡ		4					○	○		
権利擁護		1					○			
社会福祉行政		1					○			
福祉計画		1								○
司法福祉		1							○	
福祉運営管理		2								○
就労支援サービス		1								○
相談援助実習		4						○	○	○
相談援助実習指導		2						○	○	○
計	102	43								

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）

（１）第１学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第２学年に進級することができない。

公衆衛生学、社会保障Ⅰ、口腔保健と専門職、歯科衛生学概論Ⅰ、歯科衛生学概論Ⅱ、
（第１学年に実施される授業を対象とする）人体の構造と機能及び疾病、臨床体験実習

（２）第２学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年に進級することができない。

科学英語Ⅰ、人体の構造と機能及び疾病、歯・口腔の構造と機能、口腔保健衛生基礎科学実習、疾病の成り立ちと回復過程の促進、社会保障Ⅱ、保健医療サービス、口腔衛生学、口腔健康科学、健康教育の基礎、食生活教育、生体材料学、臨床検査、歯科口腔保健衛生基礎学、臨床口腔保健衛生応用学Ⅰ、臨床体験実習、相談援助の基盤と専門職Ⅰ、
（第２学年に実施される授業を対象とする）臨床歯科医学、口腔疾患予防学、歯科衛生過程

（３）第３学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年後期以降の授業科目を履修することができない。

高齢者福祉、社会調査の基礎、歯科薬理・薬剤学、介護福祉、児童・家庭福祉Ⅰ、障害児・者福祉Ⅰ、地域福祉Ⅰ、相談援助の基盤と専門職Ⅱ
（第３学年前期に実施される授業を対象とする）臨床歯科医学、口腔疾患予防学、健康教育の企画と実践、臨床口腔保健衛生応用学Ⅱ、歯科衛生過程

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規

平成23年12月7日
歯学部長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学歯学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第11条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第2条 定期試験及び追試験の成績については、担当教員が100点満点で採点し、授業科目ごとに履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。

2 第1項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。

(必修科目及び仮進級)

第3条 履修規則別表3(4)(5)に掲げる科目は、必修科目とする。

2 必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。

(G P)

第4条 評価とG Pとの対応は次のとおりとする。

成績評価	A+	A	B	C	D	F
G P	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修としG P A (Grade Point Average) の計算式には算入しない。

(補則)

第5条 この内規に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

- この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。
- 平成23年3月31日において現に歯学部口腔保健学科に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日制定）

- この内規は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度 取り扱いに関する要項

平成28年3月31日
制 定

(目的)

第1条 東京医科歯科大学の学部教育におけるGPA (Grade Point Average) 制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 (平成16年制定)、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規 (平成23年制定) に定めるほか、この要項の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要項において、GPAとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価 (A+, A, B, C, D, F) を4から0までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

2 GPA対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

- (1) A+, A, B, C, D, Fによる学習の評価を行わない科目
- (2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目
- (3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目 (成績表ではGPA除外科目として明示される)
- (4) GPAへの算入が適当でないと学科等が認めた科目 (シラバスおよび成績表ではGPA除外科目として明示される)

(学習の評価及びGP)

第3条 学習の評価及びGrade Point (GP) は、次のとおりとする。

評 価	GP	評価基準
A +	4.0	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
A	3.5	当該科目の到達目標を全て達成した
B	3.0	当該科目の到達目標を概ね達成した
C	2.0	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
D	1.0	当該科目の到達目標を達成していない
F	0.0	到達目標の達成度を評価できない

(GPAの種類及び計算方法)

第4条 GPAは、当該学年に履修した第2条第2項に定めるGPA対象授業科目について

て、「当該年度のGPA」、「累積GPA」に区分し、各区分は次に定める方法により計算するものとする。

＊ GPAの計算式

当該年度のGPA＝

$$\frac{(4 \times A + \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{可取得単位数})}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

累 積GPA＝

$$\frac{(4 \times A + \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{可取得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

- 2 前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。
- 3 計算値は小数点第3位を四捨五入とし表記するものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、累積GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。
平成27年度以前入学者についても、GPAを計算する場合は、秀をA+、優をA、良をB、可をC、不可をD、評価なしをFとみなし、適用する。

東京医科歯科大学試験規則

平成 23 年 4 月 1 日
規 則 第 1 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成 16 年規則第 217 号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成 22 年規則第 41 号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(試験の種類)

第 2 条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

(試験の方法)

第 3 条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

(本試験)

第 4 条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

(定期試験)

第 5 条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

(1) 講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者

(2) 実習 当該授業科目の授業時間数の 4 分の 3 以上履修した者

4 定期試験の結果は、公示する。

5 第 3 項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

(共用試験)

第 6 条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（CBT）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（OSCE）をいう。

2 共用試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

(追試験)

第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。

2 追試験を受験しようとする者(以下「追試験申請者」という。)は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長(以下「学部長等」という。)に願い出て、許可を受けなければならない。

3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。

4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(再試験)

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。

3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。

4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(試験の成績)

第9条 本試験、追試験および再試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。

2 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

(成績の報告)

第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第11条 試験において不正行為があったときは、学則第58条の規定による懲戒の手續きをとるものとする。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則（平成16年規則202号）は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成16年規則214号）は廃止する。
- 4 この規則は、平成23年3月31日において現に医学部または歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附 則(平成 年 月 日規則第 号)

この内規は、平成28年4月1日から施行する。

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規

平成23年12月7日
歯学部長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年規則第1号。以下「試験規則」という。）第12条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

(試験の種類)

第2条 試験規則第5条に規定する定期試験とは、期末試験及び中間試験とする。

(期末試験及び中間試験)

第3条 期末試験とは、履修を修了した授業科目及び授業科目を構成するユニット（以下「ユニット」という。）について定期的に行う試験をいう。

2 中間試験とは、履修中の授業科目及びユニットについて適宜行う試験をいう。

3 期末試験及び中間試験の実施時期については、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻（以下、「各専攻」という。）において別に定める。

(追試験)

第4条 追試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(再試験)

第5条 定期試験に係る再試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(補則)

第6条 この内規に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

1. この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

2. 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学科の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

口腔保健科学生 各位

歯学部長
口腔保健学科教育委員長

ユニット試験（筆記試験）時の注意事項

口腔保健学科専門科目ユニット試験（筆記試験）時に下記事項を遵守しない場合には不正行為を行ったとみなす。

1. ユニット試験時の持ち物については下記のとおりとする。下記以外の物の持ち込みについては監督者に確認して、指示に従うこと。
 - 1) 机には原則、筆記用具と学生証以外は置かないこと。
教科書や参考書、ノートやプリント、携帯電話、スマートフォン、小型パソコン、腕時計型情報端末などの電子機器を机上または机下の棚に置いている場合、あるいは身につけている場合は不正行為とみなす。これらはすべてカバンにしまうこと。
 - 2) ティッシュペーパーの持ち込みが必要な場合は監督者の許可を得ること。ティッシュペーパーは袋から出して、試験中は机上に置いておくこと。
2. 遅刻は、ユニット試験開始 30 分以内は認める。但し試験時間の延長はしない。
3. ユニット試験開始 30 分経過後、試験終了者で希望する者の退室を認める。
4. 持ち帰りが認められていない試験において、過失・故意にかかわらず試験問題、解答用紙を試験会場外へ持ち出した場合、またはそれらを複製（撮影を含む）した場合、当該試験は無効となる。

参考：「試験における不正行為」に対する懲戒は以下の通り。

（東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申し合わせ 別表懲戒の標準より抜粋）

（1）代理（替玉）受験を行った場合又は行かせた場合	退学
（2）許可されていないノート及び参考書等を参照した場合	停学
（3）答案を交換した場合	停学
（4）その他、試験において不正行為を行った場合	停学または訓告

学 生 周 知 事 项 等

歯科衛生士国家試験ならびに社会福祉士国家試験について

歯科衛生士国家試験

〔試験の概要〕

(試験科目)

人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能、歯・口腔の構造と機能、疾病の成り立ち及び回復過程の促進、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み、歯科衛生士概論、臨床歯科医学、歯科予防処置論、歯科保健指導論及び歯科診療補助論

(受験資格)

- (1) 文部科学大臣の指定した歯科衛生士学校を卒業した者（卒業見込の者を含む）。
- (2) 厚生労働大臣の指定した歯科衛生士養成所を卒業した者（卒業見込の者を含む）。
- (3) 外国の歯科衛生士学校を卒業し、又は外国において歯科衛生士免許を得た者であつて、厚生労働大臣が（1）又は（2）に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認められた者。

(試験期日)

例年、3月の第1日曜日に行われる。

第29回（前回）の歯科衛生士国家試験は、2020年3月1日（日）に行われた。

(受験手数料)

受験手数料の額は14,300円である（変更の可能性もあり）。

(受験手続き)

1.必要書類

ア.受験願書

イ.写真

ウ.卒業証明書又は卒業見込証明書（受験資格の（1）、（2）に該当する者）

なお、（1）（2）に該当する者で卒業見込証明書を提出した者にあつては、3月14日午後5時までに卒業証明書を提出する。期日までに、提出されないときは、当該受験は無効となる。

2.出願について

出願については、大学で必要書類をとりまとめ、一般財団法人歯科医療振興財団に提出する。

なお、受験願書、写真用台紙、受験手数料払込用紙等は、一般財団法人歯科医療振興財団から毎年10月中旬に各養成機関宛に届くので、受験予定者は歯学系教務係にて受領する。

試験の詳細については、受験案内で確認すること。

社会福祉士国家試験

〔試験の概要〕

(試験科目)

人体の構造と機能及び疾病、心理学理論と心理的支援、社会理論と社会システム、現代社会と福祉、地域福祉の理論と方法、福祉行政と福祉計画、社会保障、障害者に対する支援と障害者自立支援制度、低所得者に対する支援と生活保護制度、保健医療サービス、権利擁護と成年後見制度、社会調査の基礎、相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法、福祉サービスの組織と経営、高齢者に対する支援と介護保険制度、児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、就労支援サービス、更生保護制度

(受験資格)

- (1) 4年制大学等で指定科目を修めて卒業した者
- (2) 2年制（又は3年制）短期大学等で指定科目を修めて卒業し、指定施設において2年以上（又は1年以上）相談援助の業務に従事した者
- (3) 社会福祉士短期養成施設（6月以上）を卒業（修了）した者
- (4) 社会福祉士一般養成施設（1年以上）を卒業（修了）した者

(試験期日)

次回（第33回）の試験は、2021年2月上旬に行われる予定。

第32回（前回）の試験は、2020年2月2日（日）に行われた。

(受験手数料)

受験手数料の額は15,440円である。

(受験手続)

1.必要書類

ア.受験申込書

イ.写真

ウ.卒業証明書又は卒業見込証明書（受験資格の（1）に該当する者）

2.出願について

公益財団法人社会福祉振興・試験センターより本学に出願書類が届いた後、歯学系教務係から社会福祉士養成課程履修者（4学年）に出願書類を配布するので、受験予定者は出願書類を歯学系教務係の提出すること。

学生周知事項

1. 掲示について

学生への告知、通知、連絡はすべて掲示板に掲示する。掲示の見落としがないよう十分注意すると共に、1日に1度は掲示を見て不利益をこうむらないように心がけること。

2～4学年用の教務連絡用掲示板は1号館西7階リフレッシュルーム前に設置されている。また、eラーニングシステム（WebClass）や電子メール（Webメール）によって連絡されることがあるので頻繁に確認し、見落としのないように注意すること。

2. 学生証について

- (1) 学生証は常に携帯すること。
- (2) 学生証を紛失または破損等したときは、学務企画課（1号館西1階）に届け出て再交付の手続きをすること。再交付費用（1,500円）は学生本人の負担とする。
- (3) 学生証は卒業、退学または除籍のときには直ちに学務企画課へ返納すること。返却できない場合は、費用を負担することとする。

3. 学生旅客運賃割引

- (1) 課外活動または帰省等でJR線を利用し、乗車区間が片道100kmを超える場合、旅客運賃の割引（2割）を受けることができる。
- (2) 学割証の不正使用（第三者への貸与等）は絶対にしないこと。
- (3) 年間使用限度枚数は1人10枚（1回につき2枚まで）
- (4) 私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙をもらい、学務企画課企画調査係（1号館西1階）に問い合わせること。
- (5) 学割証が必要なときは5号館4階談話室にある証明書自動発行機を使用すること。
利用日時：月曜日～金曜日、8:30～21:00
問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線5075）

4. 証明書等

証明書等は、歯学系教務係および証明書自動発行機にて発行する。

<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/procedure/shigaku/index.html>

- (1) 次に掲げるものは、歯学系教務係（歯科棟南2階）で発行するので歯学部証明書交付願を記入し提出すること（受付時間 8:30～17:15）
(①と②の交付は、原則として交付願を受理した日から1週間程度要する。)
 - ①成績証明書
 - ②調査書
 - ③英文の在学証明書

(2) 次に掲げるものは、5号館4階談話室にある自動発行機で発行する。

(利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00)

(問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線 5074）)

①在学証明書

②卒業見込証明書（第4学年在学者のみ）

(3) 次に掲げるものは、学務企画課企画調査係（1号館西1階）で発行する。

①通学証明書（交通機関から請求された場合に限る）

通学証明書が必要な場合は、企画調査係に問い合わせること。

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入すること。

5. 住所・氏名等の変更について

本人または保証人の住所、氏名、電話、本籍等（電話番号を含む）に変更が生じたときには、速やかに歯学系教務係へ申し出て所定の手続きをすること。

6. 欠席、休学、復学、退学

(1) 授業の欠席

病気その他の事由により欠席した場合は欠席届を歯学系教務係（歯科棟北9階、5月以降は歯科棟南2階に移転予定）へ提出すること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

(2) 休学

病気その他の事由により、引き続き3か月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

休学を許可される期間は、通算して2年以内。（特別の事情があるときは、さらに1年以内の休学が許可されることがある。）

(3) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、復学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付した上で、保健管理センターを受診する必要がある。）

(4) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

7. ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、歯学部・同附属病院の実習中には必ずネームプレートを着用すること。3年次後期からの病院実習では登院式で交付されるネームプレートを着用すること。

プレートは貸与とし（卒業時に要返却）、紛失または破損した場合は、再交付を受けるものとする。この場合は実費を負担すること。

学部学生用のプレートには学科専攻名と氏名の間のスペースに学年を表示するシール（例「OH2」）を貼ること。シールは歯学系教務係で配布しているので、汚損したら適宜貼りかえること。

8. 授業中（大学行事、課外授業を含む）の事故等

入学時に加入した「学生教育研究災害傷害保険」および「医学生教育研究賠償責任保険」の対象となる。（詳細は「学生生活の手引き」を参照すること。） 問い合わせ先：学生支援事務室（5号館3階）内線（5077）

<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/insurance-regime/index.html>

9. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

- (1) 講義室、実習室、ロッカー室：歯学系教務係（歯科棟南 2 階：内線 5411）
学部防災センター（歯科棟北 1 階）
- (2) 上記（1）以外：歯学部総務課（歯科棟南 2 階：内線 5406）

10. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料を引き落とす。

前期分授業料は 5 月中に、後期分授業料は 11 月中に納付すること。

11. 湯島キャンパスにおける講義に際しての注意事項

- (1) 平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時まで歯学部附属病院玄関から出入りすることを原則禁止
- (2) 歯学部建物内へは、以下のように出入りすること。
 - 1) 聖門⇔1 号館、2 号館、7 号館
 - 2) 正門⇔1 号館、2 号館、7 号館
 - 3) 御茶ノ水門あるいは丸の内線出口⇔1 号館、2 号館、歯学部附属病院防災センター（歯学部時間外通用口）
- (3) 白衣または実習着を着用していない学生は、歯学部附属病院の聖橋側エレベーターを使用すること。
- (4) 臨床実習履修中の学生以外がやむを得ない理由で歯学部附属病院内を移動するときは、私語を慎むこと。歩きスマホは禁止。
- (5) 白衣または実習着を着用したまま学外に出ないこと

12. 授業中のパーソナルコンピュータ、スマートフォンなどの機器使用の制限について

授業中におけるパーソナルコンピュータ、タブレット端末、スマートフォンなどの携帯電話等の使用に関して以下のように定めている。

- (1) 当該授業に関係のない機器を使用することを禁ずる。
- (2) 上記 1 の状況において、授業担当者あるいは授業補助者が、学生が当該授業を使用していると認めたときは、これを制限できる。この場合制限とは以下のことをいう。
 - 1) 当該機器の電源を強制的に OFF にする。
 - 2) 当該授業終了時まで授業担当者あるいは授業補助者が当該機器を保管することができる。
 - 3) 当該学生を退出させる。再入室にあたっては当該機器を持ち込んでいないことを条件とする。

13. カードリーダーの設置について

各講義室および実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されている。各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行うので、学生証を必ず忘れないようにすること。

なお、授業によりこの装置を使用しないことがある。その場合は、担当教員の指示に従うこと。また、万が一、学生証を忘れた場合、歯学系教務係でその日に限りの貸し出しカードを一時的に貸与するので申し出ること。基本的にはカードリーダーへのタッチで出欠がカウントされる。

14. 学生用メールについて

学生各自に割り当てられたメールアドレス（学籍番号下6桁にos@tmd.ac.jp）宛に、掲示に準じた連絡や、個別の連絡を送信することがあるので、定期的にチェックしておくこと。

15. その他

(1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援事務室の窓口で保管しているので、責任者は適宜確認すること。なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないようにすること。

(2) 事務の窓口

教 務 事 務：歯学系教務係（歯科棟南 2 階、内線 5411）

授 業 料 の 納 入：財務施設部財務管理課収入管理係（1 号館西 3 階、内線 5048）

奨 学 金、授業料免除：学生支援事務室（5 号館 3 階、内線 5077）

奨学金：<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html>

授業料免除：<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html>

災害関係連絡事項

1. 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載する。

URL: <http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR および大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

2. 授業中の大規模地震のときの避難場所について

学内で地震や火災などの非常事態が起こった場合、あわてずに教員の指示に従って行動すること。1 号館西での授業中に大規模地震が発生した際には、口腔保健衛生学専攻の学生は 1 号館西 1 階の正面玄関前に避難すること。ただし、状況に応じて別の避難場所に誘導される場合がある。大学全体としての避難場所は M&D タワー前スペースとなっている。

3. 大規模地震ポケットマニュアルについて

このマニュアルは、大規模地震（震度 5 強以上を想定）が発生した場合の初動対応を掲載している。常時携行し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立てること。

マニュアルが手元に届かない場合、あるいは破損・紛失した場合は、以下に問い合わせること。英語版のポケットマニュアルも作成しているので、必要な場合は以下に申し出ること。

問い合わせ先：歯学系教務係（歯科棟南2階）
03-5803-5411

なお、このマニュアルは、ホームページからも確認できる。

(学内専用サイト → 学内専用教職員学生向け情報 → 危機管理に関する情報)

<http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

4. 安否確認システムについて

このシステムは、大規模地震はもとより、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力するものである。

大規模地震や風水害の際には、「大規模地震ポケットマニュアル」の「安否確認システムによる報告」を確認し、安否確認システム (<https://asp21.emc-call3rd.jp/tmdu/>) にアクセスし、ID (学籍番号) とパスワード (初期値は ID と同じ) によりログインして自身の安否を入力すること。

今後、このシステムの実効性を高めるため、試行を重ねる予定であるので、その際はメール等により案内する。

なお、このシステムの操作方法等については、ホームページから確認すること。

(学内専用サイト → 教職員学生向け情報サイト → 危機管理に関する情報)

<http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

学生支援・保健機構について
学生・女性支援センターについて

学生・女性支援センターは、生活、修学、就職、メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業（仕事）と家庭との両立に関する事など、キャンパスライフ全般に渡り、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。また、以下のとおり学生生活全般及びキャリアに関する相談に応じています。各ホームページに個別相談予約状況や予約方法を記載していますので、何かあればお気軽にご利用ください。なお、本センターは男女問わずご利用頂けます。

・場所：5号館3階 ・業務時間：月～金（平日）9：00～17：00

※連絡先は03-5803-XXXXの下4ケタです

※HP：本学トップページ>研究所・図書館等>学生支援・保健管理機構>学生・女性支援センター

担当名	内容	連絡先	備考	HP
学生支援室	生活支援、修学支援、就職支援、メンタル（保健管理センターと連携）に関する相談、ハラスメントに関する相談及びカウンセリングに関する事。	4959/ 4571	個別に相談に応じています 〈学生支援室〉 相談時間：月～金(10：30～16：00) 1回50分	上記>学生支援室/障害学生支援室>専用Webサイト
障害学生支援室	障害によってハンディを被ることなく修学できる様、個々人のニーズに合わせた支援及びその相談。 学生生活における困りごと、差別解消に関する支援及びその相談。		〈障害学生支援室〉 相談時間：火・水・金(10：30～16：00) 1回50分 〈国府台キャンパス(保健管理センター内)〉 水曜日(12：00～14：00)相談に応じています。希望者は事前に予約してください。	(http://www.tmd.ac.jp/cmn/stdc/) 
男女協働参画支援室	今後の進路や生き方に関する支援及びその相談、妊娠・出産・育児と学業・仕事との両立、保育園入園、介護に関する支援及びその相談。マタニティ白衣の貸出、キャリアに関する図書の出借。	4921	個別に相談に応じています 要予約	上記>男女協働参画支援室/保育支援室>専用Webサイト
保育支援室	病児保育、病後児保育、一時保育、お泊り保育の利用に関する支援及びその相談。授乳・搾乳室の設置。			(http://www.tmd.ac.jp/ang/index.html) 
ダイバーシティ・ダイヤモンド(DD)ユニット	研究力強化の支援、リーダーシップ向上支援、育児・介護と研究の両立支援、産学連携の支援、若手研究者キャリアパス支援。	4921	順天堂大学・株式会社ニッピと連携して女性研究者の研究力を強化する事業を実施しています	専用HP http://www.tmd.ac.jp/cmn/ddu/index 

保健管理センターについて

健康状態の把握と、疾病の早期発見のため、定期あるいは臨時の健康診断及びワクチン接種等を行います。また、心身両面の健康障害や不安について、診察や相談を行っています。

○組織と業務

名称	場所	連絡先	業務内容
保健管理センター	湯島 5号館 2階	03-5803-5081	1. 健康相談 2. メンタルヘルス相談
保健管理センター分室	国府台 シャン・ドウ・コーズリー1階	047-300-7108	3. 健康診断 4. 健康診断証明書の発行 5. 応急処置・診察・治療（軽い怪我・風邪など） 6. 各種抗体検査・ワクチン接種

○保健管理センターの利用について

- 1) メディカルスタッフへの相談を希望する方は、HP の健康相談予定表、もしくは当センター入り口に掲示してあります健康相談予定表で確認の上、相談においでください。軽い怪我や風邪などについては治療を受けることもできます。また、必要に応じて医療機関への紹介状もお書きします。メンタルヘルスに関する相談も行っております。
- 2) 月曜日～金曜日の開室時間内は、血圧測定や視力検査、身体計測など自己測定ができます。その他、湯島では、リフレッシュエリアにて、エアロバイク・ジョーバなど健康機器やマッサージチェア・Nap 用ベッドを使用することも可能です。

※現在、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、リフレッシュエリアは閉鎖しております。再開時期については、保健管理センターに適宜確認してください。

開室時間	湯島地区	8時45分～17時00分
	国府台地区	9時45分～16時15分

ホームページ：<http://www.tmd.ac.jp/hsc/index.html>

下記が実施済であることを実習要件とする（2017年6月27日教育戦略会議にて決定）

- ・4種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
- ・B型肝炎抗体価が陽性または non-responder（計6回ワクチン接種をしても陽性とならない）である
- ・T スポット®. TB 検査を実施済である
- ・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

*ただし、以下の者はその証明をもってワクチン接種対象外とする

<4種ワクチン接種>

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者で主治医より接種禁とされた者
- ・妊娠していることが明らかな者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不相当と判断された者

<B型肝炎ワクチン接種>

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不相当と判断された者

保健管理センターでの検査、ワクチンの実施スケジュール

図書館について

1. 場所：M&D タワー3階（カウンター、閲覧席等）、4階（閲覧席、情報検索室等）

2. 利用可能時間：

開館時間	平日	8：30～22：00	
	土日祝	8：30～18：30	※8・3月の土日祝 10:00～18:30
(情報検索室)	平日	9：00～21：00	
	土日祝	11：00～17：30	
休館日		年末年始	

3. 利用方法：（詳細は「図書館ホームページを参照してください。」）

- 図書館の利用には、利用証が必要です。ICカードタイプの学生証が利用証になります。入館ゲートにかざして入館してください。忘れた場合はカウンターに申し出て下さい。入館はできますが、貸出ができません。
- 探している資料があるか、配架場所等は図書館ホームページ蔵書検索（OPAC）でお調べください。
- 貸出を希望される資料と利用証を持って、カウンターへお越しください。自動貸出機もご利用いただけます。ただし、CD-ROMなどの付属資料のあるものはカウンターでの貸出のみとなります。貸出可能冊数は図書・製本雑誌合わせて5冊まで、貸出期間は図書は2週間、製本雑誌は1週間です。
- 引き続き資料を利用したい場合、期限内であり、次に予約が入っていない図書に関しては、1回に限り貸出期間を延長することが出来ます。図書館ホームページのMy Libraryもしくは自動貸出機、カウンターで延長手続きをしてください。
- 本館・分館間で不定期に、資料の取り寄せを行っています。カウンターで申込手続きを行ってください。（来館でのお申込みのみになります）
- 本館・分館の資料は、どちらの図書館でも返却できます。（返却日は厳守してください）
開館時：カウンターに返却してください。
閉館時：M&D タワー1階、図書館入口のブックポストに返却してください。
- 製本雑誌は自動書庫に保管されています。あらかじめOPACから出庫予約をして4階出庫ステーションからご自身で取り出して、ご利用ください。
出庫予約時のID・パスワードはMyLibraryと同じ統合IDとパスワードです。
- 電子ジャーナルは出版社との契約により、学内LANからの利用のみになります。
- 本学の資料を著作権の範囲内で複製することができます。コピーはセルフサービスです。図書館に設置されているコピー機をお使いください。現金またはプリペイドカードでお支払いください。両替はできません。料金：モノクロ1枚 10円 カラー1枚 30円
- 情報検索室のPCが利用できます。（ただし、利用できない日もあります）ネットワークの利用には学内LANアカウントとパスワードが必要です。プリンターは情報検索室を出て左手奥に1台設置されており、モノクロとカラー印刷が可能で有料となります。

- 館内は無線 LAN 対応です。各自で持ち込まれるパソコンからインターネット、学内 LAN に接続する場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要となります。学内 LAN アカウントとパスワードが不要な印刷は USB メモリー印刷専用の PC が 3 階と 4 階に設置されていますので、USB メモリーに保存してあるものは印刷が可能です。印刷物はそれぞれ指定のプリンター（モノクロ、カラー・有料）から出力されます。
3 階閲覧室に備付のパソコンがあります。インターネット、印刷利用の場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要です。3 階閲覧室のプリンターはカウンター脇（モノクロ、カラー・有料）にあります。
- 利用したい資料が学内（講座・電子ジャーナル含む）に無く、他大学や研究機関の図書館で所蔵している場合、複写を申し込む、または図書を他大学等から取り寄せることができます。複写と貸借は My Library からお申込みください。
- 他大学の図書館を利用する場合、身分証の他に紹介状が必要です。（紹介状は訪問希望日の 3 日前までにお申し込みください）訪問先で利用したい資料の所在を確認し、カウンターでお申込みください。なお、明治大学の図書館は本学の学生証で利用することができます。ただし、明治大学図書館の資料の館外貸出を希望される方は学生証の他に、住所のわかるものを持参していただき、明治大学のライブラリーカードを作る必要があります。（1 月、7 月は利用不可、3 月貸出停止）
- 館内での飲食は原則禁止です。（本館では、3 階の図書館入口前に、飲食ラウンジがあります。）
- 所持品は各自責任を持って管理してください。貴重品は常に携帯してください。荷物を置いたままで長時間席を離れる席取り行為はやめてください。長時間席に居ない場合は、荷物を回収することもあります。

4. 問い合わせ先：内線 5596 e-mail: info-serve.lib@ml.tmd.ac.jp
ホームページ: <https://www01s.ufinity.jp/tmdu/>

国立美術館キャンパスメンバーズについて

「国立美術館キャンパスメンバーズ」とは、学校教育において美術館を有効に活用すること、学生や教職員の美術に親しむ機会をより豊かにすることを目的とした、大学等を対象とする制度です。本学でもこのキャンパスメンバーズに加入しています。

1. 対象：本学の学部学生・大学院生・教職員
2. 特典：所蔵作品展の「無料観覧」（所蔵作品を持たない国立新美術館を除く）
特別展・共催展の「割引観覧」（学生は大学生団体料金・教職員は一般団体料金）
3. 利用方法：各館の券売所または改札で学生は学生証、教職員は身分証明書を提示し、キャンパスメンバーズの利用の旨を伝え、入館または観覧券を購入してください。学生証、身分証明書を持参していない場合、特典を受けることはできません。なお、詳しい日程は、各館のホームページで確認してください。
4. 利用機関：以下の3館
国立西洋美術館、東京国立近代美術館、国立新美術館
5. ホームページ：http://www.tmd.ac.jp/campuslife/campus_members/index.html
<http://www.campusmembers.jp/>

1号館西・2号館・7号館の管理、使用について

1. 1号館西・2号館・7号館の出入口の施錠（平日）について

1号館西出入口

1号館西 正面玄関 終日出入可（防災センター管理）

1号館西 東側出入口 解錠 6:00 施錠 18:30

2号館出入口

2階正面玄関 解錠 7:00 施錠 18:00

2階外階段 解錠 7:00 施錠 18:00

2階外階段は、施錠後はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。

歯科棟出入口

歯科棟南1階通用扉 カードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。2階に歯学系教務係があります。

7号館側接続口 1・4階は出入不可、2・3・5階はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です（ただし、実習により病院を訪れる場合に限りません）。

7号館出入口

1階聖門側、EV前 解錠 7:00 施錠 18:00

歯科棟北接続口（東側1～6階） 1階は解錠 7:00 施錠 18:00、
2～6階は常時開放

1号館東接続口（2～5階） 常時開放

消防法の規定により、歯科棟側と2階外階段出入口は避難口のため、施錠しても建物内から外へは常に出られます。ただし、7号館1階歯科棟側接続口、1号館東接続口（2、3階）は施錠すると出入りできません。

2. 1号館西・2号館・7号館内各室の施錠について

1号館西講義室 解錠 7:30 施錠 18:00

2号館講義室 随時（口腔保健工学専攻教員が解・施錠）

7号館講義室 解錠 7:00 施錠 17:00（教務指示による）

1号館西7階学生ロッカー室 番号ロック制

3. 1号館西・2号館・7号館における講義室の目的外使用について

講義室は、原則として目的外使用は許可しません。

4. 学生ロッカー室（1号館西7階）について

(1) ロッカー室は、更衣室として使用できます。

(2) 各人にロッカーが貸与されるので、丁寧に使用してください。

また、各人の責任による破損等については、各人の負担により原状回復してください。

(3) ロッカー室の入口及び個人のロッカーは開放せず、必ず施錠されているかを確認すること。ロッカーでの盗難が多発しているため、特に貴重品等の管理は厳重にしてください。

(4) ロッカーの上部に私物を置かないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。

(5) ロッカーの内外部にシール、ポスター等を貼らないこと。

(6) 飲食後の空容器、紙くず等は必ず分別してごみ箱に捨て、室内に放置しないこと。

(7) ロッカー室でサークルの集会をしないこと。

5. リフレッシュルーム（1号館西7階）の使用について

(1) リフレッシュルームは、食事、休憩、歯磨きなどの目的で使用します。

(2) 口腔保健学科口腔保健衛生学専攻学生の共用で使用します。

(3) 周囲に迷惑がかからぬよう、お互いに協力して、節度をもって使用すること。

(4) 注意事項

- ・私物を保管・放置したり、特定の場所を占拠したりしないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。

- ・エアコンの設定温度に留意し、誰もいないときにはエアコンを消すこと。

- ・飲食した空容器、紙くず等は放置せず、必ず分別してごみ箱に捨てること。

- ・洗面台の排水が詰まるので、食べ物のカス等を流さないこと。

- ・全員退出する際には電源を全て消すこと。

- ・掲示板およびホワイトボードは全学年共用で、学生間の連絡のほか、教員からの連絡にも使用することがあります。不要になった書き込みや掲示物は、書いたものや掲示したものが責任を持って消し、撤去してください。

6. 歯学部リフレッシュルーム（7号館）の使用について

7号館1階および6階には、学生の休息、自己学習等での使用を目的としたリフレッシュスペースが設けられています。この施設では、無線LANを利用して学内LANへの接続も可能になっています。施設を利用する場合は、下記の注意事項を厳守してください。

(1) 利用時間

平日 午前 8 時 30 分から午後 7 時 30 分まで

(2) 利用する上での注意事項

- 1) きれいに、清潔に利用すること。
- 2) 一部の学生が独占的に利用する環境を作らないこと。
- 3) 私物や貴重品は極力置かないこと（紛失は本人の責任になります）。
- 4) 禁煙です。
- 5) 本学学生としてあるまじき行為を行った場合、大学の懲戒規定にかかるとともに、他の学生を含め、当施設の利用を全面的に禁止することが有り得ることを念頭に置き、使用してください。
- 6) 他に利用している学生を考慮し、騒がないこと。
- 7) ごみの始末は各自で行うこと。

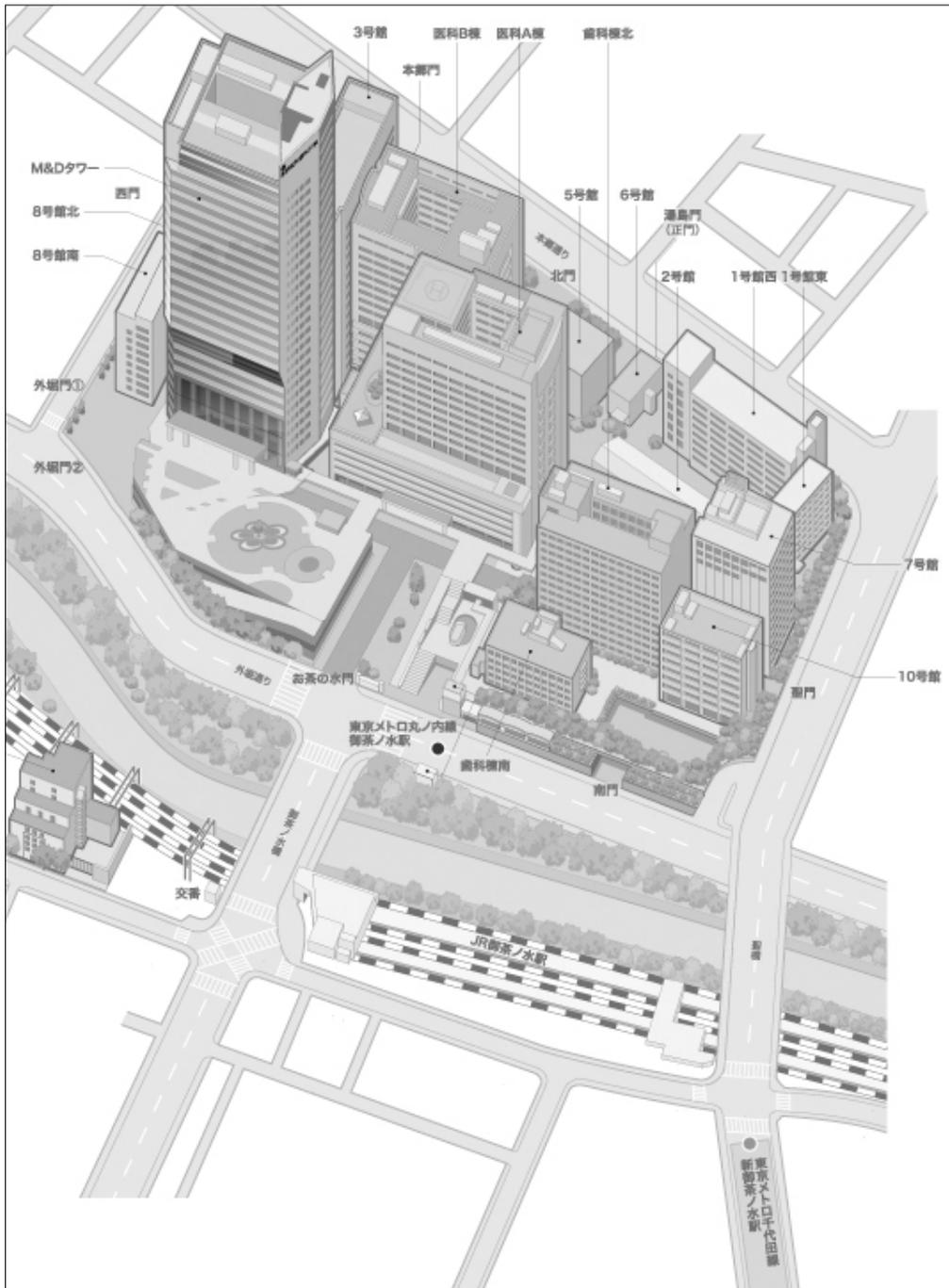
7. 学生用ホワイトボード（リフレッシュルーム）の使用について

- (1) 掲示物の内容については関知しないが、良識をもって掲示すること。
- (2) 掲示期間を過ぎることのないよう、自主的に撤去すること。

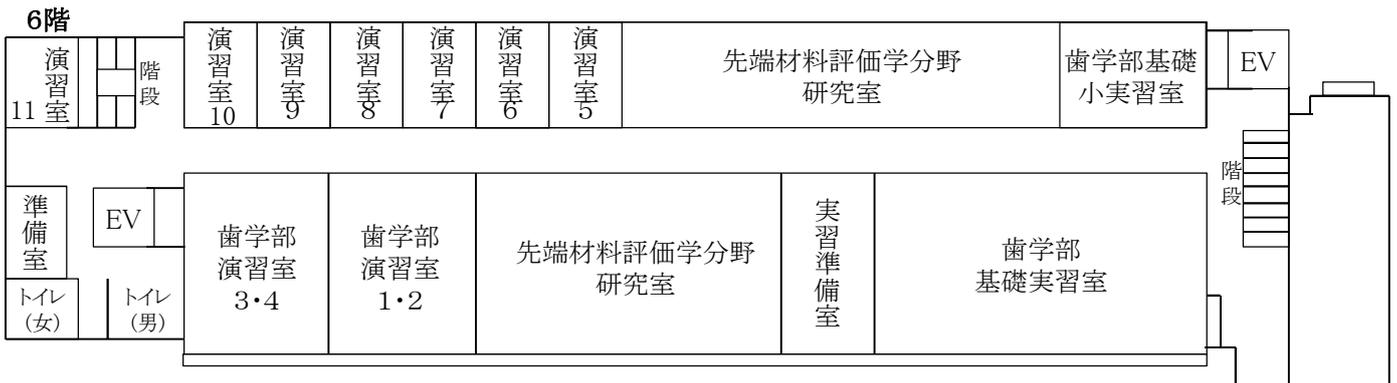
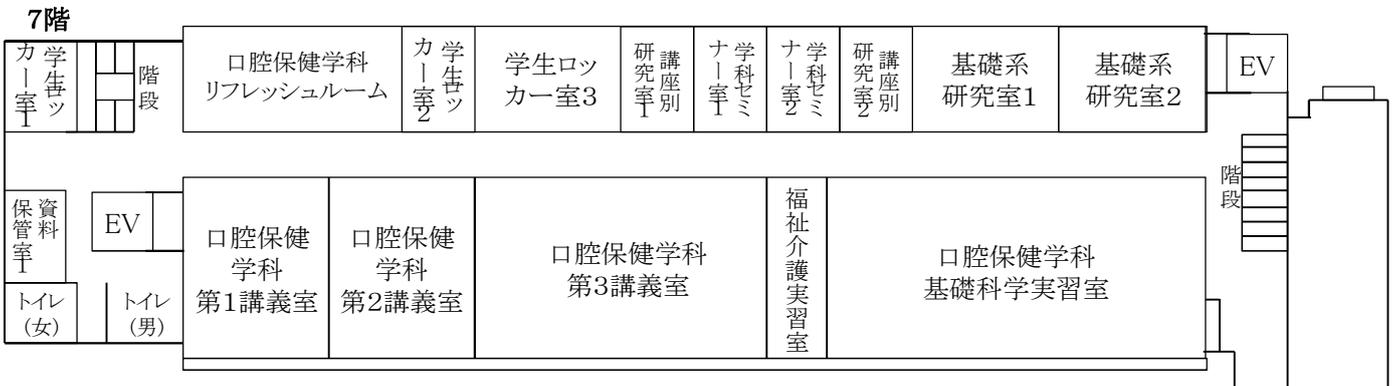
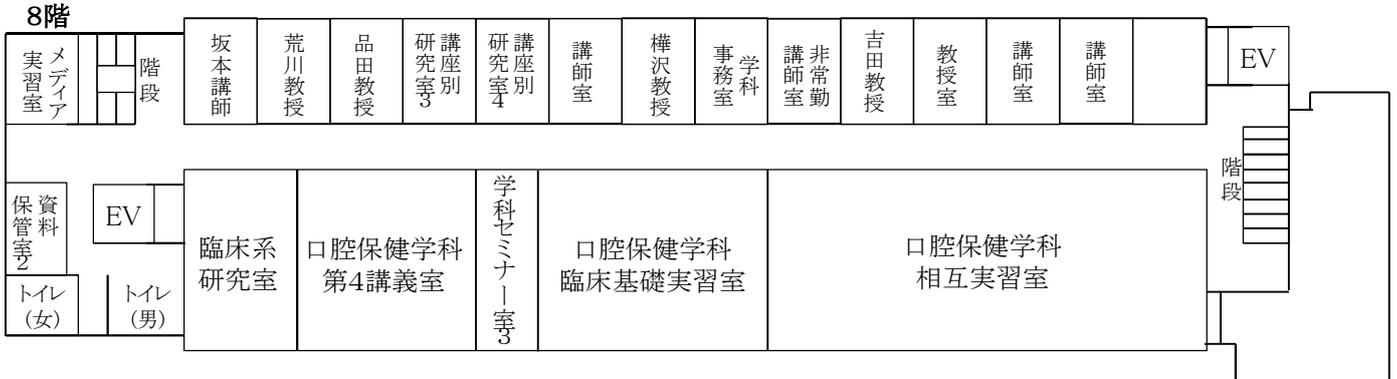
8. 講義室・実習室の使用について

- (1) 講義室・実習室における飲食は原則として禁止します。
- (2) 講義室の机の上に腰をかけないこと。
- (3) 7号館7階以上は動物実験施設なので、感染予防等のため関係者以外の出入りを禁止します。
- (4) 講義室・実習室においては、紙くず等を散らさないようにし、必ず分別してごみ箱に捨てること。
- (5) 参考書・ノート等の私物は講義室の中に放置しないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
- (6) 室内は学生用ホワイトボード・掲示板以外に掲示物の添付を禁じます。
- (7) 講義室・実習室等においては、下駄ばきを厳禁します。
- (8) 盗難防止のため、貴重品は講義室・実習室に置いておかず、身につけて移動するか、個人のロッカーに必ずしまうこと。
- (9) 実習室に私物のかばんや上着など実習に必要なものを持ち込まないこと。各自のロッカーに保管してください。

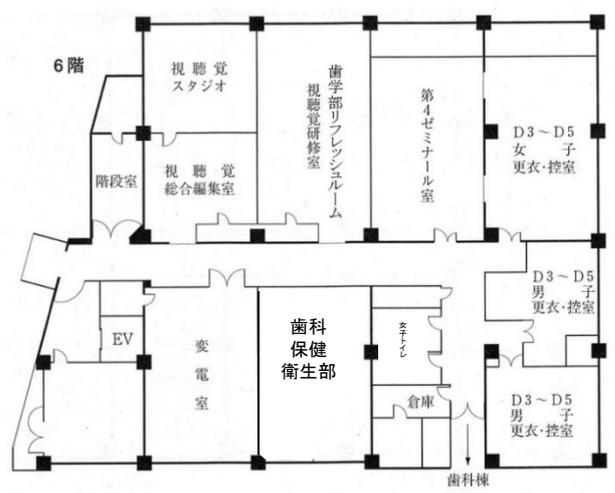
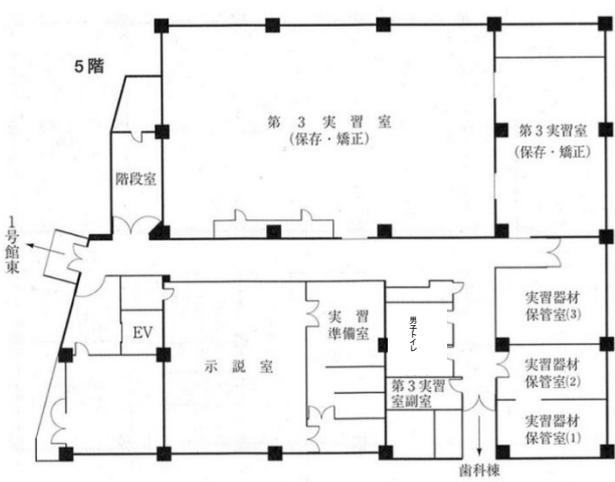
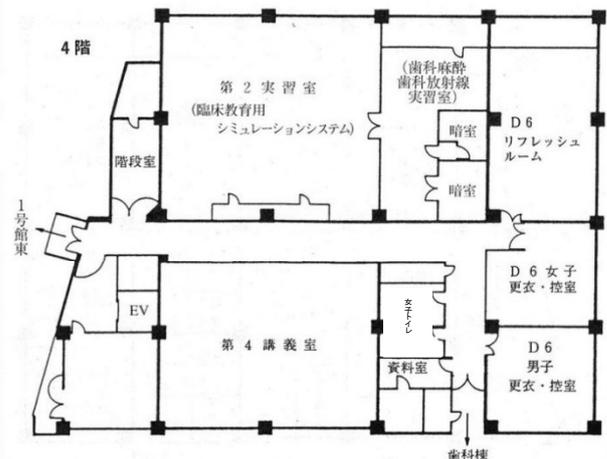
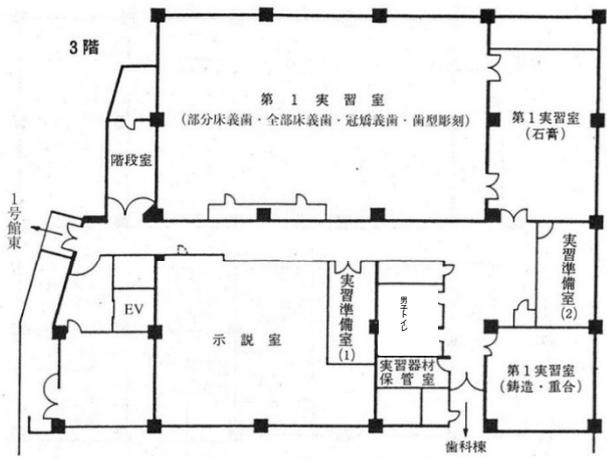
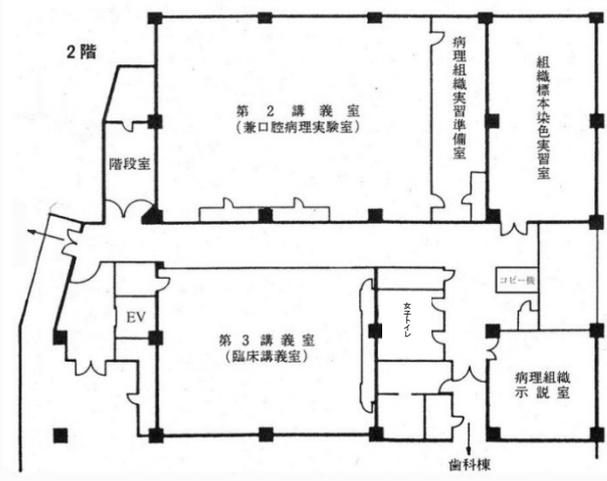
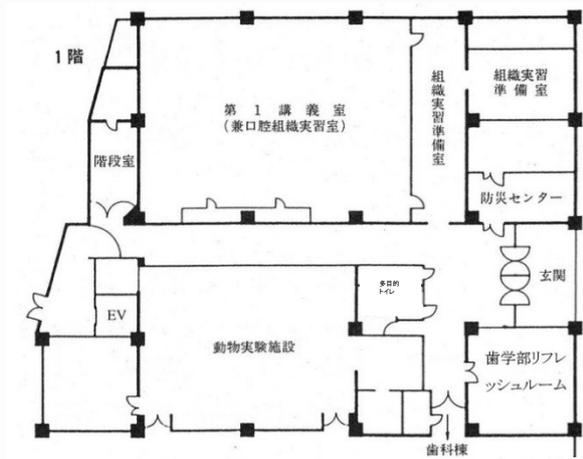
湯島キャンパス案内



1号館西6～8階平面図



7号館平面図



2020年度歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻専門科目授業計画表

第1学年

前期	学部専門科目 「口腔保健と専門職」	2020. 4. 14(火)～5. 19(火) 5週 毎週火曜日
後期	学部専門科目 「歯科衛生学総論」 「人体の構造と機能Ⅰ」 「公衆衛生学」 「社会保障Ⅰ」 「臨床体験実習」	2020. 10. 6(火)～2021. 2. 2(火) 16週 毎週火曜日 2021. 2. 9(火)、2. 16(火) 定期試験

第3学年

区 分		期 間
前 期	春季休業	2020. 4. 1(月)～2020. 4. 3(金)
	ガイダンス・授業17週	2020. 4. 6(月)～2020. 7. 31(金)
	夏季休業(選択科目授業有 り)	2020. 8. 3(月)～2020. 8. 21(金)
	定期試験	2020. 8. 24(月)～2020. 9. 9(水)
	授業3週(選択科目あり)	2020. 9. 10(木)～2020. 9. 29(火)
後 期	臨床実習ガイダンス	2020. 9. 30(水)、2020. 10. 1(木)
	授業13週	2020. 9. 30(水)～2020. 12. 22(火)
	創立記念日	2020. 10. 12(月)(臨床実習あり)
	お茶の水祭準備のため休講	2020. 10. 16(金)
	お茶の水祭	2020. 10. 17(土)～2020. 10. 18(日)
	冬季休業	2020. 12. 23(水)～2021. 1. 4(月)
	授業7週	2021. 1. 5(火)～2021. 2. 19(金)
	定期試験	2021. 2. 22(月)～2021. 3. 5(金)
	春季休業(選択科目授業有 り)	2021. 3. 8(月)～2021. 3. 31(水)

※学外講師の日程により、夏季・春季休業期間または8限等を実施する場合があります。

第2学年

区 分		期 間
前 期	春季休業	2020. 4. 1(水)～2(木)
	ガイダンス	2020. 4. 3(金)
	授業17週	2020. 4. 6(月)～2020. 7. 31(金)
	夏季休業(選択科目授業有 り)	2020. 8. 3(月)～2020. 9. 4(金)
	定期試験	2020. 9. 7(月)～2020. 9. 25(金)
後 期	授業13週	2020. 10. 1(木)～2020. 12. 22(火)
	創立記念日	2020. 10. 12(月)
	お茶の水祭準備のため休講	2020. 10. 16(金)
	お茶の水祭	2020. 10. 17(土)～2020. 10. 18(日)
	解剖体追悼式	2020. 10. 22(木)午後
	冬季休業	2020. 12. 23(水)～2021. 1. 4(月)
	授業6週	2021. 1. 5(火)～2021. 2. 12(金)
	定期試験	2021. 2. 15(月)～2021. 3. 5(金)
春季休業	2021. 3. 8(月)～2021. 3. 31(水)	

※学外講師の日程により、夏季・春季休業期間または8限等を実施する場合があります。

第4学年

区 分		期 間
前 期	春季休業	2020. 4. 1(水)～3(金)
	ガイダンス、授業	2020. 4. 6(月)
	授業17週	2020. 4. 6(月)～2020. 7. 31(金)
	夏季休業(選択科目授業有 り)	2020. 8. 3(月)～2020. 9. 30(水)
後 期	授業13週	2020. 10. 1(木)～2020. 12. 22(火)
	創立記念日	2020. 10. 12(月)
	お茶の水祭準備のため休講	2020. 10. 16(金)
	お茶の水祭	2020. 10. 17(土)～2020. 10. 18(日)
	冬季休業	2020. 12. 23(水)～2021. 1. 5(火)
	補講および卒業試験・自己 研 修	2021. 1. 6(水)～2021. 2. 26(金)
卒 業 式	2021. 3. 25(木)	

※学外講師の日程により、夏季・春季休業期間または8限等を実施する場合があります。

歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻 教員連絡先一覧

医歯学総合研究科	分野名	氏名	メールアドレス
	生涯口腔保健衛生学分野	荒川 真一	s-arakawa.ltoh@tmd.ac.jp
		近藤 圭子	solan.ltoh@tmd.ac.jp
	健康支援口腔保健衛生学分野	樺沢 勇司	kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp
		伊藤 奏	ito.ocsh@tmd.ac.jp
	口腔疾患予防学分野	品田 佳世子	shinada.pvoh@tmd.ac.jp
		安達 奈穂子	adachi.pvoh@tmd.ac.jp
	地域・福祉口腔機能管理学分野	日高 玲奈	n-rena.ohcw@tmd.ac.jp
	口腔健康教育学分野	吉田 直美	yoshida.ohce@tmd.ac.jp
	口腔保健衛生基礎学分野	坂本 裕次郎	y.sakamoto.bsos@tmd.ac.jp

第1学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022202																																																																	
科目名	人体の構造と機能 I	科目ID	DH-130101-L																																																															
担当教員	坂本 裕次郎, 井関 祥子[SAKAMOTO YUJIRO, ISEKI SACHIKO]																																																																	
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																																															
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																	
科目名: 人体の構造と機能及び疾病 ユニット番号: 1201 授業形態: 講義 時間数: 必修 1 単位・90 分×8 回 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎																																																																		
主な講義場所 口腔保健学科 第1 講義室																																																																		
授業の目的、概要等 人体の正常な構造と機能を学んで、生命現象が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルへと統合的に理解するとともに、組織および器官の発生のしくみと成長と加齢に伴う変化ならびに生体の恒常性維持機構について理解する。																																																																		
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・人体の構成ならびに構造と機能の関係を概説する。 ・細胞の構造と働きならびに遺伝子の分子機構を説明する。 ・人体の発生と発達の概要を説明する。 ・上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織の特徴と役割を説明する。 ・運動器(骨格系と筋系)の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 																																																																		
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6</td> <td>12:50-14:20</td> <td>口腔保健 学科第1 講義室</td> <td>人体の構成</td> <td>人体の構造と機能を学ぶ意義、人体の構成と身体の方向用語、細胞と組織と器官系の分類</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第1 講義室</td> <td>人体を構成する細胞の構造と機能</td> <td>核とその役割、細胞質と細胞膜・細胞内小器官の役割</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/20</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第1 講義室</td> <td>組織の分類</td> <td>上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織の構成要素の特徴と役割および器官系の構成</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/27</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第1 講義室</td> <td>組織の分類</td> <td>上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織の構成要素の特徴と役割および器官系の構成</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/10</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第1 講義室</td> <td>人体の発生と生後発達</td> <td>人体の発生過程と生後の変化</td> <td>井関 祥子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/17</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第1 講義室</td> <td>骨組織の形成と機能、運動器(骨格系と筋系)の総論</td> <td>骨組織の構造と発生様式、骨格系の機能、運動器(骨格系と筋系)の構成と役割および成長に伴う変化</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/24</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第1 講義室</td> <td>筋の収縮機構と機能、骨格筋の収縮のタイプと疲労</td> <td>骨格筋・心筋・平滑筋の収縮のしくみと役割</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/1</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第1 講義室</td> <td>筋の収縮機構と機能、骨格筋の収縮のタイプと疲労</td> <td>骨格筋・心筋・平滑筋の収縮のしくみと役割</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	12:50-14:20	口腔保健 学科第1 講義室	人体の構成	人体の構造と機能を学ぶ意義、人体の構成と身体の方向用語、細胞と組織と器官系の分類	坂本 裕次郎	2	10/13	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	人体を構成する細胞の構造と機能	核とその役割、細胞質と細胞膜・細胞内小器官の役割	坂本 裕次郎	3	10/20	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	組織の分類	上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織の構成要素の特徴と役割および器官系の構成	坂本 裕次郎	4	10/27	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	組織の分類	上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織の構成要素の特徴と役割および器官系の構成	坂本 裕次郎	5	11/10	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	人体の発生と生後発達	人体の発生過程と生後の変化	井関 祥子	6	11/17	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	骨組織の形成と機能、運動器(骨格系と筋系)の総論	骨組織の構造と発生様式、骨格系の機能、運動器(骨格系と筋系)の構成と役割および成長に伴う変化	坂本 裕次郎	7	11/24	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	筋の収縮機構と機能、骨格筋の収縮のタイプと疲労	骨格筋・心筋・平滑筋の収縮のしくみと役割	坂本 裕次郎	8	12/1	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	筋の収縮機構と機能、骨格筋の収縮のタイプと疲労	骨格筋・心筋・平滑筋の収縮のしくみと役割	坂本 裕次郎
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	10/6	12:50-14:20	口腔保健 学科第1 講義室	人体の構成	人体の構造と機能を学ぶ意義、人体の構成と身体の方向用語、細胞と組織と器官系の分類	坂本 裕次郎																																																												
2	10/13	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	人体を構成する細胞の構造と機能	核とその役割、細胞質と細胞膜・細胞内小器官の役割	坂本 裕次郎																																																												
3	10/20	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	組織の分類	上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織の構成要素の特徴と役割および器官系の構成	坂本 裕次郎																																																												
4	10/27	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	組織の分類	上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織の構成要素の特徴と役割および器官系の構成	坂本 裕次郎																																																												
5	11/10	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	人体の発生と生後発達	人体の発生過程と生後の変化	井関 祥子																																																												
6	11/17	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	骨組織の形成と機能、運動器(骨格系と筋系)の総論	骨組織の構造と発生様式、骨格系の機能、運動器(骨格系と筋系)の構成と役割および成長に伴う変化	坂本 裕次郎																																																												
7	11/24	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	筋の収縮機構と機能、骨格筋の収縮のタイプと疲労	骨格筋・心筋・平滑筋の収縮のしくみと役割	坂本 裕次郎																																																												
8	12/1	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	筋の収縮機構と機能、骨格筋の収縮のタイプと疲労	骨格筋・心筋・平滑筋の収縮のしくみと役割	坂本 裕次郎																																																												

<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。 ・随時の演習、小テスト等で形成的評価を行い、出席状況、授業態度等を総括的評価に加味する。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
<p>参考書</p> <p>人体の構造と機能／前田健康, 山田好秋 ほか著, 前田, 健康, 1959-, 山田, 好秋, 1949-, 全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版, 2010</p> <p>標準組織学総論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著, 藤田, 尚男, 1928-2014, 藤田, 恒夫, 1929-2012, 岩永, 敏彦, 1954-, 医学書院, 2015</p> <p>標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著, 藤田, 尚男, 1928-2014, 藤田, 恒夫, 1929-2012, 岩永, 敏彦, 1954-, 石村, 和敬, 1949-, 医学書院, 2017</p> <p>標準生理学／小澤瀨司, 福田康一郎 監修, 本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集, 小澤, 瀨司, 福田, 康一郎, 本間, 研一, 1946-, 大森, 治紀, 1950-, 大橋, 俊夫, 1949-, 医学書院, 2014</p> <p>ラングマン人体発生学／T.W.サドラー 著, 安田峯生, 山田重人 訳, Sadler, Thomas W, 安田, 峯生, 1937-, 山田, 重人, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016</p> <p>分担解剖学 第1巻 総説・骨学・靭帯学・筋学 改訂第11版／森於菟, 小川鼎三, 大内弘 ほか, 毛利トカワテイゾウ, オオウチヒロム, 金原出版, 1982-02-20</p> <p>分担解剖学 第2巻 脈管学・神経系 改訂第11版／平沢興, 岡本道雄, ヒラサワコウ, オカモトミチオ, 金原出版, 1983-02-10</p> <p>分担解剖学 第3巻 感覚器学・内臓学 改訂第11版／小川鼎三, 山田英智, 養老孟司, オカワテイゾウ, ヤマダエイチ, ヨウロウタケシ, 金原出版, 1982-02-20</p> <p>解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編, 全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版, 1996</p> <p>生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編, 全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版, 1995</p> <p>Human Anatomy Atlas 2020; Muscle Premium 2018; Skeleton Premium; Physiology Animations; Heart & Circulatory Premium.</p> <p>上記の5編が、http://demo.ovid.com/custom/tmd999/ にて学内で視聴できます。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>専門科目と教養部で行われる全学共通科目は、履修規則等が異なるので、よく確認すること。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>坂本 裕次郎, y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp</p> <p>井関 祥子, s.iseki.emb@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>坂本 裕次郎, 随時 1号館西8階</p> <p>井関 祥子, 随時 (必ず事前に連絡すること)</p>

時間割番号	022204																																																																										
科目名	栄養と代謝	科目ID	DH-130103-L																																																																								
担当教員	品田 佳世子, 渡部 徹郎, 中島 友紀, 横山 三紀, 井上 カタジナアンナ[SHINADA KAYOKO, WATABE TETSURO, NAKASHIMA TOMOKI, YOKOYAMA MIKI, INOUE KATAJINAANNA]																																																																										
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1																																																																								
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																										
<p>ユニット: 栄養と代謝</p> <p>科目: 人体の構造と機能及び疾病</p> <p>単位: 1(90分授業×8回)</p>																																																																											
<p>主な講義場所</p> <p>1号館西7階 口腔保健学科第2講義室</p>																																																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>生体の構成要素、栄養素の消化吸収、代謝と作用を理解し、口腔の健康との関連を概説できる。</p>																																																																											
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 生体の構成要素を理解する。 2) 栄養素の消化吸収を理解する。 3) 栄養素の代謝、作用を理解する。 4) 生体における恒常性の維持を理解する。 5) 食品に多く含まれ栄養素を知り、欠乏症を説明できる。 																																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>11/10</td> <td>10:30-12:00</td> <td>口腔保健学科第2講義室</td> <td>栄養と代謝総論</td> <td>栄養と代謝総論、食育に関する演習</td> <td>品田 佳世子</td> <td>食育に関する演習</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>12/8</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健学科第2講義室</td> <td>生体における恒常性の維持</td> <td>生体における恒常性の維持</td> <td>渡部 徹郎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>12/15</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健学科第2講義室</td> <td>生体の構成要素、生体における化学反応</td> <td>生体の構成要素、生体における化学反応</td> <td>横山 三紀</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>12/22</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健学科第2講義室</td> <td>糖質、歯質およびタンパク質の代謝</td> <td>糖質、歯質およびタンパク質の代謝</td> <td>井上 カタジナアンナ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1/5</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健学科第2講義室</td> <td>歯と歯周組織の生化学、硬組織の生化学</td> <td>歯と歯周組織の生化学、硬組織の生化学</td> <td>中島 友紀</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1/12</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健学科第2講義室</td> <td>栄養素の働き: ビタミン</td> <td>栄養素の働き: ビタミン、演習</td> <td>品田 佳世子</td> <td>演習</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1/19</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健学科第2講義室</td> <td>栄養素の働き: ミネラル、食物繊維、他</td> <td>栄養素の働き: ミネラル、食物繊維、他、演習</td> <td>品田 佳世子</td> <td>演習</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>2/2</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健学科第2講義室</td> <td>確認テスト、解答説明</td> <td>確認テスト、解答説明</td> <td>品田 佳世子</td> <td>確認テスト、解答説明</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	11/10	10:30-12:00	口腔保健学科第2講義室	栄養と代謝総論	栄養と代謝総論、食育に関する演習	品田 佳世子	食育に関する演習	2	12/8	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	生体における恒常性の維持	生体における恒常性の維持	渡部 徹郎		3	12/15	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	生体の構成要素、生体における化学反応	生体の構成要素、生体における化学反応	横山 三紀		4	12/22	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	糖質、歯質およびタンパク質の代謝	糖質、歯質およびタンパク質の代謝	井上 カタジナアンナ		5	1/5	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	歯と歯周組織の生化学、硬組織の生化学	歯と歯周組織の生化学、硬組織の生化学	中島 友紀		6	1/12	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	栄養素の働き: ビタミン	栄養素の働き: ビタミン、演習	品田 佳世子	演習	7	1/19	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	栄養素の働き: ミネラル、食物繊維、他	栄養素の働き: ミネラル、食物繊維、他、演習	品田 佳世子	演習	8	2/2	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	確認テスト、解答説明	確認テスト、解答説明	品田 佳世子	確認テスト、解答説明
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																																				
1	11/10	10:30-12:00	口腔保健学科第2講義室	栄養と代謝総論	栄養と代謝総論、食育に関する演習	品田 佳世子	食育に関する演習																																																																				
2	12/8	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	生体における恒常性の維持	生体における恒常性の維持	渡部 徹郎																																																																					
3	12/15	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	生体の構成要素、生体における化学反応	生体の構成要素、生体における化学反応	横山 三紀																																																																					
4	12/22	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	糖質、歯質およびタンパク質の代謝	糖質、歯質およびタンパク質の代謝	井上 カタジナアンナ																																																																					
5	1/5	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	歯と歯周組織の生化学、硬組織の生化学	歯と歯周組織の生化学、硬組織の生化学	中島 友紀																																																																					
6	1/12	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	栄養素の働き: ビタミン	栄養素の働き: ビタミン、演習	品田 佳世子	演習																																																																				
7	1/19	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	栄養素の働き: ミネラル、食物繊維、他	栄養素の働き: ミネラル、食物繊維、他、演習	品田 佳世子	演習																																																																				
8	2/2	08:50-10:20	口腔保健学科第2講義室	確認テスト、解答説明	確認テスト、解答説明	品田 佳世子	確認テスト、解答説明																																																																				

成績評価の方法 ・ 出席点(1割)および筆記試験:確認テストを含む(9割)を総合的評価とする。
準備学習等についての具体的な指示
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
教科書 人体の構造と機能2 栄養と代謝／高橋信博, 江指隆年 ほか著, :医歯薬出版, 2016
参考書 :医歯薬出版
連絡先(メールアドレス) 品田 佳世子:shinada.ohp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 品田 佳世子:月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1号館西8階品田室

時間割番号	022205			科目名	公衆衛生学	科目ID	DH-130200-L	
担当教員	品田 佳世子[SHINADA KAYOKO]							
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1			
実務経験のある教員による授業	該当する							
科目名: 公衆衛生学 時間数: 90分×8回 授業形態: 講義								
主な講義場所 1号館西7階 口腔保健学科 第2講義室								
授業の目的、概要等 健康、疫学、人口、環境、感染症、保健衛生などの基本事項を理解し、ヘルスプロモーションや予防医学を実践するための基礎的知識の習得と新たな発想を展開する方法を学ぶ。								
授業の到達目標 ・健康の概念を説明できる。 ・疫学について説明できる。 ・人口統計について説明できる。 ・環境による健康への影響を説明できる。 ・感染症の概念および感染成立の三要因について説明できる。 ・地域保健について基本的事項を理解する。 ・ヘルスプロモーション、予防医学の基本概念と実践方法について理解する。								
授業計画								
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	
1	10/6	10:30-12:00	口腔保健学科第2講義室	保健生態学教科書 1章 保健生態学総論	公衆衛生学、保健生態学総論	品田 佳世子		
2	10/13	10:30-12:00	口腔保健学科第2講義室	2章 疫学	総論の内容小テストと解説、疫学、練習問題と解説	品田 佳世子	総論の内容を復習しておくこと、小テストと解説、疫学の練習問題と解説	
3	10/20	10:30-12:00	口腔保健学科第1講義室	3章 人口	疫学の小テストと解説 人口	品田 佳世子	疫学のないようの復習をしておくこと、小テストと解説	
4	10/27	10:30-12:00	口腔保健学科第1講義室	3章 人口の続き 5章 感染症	人口の続き、練習問題と解説 感染症	品田 佳世子	人口の続き、練習問題と解説	
5-6	12/15	12:50-16:00	口腔保健学科第2講義室	5章 感染症の続き 6章 食品と健康:食中毒、食品の安全性 4章 健康と環境概念	人口の小テストと解説 感染症の続き、練習問題と解説 6章 食品と健康:食中毒、食品の安全性 4章 健康と環境概念	品田 佳世子	人口の小テストと解説 感染症の続き、練習問題と解説	
7	1/19	10:30-12:00	口腔保健学科第2講義室	4章 健康と環境	空気、温熱環境、水、放射線、住居と衣服、地球環境、公害、廃棄物のグループ発表、質疑応答、	品田 佳世子	グループ発表	
8	2/2	10:30-12:00	口腔保健学科第2講義室	確認テストと解説	確認テストと解説	品田 佳世子	確認テストと解説	

成績評価の方法 ・課題発表・作成された資料(2割)、筆記試験(小テスト、確認テスト等 7割)と受講状況(1割)による総合評価を行う。
準備学習等についての具体的な指示 ・自分の住んでいる地域や実家の地域の環境問題や健康問題を調べておく。 ・前回の授業の復習をしておくこと、小テストを行う。
試験の受験資格 全講義回数(8回)の2/3以上出席していること。
教科書 保健生態学 第3版／可児徳子, 松井恭平, 眞木吉信 編:医歯薬出版, 2015
連絡先(メールアドレス) shinada.ohp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1号館西8階品田室

時間割番号	022206						
科目名	社会保障 I			科目ID	DH-140300-L		
担当教員							
開講時期	2020年度後期	対象年次	1	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 社会保障 I 時間数: 90分×15回 授業形態: 講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第2講義室および 第3講義室							
授業の目的、概要等 本講義では社会保障の制度体系・考え方について学びます。 受講する皆さんには、社会保障、社会福祉の問題が、自分自身の生活と結びついていることを理解し、これら制度について考えられるようになってほしいと思います。							
授業の到達目標 SBOs 1. 社会保障制度の目的と機能を説明できる。 2. 社会保障制度と私たちの生活を関連づけることができる。 3. 現代社会における社会保障制度の課題を説明できる。 4. 社会保障制度と保健・福祉・医療の実際を関連づけることができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/6	14:30-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション	人々の暮らしと社会保障制度	遠藤 康裕	到達目標: 1, 2 適時演習を行う
2-3	10/13	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 I	日本の社会保障制度について	遠藤 康裕	到達目標: 1, 2 適時演習を行う
4-5	10/20	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 II	社会保障制度の基礎を学ぶ	遠藤 康裕	到達目標: 1, 2, 3, 4 適時演習 を行う
6-7	11/10	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 III	障害者を支援する社会保障制度	遠藤 康裕	到達目標: 1, 2 適時演習を行う
8-9	11/17	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 IV	高齢者を支援する社会保障制度	遠藤 康裕	到達目標: 2, 3, 4 適時演習を行 う
10-11	11/24	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 V	地域社会と社会保障制度	遠藤 康裕	到達目標: 2, 3, 4 適時演習を行 う
12-13	12/1	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 VI	日本の社会保障制度の課題	遠藤 康裕	到達目標: 3 適 時演習を行う
14-15	12/8	12:50-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	社会保障制度 VII	世界の社会保障制度の課題	遠藤 康裕	到達目標: 3 適 時演習を行う

成績評価の方法 ・授業内レポート、演習、課題発表等で重要な単元の学習成果を評価する。
準備学習等についての具体的な指示 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。
試験の受験資格 全授業時間の2／3以上出席すること。
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集、中央法規出版、2019
参考書 ・授業中に配布する資料。 ・参考書は授業時に紹介する。

時間割番号	022207						
科目名	口腔保健と専門職			科目ID	DH-110400-L		
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 歯学部演習室							
授業の目的、概要等 自学自習とディスカッションに基づく問題基盤型学習(PBL)や演習をととして、口腔保健の基礎知識、保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理、および多職種連携の重要性を学ぶ。							
授業の到達目標 1. 口腔保健の概要を説明できる。 2. 保健・医療・福祉の専門職の内容を概説できる。 3. 保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理を説明できる。 4. 保健・医療・福祉の専門職による多職種連携の重要性を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/19	12:50-14:20	歯学部演習室	オリエンテーション、シナリオ1	口腔保健と専門職を学ぶ意義、学習方法(PBL テュートリアル)、シナリオ提示、学習項目の検討	吉田 直美 青木 和広 土田 優美 鈴木 瞳 伊藤 奏	PBL
2-3	5/26	12:50-16:00	歯学部演習室	学習項目の発表、シナリオ2	ディスカッション、シナリオ提示、学習項目の検討	吉田 直美 青木 和広 土田 優美 鈴木 瞳	PBL
4-6	6/2	12:50-17:40	歯学部演習室	学習項目の発表、全体発表準備	ディスカッション、全体発表項目、発表法の検討	吉田 直美 青木 和広 土田 優美 鈴木 瞳 伊藤 奏	PBL
7-8	6/9	12:50-16:00	歯学部演習室	全体発表準備	全体発表準備	吉田 直美 青木 和広 土田 優美 鈴木 瞳	PBL
授業方法 講義、PBL、グループ討論、課題発表							
成績評価の方法 出席状況、課題準備内容、グループディスカッションの状況、全体発表の内容、課題レポートの内容で総合的に評価する。							
準備学習等についての具体的な指示 PBL テュートリアル形式の授業のため、各自学習した内容を資料としてまとめ、準備をした上で授業に臨むこと。							
試験の受験資格 3分の2以上の出席							
履修上の注意事項 ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担							

当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

時間割番号	022208			科目ID	DH-130500-L																																										
科目名	歯科衛生学総論																																														
担当教員																																															
開講時期	2020年度後期	対象年次	1	単位数	1																																										
実務経験のある教員による授業	該当する																																														
科目名: 歯科衛生学総論 時間数: 90分×8回 授業形態: 講義																																															
主な講義場所 口腔保健学科 第2講義室																																															
授業の目的、概要等 歯科衛生の変遷と、歯科衛生業務に必要な専門知識・技術の概要および基本事項を理解するとともに、歯科衛生士の主要業務や歯科衛生過程の各場面で必要となる専門知識・技術の特徴を知る。																																															
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生の変遷を説明する。 ・歯科衛生を担う職種として、歯科衛生士の活動の場と業務内容を説明する。 ・歯科衛生業務で必要となる専門知識・専門技術の特徴を説明する。 ・歯科臨床の業務で必要となる専門知識・専門技術の説明する。 ・口腔疾患予防業務で必要となる専門知識・専門技術の特徴を説明する。 ・歯科衛生過程の各場面で必要となる専門知識・専門技術の特徴を説明する。 ・医療における多職種連携の重要性を説明する。 ・医療における安全確保の意義と対策を概説する。 																																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>12/8</td> <td>16:10-17:40</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>歯科衛生学概要</td> <td>ガイダンス 歯科衛生士像</td> <td>吉田 直美</td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>1/5</td> <td>12:50-16:00</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>“歯科衛生士の変遷 歯科衛生士法”</td> <td>“歯科衛生士の歴史 歯科衛生士の現況 歯科衛生業務の法的定義 歯科衛生士の社会的責任”</td> <td>吉田 直美</td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>1/12</td> <td>12:50-16:00</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>“歯科衛生業務 医療倫理と医療安全管理”</td> <td>“歯科衛生過程 医の倫理 患者の権利 インフォームド・コンセント 医療安全とは ”</td> <td>吉田 直美</td> </tr> <tr> <td>6-7</td> <td>1/19</td> <td>12:50-16:00</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>“チーム医療と海外における活動 歯科衛生士の専門性”</td> <td>“多職種連携 海外における歯科衛生士の活動 プロフェッショナル プロフェッショナルリズム”</td> <td>吉田 直美</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>2/2</td> <td>12:50-14:20</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>まとめ</td> <td>振り返り</td> <td>吉田 直美</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	12/8	16:10-17:40	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生学概要	ガイダンス 歯科衛生士像	吉田 直美	2-3	1/5	12:50-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	“歯科衛生士の変遷 歯科衛生士法”	“歯科衛生士の歴史 歯科衛生士の現況 歯科衛生業務の法的定義 歯科衛生士の社会的責任”	吉田 直美	4-5	1/12	12:50-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	“歯科衛生業務 医療倫理と医療安全管理”	“歯科衛生過程 医の倫理 患者の権利 インフォームド・コンセント 医療安全とは ”	吉田 直美	6-7	1/19	12:50-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	“チーム医療と海外における活動 歯科衛生士の専門性”	“多職種連携 海外における歯科衛生士の活動 プロフェッショナル プロフェッショナルリズム”	吉田 直美	8	2/2	12:50-14:20	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ	振り返り	吉田 直美
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																									
1	12/8	16:10-17:40	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生学概要	ガイダンス 歯科衛生士像	吉田 直美																																									
2-3	1/5	12:50-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	“歯科衛生士の変遷 歯科衛生士法”	“歯科衛生士の歴史 歯科衛生士の現況 歯科衛生業務の法的定義 歯科衛生士の社会的責任”	吉田 直美																																									
4-5	1/12	12:50-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	“歯科衛生業務 医療倫理と医療安全管理”	“歯科衛生過程 医の倫理 患者の権利 インフォームド・コンセント 医療安全とは ”	吉田 直美																																									
6-7	1/19	12:50-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	“チーム医療と海外における活動 歯科衛生士の専門性”	“多職種連携 海外における歯科衛生士の活動 プロフェッショナル プロフェッショナルリズム”	吉田 直美																																									
8	2/2	12:50-14:20	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ	振り返り	吉田 直美																																									
成績評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験で総括的評価を行う。 ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。 ・本学歯学部試験規則第 11 条(期末試験及び中間試験の受験資格)に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 																																															
準備学習等についての具体的な指示 <ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・出席が 2/3 に満たない場合、単位は認定しない。出席要件を満たすように十分留意すること。 																																															
試験の受験資格 2/3 以上の出席																																															

教科書

歯科衛生学総論／藤原愛子 ほか 著,.:医歯薬出版, 2012

歯科医療倫理／櫻則章 ほか 著,.:医歯薬出版, 2014

・全国歯科衛生士教育協議会監修:最新歯科衛生士教本「歯科衛生学総論」, 医歯薬出版, 2012.

参考書

歯科衛生士の臨床／E.M.ウィルキンス 著,石川達也 校閲,布施祐二, 眞木吉信, 松井恭平, 松崎晃 監訳,全国歯科衛生士教育協議会 監修,.:医歯薬出版, 2008

最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,.:医歯薬出版, 2011

最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編,.:医歯薬出版, 2007

・全国歯科衛生士教育協議会監修:最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」, 医歯薬出版, 2007.

・全国歯科衛生士教育協議会監修:最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」, 医歯薬出版, 2011.

・授業の際、印刷物を配布する。

備考

演習

時間割番号	022209						
科目名	メディア情報学	科目ID	DH-110600-L				
担当教員	木下 淳博, 佐々木 好幸, 須永 昌代, 品田 佳世子[KINOSHITA ATSUHIRO, SASAKI YOSHIYUKI, SUNAGA MASAYO, SHINADA KAYOKO]						
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:メディア情報学 時間数:15 時間 授業形態:講義・演習							
主な講義場所							
M&D タワー 4階 図書館内 情報検索室(通常:3階図書館入口より入館、試験時:4階廊下からの入り口より入館)							
授業の目的、概要等							
口腔保健活動および研究活動に必要なメディア情報処理、コンテンツ作成の基礎を修得し、演習を行う。							
授業の到達目標							
1. 情報セキュリティ、著作権を理解して、口腔保健学に必要な情報処理を実践できる。 2. PC 上でプレゼンテーションファイル、静止画像、動画画像を編集できる。 3. 表計算ソフトで簡単な集計ができる。 4. インターネットからの情報を適切に収集し、吟味できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/17	10:30-12:00	情報検索室	情報セキュリティと著作権、メディアコンテンツ作成演習 1	情報セキュリティ、著作権、フリーソフトによる静止画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	講義・協力:情報サービス係
2	11/24	10:30-12:00	情報検索室	メディアコンテンツ作成演習 2	フリーソフトによる静止画像処理とパワーポイントによる動画作成演習	木下 淳博 須永 昌代	
3	12/1	10:30-12:00	情報検索室	メディアコンテンツ作成演習 3	フリーソフトによる動画画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	
4	12/8	10:30-12:00	情報検索室	メディアコンテンツ作成演習 4	フリーソフトによる動画画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	
5	12/15	10:30-12:00	情報検索室	表計算演習	エクセルによる集計、グラフ作成演習	木下 淳博 須永 昌代	
6	12/22	10:30-12:00	情報検索室	インターネット情報検索演習	インターネットからの情報の収集と吟味	佐々木 好幸	
7	1/5	10:30-12:00	情報検索室	課題発表(情報の収集と吟味)	課題発表(情報の収集と吟味)	佐々木 好幸	
8	1/12	10:30-12:00	情報検索室	試験/課題発表(動画画像処理)	WebClass による試験および課題発表(動画画像処理)	木下 淳博 須永 昌代 佐々木 好幸	
成績評価の方法							
各回の課題の達成度を約 7 割、最終回の WebClass による試験の成績を約 3 割の比率で総合的評価を行う。 欠席等により課題が提出されない場合は、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。							
準備学習等についての具体的な指示							
事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格							
3分の2以上の出席							
履修上の注意事項							
・各自 USB フラッシュメモリーおよびステレオイヤホンを持参すること。							
備考							

口腔保健工学専攻と合同授業
連絡先(メールアドレス) 木下 淳博:kinoshita.emdv@tmd.ac.jp 佐々木 好幸:sasaki.prev@tmd.ac.jp 品田 佳世子:shinada.ohp@tmd.ac.jp 須永 昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp
オフィスアワー 木下 淳博:金 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発学分野 佐々木 好幸:随時(事前にメールでアポイントを取る) 品田 佳世子:月曜日~金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1号館西8階品田室 須永 昌代:随時

時間割番号	022210					
科目名	臨床体験実習	科目ID	DH-250700-E			
担当教員	鈴木 瞳, 品田 佳世子, 伊藤 奏, 足達 淑子, 戸田 花奈子, 吉田 直美, 日高 玲奈[SUZUKI Hitomi, SHINADA KAYOKO, ITOU Kanade, ADACHI TOSHIKO, Kanako Toda, YOSHIDA Naomi, NAKAYAMA Rena]					
開講時期	2020年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	1~2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
主な講義場所 口腔保健学科 第2 講義室・学外施設等						
授業の目的、概要等 多様な場における歯科衛生士の活動の見学体験を通して、歯科衛生士の専門性と社会的役割、専門職としての倫理観、態度、ならびに対人援助の基本を学ぶ。						
授業の到達目標 ・体験した歯科衛生士の活動の実際について説明する。 ・歯科衛生士の専門的業務と社会的役割について説明する。 ・歯科衛生士としての倫理観、態度および対人援助の基本を説明する。 ・歯科衛生士に必要な専門知識・専門技術の基本事項を概説する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/13	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	オリエンテーション	臨床体験実習の目的、スケジュール	鈴木 瞳
2-4	10/27	12:50-17:40		歯科診療所等における 歯科衛生活動	歯科医療機関におけるシャドーイング実習	鈴木 瞳 吉 田 直美 安 達 奈穂子
5	12/15	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	実習成果発表	報告書作成 実習成果発表会	鈴木 瞳 吉 田 直美
6-8	12/22	12:50-17:40		歯科関連企業における 歯科衛生活動	カムリエ見学実習	鈴木 瞳
9	1/19	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	本学歯学部附属病院に おける歯科衛生活動1	歯学部附属病院における実習の 事前学習	鈴木 瞳
10-14	1/26	08:50-17:40	口腔保健 学科第2 講義室 口腔保健 学科相互 実習室	本学歯学部附属病院に おける歯科衛生活動2	歯学部附属病院外来見学実習 患 者体験実習 実習報告書作成	鈴木 瞳 吉 田 直美 近 藤 圭子 安 達 奈穂子
成績評価の方法 ・報告書の提出、全体発表の結果をもって、総括的評価を行う。 ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。						
準備学習等についての具体的な指示						
試験の受験資格 3/4 以上の出席が必要						
参考書 ・授業の際に紹介する。						
履修上の注意事項						

・医療福祉の現場における実習となるため、身だしなみに注意すること。身だしなみ、実習態度が不適切な場合は、実習停止とすることがある。 ・3/4 以上の出席が必要

第 2 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022210					
科目名	臨床体験実習	科目ID	DH-250700-E			
担当教員	鈴木 瞳, 品田 佳世子, 伊藤 奏, 足達 淑子, 戸田 花奈子, 吉田 直美, 日高 玲奈[SUZUKI Hitomi, SHINADA KAYOKO, ITOU Kanade, ADACHI TOSHIKO, Kanako Toda, YOSHIDA Naomi, NAKAYAMA Rena]					
開講時期	2020年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	1~2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
主な講義場所 口腔保健学科 第2 講義室・学外施設等						
授業の目的、概要等 多様な場における歯科衛生士の活動の見学体験を通して、歯科衛生士の専門性と社会的役割、専門職としての倫理観、態度、ならびに対人援助の基本を学ぶ。						
授業の到達目標 ・体験した歯科衛生士の活動の実際について説明する。 ・歯科衛生士の専門的業務と社会的役割について説明する。 ・歯科衛生士としての倫理観、態度および対人援助の基本を説明する。 ・歯科衛生士に必要な専門知識・専門技術の基本事項を概説する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/13	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	オリエンテーション	臨床体験実習の目的、スケジュール	鈴木 瞳
2-4	10/27	12:50-17:40		歯科診療所等における 歯科衛生活動	歯科医療機関におけるシャドーイング実習	鈴木 瞳 吉 田 直美 安 達 奈穂子
5	12/15	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	実習成果発表	報告書作成 実習成果発表会	鈴木 瞳 吉 田 直美
6-8	12/22	12:50-17:40		歯科関連企業における 歯科衛生活動	カムリエ見学実習	鈴木 瞳
9	1/19	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	本学歯学部附属病院に おける歯科衛生活動1	歯学部附属病院における実習の 事前学習	鈴木 瞳
10-14	1/26	08:50-17:40	口腔保健 学科第2 講義室 口腔保健 学科相互 実習室	本学歯学部附属病院に おける歯科衛生活動2	歯学部附属病院外来見学実習 患 者体験実習 実習報告書作成	鈴木 瞳 吉 田 直美 近 藤 圭子 安 達 奈穂子
成績評価の方法 ・報告書の提出、全体発表の結果をもって、総括的評価を行う。 ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。						
準備学習等についての具体的な指示						
試験の受験資格 3/4 以上の出席が必要						
参考書 ・授業の際に紹介する。						

履修上の注意事項

・医療福祉の現場における実習となるため、身だしなみに注意すること。身だしなみ、実習態度が不適切な場合は、実習停止とすることがある。 ・3/4 以上の出席が必要

時間割番号	022203																																					
科目名	人体の構造と機能Ⅱ	科目ID	DH-230102-L																																			
担当教員	坂本 裕次郎, 井関 祥子[SAKAMOTO YUJIRO, ISEKI SACHIKO]																																					
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2																																			
実務経験のある教員による授業	該当する																																					
<p>科目名: 人体の構造と機能及び疾病 ユニット番号: 2203 授業形態: 講義・(一部実習を含む) 時間数: 必修 2 単位・30 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎</p>																																						
<p>主な講義場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健学科第4講義室(1号館西8階) ・口腔保健学科基礎科学実習室(1号館西7階) ・解剖学実習室(3号館B1階) <p>4月にはインターネットを使用した講義を行うので、各自の受講場所を確認すること。 ・Web Class「人体の構造と機能Ⅱコース」に提示した講義資料を事前に確認すること。 ・ZOOMによる講義は、上記の資料を見ながら受講すること。</p>																																						
<p>授業の目的、概要等</p> <p>人体の正常な構造と機能を理解して、生命現象が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルへと統合的に理解するとともに、組織および器官の発生のしくみと成長、発育、加齢の過程に伴う変化について理解する。</p>																																						
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動器(骨格系と筋系)の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・循環器の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・循環調節のしくみおよび血液の役割を説明する。 ・内分泌器の構造および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・末梢神経系および中枢神経系の構造と機能およびその発生と成長に伴う変化を説明する。 ・感覚器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・消化器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・呼吸器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・泌尿器系の構造と機能、尿の生成機序を説明する。 ・生体の恒常性維持機構(体温調節、体液組成および体液量の調節)を説明する。 ・生殖器の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・体幹体肢の運動器、循環器、神経系の相互関係と頭頸部へのつながりについて説明する。 																																						
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>骨格系と筋系</td> <td>肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/8</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>骨格系と筋系</td> <td>肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/10</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>骨格系と筋系</td> <td>肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/10</td> <td>14:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>心臓と脈管系の構造</td> <td>心臓と血管・リンパ管の組織学的構造</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/8	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎	2	4/8	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎	3	4/10	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎	4	4/10	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	心臓と脈管系の構造	心臓と血管・リンパ管の組織学的構造	坂本 裕次郎
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																
1	4/8	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎																																
2	4/8	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎																																
3	4/10	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎																																
4	4/10	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	心臓と脈管系の構造	心臓と血管・リンパ管の組織学的構造	坂本 裕次郎																																

5	4/10	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	心臓と脈管系の構造	心臓と血管・リンパ管の組織学的 構造	坂本 裕次郎
6	4/15	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環器系	肉眼解剖学的にみた全身の循環 器の構成	坂本 裕次郎
7	4/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環器系	肉眼解剖学的にみた全身の循環 器の構成	坂本 裕次郎
8	4/16	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	脊髄と神経系の基本構 造	神経系の構成、神経細胞と化学シ ナプスの構造	坂本 裕次郎
9	4/16	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	全身の末梢神経系	脊髄と脊髄神経	坂本 裕次郎
10	4/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	内分泌系の構造と発生	内分泌器官の種類と構造、発生過 程	井関 祥子
11	4/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	内分泌系の構造と発生	内分泌器官の種類と構造、発生過 程	井関 祥子
12	4/28	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	全身の末梢神経系	脊髄神経系と自律神経系の走行	坂本 裕次郎
13	4/28	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	全身の末梢神経系	脊髄神経系と自律神経系の走行	坂本 裕次郎
14	5/21	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環器系の機能と循環 調節	心臓と脈管系の機能とその調節機 構	坂本 裕次郎
15	5/21	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環器系の機能と循環 調節	心臓と脈管系の機能とその調節機 構	坂本 裕次郎
16	5/21	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	血液の機能	血液の構成成分の働きと血液型	坂本 裕次郎
17	5/21	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	呼吸器系の構造	呼吸器系の構成と組織構造	坂本 裕次郎
18	6/3	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経系の発生	神経系の発生過程とその機構	井関 祥子
19	6/3	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	呼吸器系の発生	呼吸器系の発生過程とその機構	井関 祥子
20	7/1	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	泌尿器系の構造と発生	泌尿器系の構造と発生のしくみ	井関 祥子
21	7/1	11:00-11:50	口腔保健	泌尿器系の構造と発生	泌尿器系の構造と発生のしくみ	井関 祥子

			学科第4 講義室				
22	7/8	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	呼吸器系の働き	呼吸運動、ガス交換のしくみ、呼 吸調節、肺気量の分画	坂本 裕次郎	
23	7/8	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	体温調節	発汗、体温調節機構	坂本 裕次郎	
24	7/8	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	尿の生成と体液の調節	尿生成のメカニズム、排尿、体液 量および体液組成の調節	坂本 裕次郎	
25	7/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	生殖器の構造と発生	生殖器の構造と発生のしくみ	坂本 裕次郎	
26	7/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	生殖器の構造と発生	生殖器の構造と発生のしくみ	坂本 裕次郎	
27	8/5	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	脊髄神経系・自律神経 系・脈管系と周囲の構造	体幹・体肢の末梢神経系・脈管系 の総括と頭頸部とのつながり	坂本 裕次郎	
28	8/5	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	脊髄神経系・自律神経 系・脈管系と周囲の構造	体幹・体肢の末梢神経系・脈管系 の総括と頭頸部とのつながり	坂本 裕次郎	
29	8/5	14:00-14:50	解剖学実 習室	体幹体肢の骨格系の観 察	人体骨格標本を使って、体幹・体 肢の骨格系の特徴と頭部とのつ ながりについて	坂本 裕次郎	
30	8/5	15:00-15:50	解剖学実 習室	体幹体肢の骨格系の観 察	人体骨格標本を使って、体幹・体 肢の骨格系の特徴と頭部とのつ ながりについて	坂本 裕次郎	

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・随時の演習、小テスト等で形成的評価を行い、出席状況、授業態度等を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・1 年次開講の「人体の構造と機能 I」と一連の授業であることを理解しておくこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

人体の構造と機能／前田健康、山田好秋 ほか著、前田、健康、1959-、山田、好秋、1949-、全国歯科衛生士教育協議会、：医歯薬出版、2010
 分担解剖学 第 1 巻 総説・骨学・靭帯学・筋学 改訂第 11 版／森於菟、小川鼎三、大内弘 ほか、モリト、オカワテイゾウ、オウフヒロム、：金原出版、
 1982-02-20
 分担解剖学 第 2 巻 脈管学・神経系 改訂第 11 版／平沢興、岡本道雄、ヒラサワコウ、オカモトミチオ、：金原出版、1983-02-10
 分担解剖学 第 3 巻 感覚器学・内臓学 改訂第 11 版／小川鼎三、山田英智、養老孟司、オカワテイゾウ、ヤマダエイチ、ヨウロウケン、：金原出版、
 1982-02-20
 標準組織学総論／藤田尚男、藤田恒夫 原著、：医学書院、2015
 標準組織学各論／藤田尚男、藤田恒夫 原著、：医学書院、2017
 標準生理学／小澤静司、福田康一郎 監修、本間研一、大森治紀、大橋俊夫、河合康明、黒澤美枝子、鯉淵典之、伊佐正 編集、：医学書院、
 2014
 ラングマン人体発生学／T.W.サドラー 著、安田峯生、山田重人 訳、：メディカル・サイエンス・インターナショナル、2016
 解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編、：医歯薬出版、1996

生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編全国歯科衛生士教育協議会; 医歯薬出版, 1995

Human Anatomy Atlas 2020; Muscle Premium 2018; Skeleton Premium; Physiology Animations; Heart & Circulatory Premium.

上記の5編が、<http://demo.ovid.com/custom/tmd999/>にて学内で視聴できます。

履修上の注意事項

・実習室で行われる授業では白衣とネームプレートを着用すること。

連絡先(メールアドレス)

坂本 裕次郎,y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp

井関 祥子,s.iseki.emb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎 随時 1号館西8階

井関 祥子 随時 (必ず事前に連絡すること)

時間割番号	022211						
科目名	科学英語 I			科目ID	DH-230800-L		
担当教員	品田 佳世子, 關 奈央子, JANELLE RENEE MOROSS[SHINADA KAYOKO, SEKI NAOKO, JANELLE RENEE MOROSS]						
開講時期	2020年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:科学英語 I 時間数:15時間 授業形態:講義(英会話および e-learning 含む)							
主な講義場所 口腔保健学科 第4講義室							
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健に関連する基本的英語表現を修得する。 ・口腔保健に関して、英語で対応するための基礎的能力を身につける。 							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健関連の専門用語を英語で表現する。 ・英会話で、予約対応、医療面接の補助等を行うための基礎を学ぶ。 ・英語で歯科疾患について説明できるための基礎を学ぶ。 ・英語でブラッシング、フッ化物の応用、シーラントを説明するための基礎を学ぶ。 ・歯科、口腔保健関連の英文を読解し、内容を理解する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/18	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Making an Appointment by Telephone, Emergency Appointments, Healthy snacks for teeth, Vocabulary	英会話演習: Making an Appointment by Telephone, Emergency Appointments, 英文解釈 演習: Healthy snacks for teeth, 英 単語テスト: Important Vocabulary	品田 佳世子, 關 奈央子, J ANELLE R ENEE MO ROSS	英会話演習は ZOOMにて遠隔 授業 英文解釈演 習はパワーポイ ント動画を Webclass にアップ しますので視聴 のこと。
3-4	5/25	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Asking the patient to Describe Symptoms, the Medical History, Tooth and brushing,	英会話演習: Asking the patient to Describe Symptoms, the Medical History, 英文解釈演習: Tooth and brushing, 単語テスト	品田 佳世子, 關 奈央子, J ANELLE R ENEE MO ROSS	英会話演習は ZOOMにて遠隔 授業 英文解釈演 習はパワーポイ ント動画を Webclass にアップ しますので視聴 のこと。
5-6	6/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Periodontal Disease, Tooth designating system	英会話演習: Periodontal Disease, 英文解釈演習: Tooth designating system	品田 佳世子, 關 奈央子, J ANELLE R ENEE MO ROSS	英会話演習, 英文 解釈演習,
7	6/8	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	Tooth Brushing and flossing Instruction	英会話演習: Tooth Brushing and flossing Instruction,	關 奈央子, J ANELLE R ENEE MO	英会話演習

						ROSS	
8-9	6/15	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Reading: p30, Tobacco and oral health, Bleeding and swollen gums during pregnancy	Reading: p30, Tobacco and oral health, Bleeding and swollen gums during pregnancy	品田 佳世子	英文解釈演習
10-11	6/22	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室 情報検索 室	英語で患者対応 (e-learning)	英語で患者対応(e-learning)	品田 佳世子, 關 奈央子	e-learning
12-13	6/29	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Sealant, Fluoride Treatment, Fluoride; How dose it work?	英文解釈演習: Sealant, Fluoride Treatment, Fluoride; How dose it work?	品田 佳世子	英文解釈演習
14-15	7/6	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	英語論文を読む	英語論文(事前配布)内容を理解 する(演習)	品田 佳世子	英語論文(事前配 布)内容を理解す る(演習)

成績評価の方法

- ・期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度、英語によるロールプレイの状況を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・教科書や事前に配布された資料中の単語を調べ、声を出して読んで、予習しておくこと。
- ・単語のテストの範囲を事前に知らせるので、学習しておくこと。

試験の受験資格

全講義 15 時間の 2/3 以上出席していること。

教科書

歯科英語／Thomas R Ward, 川口陽子, 廣瀬浩二, 杉田めぐみ 著, 医歯薬出版, 2013

参考書

丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集 川口陽子 監修・著 クインテッセンス出版

TMDU 臨床トレーニングシリーズ 英語医療面接教材: 56yo Female pain, 他9本 關奈央子、須永昌代、福井雄二、ジャーナル・モロス、樺沢勇司、木下淳博 著 東京大学出版会

備考

担当教員: (6時間) 關 奈央子 統合国際機構
(4時間) Janelle Moross 統合国際機構

連絡先(メールアドレス)

品田 佳世子: shinada.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

品田 佳世子: 月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1号館西8階品田室

時間割番号	022212			科目ID	DH-290900-L		
科目名	科学英語Ⅱ			科目ID	DH-290900-L		
担当教員							
開講時期	2020年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:科学英語Ⅱ 時間数:15時間 授業形態:講義・発表・討論							
主な講義場所 第4講義室							
授業の目的、概要等 ・口腔保健に関連する科学論文を検索でき、実際に読み内容を理解する能力を身につける。 ・研究に関して、英語で発表できる能力を身につける。							
授業の到達目標 ・英文科学論文の文献検索ができる。 ・口腔保健関連の英語の専門用語を理解できる。 ・口腔保健関連英文科学論文の内容を理解できる。 ・口腔保健関連英文科学論文の内容を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/23	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	英文論文の種類・構成 について	様々な英文論文の種類について説明する。英文論文の構成について概説する。これにより、いかに英文論文を読むかを体得する。	荒川 真一、 矢口 雅江	
4-6	10/30	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	論文検索の方法及び抄読論文の選択	文献検索の方法を学ぶ。次回から読む論文を選択する。	荒川 真一、 矢口 雅江	PCを持参すること。
7-9	11/6	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	英語論文抄読	全身疾患と歯周病など口腔保健関連論文の紹介、読解・内容についての討論を行う。	荒川 真一、 矢口 雅江	PCを持参すること。討論。
10-12	11/13	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	英語論文抄読・発表の準備	全身疾患と歯周病など口腔保健関連論文の紹介、読解 次回論文内容を紹介するが、その準備を行う。	荒川 真一、 矢口 雅江	PCを持参すること。課題発表。
13-15	1/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	抄読の発表の準備・発表	発表準備・発表を行う。	荒川 真一、 矢口 雅江	PCを持参すること。課題発表および討論。
成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 ・提出レポート、発表等で総合的評価を行う。							
準備学習等についての具体的な指示 あらかじめ配布された英文論文を読み、内容(当該研究の目的・方法・討論)を理解するよう努力する。Abstract を読み内容的に門外漢であった場合は、Introduction で研究の背景を勉強しておく。							
参考書 英和辞典、PC(文献検索に使用)							
履修上の注意事項 科学論文の種類、文献検索の方法、実際に各自(各グループ)で興味のあるテーマについて文献を検索し、当該論文を抄読する。							

その結果を発表し、評価する。

備考

- ・英語の辞書(電子辞書)、PC(文献検索に使用)等を持参すること。
- ・事前に配布された論文中のわからない単語を調べ、予習しておくこと。
- ・英文論文を抄読し、発表後、内容について討論する。

時間割番号	022214																														
科目名	歯・口腔の構造と機能	科目ID	DH-231001-L																												
担当教員	坂本 裕次郎[SAKAMOTO YUJIRO]																														
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2																												
実務経験のある教員による授業	該当する																														
<p>科目名: 歯・口腔の構造と機能 ユニット番号: 2204 授業形態: 講義・(一部実習を含む) 時間数: 必修 4 単位・60 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎</p>																															
<p>主な講義場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健学科第 4 講義室(1 号館西 8 階) ・口腔保健学科基礎科学実習室(1 号館西 7 階) <p>4 月はインターネットを使用した講義を行うので、各自の受講場所を確認すること。 ・Web Class「歯・口腔の構造と機能コース」に提示した講義資料を事前に確認すること。 ・ZOOM による講義は、上記の資料を見ながら受講すること。</p>																															
<p>授業の目的、概要等</p> <p>顎・顔面・口腔領域の組織、器官の構造と機能および分子的基盤を学ぶとともに、それらの発生と成長について学び、顎・顔面・口腔領域の健康と全身の健康との関連について理解を深める。</p>																															
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顎顔面と口腔諸器官の構造および発生と成長について説明する。 ・歯と歯列の方向用語、歯の形態を表す用語について説明する。 ・歯の分類と表記方法について説明する。 ・末梢神経系および中枢神経系の構造と機能およびその発生と成長に伴う変化を説明する。 ・感覚器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・脳神経の支配様式と働きについて説明する。 ・消化器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・唾液線の構造と分泌機構および唾液の成分とその作用について説明する。 ・歯と歯周組織の形態と構成成分ならびに機能について説明する。 ・歯と歯周組織の発生、成長過程を説明する。 ・脳の構造と上行性・下行性伝導路について説明する。 ・口腔領域の体性感覚器・味覚器の構造と働きおよび発生と成長について説明する。 ・下顎反射のしくみとその役割について説明する。 ・咀嚼運動の神経機構と嚥下・吸引・嘔吐反射のしくみを説明する。 ・発声・構音のしくみを説明する。 ・口腔諸器官(歯・歯周組織・唾液線を含む)の機能と全身の正常機能とを関連づける。 																															
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>口腔諸器官の総論</td> <td>口腔～咽頭の構造と機能の基礎 知識、歯と歯周組織の構成要素</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/13</td> <td>14:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯と歯列の総論</td> <td>歯の種類と記号・方向用語、歯列 と咬合の基礎知識</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>中枢神経系の構成</td> <td>脳の基本構成と脳脊髄膜と脳室系</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔諸器官の総論	口腔～咽頭の構造と機能の基礎 知識、歯と歯周組織の構成要素	坂本 裕次郎	2	4/13	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と歯列の総論	歯の種類と記号・方向用語、歯列 と咬合の基礎知識	坂本 裕次郎	3	4/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系の構成	脳の基本構成と脳脊髄膜と脳室系	坂本 裕次郎
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																									
1	4/13	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔諸器官の総論	口腔～咽頭の構造と機能の基礎 知識、歯と歯周組織の構成要素	坂本 裕次郎																									
2	4/13	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と歯列の総論	歯の種類と記号・方向用語、歯列 と咬合の基礎知識	坂本 裕次郎																									
3	4/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系の構成	脳の基本構成と脳脊髄膜と脳室系	坂本 裕次郎																									

4	5/11	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	脳神経	脳神経系の構成と基本走行	坂本 裕次郎
5	5/11	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	脳神経	脳神経系の構成と基本走行	坂本 裕次郎
6	5/13	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	感覚器系の構造	感覚器の構造および感覚伝導路 の基本	坂本 裕次郎
7	5/13	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	感覚器系の構造	感覚器の構造および感覚伝導路 の基本	坂本 裕次郎
8	5/14	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経系の働き	興奮伝導・興奮伝達のしくみ、神経 伝達物質の働き	坂本 裕次郎
9	5/14	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経系の働き	末梢神経系の働き、脊髄の働きと 脊髄反射	坂本 裕次郎
10	5/14	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	一般体性感覚、内臓感 覚	一般体性感覚、内臓感覚	坂本 裕次郎
11	5/20	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	特殊感覚	視覚、聴覚、平衡感覚の伝導路と 機能	坂本 裕次郎
12	5/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	特殊感覚	視覚、聴覚、平衡感覚の伝導路と 機能	坂本 裕次郎
13	5/27	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化器系総論	消化器系の全体像と発生および 基本構造	坂本 裕次郎
14	5/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜・舌・唾液腺	口腔粘膜・舌・唾液腺の構造	坂本 裕次郎
15	6/29	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜・舌・唾液腺	口腔粘膜・舌・唾液腺の構造	坂本 裕次郎
16	6/29	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜・舌・唾液腺	口腔粘膜・舌・唾液腺の構造	坂本 裕次郎
17	6/29	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	口蓋、咽頭、喉頭	口蓋・咽頭・喉頭の構造	坂本 裕次郎
18	7/15	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	食道、胃腸	食道、胃、小腸、大腸の構造	坂本 裕次郎
19	7/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	肝胆膵	肝臓、胆のう、膵臓の構造	坂本 裕次郎
20	7/15	13:00-13:50	口腔保健	口腔領域の消化器系の	口唇・舌・扁桃・唾液腺の顕微鏡観	坂本 裕次郎

			学科基礎 科学実習 室	組織観察	察	
21	7/15	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	口腔領域の消化器系の 組織観察	口唇・舌・扁桃・唾液腺の顕微鏡観 察	坂本 裕次郎
22	7/21	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎顔面領域の発生	顎顔面領域の初期発生	坂本 裕次郎
23	7/21	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯の発生 1	硬組織形成前までの歯胚の発生 過程	坂本 裕次郎
24	7/22	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯の発生 2	象牙質・歯髄複合体の形成機構	坂本 裕次郎
25	7/22	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯の発生 3	エナメル質の形成機構	坂本 裕次郎
26	7/22	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	顔面の発生・歯の発生 の組織像	顔面の発生、初期歯胚、硬組織形 成期歯胚の顕微鏡観察	坂本 裕次郎
27	7/22	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	顔面の発生・歯の発生 の組織像	顔面の発生、初期歯胚、硬組織形 成期歯胚の顕微鏡観察	坂本 裕次郎
28	7/30	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周組織の形成機構	歯周組織の形成機構	坂本 裕次郎
29	7/30	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	象牙質・歯髄複合体	象牙質・歯髄複合体の構造と象牙 質の成長線	坂本 裕次郎
30	8/5	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	エナメル質	エナメル質の構造と成長線	坂本 裕次郎
31	8/5	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周組織	歯周組織の構造	坂本 裕次郎
32	8/7	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯列形成と歯の萌出と 交換	歯列と咬合の形成と歯の萌出と交 換のしくみ	坂本 裕次郎
33	8/7	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯と歯周組織の組織像	象牙質・エナメル質・歯周組織の 顕微鏡観察	坂本 裕次郎
34	8/7	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎	歯と歯周組織の組織像	象牙質・エナメル質・歯周組織の 顕微鏡観察	坂本 裕次郎

			科学実習室			
35	8/7	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	中間まとめ	ここまでのまとめ	坂本 裕次郎
36	11/10	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系	中枢神経系の外景と内景	坂本 裕次郎
37	11/10	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系	中枢神経系の外景と内景	坂本 裕次郎
38	11/16	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系	上行性・下行性伝導路	坂本 裕次郎
39	11/16	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経系の働き	脳(大脳皮質、大脳辺縁系、間脳、 小脳、脳幹ほか)の働き	坂本 裕次郎
40	11/16	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	記憶・学習・情動行動	記憶・学習・情動行動のしくみ	坂本 裕次郎
41	12/16	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と口腔の神経	歯と口腔の感覚をつかさどる神経	坂本 裕次郎
42	12/16	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と口腔の神経	歯と口腔の感覚をつかさどる神経	坂本 裕次郎
43	12/17	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と口腔の神経	口腔の自律神経系	坂本 裕次郎
44	12/17	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と口腔の神経	口腔の自律神経系	坂本 裕次郎
45	12/17	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜感覚	口腔粘膜感覚のしくみ	坂本 裕次郎
46	12/17	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯髄感覚・歯根膜感覚	歯髄感覚・歯根膜感覚のしくみ	坂本 裕次郎
47	1/6	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	唾液腺の機能	唾液の分泌機構	坂本 裕次郎
48	1/6	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	唾液腺の機能	唾液の性状・成分・生理作用	坂本 裕次郎
49	1/7	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	味覚・嗅覚	味覚と嗅覚のしくみ	坂本 裕次郎
50	1/7	11:00-11:50	口腔保健	味覚・嗅覚	味覚と嗅覚のしくみ	坂本 裕次郎

			学科第4 講義室				
51	1/12	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	咀嚼運動	顎関節の感覚をつかさどる神経	坂本 裕次郎	
52	1/12	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	咀嚼運動	咀嚼運動の制御機構	坂本 裕次郎	
53	1/12	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	咀嚼運動	口蓋と咽頭のつながり	坂本 裕次郎	
54	1/19	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	下顎反射、嚥下、吸引、 嘔吐	開口反射と閉口反射のしくみ、嚥 下、吸引、嘔吐のしくみ	坂本 裕次郎	
55	1/22	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	発声と構音	発声のしくみと構音	坂本 裕次郎	
56	1/22	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化と吸収	消化管運動のしくみ	坂本 裕次郎	
57	1/22	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化と吸収	消化液の成分と作用および分泌 調節	坂本 裕次郎	
58	1/26	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化と吸収	栄養素の消化と吸収および排便 反射のしくみ	坂本 裕次郎	
59	1/26	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	実習の解説	基礎科学実習との関連について	坂本 裕次郎	
60	2/9	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	総まとめ	総まとめ	坂本 裕次郎	

成績評価の方法

- ・前期評価と後期評価を総合して年間評価とするが、原則として前期と後期それぞれに合格しなくてはならない。
- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・随時の演習、小テスト等で形成的評価を行い、出席状況、授業態度等を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

- ・前期末と後期末に評価するので、前期と後期それぞれに受験資格を満たさなくてはならない。

参考書

歯・口腔の構造と機能：口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／全国歯科衛生士教育協議会 監修、井出吉信、山田好秋 ほか著、井出、吉信、1947-、山田、好秋、1949-、全国歯科衛生士教育協議会、：医歯薬出版、2011

人体の構造と機能／前田健康、山田好秋 ほか著、前田、健康、1959-、山田、好秋、1949-、全国歯科衛生士教育協議会、：医歯薬出版、2010

Ten Cate 口腔組織学／Ten Cate [原著]、Antonio Nanci 編著、川崎堅三 監訳、Ten Cate、Arnold Richard、Nanci、Antonio、川崎、堅三、1942-、：医歯薬出版、2006

分担解剖学 第2巻 脈管学・神経系 改訂第11版／平沢興、岡本道雄、ヒラサワコウ、オカモトチオ、：金原出版、1983-02-10

分担解剖学 第3巻 感覚器学・内臓学 改訂第11版／小川鼎三、山田英智、養老孟司、オカワテイゾウ、ヤマダエイチ、ヨウロウケン、：金原出版、

<p>1982-02-20</p> <p>基礎歯科生理学／森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編 森本, 俊文, 1939-, 山田, 好秋, 1949-, 二ノ宮, 裕三, : 医歯薬出版, 2014</p> <p>標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著 藤田, 尚男, 1928-2014, 藤田, 恒夫, 1929-2012, 岩永, 敏彦, 1954-, 石村, 和敬, 1949-, : 医学書院, 2017</p> <p>標準生理学／小澤瀨司, 福田康一郎 監修 本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集 小澤, 瀨司, 福田, 康一郎, 本間, 研一, 1946-, 大森, 治紀, 1950-, 大橋, 俊夫, 1949-, : 医学書院, 2014</p> <p>解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編 全国歯科衛生士教育協議会, : 医歯薬出版, 1996</p> <p>生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編 全国歯科衛生士教育協議会, : 医歯薬出版, 1995</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>・実習室で行われる授業では白衣とネームプレートを着用すること。</p>
<p>備考</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>随時 1号館西8階</p>

時間割番号	022215																																					
科目名	歯の形態学	科目ID	DH-231002-L																																			
担当教員	坂本 裕次郎[SAKAMOTO YUJIRO]																																					
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2																																			
実務経験のある教員による授業	該当する																																					
<p>科目名: 歯・口腔の構造と機能 ユニット番号: 2205 授業形態: 講義・実習 時間数: 必須 1 単位・30 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎</p>																																						
<p>主な講義場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健学科基礎科学実習室(1号館西7階) ・口腔保健学科第4講義室(1号館西8階) ・解剖学実習室(3号館B1階) <p>4月にはインターネットを使用した講義を行うので、各自の受講場所を確認すること。 ・Web Class「歯の形態学コース」に提示した講義資料を事前に確認すること。 ・ZOOMによる講義は、上記の資料を見ながら受講すること。</p>																																						
<p>授業の目的、概要等</p> <p>歯の種類と形態的特徴および役割、頭蓋と顎関節および頭頸部の諸器官の構造を互いに関連付けて学び、歯と口腔の役割を包括的に理解するとともに、顎・顔面・口腔領域の健康と全身の健康との相互関係について理解を深める。</p>																																						
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔の構造とはたらきについて説明する。 ・歯と歯周組織の構成要素ならびに役割について説明する。 ・歯と歯列の方向用語、歯の形態を表す用語について説明する。 ・歯の分類と表記方法について説明する。 ・永久歯の種類ごとに歯冠と歯根の形態について説明する。 ・永久歯の種類と上下左右の区別について説明する。 ・乳歯の種類ごとに歯冠と歯根の形態について説明する。 ・乳歯の種類と上下左右の区別について説明する。 ・歯の形態について立体的に表現する。 ・頭蓋を構成する骨の種類と形態および顎関節の構造について説明する。 ・頭頸部の筋の種類と起始・停止、支配神経と作用を説明する。 ・頭頸部の動・静脈、リンパ系について説明する。 ・ヒトの歯の形態と顎運動を互いに関連付けて説明する。 ・口腔諸器官の機能と全身の正常機能とを関連づける。 																																						
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>15:00-15:50</td> <td>口腔保健学科第4講義室</td> <td>永久歯の解剖学</td> <td>切歯・犬歯・小臼歯の形態</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健学科第4講義室</td> <td>永久歯の解剖学</td> <td>切歯・犬歯・小臼歯の形態</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/15</td> <td>14:00-14:50</td> <td>口腔保健学科第4講義室</td> <td>歯の形態2</td> <td>犬歯と小臼歯のスケッチと形態形成</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/23</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健</td> <td>永久歯の解剖学</td> <td>大臼歯の形態</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	15:00-15:50	口腔保健学科第4講義室	永久歯の解剖学	切歯・犬歯・小臼歯の形態	坂本 裕次郎	2	4/15	13:00-13:50	口腔保健学科第4講義室	永久歯の解剖学	切歯・犬歯・小臼歯の形態	坂本 裕次郎	3	4/15	14:00-14:50	口腔保健学科第4講義室	歯の形態2	犬歯と小臼歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎	4	4/23	13:00-13:50	口腔保健	永久歯の解剖学	大臼歯の形態	坂本 裕次郎
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																
1	4/13	15:00-15:50	口腔保健学科第4講義室	永久歯の解剖学	切歯・犬歯・小臼歯の形態	坂本 裕次郎																																
2	4/15	13:00-13:50	口腔保健学科第4講義室	永久歯の解剖学	切歯・犬歯・小臼歯の形態	坂本 裕次郎																																
3	4/15	14:00-14:50	口腔保健学科第4講義室	歯の形態2	犬歯と小臼歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎																																
4	4/23	13:00-13:50	口腔保健	永久歯の解剖学	大臼歯の形態	坂本 裕次郎																																

			学科第4 講義室			
5	4/23	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	乳歯の解剖学	乳切歯・乳犬歯・乳臼歯の形態	坂本 裕次郎
6	6/4	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 1	切歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎
7	6/4	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 1	切歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎
8	6/4	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 2	犬歯と小臼歯のスケッチと形態形 成	坂本 裕次郎
9	6/10	10:00-10:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	乳歯の解剖学	乳切歯・乳犬歯・乳臼歯の形態	坂本 裕次郎
10	6/10	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 3	小臼歯と大臼歯のスケッチと形態 形成	坂本 裕次郎
11	6/24	10:00-10:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 3	小臼歯と大臼歯のスケッチと形態 形成	坂本 裕次郎
12	6/24	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 3	小臼歯と大臼歯のスケッチと形態 形成	坂本 裕次郎
13	6/25	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 4	大臼歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎
14	6/25	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 4	大臼歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎
15	7/9	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	永久歯の解剖学	永久歯のまとめ	坂本 裕次郎
16	10/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭蓋	頭蓋の外景・内景	坂本 裕次郎
17	11/17	13:00-13:50	口腔保健 学科第4	頭蓋	頭蓋の外景・内景	坂本 裕次郎

			講義室			
18	11/17	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部の脈管系	頭頸部の動・静脈1	坂本 裕次郎
19	12/2	10:00-10:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	頭蓋	頭蓋を構成する骨	坂本 裕次郎
20	12/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭蓋	頭蓋の外景・内景の観察	坂本 裕次郎
21	12/2	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部の脈管系	頭頸部の動・静脈2、リンパ管・リンパ節	坂本 裕次郎
22	12/9	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部の筋系と頸筋膜	表情筋・咀嚼筋・浅頸筋・外側頭筋	坂本 裕次郎
23	12/9	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	頭蓋	頭蓋を構成する骨の観察	坂本 裕次郎
24	12/10	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部の筋系と頸筋膜	前頸筋(舌骨上筋、舌骨下筋)・後頸筋、頸筋膜	坂本 裕次郎
25	12/10	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎関節と顎運動	顎関節の構造と機能および顎運動	坂本 裕次郎
26	12/10	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎関節と顎運動	顎関節の構造と機能および顎運動	坂本 裕次郎
27	1/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	実習の解説	見学実習・基礎科学実習との関連	坂本 裕次郎
28	1/29	13:00-13:50	解剖学実 習室	肉眼解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部を中心とした局所解剖観察	坂本 裕次郎
29	1/29	14:00-14:50	解剖学実 習室	肉眼解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部を中心とした局所解剖観察	坂本 裕次郎
30	1/29	15:00-15:50	解剖学実 習室	肉眼解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部を中心とした局所解剖観察	坂本 裕次郎

成績評価の方法

- ・授業は講義と実習を合わせて行い、期末の客観試験、論述試験および実習内容で総合的評価を行う。
- ・随時の演習、小テスト等で形成的評価を行い、出席状況、提出物、授業態度等も総合的評価に加える。
- ・前期と後期での講義の評価と実技の評価を総合して年間評価するが、原則として前期と後期に講義と実技のそれぞれに合格しなくては

ならない。
準備学習等についての具体的な指示 <ul style="list-style-type: none"> ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 <ul style="list-style-type: none"> ・前期末と後期末に講義と実技を評価するので、前期と後期それぞれに講義と実技での受験資格を満たさなくてはならない。
参考書 歯・口腔の構造と機能：口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／全国歯科衛生士教育協議会 監修,井出吉信, 山田好秋 ほか著,井出, 吉信, 1947-,山田, 好秋, 1949-,全国歯科衛生士教育協議会.;医歯薬出版, 2011 歯の解剖学／藤田恒太郎 原著,藤田, 恒太郎, 1903-1965,桐野, 忠大, 1915-,山下, 靖雄, 1945-,.;金原出版, 1996 分担解剖学 第 1 巻 総説・骨学・靭帯学・筋学 改訂第 11 版／森於菟,小川鼎三,大内弘 ほか,モリオト,オカワテイゾウ,オオウチヒロム,.;金原出版, 1982-02-20 分担解剖学 第 2 巻 脈管学・神経系 改訂第 11 版／平沢興,岡本道雄ヒラサワウオカモトチオ,.;金原出版, 1983-02-10 分担解剖学 第 3 巻 感覚器学・内臓学 改訂第 11 版／小川鼎三,山田英智,養老孟司,オカワテイゾウ,ヤマダエイチ,ヨウロウタケシ,.;金原出版, 1982-02-20 解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編.;医歯薬出版, 1996 Human Anatomy Atlas 2020; Muscle Premium 2018; Skeleton Premium; Physiology Animations; Heart & Circulatory Premium. 上記の 5 編が、 http://demo.ovid.com/custom/tmd999/ にて学内で視聴できます。
履修上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・実習室で行われる授業では白衣とネームプレートを着用すること。 ・解剖学実習室で行われる授業では、白衣と上履きを着用するほか、臨床系実習と同様のゴム手袋(グローブ)やマスク等を着用すること。
連絡先(メールアドレス) y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 随時 1号館西8階

時間割番号	022216																																					
科目名	口腔保健衛生基礎科学	科目ID	DH-231003-E																																			
担当教員	坂本 裕次郎, 鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂, 青木 和広, 田村 幸彦, 水口 俊介, 駒ヶ嶺 友梨子, 上野 俊明, 中禮 宏, 濱 洋平 [SAKAMOTO YUJIRO, SUZUKI TOSHIHIKO, ASHIDA Hiroshi, SUZUKI Shiho, AOKI KAZUHIRO, TAMURA YUKIHIKO, MINAKUCHI SHIYUNSUKE, KOMAGAMINE YURIKO, UENO TOSHIAKI, CHUREI HIROSHI, Yohhei Hama]																																					
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2																																			
実務経験のある教員による授業	該当する																																					
<p>科目名: 口腔保健衛生基礎科学 ユニット番号: 2206 授業形態: 実習 対象年次: 2年・編入3年 時間数: 必修1単位・30時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎</p>																																						
<p>主な講義場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健学科基礎科学実習室(1号館西7階) ・解剖学実習室(3号館B1階) ・上記以外の場所で行う実習項目があるので事前に確認すること。 																																						
<p>授業の目的、概要等</p> <p>人体の構造と機能及び疾病、歯・口腔の構造と機能、疾病の成り立ちと回復過程の促進などの講義で学習した内容について、実習を通して理解を深める。</p>																																						
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体の筋、神経系および主要器官を観察して特徴を説明する。 ・人体の主要器官の組織標本を観察して特徴を説明する。 ・細菌の分離培養とその細菌の鑑別を行う。 ・組織標本の切片作製と染色を行い、光学顕微鏡観察の意義について説明する。 ・咀嚼その他の各種の運動と筋の働きの検査を行い、筋の種類と働きについて説明する。 ・味覚および体性感覚の感覚検査を行い、感覚のしくみについて説明する。 ・中枢神経に作用する薬物とくに麻酔薬の作用とED50について理解する。 ・蛍光色素等の硬組織内への沈着を観察し、硬組織の成長・発育過程を説明する。 																																						
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>7/16</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科基礎 科学実習 室</td> <td>解剖組織実習1</td> <td>組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察1</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>7/16</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科基礎 科学実習 室</td> <td>解剖組織実習1</td> <td>組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察1</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>7/16</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科基礎 科学実習 室</td> <td>解剖組織実習1</td> <td>組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察1</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>7/28</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科基礎 科学実習 室</td> <td>細菌学実習</td> <td>細菌標本の作製と観察</td> <td>鈴木 敏彦 芦田 浩, 鈴木 志穂</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	7/16	09:00-09:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習1	組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察1	坂本 裕次郎	2	7/16	10:00-10:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習1	組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察1	坂本 裕次郎	3	7/16	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習1	組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察1	坂本 裕次郎	4	7/28	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌学実習	細菌標本の作製と観察	鈴木 敏彦 芦田 浩, 鈴木 志穂
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																
1	7/16	09:00-09:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習1	組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察1	坂本 裕次郎																																
2	7/16	10:00-10:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習1	組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察1	坂本 裕次郎																																
3	7/16	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習1	組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察1	坂本 裕次郎																																
4	7/28	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌学実習	細菌標本の作製と観察	鈴木 敏彦 芦田 浩, 鈴木 志穂																																

5	7/28	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌学実習	細菌標本の作製と観察	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂
6	7/28	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌学実習	細菌標本の作製と観察	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂
7	7/29	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 2	組織標本作製(組織切片の染色) と顕微鏡観察 2	坂本 裕次郎
8	7/29	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 2	組織標本作製(組織切片の染色) と顕微鏡観察 2	坂本 裕次郎
9	7/29	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 2	組織標本作製(組織切片の染色) と顕微鏡観察 2	坂本 裕次郎
10	8/6	13:00-13:50	解剖学実 習室	肉眼解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部以外を中 心にした観察	坂本 裕次郎
11	8/6	14:00-14:50	解剖学実 習室	肉眼解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部以外を中 心にした観察	坂本 裕次郎
12	8/6	15:00-15:50	解剖学実 習室	肉眼解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部以外を中 心にした観察	坂本 裕次郎
13	8/7	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 3	組織標本作製(組織切片の染色) と顕微鏡観察 3	坂本 裕次郎
14	1/14	09:00-09:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習	解剖と機能の実習の予告説明	水口 俊介, 上野 俊明, 坂本 裕次郎, 駒ヶ嶺 友梨 子, 中禮 宏, 濱 洋平
15	2/1	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1~3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測 定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検 査(下顎運動の測定)、3 運動機能 検査(咀嚼・その他の運動と機能 検査)	水口 俊介, 上野 俊明, 坂本 裕次郎, 駒ヶ嶺 友梨 子, 中禮 宏, 濱 洋平
16	2/1	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1~3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測 定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検 査(下顎運動の測定)、3 運動機能 検査(咀嚼・その他の運動と機能 検査)	水口 俊介, 上野 俊明, 坂本 裕次郎, 駒ヶ嶺 友梨 子, 中禮 宏, 濱 洋平
17	2/1	15:00-15:50	口腔保健	解剖と機能の実習 1~3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測	水口 俊介,

			学科基礎 科学実習 室		定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、3 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	上野 俊明, 坂本 裕次郎, 駒ヶ嶺 友梨子, 中禮 宏, 濱 洋平
18	2/1	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1~3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、3 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	水口 俊介, 上野 俊明, 坂本 裕次郎, 駒ヶ嶺 友梨子, 中禮 宏, 濱 洋平
19-22	2/5	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 1 および 薬理学実習 2 の準備	全身麻酔薬の作用、アプダウ ン法による ED50 の検討 蛍光色素 の皮下注射による硬組織内時刻 描記法	青木 和広, 田村 幸彦, 菅森 泰隆, 加藤 哲久
23	2/8	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1~3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、3 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	水口 俊介, 上野 俊明, 坂本 裕次郎, 駒ヶ嶺 友梨子, 中禮 宏, 濱 洋平
24	2/8	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1~3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、3 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	水口 俊介, 上野 俊明, 坂本 裕次郎, 駒ヶ嶺 友梨子, 中禮 宏, 濱 洋平
25	2/8	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1~3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、3 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	水口 俊介, 上野 俊明, 坂本 裕次郎, 駒ヶ嶺 友梨子, 中禮 宏, 濱 洋平
26	2/8	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1~3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、3 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	水口 俊介, 上野 俊明, 坂本 裕次郎, 駒ヶ嶺 友梨子, 中禮 宏, 濱 洋平
27-30	2/10	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 2	硬組織内時刻描記法による象牙 質、骨の成長方向、骨形成の観察 骨吸収抑制薬の作用を観察	青木 和広, 田村 幸彦, 菅森 泰隆, 加藤 哲久

成績評価の方法

- ・出席状況、実習態度、提出レポート等で総合的評価を行う。
- ・各基礎系ユニットに該当する実習項目ごとの評価を総合して評価するが、原則としてそれぞれに合格しなくてはならない。

準備学習等についての具体的な指示

- ・基礎歯科学系の講義で学習した内容を復習して、実習内容との関連性を確認しておくこと。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、配付された実習書等を読み、関連知識を予習しておくこと。

<p>試験の受験資格</p> <p>各基礎系ユニットに該当する実習項目ごとに評価するので、原則としてそれぞれに出席を満たさなくてはならない。</p>
<p>参考書</p> <p>薬理学／鈴木邦明 ほか 著,鈴木, 邦明,全国歯科衛生士教育協議会,: 医歯薬出版, 2018</p> <p>・基礎歯科学系各ユニットの参考書欄を参照。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>・実習室では、必ず白衣とネームプレートを着用すること。 ・解剖学実習室では、白衣とネームプレートのほかに、上履きを着用するほか、手袋(臨床系実習と同様のグローブ)やマスク等を着用すること。</p>
<p>備考</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>坂本 裕次郎:y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp 鈴木 敏彦:suzuki.bact@tmd.ac.jp 水口 俊介:s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp 青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp 上野 俊明:t.ueno.spm@tmd.ac.jp 田村 幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>坂本 裕次郎:随時 1号館西8階 鈴木 敏彦:月～金 17:00-19:00 M&D タワー8階南 細菌感染制御学分野教員室 水口 俊介:随時 青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野) 上野 俊明:月・木 16:00-17:00 田村 幸彦:毎週金曜日 16:00-19:00 MD タワー7階北 研究室(N713)</p> <p>事前にメールなどで御連絡下さい。</p>

時間割番号	022218					
科目名	病理学総論	科目ID	DH-231101-L			
担当教員	池田 通, 栢森 高, 坂本 裕次郎[KEDA Tooru, KAYAMORI KO, SAKAMOTO YUJIRO]					
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する					
主な講義場所						
口腔保健学科第4講義室						
授業の目的、概要等						
全疾患を先天異常、細胞・組織傷害(代謝障害、退行性病変)、増殖と修復、循環障害、炎症、免疫異常、腫瘍に分類してそれぞれの病因と細胞・組織変化を概説する。						
授業の到達目標						
疾患を医学的な目で見、医学的な見地からとらえることができるようになり、分類ごとの病因論と細胞・組織変化の基礎を理解している。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/7	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	病理学序論	病理学の歴史 病因論	栢森 高
3-4	4/14	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	遺伝性疾患	染色体異常、遺伝子異常、奇形	栢森 高
5-6	4/21	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	代謝障害	代謝障害、退行性病変	栢森 高
7-8	4/28	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	増殖と修復	修復と再生 進行性病変、創傷 治癒	栢森 高
9-10	5/12	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環障害	循環障害	栢森 高
11-12	5/19	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	炎症	炎症、感染症	栢森 高
13-14	5/26	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	免疫異常 腫瘍総論	免疫学の基礎 腫瘍の発生机 序	池田 通
15	6/2	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	腫瘍総論	腫瘍の分類と特徴	池田 通
成績評価の方法						
・授業への取り組みと筆記試験の得点に基づき、評価を行う。						
準備学習等についての具体的な指示						
・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。						
試験の受験資格						
大学の規定に基づいた出席日数授業に出席した者には受験資格を与える。						
参考書						
系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学／大橋健一、谷澤 徹 [ほか著:医学書院, 2015 シンプル病理学／笹野公伸, 岡田保典, 安井弥 編集:南江堂, 2015						

<p>病理学・口腔病理学／仙波伊知郎, 高田隆 ほか 著, 仙波, 伊知郎, 高田, 隆, 1953-, 全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版, 2012</p>
<p>履修上の注意事項 正常組織の構造と機能に基づいて病的な変化を説明するため、解剖学の知識を整理しておくこと。</p>
<p>参照ホームページ ・日本病理学会 病理コア画像 http://pathology.or.jp/corepictures2010/index.html</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 池田 通: tohrupth.mpa@tmd.ac.jp 坂本 裕次郎: y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp 栢森 高: kayamori.mpa@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 池田 通: 毎週月、金曜日 PM.16:00-17:00 1号館東4階口腔病理学分野教授室 坂本 裕次郎: 随時 1号館西8階 栢森 高: 毎週金曜日 PM.4:00-5:30 1号館東4階口腔病理学第1研究室</p>

時間割番号	022219																																																			
科目名	病原微生物と生体防御	科目ID	DH-231102-L																																																	
担当教員	坂本 裕次郎, 永井 重徳, 鈴木 敏彦, 芦田 浩, 砂川 光宏, 礪波 健一[SAKAMOTO YUJIRO, NAGAI SHIGENORI, SUZUKI TOSHIHIKO, ASHIDA Hiroshi, SUNAKAWA MITSUHIRO, TONAMI KENICHI]																																																			
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2																																																	
実務経験のある教員による授業	該当する																																																			
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2208 授業形態: 講義 時間数: 必須 2 単位・30 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎																																																				
主な講義場所 口腔保健学科 第 4 講義室																																																				
授業の目的、概要等 病原微生物の特徴と病原性、口腔および全身の感染症の病因と感染成立の機序および生体の防御反応のしくみについて理解し、その理解に基づく感染予防の方法ならびに実際の対処法を理解する。																																																				
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・細菌、ウイルス等による感染について、微生物の病原性を構造、機能、遺伝的因子から理解する。 ・感染の予防と治療の基礎を微生物の特性に着眼して理解する。 ・病原微生物の分類と病原性について説明する。 ・口腔細菌の特徴と病原性について説明する。 ・免疫獲得と免疫寛容の機構および免疫疾患の病因・病態について説明する。 ・病原微生物や様々な外来刺激に対する生態の防御系を説明する。 ・疼痛の病因・病態について説明する。 ・顎・顔面・口腔領域の神経痛の病因・病態について説明する。 ・歯科医療現場で遭遇する感染症について説明する。 ・感染予防の方法と限界について説明する。 ・医療現場における安全対策について説明する。 																																																				
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5/20</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>免疫概論</td> <td>免疫システムとは、自己寛容</td> <td>永井 重徳</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/27</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>免疫担当細胞</td> <td>免疫担当細胞</td> <td>永井 重徳</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/3</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>自然免疫</td> <td>食細胞、抗体、補体、自然免疫</td> <td>永井 重徳</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/10</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>適応免疫 1</td> <td>細胞性免疫、エフェクター細胞</td> <td>永井 重徳</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6/24</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>適応免疫 2</td> <td>液性免疫、免疫記憶、ワクチン</td> <td>永井 重徳</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/1</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>アレルギー</td> <td>過敏症、自己免疫</td> <td>永井 重徳</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	5/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	免疫概論	免疫システムとは、自己寛容	永井 重徳	2	5/27	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	免疫担当細胞	免疫担当細胞	永井 重徳	3	6/3	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	自然免疫	食細胞、抗体、補体、自然免疫	永井 重徳	4	6/10	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	適応免疫 1	細胞性免疫、エフェクター細胞	永井 重徳	5	6/24	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	適応免疫 2	液性免疫、免疫記憶、ワクチン	永井 重徳	6	7/1	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	アレルギー	過敏症、自己免疫	永井 重徳
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	5/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	免疫概論	免疫システムとは、自己寛容	永井 重徳																																														
2	5/27	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	免疫担当細胞	免疫担当細胞	永井 重徳																																														
3	6/3	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	自然免疫	食細胞、抗体、補体、自然免疫	永井 重徳																																														
4	6/10	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	適応免疫 1	細胞性免疫、エフェクター細胞	永井 重徳																																														
5	6/24	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	適応免疫 2	液性免疫、免疫記憶、ワクチン	永井 重徳																																														
6	7/1	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	アレルギー	過敏症、自己免疫	永井 重徳																																														

7	7/6	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学総論 1	感染症の歴史	鈴木 敏彦
8	7/6	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学総論 2	微生物の多様性と分類	鈴木 敏彦
9	7/6	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学総論 3	微生物の構造	鈴木 敏彦
10	7/13	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学総論 4	微生物の増殖	鈴木 敏彦
11	7/13	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染と発症 1	感染経路	鈴木 敏彦
12	7/13	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染と発症 2	ワクチンと病原性	鈴木 敏彦
13	7/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	化学療法と滅菌・消毒 1	化学療法	芦田 浩
14	7/20	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	化学療法と滅菌・消毒 2	化学療法と薬剤耐性	芦田 浩
15	7/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	化学療法と滅菌・消毒 3	滅菌と消毒	芦田 浩
16	7/27	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	細菌学各論 1	グラム陽性菌	鈴木 敏彦
17	7/27	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	細菌学各論 2	グラム陰性菌	鈴木 敏彦
18	7/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	細菌学各論 3	その他の細菌	鈴木 敏彦
19	7/29	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔微生物 1	口腔内フローラ	鈴木 敏彦
20	7/29	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔微生物 2	口腔微生物と疾患	鈴木 敏彦
21	7/29	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	ウイルス学各論	ウイルスと感染症	鈴木 敏彦
22	1/14	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	疼痛総論	疼痛の概念と分類、疼痛発生の原因と機序	坂本 裕次郎
23	1/14	11:00-11:50	口腔保健	疼痛総論	疼痛の概念と分類、疼痛発生の原因と機序	坂本 裕次郎

			学科第4 講義室		因と機序	
24	1/19	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	安全対策	歯科医療現場における安全対策	礪波 健一
25	1/19	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	安全対策	歯科医療現場における安全対策	礪波 健一
26	2/2	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科医療と感染症	歯科医療現場において遭遇する おもな感染症	砂川 光宏
27	2/2	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科医療と感染症	歯科医療現場において遭遇する おもな感染症	砂川 光宏
28	2/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎・顔面領域の疼痛	脳神経と顎・顔面領域の疼痛の原 因と機序	坂本 裕次郎
29	2/9	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染予防の方法	歯科医療現場における感染予防 法の実際	砂川 光宏
30	2/9	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染予防の方法	歯科医療現場における感染予防 法の実際	砂川 光宏

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・随時の演習、小テスト等で形成的評価を行い、出席状況、授業態度等も総合的評価に加える。
- ・前期評価と後期評価を総合して年間評価とするが、原則として前期と後期それぞれに合格しなくてはならない。

準備学習等についての具体的な指示

- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

- ・前期末と後期末に評価するので、前期と後期それぞれに受験資格を満たさなくてはならない。

参考書

微生物学：疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2/木村重信 ほか著、木村、重信、全国歯科衛生士教育協議会：医歯薬出版、2011
 微生物学/梅本俊夫、奥田克爾、中山浩次、三宅洋一郎 著、梅本、俊夫、1939-、奥田、克爾、1943-、中山、浩次、全国歯科衛生士教育協議
 会、：医歯薬出版、2007
 標準微生物学/中込治、神谷茂 編集、中込、治、神谷、茂、1952-、：医学書院、2015
 からだをまもる免疫のふしぎ/日本免疫学会編集、日本免疫学会、石川、ともこ、：羊土社、2008-05

連絡先(メールアドレス)

坂本 裕次郎:y.sakamoto.bsob@tmd.ac.jp
 鈴木 敏彦:suzuki.bact@tmd.ac.jp
 砂川 光宏:m.sunakawa.endo@tmd.ac.jp
 礪波 健一:ken1.gend@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎:随時 1号館西8階
 鈴木 敏彦:月～金 17:00-19:00 M&D タワー8階南 細菌感染制御学分野教員室
 砂川 光宏:随時(必ず事前に連絡を入れること)
 礪波 健一:毎週水曜日 16:00-18:00 10号館2階総合診療歯科学準教授・講師室

時間割番号	022220					
科目名	口腔病理学	科目ID	DH-231103-L			
担当教員	坂本 裕次郎, 池田 通, 坂本 啓, 栢森 高[SAKAMOTO YUJIRO, IKEDA Tooru, SAKAMOTO KEI, KAYAMORI KO]					
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する					
主な講義場所						
口腔保健学科第4講義室						
授業の目的、概要等						
顎口腔領域の疾患の病理学的分類および病因と病態に関する基本的知識を理解するために、正常と異常との機能的、形態的違いに特に注目して概説する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・顎口腔領域の疾患を病理学的に分類し、それぞれについて理解している。 ・顎口腔領域疾患による病理形態学的な変化に関する基礎知識を身につけている。 ・顎口腔領域の主な疾患について臨床症状を含めて病理学的に概説できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/7	13:00-13:50	口腔保健学科第4講義室	歯の異常	歯の発育異常、歯の損傷と付着物	坂本 啓
2	10/7	14:00-14:50	口腔保健学科第4講義室	歯の異常	齲蝕の病因と組織変化	坂本 啓
3	10/14	13:00-13:50	口腔保健学科第4講義室	齲蝕	齲蝕の病因と組織変化	坂本 啓
4	10/14	14:00-14:50	口腔保健学科第4講義室	齲蝕	齲蝕の病因と組織変化	坂本 啓
5	10/21	13:00-13:50	口腔保健学科第4講義室	歯髄炎、根尖性歯周炎	歯髄炎、根尖性歯周炎の種類と組織変化	坂本 啓
6	10/21	14:00-14:50	口腔保健学科第4講義室	歯髄炎、根尖性歯周炎	歯髄炎、根尖性歯周炎の種類と組織変化	坂本 啓
7	10/28	13:00-13:50	口腔保健学科第4講義室	歯周炎	歯周病の原因と組織変化	池田 通
8	10/28	14:00-14:50	口腔保健学科第4講義室	歯周炎	歯周病の原因と組織変化	池田 通
9	11/4	13:00-13:50	口腔保健学科第4講義室	口腔粘膜疾患	口腔粘膜疾患の種類と組織変化	栢森 高
10	11/4	14:00-14:50	口腔保健学科第4講義室	口腔粘膜疾患	口腔粘膜疾患の種類と組織変化	栢森 高
11	11/11	13:00-13:50	口腔保健学科第4講義室	口腔領域の発育異常、嚢胞	口腔領域の発育異常、歯源性嚢胞、非歯源性嚢胞	池田 通

			講義室			
12	11/11	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔領域の発育異常、 嚢胞	口腔領域の発育異常、歯原性嚢 胞、非歯原性嚢胞	池田 通
13	11/18	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔の腫瘍、顎骨病変	口腔の腫瘍、顎骨および唾液腺の 酒索性、炎症性疾患	栢森 高
14	11/18	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔の腫瘍、顎骨病変	口腔の腫瘍、顎骨および唾液腺の 酒索性、炎症性疾患	栢森 高
15	12/2	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	唾液腺疾患	腫瘍性唾液腺疾患、炎症性唾液腺 疾患	栢森 高

成績評価の方法

・授業への取り組みと筆記試験の得点に基づき、評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

大学の規定に基づいた出席日数授業に出席した者には受験資格を与える。

参考書

新口腔病理学／下野正基, 高田隆 編: 医歯薬出版, 2008

口腔病理アトラス 第3版／高木真 監修, 高田隆, 豊澤 悟 編: 文光堂, 2018

病理学・口腔病理学／仙波伊知郎, 高田隆 ほか 著, 仙波, 伊知郎, 高田, 隆, 1953-, 全国歯科衛生士教育協議会: 医歯薬出版, 2012

履修上の注意事項

正常組織の構造と機能に基づいて病的な変化を説明するため、解剖学の知識を整理しておくこと。

参照ホームページ

・口腔病理基本画像アトラス <http://www.dent.nihon-u.ac.jp/OralPathologyAtlas/Ver1/>

連絡先(メールアドレス)

坂本 裕次郎 y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp

坂本 啓 s-kei.mpa@tmd.ac.jp

池田 通 tohrupth.mpa@tmd.ac.jp

栢森 高 kayamori.mpa@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎 随時 1号館西8階

坂本 啓 水 16:30-18:00

池田 通 毎週月、金曜日 PM.16:00-17:00 1号館東4階口腔病理学分野教授室

栢森 高 毎週金曜日 PM.4:00-5:30 1号館東4階口腔病理学第1研究室

時間割番号	022221																																																			
科目名	薬理学	科目ID	DH-231104-L																																																	
担当教員	坂本 裕次郎, 青木 和広, 田村 幸彦[SAKAMOTO YUJIRO, AOKI KAZUHIRO, TAMURA YUKIHIKO]																																																			
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2																																																	
実務経験のある教員による授業	該当する																																																			
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2008 授業形態: 講義 時間数: 必修 1 単位・15 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・青木 和広																																																				
主な講義場所 口腔保健学科 第 4 講義室																																																				
授業の目的、概要等 医薬品の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に利用するために必要な基本的知識を修得する。																																																				
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・薬理作用の種類を説明できる。 ・薬物受容体と細胞内情報伝達系について説明できる。 ・薬物の構造活性相関について説明できる。 ・薬物の投与方法とその特徴について説明できる。 ・薬物の生体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。 ・薬物を安全に使用するための基本的考え方を修得する。 ・薬理作用を規定する要因について説明できる。 ・薬物の連用および併用に伴う現象について説明できる。 ・中枢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。 ・末梢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。 ・局所麻酔について説明できる。 ・痛みと薬物について説明できる。 ・抗炎症薬の種類と作用について説明できる。 ・硬組織に作用する薬の種類と作用について説明できる。 																																																				
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1/22</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>薬理学の基礎、医療と 薬物</td> <td>薬理学、薬力学、薬物動態学、オ ーダーメイド医療</td> <td>青木 和広</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1/22</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>身体と薬物1</td> <td>薬の使用目的とその作用、受容体 と薬物</td> <td>青木 和広</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1/22</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>身体と薬物2</td> <td>薬物の適用方法</td> <td>青木 和広</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1/29</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>身体と薬物3</td> <td>薬物の生体内変化、代謝、排泄</td> <td>青木 和広</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1/29</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>身体と薬物4</td> <td>薬物の生物学的検定法、用量反応 曲線</td> <td>青木 和広</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1/29</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4</td> <td>身体と薬物5</td> <td>薬理作用を規定する要因</td> <td>青木 和広</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	1/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	薬理学の基礎、医療と 薬物	薬理学、薬力学、薬物動態学、オ ーダーメイド医療	青木 和広	2	1/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物1	薬の使用目的とその作用、受容体 と薬物	青木 和広	3	1/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物2	薬物の適用方法	青木 和広	4	1/29	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物3	薬物の生体内変化、代謝、排泄	青木 和広	5	1/29	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物4	薬物の生物学的検定法、用量反応 曲線	青木 和広	6	1/29	11:00-11:50	口腔保健 学科第4	身体と薬物5	薬理作用を規定する要因	青木 和広
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	1/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	薬理学の基礎、医療と 薬物	薬理学、薬力学、薬物動態学、オ ーダーメイド医療	青木 和広																																														
2	1/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物1	薬の使用目的とその作用、受容体 と薬物	青木 和広																																														
3	1/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物2	薬物の適用方法	青木 和広																																														
4	1/29	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物3	薬物の生体内変化、代謝、排泄	青木 和広																																														
5	1/29	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物4	薬物の生物学的検定法、用量反応 曲線	青木 和広																																														
6	1/29	11:00-11:50	口腔保健 学科第4	身体と薬物5	薬理作用を規定する要因	青木 和広																																														

			講義室			
7	2/3	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物6	ライフステージと薬物	青木 和広
8	2/3	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	痛みと薬物	麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬、 解熱鎮痛薬	青木 和広
9	2/3	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	抗炎症薬	非ステロイド性抗炎症薬、ステロ イド性抗炎症薬、	青木 和広
10	2/5	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	末梢神経系作用薬物	神経伝達物質、自律神経系作用薬	青木 和広
11	2/5	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	末梢神経系作用薬物	神経伝達物質、自律神経系作用 薬、運動神経系作用薬	青木 和広
12	2/5	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	中枢神経系作用薬1	全身麻酔薬、睡眠薬	青木 和広
13	2/10	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	局所麻酔薬	局所麻酔薬の作用機序・分類・代 謝	田村 幸彦
14	2/10	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	中枢神経系作用薬2	向精神薬、抗けいれん薬、抗パー キンソン薬、中枢神経興奮薬	田村 幸彦
15	2/10	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	硬組織に作用する薬物	骨吸収抑制薬・骨形成促進薬・骨 質改善薬	青木 和広

成績評価の方法

- ・授業ごと的小テスト、提出レポート、期末の客観的試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。
- ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格

3分の2の出席

教科書

現代歯科薬理学／鈴木邦明 [ほか] 編 鈴木、邦明、戸苅、彰史、青木、和広、兼松、隆、筑波、隆幸、大谷、啓一.: 医歯薬出版, 2018

参考書

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編 川口充、大浦清、大谷啓一、戸苅彰史、加藤有三、篠原光子 著.: 医歯薬出版, 2011

シンプル薬理学／野村隆英、石川直久 編集.: 南江堂, 2014

現代歯科薬理学／大谷啓一、鈴木邦明、戸苅彰史 編 加藤有三、篠田壽 監修.: 医歯薬出版, 2012

コメディカルのための薬理学／渡邊泰秀、樋口マキエ 編集.: 朝倉書店, 2012

現代歯科薬理学 第6版: 医歯薬出版, 2018

最新薬理学: 疾病の成り立ち及び回復過程の促進／大浦清、戸苅彰史 編集.: 学建書院, 2017

備考

TBL方式の講義も取り入れる。

連絡先(メールアドレス)

坂本 裕次郎 y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp

青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp

田村 幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎:随時 1号館西8階

青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)

田村 幸彦:毎週金曜日 16:00-19:00 MDタワー7階北 研究室(N713)

事前にメールなどで御連絡下さい。

時間割番号	022222						
科目名	社会保障Ⅱ			科目ID	DH-241200-L		
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 社会保障Ⅱ 時間数: 30 時間 授業形態: 講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室							
授業の目的、概要等 本講義では社会保障の制度体系・考え方について学びます。 受講する皆さんには、社会保障、社会福祉の問題が、自分自身の生活と結びついていることを理解し、これら制度について考えられるようになってほしいと思います。							
授業の到達目標 SBOs 1.現代社会における社会保障制度の位置づけと課題を説明できる。 2.社会保障制度の概念・理念・対象を説明できる。 3.社会保障制度の体系(各制度の概要)を説明できる。 4.社会保障の財源と費用を説明できる。 5.社会保険と公的扶助の関係を説明できる。 6.社会保険制度と民間保険制度の関係を説明できる。 7.諸外国における社会保障制度の概要を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	6/9	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	現代社会と社会保障・ 諸外国における社会保 障	現代における社会保障制度の内 容と意義、諸外国との比較	遠藤 康裕	webclass での講 義資料学習にな る予定。到達目 標: 1, 2, 3, 7 適時演習を行う
5-8	6/16	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	社会保障制度の構造	日本の社会保障制度の構造につ いて学ぶ	遠藤 康裕	到達目標: 1, 2, 3 適時演習を行 う
9-12	6/23	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	社会保障制度の財源と 費用・社会保障制度の 歴史	社会保障の財源、費用負担等、歴 史的展開	遠藤 康裕	到達目標: 1, 2, 3, 4 適時演習 を行う
13-16	6/30	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	社会保障と民間保険・ 年金保険制度	民間保険と社会保障の異同につ いて、年金保険制度について	遠藤 康裕	到達目標: 6 適 時演習を行う
17	6/30	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度・介護保 険制度 1	医療保険制度、介護保険制度につ いて	遠藤 康裕	到達目標: 3, 4, 5 適時演習を行 う
18-21	7/7	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度・介護保 険制度 2	医療保険制度、介護保険制度につ いて	遠藤 康裕	到達目標: 3, 4, 5 適時演習を行 う
22	7/7	17:00-17:50	口腔保健	労働保険制度・社会福	労働保険制度(雇用保険、労災保	遠藤 康裕	到達目標: 1, 2,

			学科第4 講義室	祉制度 1	険)、社会福祉制度(生活保護、社会手当等)		3, 4 適時演習 を行う
23-26	7/14	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	労働保険制度・社会福祉制度 2	労働保険制度(雇用保険、労災保険)、社会福祉制度(生活保護、社会手当等)	遠藤 康裕	到達目標:1, 2, 3, 4 適時演習 を行う
27-30	7/21	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	社会保障が当面する課題	社会保障の抱える課題について	遠藤 康裕	到達目標:1 適 時演習を行う
成績評価の方法							
・授業内でのリアクションペーパー、レポートなどで総合的に評価する。							
準備学習等についての具体的な指示							
教科書の関連する単元について予習してくること。							
試験の受験資格							
全講義 30 時間の 2/3 以上出席すること。							
教科書							
新・社会福祉士養成講座 12 社会保障／社会福祉士養成講座編集委員会 編集、中央法規出版、2016							
参考書							
・随時、授業中に紹介する。							

時間割番号	022223						
科目名	保健医療サービス				科目ID	DH-241300-L	
担当教員							
開講時期	2020年度後期	対象年次	2		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
保健医療サービス (樺沢勇司) 科目番号: 2014 授業形態: 講義 コマ数: 30 コマ							
主な講義場所 1号館西 8階 第4講義室							
授業の目的、概要等 一般目標 保健医療サービスに関連する法律や衛生行政、医療保険制度、政策動向を理解し、保健医療の専門職の役割や実際、多職種連携やチーム医療を理解する。							
授業の到達目標 到達目標 SBOs 1.保健医療サービスに関連する法律(憲法、地域保健法、健康増進法など)の概要を説明できる。 2.保健医療サービスに関連する政策動向を説明できる 3.衛生行政の概要と政策動向を説明できる。 4.医療保険制度(診療報酬に関する内容を含む)の特徴や仕組みを説明できる。 5.保健医療サービスにおける専門職(医師、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、看護師、保健師、医療ソーシャルワーカー、他の医療技術職)の役割を説明できる。 6.保健医療サービスにおける多職種連携やチームアプローチを説明できる。 7.インフォームドコンセントの概要(関連制度、自己決定・自立尊重原理など)を説明できる。 8.災害時の保健医療サービスにおける多職種連携やチームアプローチを説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/2	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 1	憲法、医療法などの基本法規と保健医療制度	五十嵐 公	到達目標:1 演習・討論を実施する
2	11/2	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 2	保健医療サービスの制度・政策	五十嵐 公	到達目標:2 演習・討論を実施する
3	11/2	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 3	母子保健の関連法規、制度・政策	品田 佳世子	到達目標:1, 2 演習・討論を実施する
4	11/2	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 4	学校保健の関連法規、制度・政策	品田 佳世子	到達目標:1, 2 演習・討論を実施する
5	12/7	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにおける専門職 1	保健医療サービスにおける専門職の役割、多職種連携	伊藤 奏	到達目標:5, 6 演習・討論を実施する
6	12/7	10:00-10:50	口腔保健 学科第4	保健医療サービス関連 の政策動向 1	高齢者福祉・介護と保険医療サービス	伊藤 奏	到達目標:1, 2 演習・討論を実施

			講義室				する
7	12/7	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 5	成人・高齢者保健の関連法規、制 度・政策	伊藤 奏	到達目標:1, 2 演習・討論を実施 する
8	12/14	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	成人・高齢者保健の関 連法規、制度・政策 6	保健医療サービス従事者の関係 法規と資格制度	北原 稔	到達目標:1, 2,3 演習・討論を実施 する
9	12/14	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 7	健康増進法の概要と制度・政策	北原 稔	到達目標:1, 2, 3 演習・討論を 実施する
10	12/14	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 8	地域保健の概要と関連法規、制 度・政策	北原 稔	到達目標:1, 2, 3 演習・討論を 実施する
11	12/14	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 9	産業保健の概要と関連法規、制 度・政策	品田 佳世子	到達目標:1, 2 演習・討論を実施 する
12-13	12/17	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 10	精神保健の関連法規、制度・政策	岡田 幸之	到達目標:1, 3, 5, 6 演習・討論 を実施する
14	12/17	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	インフォームドコンセ ントの概要	関連制度、自己決定、自立尊重の 原理について	樺沢 勇司	到達目標:7 演 習・討論を実施す る
15	1/18	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 1	医療保険の種類とプロセス	五十嵐 公	到達目標:4 演 習・討論を実施す る
16	1/18	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 2	出来高払い・包括払いの制度と特 徴	五十嵐 公	到達目標:4 演 習・討論を実施す る
17	1/18	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 3	診療報酬制度の概要	五十嵐 公	到達目標:4 演 習・討論を実施す る
18	1/18	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 4	医療費減免等の諸制度(高額療養 費制度など)	五十嵐 公	到達目標:4 演 習・討論を実施す る
19	1/25	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 5	医療費に関する政策動向と今後 の課題	五十嵐 公	到達目標:2, 3, 4 演習・討論を 実施する
20	1/25	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職 1	病院における MSW の役割	伊藤 亜希	到達目標:5, 6 演習・討論を実施 する
21	1/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職 2	がん相談支援における MSW の役 割	山田 麻記子	到達目標:5, 6 演習・討論を実施 する
22	1/26	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	衛生行政 1	国・都道府県・市区町村の衛生行 政と機能	矢澤 正人	到達目標:1, 2, 3 演習・討論を 実施する
23	1/26	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	衛生行政 2	歯科口腔保健の推進と保険医療 サービス	矢澤 正人	到達目標:3, 5, 6 演習・討論を 実施する

24	1/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の政策動向	衛生行政と保健事業の実際および衛生行政の政策動向と今後の課題	矢澤 正人	到達目標:2, 3 演習・討論を実施する
25-26	2/1	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 11	障害者福祉・児童福祉と保健医療サービス	岡光 基子	到達目標:1, 5, 6 演習・討論を実施する
27	2/1	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにおける専門職 3	災害時におけるMSWの役割1	山田 美代子	到達目標:5, 6, 8 演習・討論を実施する
28	2/8	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにおける専門職 4	災害時におけるMSWの役割2	山田 美代子	到達目標:5, 6, 8 演習・討論を実施する
29-30	2/8	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにおける専門職 5	被災地医療機関と受け入れ医療機関との連携	山田 美代子	到達目標:5, 6, 8 演習・討論を実施する
成績評価の方法							
提出レポート、期末の記述試験で総合的評価を行う。出席状況および授業態度を総合的評価する。随時の小テスト等で形成的評価を行う。							
準備学習等についての具体的な指示							
授業では、授業範囲についてのディスカッションも行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。							
試験の受験資格							
総時間数の2/3以上の出席が望ましい。							
教科書							
歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険／末高武彦 著,末高, 武彦, 1941-,.:医歯薬出版, 2018							
参考書							
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み／石井, 拓男,全国歯科衛生士教育協議会,.:医歯薬出版, 2018 保健医療サービス／社会福祉士養成講座編集委員会編,社会福祉士養成講座編集委員会,.:中央法規出版, 2017							

時間割番号	022225																																										
科目名	歯科保存学	科目ID	DH-251401-L																																								
担当教員																																											
開講時期	2020年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある教員による授業	該当する																																										
<p>科目名:臨床歯科医学 時間数:30時間 授業形態:演習・講義 下記、教科書(教本)2冊は、必ず購入すること。 コロナウイルス対策により、歯周病学は WebClass に全 10 章分の講義動画をアップしましたので、各自勉強しておいてください。現在のところ、6/4, 7/1 15:00-16:50 は、演習、小テストを行う予定です。成績に加味しますので、頑張ってください。</p>																																											
主な講義場所 口腔保健学科 第4講義室																																											
授業の目的、概要等 保存系歯科医学の内容を理解し、保存系歯科医療におけるチームアプローチを実践するために必要な知識を修得する。																																											
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・歯の硬組織疾患を説明する。 ・う蝕のリスクファクターと診断法、病理と処置法を説明する。 ・窩洞の分類と修復物の理想的臨床形態を説明する。 ・コンポジットレジン修復を説明する。 ・歯科用セメントの種類と使用目的を説明する。 ・アマルガム修復を説明する。 ・メタルインレー修復を説明する。 ・審美的間接法修復を説明する。 ・う蝕の保存修復治療に必要な器具、器材、前準備、ならびに術後管理を説明する。 ・歯髄保存療法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・歯髄除去療法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・感染根管治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・根管充填法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・外科的歯内治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・歯周基本治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・外科的歯周治療の種類、目的、器具、器材、前準備を説明する。 ・歯周治療におけるメンテナンスの内容、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>4/9</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯周病の概説及び病因; 歯周組織の構造、歯周組織検査と診断</td> <td>歯周病と歯どのような疾患か、また、その原因について学ぶ。歯周組織検査の種類、目的、器具・器材の準備</td> <td>荒川 真一</td> <td>WebClass で自習 6/18分は 4/16,4/23 15:00-16:50へ</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>5/15</td> <td>09:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>保存修復治療</td> <td>歯の構造と硬組織疾患、う蝕のリスクファクターと診断、う蝕の病理と処置法、窩洞の分類、修復物の形態修復学</td> <td>井上 剛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/22</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>成形充填修復1</td> <td>成形充填修復治療の流れ、コンポジットレジン修復</td> <td>井上 剛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/22</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4</td> <td>成形充填修復2</td> <td>歯科用セメント(ガラスイオノマーセメント修復)、アマルガム修復</td> <td>井上 剛</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-2	4/9	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周病の概説及び病因; 歯周組織の構造、歯周組織検査と診断	歯周病と歯どのような疾患か、また、その原因について学ぶ。歯周組織検査の種類、目的、器具・器材の準備	荒川 真一	WebClass で自習 6/18分は 4/16,4/23 15:00-16:50へ	3-4	5/15	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保存修復治療	歯の構造と硬組織疾患、う蝕のリスクファクターと診断、う蝕の病理と処置法、窩洞の分類、修復物の形態修復学	井上 剛		5	5/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形充填修復1	成形充填修復治療の流れ、コンポジットレジン修復	井上 剛		6	5/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4	成形充填修復2	歯科用セメント(ガラスイオノマーセメント修復)、アマルガム修復	井上 剛	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																				
1-2	4/9	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周病の概説及び病因; 歯周組織の構造、歯周組織検査と診断	歯周病と歯どのような疾患か、また、その原因について学ぶ。歯周組織検査の種類、目的、器具・器材の準備	荒川 真一	WebClass で自習 6/18分は 4/16,4/23 15:00-16:50へ																																				
3-4	5/15	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保存修復治療	歯の構造と硬組織疾患、う蝕のリスクファクターと診断、う蝕の病理と処置法、窩洞の分類、修復物の形態修復学	井上 剛																																					
5	5/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形充填修復1	成形充填修復治療の流れ、コンポジットレジン修復	井上 剛																																					
6	5/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4	成形充填修復2	歯科用セメント(ガラスイオノマーセメント修復)、アマルガム修復	井上 剛																																					

			講義室				
7	5/29	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形充填修復2	歯科用セメント(グラスアイオノマ ーセメント修復)、アマルガム修復	井上 剛	
8	5/29	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	鑄造修復	間接法修復治療の流れ、メタルイ ンレー修復、審美的間接法修復	井上 剛	
9	6/4	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周組織の構造、歯周 組織検査と診断	歯周組織検査の種類、目的、器 具・器材の準備	荒川 真一	WebClass で自習 した内容の演習 および小テスト (成績に反映)18
10	6/4	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	スケーリング、ルートプ レーニング	スケーリング、ルートプレーニン グの目的、器具・器材の準備	荒川 真一	WebClass で自習 した内容の演習 および小テスト (成績に反映)
11-12	6/5	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	鑄造修復	間接法修復治療の流れ、メタルイ ンレー修復、審美的間接法修復	井上 剛	
13-14	6/12	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	ケーススタディー	う蝕の保存修復歯科治療における 診療の流れと器材の準備、治療計 画とメンテナンス	井上 剛	討論
15-16	6/18	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	スケーリング、ルートプ レーニング	スケーリング、ルートプレーニン グの目的、器具・器材の準備	荒川 真一	WebClass で自習 4/16,4/23 15:00-16:50 へ
17-18	6/18	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周外科手術、咬合調 整、固定	歯周外科手術、咬合調整、固定の 種類	荒川 真一	WebClass で自習 4/16,4/23 15:00-16:50 へ
19-20	6/25	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯内治療	歯内治療概説、歯髄保存療法の種 類、目的、器具・器材の準備	興地 隆史	
21-22	7/1	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	根分岐部病変、習癖、メ インテナンス(含 SPT)	根分岐部病変、習癖、メインテナ ンス(含 SPT)、	荒川 真一	討論 WebClass で自習した内容 の演習および小 テスト(成績に反 映)
23-24	7/2	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯髄除去療法	歯髄除去療法の種類、目的、器 具・器材の準備	興地 隆史	
25-26	7/9	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染根管治療	感染根管治療の種類、目的、器 具・器材の準備	興地 隆史	
27-28	7/16	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	根管充填法	根管充填法及び外科的歯内治療 の種類、目的、器具・器材の準備	興地 隆史	
29-30	7/30	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	ケーススタディー	歯内治療における診療の流れと 器材準備	興地 隆史	討論

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。

<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、授業態度等も総合的評価に加える。 ・提出レポート、課題発表等で総合的評価を行う。 ・講義、グループ討論、発表の態度等を総合的評価に加味する。
準備学習等についての具体的な指示
試験の受験資格 規定の出席日数(2/3以上)を満たす。
構成ユニット 保存修復学、歯周病学、歯内療法学
モジュールの単位判定 期末試験結果および出席状況を勘案して決定する。
教科書 歯周病学／申基詰ほか著,申,基詰:医歯薬出版,2015 保存修復・歯内療法:歯の硬組織・歯髄疾患／千田彰,中村洋[ほか]著,千田,彰,中村,洋(歯学):医歯薬出版,2010
参考書 PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューング:患者さんのやる気が変わる! スタッフも楽しくなる! 歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他土岡弘明 監修,齋田寛之 著・文・その他酒井和人 著・文・その他関根 聡 著・文・その他竹内祥吾 著・文・その他武田浩平 著・文・その他中村一寿 著・文・その他奈良嘉峰 著・文・その他福場駿介 著・文・その他新田 浩,礪波健一,土岡弘明,齋田寛之,酒井和人,関根 聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版,2020-02-10 歯周基本治療のレベルアップ POINT:臨床記録の読み方、症例の見方、骨欠損の治し方／片山奈美,齋田寛之 著,片山,奈美,齋田,寛之,:デンタルダイヤモンド社,2019 ザ・ペリオドントロジー = The periodontology／沼部幸博,梅田誠,齋藤淳,山本松男 編集主幹,沼部,幸博,1958-,梅田,誠,齋藤,淳,:永末書店,2019 歯科衛生学辞典 = Dictionary of Dental Hygiene Science／全国歯科衛生士教育協議会 監修,眞木吉信 ほか 編集,眞木,吉信,1954-,全国歯科衛生士教育協議会,:永末書店,2019 第五版 保存修復学 21 田上順次(監修),奈良陽一郎(監修),山本一世(監修),齋藤隆史(監修)子 永末書店
履修上の注意事項 教本、Webclass 上のスライドを用い事前学習をし、また講義終了後復習を行うこと。
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、各自予習して授業に臨むこと。 ・講義内容について、演習を行う。

時間割番号	022226						
科目名	小児歯科学	科目ID	DH-251402-L				
担当教員							
開講時期	2020年度通年	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
1号館西8階、第4講義室							
授業の目的、概要等							
小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。							
授業の到達目標							
SBOs							
1.出生から青少年期までの心身の成長・発達を理解する。							
2.小児の情緒と社会性の発達を理解する。							
3.小児の健康を育む食生活と支援の重要性を理解する。							
4.歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴を理解する。							
5.顎・顔面頭蓋の成長過程を理解する。							
6.歯列咬合の発育過程を理解する。							
7.小児期の口腔疾患とその治療法、チーム医療を理解する。							
8.歯科治療時の小児の行動への対応法を理解する。							
9.小児に特有な心身の問題とその解決策を概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/7	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児歯科と成長発育、機能・情緒・社会性の発達	成長発育の特徴、身体の発育とその評価、器官の発育、運動・感覚機能の発達、情緒・社会性の発達	宮新 美智世	到達目標:1, 2 口腔保健工学専攻との合同講義となる。必要に応じて演習を行う
3	10/7	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児の生理的特徴、摂食機能と言語の発達1	原始反射、哺乳に関する反射、小児の生理的特徴、栄養摂取と摂食機能の発達、哺乳期、離乳期、幼児期、児童・生徒期、発達期の食の問題、言語の基礎知識、言語の発達、発達期にみられる構音障害	宮新 美智世	到達目標:1, 2, 3 口腔保健工学専攻との合同講義となる。必要に応じて演習を行う
4	10/14	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児の生理的特徴、摂食機能と言語の発達2	原始反射、哺乳に関する反射、小児の生理的特徴、栄養摂取と摂食機能の発達、哺乳期、離乳期、幼児期、児童・生徒期、発達期の食の問題、言語の基礎知識、言語の発達、発達期にみられる構音障害	宮新 美智世	到達目標:1, 2, 3 口腔保健工学専攻との合同講義となる。必要に応じて演習を行う
5	10/14	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎・頭蓋・顔面、歯列・咬合の発達1	頭蓋の構成要素と相対的発育、頭蓋発育の機構と評価法、側貌頭部エックス線規格写真計測による日本人小児の平均身長、歯列咬合の発育(無歯期、乳歯萌出期、乳歯列期、混合歯列前期、混合歯列後期、永久歯列期)、歯列発育の評価法	宮新 美智世	到達目標:4, 5, 6 口腔保健工学専攻との合同講義となる。必要に応じて演習を行う
6	10/21	10:00-10:50	口腔保健	顎・頭蓋・顔面、歯列・咬	頭蓋の構成要素と相対的発育、頭	宮新 美智世	到達目標:4, 5,

			学科第4 講義室	合の発達 2	蓋発育の機構と評価法、側頭部 エックス線規格写真計測による日 本人小児の平均身長、歯列咬合 の発育(無歯期、乳歯萌出期、乳 歯列期、混合歯列前期、混合歯列 後期、永久歯列期)、歯列発育の 評価法		6 口腔保健工 学専攻との合同 講義となる。必要 に応じて演習を行 う
7	10/21	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	発達期の口腔疾患と歯 科的対応 1	乳歯・幼若永久歯の特徴、歯・歯 数・萌出の異常、乳歯う蝕の特徴、 小児う蝕の実態、重症乳歯う蝕の 為害作用、青少年期のう蝕、発達 期の歯周疾患、口腔軟組織疾患 の原因と予防	宮新 美智世	到達目標:4, 5, 6, 7 口腔保健 工学専攻との合 同講義となる。必 要に応じて演習を 行う
8	10/28	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	発達期の口腔疾患と歯 科的対応 2	乳歯・幼若永久歯の特徴、歯・歯 数・萌出の異常、乳歯う蝕の特徴、 小児う蝕の実態、重症乳歯う蝕の 為害作用、青少年期のう蝕、発達 期の歯周疾患、口腔軟組織疾患 の原因と予防	宮新 美智世	到達目標:4, 5, 6, 7 口腔保健 工学専攻との合 同講義となる。必 要に応じて演習を 行う
9	10/28	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児歯科治療時の小児 行動への対応法 1	小児の歯科診療時の留意事項(診 療環境の整備、小児歯科治療三 角、コミュニケーションの確立)、 小児の情動の特徴、行動変容法、 強制的な行動抑制	宮新 美智世	到達目標:7, 8, 9 口腔保健工 学専攻との合同 講義となる。必要 に応じて演習を行 う
10	11/4	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児歯科治療時の小児 行動への対応法 2	小児の歯科診療時の留意事項(診 療環境の整備、小児歯科治療三 角、コミュニケーションの確立)、 小児の情動の特徴、行動変容法、 強制的な行動抑制	宮新 美智世	到達目標:7, 8, 9 口腔保健工 学専攻との合同 講義となる。必要 に応じて演習を行 う
11	11/4	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	発達期の口腔疾患と歯 科的対応(臨床) 1	不正咬合、咬合誘導、不良習癖、 外科的疾患と対応、う蝕治療の実 際、小児歯科治療における歯科医 療従事者の役割	宮新 美智世	到達目標:7 口 腔保健工学専攻 との合同講義とな る。必要に応じて 演習を行う
12	11/11	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	発達期の口腔疾患と歯 科的対応(臨床) 2	不正咬合、咬合誘導、不良習癖、 外科的疾患と対応、う蝕治療の実 際、小児歯科治療における歯科医 療従事者の役割	宮新 美智世	到達目標:7 必 要に応じて演習を 行う
13	11/11	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児歯科の症例紹介 1	小児歯科臨床における疾患の予 防と治療、管理・チーム医療・臨床 例	宮新 美智世	到達目標:7, 8, 9 必要に応じて 演習を行う
14	11/25	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児歯科の症例紹介 2	小児歯科臨床における疾患の予 防と治療、管理・チーム医療・臨床 例	宮新 美智世	到達目標:7, 8, 9 必要に応じて演 習を行う
15	11/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	全体のまとめと歯科衛生士にとっ て重要なポイント	宮新 美智世, 近藤 圭子, 樺沢 勇司	到達目標:1-9 必要に応じて演 習を行う

<p>成績評価の方法</p> <p>随時小テストを行い、形成的評価を行う。</p> <p>期末に客観試験、記述試験を行い、総括的評価を行う。</p> <p>出席、講義、グループ討論、発表の態度等を総括評価に加味する。</p> <p>受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則に順ずる。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>授業では、授業範囲についてのディスカッション等のアクティブラーニングにて行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>全講義 15 時間の 2/3 以上出席することが望ましい。</p>
<p>教科書</p> <p>小児歯科／大嶋隆ほか著,大嶋, 隆,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2009</p>
<p>参考書</p> <p>小児歯科学／白川哲夫, 飯沼光生, 福本敏編 ; 白川哲夫 [ほか] 執筆,白川, 哲夫,飯沼, 光生,福本, 敏,:医歯薬出版, 2017</p>

時間割番号	022227																																																																								
科目名	歯科補綴学	科目ID	DH-251403-L																																																																						
担当教員	日高 玲奈, 駒田 亘, 金澤 学, 和田 淳一郎, 野村 太郎, 猪原 健[NAKAYAMA Rena, KOMADA WATARU, KANAZAWA MANABU, WADA JUNICHIRO, Taroh Nomura, Ken Inohara]																																																																								
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2																																																																						
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																								
<p>時間数:15 時間 1 単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:金澤学、駒田亘、和田淳一郎、野村太郎、猪原健、日高玲奈</p>																																																																									
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第4 講義室</p>																																																																									
<p>授業の目的、概要等</p> <p>・補綴歯科医療と補綴装置の特徴を理解し、補綴装置の予後管理に必要な口腔健康管理の知識を有する</p>																																																																									
<p>授業の到達目標</p> <p>・補綴歯科治療の意義と目的、種類と特徴を説明する。</p> <p>・補綴歯科治療に関連する顎口腔系の機能と形態を説明する。</p> <p>・冠橋義歯の種類・特徴を説明し、製作過程を概説する。</p> <p>・有床義歯の種類・特徴を説明し、製作過程を概説する。</p> <p>・補綴装置使用時における口腔の健康管理法を説明する。</p> <p>・超高齢社会の補綴歯科治療の特徴や現状を説明する。</p>																																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6</td> <td>16:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>補綴歯科治療の基礎</td> <td>補綴歯科治療の意義と目的、歯と歯列の欠損、補綴装置の役割、種類と特徴</td> <td>金澤 学, 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13</td> <td>16:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>冠橋義歯の種類と特徴1</td> <td>咀嚼効率と食事、様々なクラウンとその特徴1</td> <td>駒田 亘, 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/20</td> <td>16:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>冠橋義歯の種類と特徴2</td> <td>様々なクラウンとその特徴2、冠橋義歯の材質</td> <td>駒田 亘</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/27</td> <td>16:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>冠橋義歯の種類と特徴3</td> <td>ブリッジとボンティックの種類と特徴</td> <td>駒田 亘</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/27</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>冠橋義歯による治療1</td> <td>冠橋義歯の印象採得と咬合採得、テンポラリークラウン、冠橋義歯の装着、仮着と合着</td> <td>駒田 亘</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/10</td> <td>15:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>冠橋義歯による治療2</td> <td>冠橋義歯のケア、クラウンブリッジの失敗症例と対応方法、冠橋義歯のメインテナンス</td> <td>駒田 亘</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/10</td> <td>16:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>冠橋義歯による治療3</td> <td>全部床義歯のケア、クラウンブリッジの失敗症例と対応方法</td> <td>駒田 亘</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/17</td> <td>15:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>全部床義歯による治療1</td> <td>全部床義歯の印象採得と咬合採得、筋圧形成による最終印象と咬合床による咬合採得</td> <td>金澤 学</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/17</td> <td>16:00-16:50</td> <td>口腔保健</td> <td>全部床義歯による治療2</td> <td>全部床義歯の咬合採得、咬合床に</td> <td>金澤 学</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	補綴歯科治療の基礎	補綴歯科治療の意義と目的、歯と歯列の欠損、補綴装置の役割、種類と特徴	金澤 学, 日高 玲奈	2	10/13	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯の種類と特徴1	咀嚼効率と食事、様々なクラウンとその特徴1	駒田 亘, 日高 玲奈	3	10/20	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯の種類と特徴2	様々なクラウンとその特徴2、冠橋義歯の材質	駒田 亘	4	10/27	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯の種類と特徴3	ブリッジとボンティックの種類と特徴	駒田 亘	5	10/27	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯による治療1	冠橋義歯の印象採得と咬合採得、テンポラリークラウン、冠橋義歯の装着、仮着と合着	駒田 亘	6	11/10	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯による治療2	冠橋義歯のケア、クラウンブリッジの失敗症例と対応方法、冠橋義歯のメインテナンス	駒田 亘	7	11/10	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯による治療3	全部床義歯のケア、クラウンブリッジの失敗症例と対応方法	駒田 亘	8	11/17	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	全部床義歯による治療1	全部床義歯の印象採得と咬合採得、筋圧形成による最終印象と咬合床による咬合採得	金澤 学	9	11/17	16:00-16:50	口腔保健	全部床義歯による治療2	全部床義歯の咬合採得、咬合床に	金澤 学
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																			
1	10/6	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	補綴歯科治療の基礎	補綴歯科治療の意義と目的、歯と歯列の欠損、補綴装置の役割、種類と特徴	金澤 学, 日高 玲奈																																																																			
2	10/13	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯の種類と特徴1	咀嚼効率と食事、様々なクラウンとその特徴1	駒田 亘, 日高 玲奈																																																																			
3	10/20	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯の種類と特徴2	様々なクラウンとその特徴2、冠橋義歯の材質	駒田 亘																																																																			
4	10/27	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯の種類と特徴3	ブリッジとボンティックの種類と特徴	駒田 亘																																																																			
5	10/27	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯による治療1	冠橋義歯の印象採得と咬合採得、テンポラリークラウン、冠橋義歯の装着、仮着と合着	駒田 亘																																																																			
6	11/10	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯による治療2	冠橋義歯のケア、クラウンブリッジの失敗症例と対応方法、冠橋義歯のメインテナンス	駒田 亘																																																																			
7	11/10	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯による治療3	全部床義歯のケア、クラウンブリッジの失敗症例と対応方法	駒田 亘																																																																			
8	11/17	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	全部床義歯による治療1	全部床義歯の印象採得と咬合採得、筋圧形成による最終印象と咬合床による咬合採得	金澤 学																																																																			
9	11/17	16:00-16:50	口腔保健	全部床義歯による治療2	全部床義歯の咬合採得、咬合床に	金澤 学																																																																			

			学科第4 講義室		よる咬合採得		
10	11/24	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	部分床義歯による治療1	部分床義歯の印象採得と咬合採得の特徴、歯根膜負担と粘膜負担、部分床義歯の構成要素	和田 淳一郎 日高 玲奈	
11	11/24	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	部分床義歯による治療2	歯根膜負担と粘膜負担、部分床義歯の構成要素	和田 淳一郎	
12	12/1	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	全部床義歯による治療3	ゴシックアーチ、フェイスボウトランスファー、咬合器装着、義歯安定剤とは	金澤 学	
13	12/1	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	部分床義歯による治療3	有床義歯の試適・装着・調整・患者指導、短期予後と長期予後、義歯の管理と支台歯のメンテナンス	和田 淳一郎	
14	12/22	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	超高齢社会の補綴歯科治療1	高齢者の補綴歯科治療、訪問診療での補綴歯科治療と衛生管理の重要性	野村 太郎 日高 玲奈	
15	12/22	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	超高齢社会の補綴歯科治療2	高齢者の補綴歯科治療、訪問診療での補綴歯科治療と衛生管理の重要性	猪原 健 日 高 玲奈	

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

歯科衛生士講座 歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助／松村英雄：永松書店，2020

備考

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022228		
科目名	口腔外科・歯科麻酔学	科目ID	DH-251404-L
担当教員			
開講時期	2020年度後期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室			
授業の目的、概要等 GIO 1. チーム医療を行なうにあたって、口腔外科学、歯科麻酔科学における必要な基礎的知識を習得する。 2. 患者急変時の対応についても必要な基礎的知識を習得する。			
授業の到達目標 SBOs 1. 口腔外科の概要、口腔外科疾患の種類と診断法について説明できる。 2. 口腔外科でのチーム医療・多職種連携について説明できる。 3. 顎顔面口腔に症状を現す先天異常と発育異常を列挙し、その治療法を説明できる。 4. 顎口腔領域の損傷の診断と治療法を説明できる。 5. 顎口腔領域の炎症の診断と治療法を説明できる。 6. 顎口腔領域の嚢胞の診断と治療法を説明できる。 7. 顎口腔領域の腫瘍の診断と治療法を説明できる。 8. 口腔粘膜疾患の診断と治療法を説明できる。 9. 顎口腔領域の神経系疾患の診断および治療法を説明できる。 10. 唾液腺疾患の病因と病態について説明できる。 11. 顎口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因について説明できる。 12. 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した疾患について説明できる。 13. 口腔外科疾患に関連する補綴治療について説明できる。 14. 顎関節疾患の病因、病態、診断および治療法を説明できる。 15. 口腔外科を受診する患者、口腔がん患者の口腔保健管理について説明できる。 歯科麻酔 16. 麻酔の目的について説明できる。 17. 局所麻酔薬の薬理学作用と局所麻酔法の施術時の注意点を説明できる。 18. 全身麻酔の適応症と種類について説明できる。 19. 精神鎮静法の適応症と種類について説明できる。 20. バイタルサインの項目や、測定法を説明できる。 21. バイタルサインの測定を実施できる。 22. 安全で快適な歯科治療のための各種方法を説明できる。 23. 歯科治療時の偶発症とその対策について説明できる。 救命救急処置 24. 一次救命処置の手順を説明できる。 25. 一次救命処置に用いる器材を説明し、準備ができる。 26. 二次救命処置の手順を説明できる。 27. 二次救命処置に用いる器材を説明し、準備ができる。 28. AEDの取り扱いを実施できる。			

29. 神経性ショックを説明し、患者対応ができる。

30. 過換気症候群を説明し、患者対応ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/6	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	総論、先天異常と発育異常	口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、歯や軟組織の異常、口唇裂・口蓋裂、その他の口腔・顎・顔面の先天異常、顎変形症	樺沢 勇司	到達目標:1, 2, 3 必要に応じて、討論、反転授業を実施する
2	10/6	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	総論、先天異常と発育異常	口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、歯や軟組織の異常、口唇裂・口蓋裂、その他の口腔・顎・顔面の先天異常、顎変形症	樺沢 勇司	到達目標:1, 2, 3 必要に応じて、討論、反転授業を実施する
3-5	10/13	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	損傷 炎症 嚢胞	歯の外傷、軟組織損傷、歯槽骨・顎骨骨折 歯槽部・顎骨・顎骨周囲組織の炎症 嚢胞の定義・分類・診断、顎骨の嚢胞、軟組織の嚢胞	樺沢 勇司	到達目標:4, 5, 6 必要に応じて、討論、反転授業を実施する
6	10/14	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	腫瘍および腫瘍類似疾患 口腔粘膜疾患	良性腫瘍・腫瘍類似疾患の診断と治療、悪性腫瘍の診断と治療 口腔粘膜疾患の診断と治療	樺沢 勇司	到達目標:7, 8 必要に応じて、討論、反転授業を実施する
7-9	10/20	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔顎顔面領域の神経系疾患、唾液腺疾患、血液疾患、出血性素因、代謝性疾患の口腔症状・症候群	口腔顎顔面領域の神経疾患、唾液腺疾患の診断と治療 血液疾患、出血性素因の診断と治療 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した症候群および疾患	樺沢 勇司	到達目標:9, 10, 11, 12 必要に応じて、討論、反転授業を実施する
10	10/21	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎関節疾患、口腔外科における補綴治療	顎関節症の診断と治療、顎関節症以外の顎関節疾患の種類、診断と治療、口腔外科における補綴治療	樺沢 勇司	到達目標:13, 14 必要に応じて、討論、反転授業を実施する
11-12	10/27	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	周術期等口腔機能管理、がん治療の口腔健康管理	周術期等口腔機能管理、がん治療の口腔健康管理の実際と歯科衛生士の果たす役割について	樺沢 勇司、 関谷 秀樹	到達目標:15 必要に応じて、討論を実施する
13	10/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科麻酔1	全身評価、急変時対応、局所麻酔	樺沢 勇司	到達目標:17, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30 必要に応じて、討論、反転授業を実施する
14	10/28	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科麻酔2	精神鎮静法、全身麻酔	樺沢 勇司	到達目標:16, 18, 19, 20, 21, 22, 23 必要に応じて、討論、反転授業を実施する
15	12/16	16:00-16:50	口腔保健	まとめ	まとめ	樺沢 勇司	到達目標:1-3

			学科第4 講義室			0	
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・2 学年後期末に筆記試験を行なう。 ・筆記試験および出席状況、随時実施する、授業中の演習、討論、授業態度により総合的に評価する。 							
準備学習等についての具体的な指示							
授業では、授業範囲についてのディスカッション等のアクティブラーニングにて行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。							
試験の受験資格							
総講義時間の2/3以上の出席が望ましい。							
教科書							
口腔外科・歯科麻酔：顎・口腔粘膜疾患／全国歯科衛生士教育協議会監修；山根源之 [ほか]執筆；松井恭平 [ほか]編集,全国歯科衛生士教育協議会,山根, 源之,松井, 恭平,:医歯薬出版, 2011							
参考書							
口腔外科学／古森孝英 編著,古森, 孝英, 1953-,.:永末書店, 2017							
口腔外科学・歯科麻酔学／池邊哲郎, 升井一朗, 吉増秀實, 伊賀弘起 編,池邊, 哲郎, 1959-,.升井, 一朗,吉増, 秀實, 1949-,.:クインテッセンス出版, 2013							
最新口腔外科学 = Oral and Maxillofacial Surgery／榎本昭二, 道健一, 天笠光雄, 小村健 監修,:医歯薬出版, 2017							
口の中がわかるビジュアル歯科口腔科学読本／全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議 監修,:クインテッセンス出版, 2017							
備考							
担当教員の Office hour							
樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp							

時間割番号	022230						
科目名	臨床医学 I	科目ID	DH-251501-L				
担当教員	樺沢 勇司[KABASAWA YUJI]						
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
本講座は3年前期で行なわれる臨床医学Ⅱと併せて、基礎疾患をもつ患者に対しての適切な口腔保健活動を行なうために必要な臨床医学の修得を目指している。							
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室							
授業の目的、概要等 基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口腔保健活動を行なうために必要な臨床医学の知識を習得するとともに、患者の QOL 向上に寄与する継続的な口腔ケアのための多職種連携および多職種協働について考える。							
授業の到達目標 SBOs 1. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な呼吸器内科疾患の基本的知識を習得する。 2. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な循環器内科疾患の基本的知識を習得する。 3. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な内分泌・代謝内科疾患の基本的知識を習得する。 4. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な消化器内科疾患の基本的知識を習得する。 5. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な神経内科疾患の基本的知識を習得する。 6. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な腎臓内科疾患の基本的知識を習得する。 7. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な血液内科疾患の基本的知識を習得する。 8. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な膠原病・リウマチ内科疾患の基本的知識を習得する。 9. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な脳神経外科疾患の基本的知識を習得する。 10. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な乳腺外科疾患の基本的知識を習得する。 11. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な整形外科疾患の基本的知識を習得する。 12. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な消化器外科疾患の基本的知識を習得する。 13. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な婦人科、産科疾患の基本的知識を習得する。 14. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な精神科疾患の基本的知識を習得する。 15. 臨床医学を学び、患者さんの全体的疾患を理解した上で、適切な口腔健康管理について検討することができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/6	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	整形外科1	整形外科(神経系)疾患の発症機序・症状・診断・治療	樺沢 勇司, 猪瀬 弘之	到達目標:11 講義中に、演習、 討論を実施する。
2-3	10/7	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	呼吸器内科	呼吸器疾患の発症機序・症状・診断・治療(アレルギー性疾患、気道閉塞性疾患、気胸、肺水腫、肺がん、結核、インフルエンザなど)	樺沢 勇司, 立石 知也	到達目標:1 講 義中に、演習、討 論を実施する。
4-5	10/14	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環器内科	1. 高血圧症、動脈硬化症など 2. 虚血系心疾患、弁膜症、心筋症、不整脈など 3. 動・静脈瘤、閉塞性動脈硬化症など血管系の疾患	樺沢 勇司, 笹野 哲郎	到達目標:2 講 義中に、演習、討 論を実施する。
6-7	10/21	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	内分泌・代謝内科	1. 内分泌疾患の発症機序・症状・診断・治療 2. 代謝性疾患の発症機序・症状・診断・治療	樺沢 勇司, 柴 久美子	到達目標:3 講 義中に、演習、討 論を実施する。
8	10/28	15:00-15:50	口腔保健 学科第4	消化器内科1	1. 消化管疾患の発症機序・症状・診断・治療 2. 肝・胆・膵疾患の	樺沢 勇司, 清水 寛路	到達目標:4 講 義中に、演習、討

			講義室		発症機序・症状・診断・治療 3. 消化器系感染症		論を実施する。
9	10/28	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化器内科2	1. 消化管疾患の発症機序・症状・ 診断・治療 2. 肝・胆・膵疾患の 発症機序・症状・診断・治療 3. 消化器系感染症	樺沢 勇司, 北畑 富貴子	到達目標:4 講 義中に、演習、討 論を実施する。
10	11/4	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経内科	1. 消化管疾患の発症機序・症状・ 診断・治療 2. 肝・胆・膵疾患の 発症機序・症状・診断・治療 3. 消化器系感染症	樺沢 勇司, 西田 陽一郎	到達目標:5 講 義中に、演習、討 論を実施する。
11	11/4	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	腎臓内科	人工透析と腎臓疾患について	樺沢 勇司, 萬代 新太郎	到達目標:6 講 義中に、演習、討 論を実施する。
12	11/11	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	血液内科	血液疾患の発症機序・症状・診断・ 治療	樺沢 勇司, 山本 正英	到達目標:7 講 義中に、演習、討 論を実施する。
13	11/11	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	膠原病・リウマチ内科	自己免疫疾患の発症機序・症状・ 診断・治療	樺沢 勇司, 木村 直樹	到達目標:8 講 義中に、演習、討 論を実施する。
14-15	11/18	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	脳神経外科	脳神経外科疾患の発症機序・症 状・診断・治療	樺沢 勇司, 唐鎌 淳	到達目標:9 講 義中に、演習、討 論を実施する。
16	12/2	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	食道外科	食道外科疾患の発症機序・症状・ 診断・治療	樺沢 勇司	到達目標:12 講義中に、演習、 討論を実施する。 斎藤賢将先生の 講義。
17	12/2	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	胃外科	胃外科疾患の発症機序・症状・診 断・治療	樺沢 勇司	到達目標:12 講義中に、演習、 討論を実施する。 奥野圭祐先生の 講義
18	12/9	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	大腸・肛門外科	大腸・肛門外科疾患の発症機序・ 症状・診断・治療	樺沢 勇司, 松山 貴俊	到達目標:12 講義中に、演習、 討論を実施する。
19	12/9	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	肝胆膵外科	肝・胆・膵外科疾患の発症機序・症 状・診断・治療	樺沢 勇司, 小川 康介	到達目標:12 講義中に、演習、 討論を実施する。
20	12/16	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	乳腺外科	乳腺外科疾患の発症機序、症状、 診断、治療	樺沢 勇司, 中川 剛士	到達目標:10 講義中に、演習、 討論を実施する。
21-22	1/6	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	整形外科2	整形外科(関節系)疾患の発症機 序・症状・診断・治療	樺沢 勇司, 宮武 和正	到達目標:11 講義中に、演習、 討論を実施する。
23-24	1/13	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	産科・婦人科1	不妊治療、異常妊娠、高齢出産 婦人科疾患の発症機序・症状・診 断・治療1(子宮筋腫、子宮内膜 炎、子宮癌など) 婦人科疾患の 発症機序・症状・診断・治療2(卵巣	樺沢 勇司, 平光 史朗	到達目標:13 講義中に、演習、 討論を実施する。

					嚢腫、卵巣がん、更年期障害など)		
25	1/20	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	産科・婦人科2	妊娠、出産の機序・診断・身体の変化	樺沢 勇司, 廣瀬 明日香	到達目標:13 講義中に、演習、 討論を実施する。
26	1/20	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	産科・婦人科3	性感染症	樺沢 勇司, 増田 美香子	到達目標:13 講義中に、演習、 討論を実施する。
27-29	1/27	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	精神神経科	1. 精神科疾患の発症機序・症状・ 診断・治療(統合失調症、うつ病不 安障害、PTSD、依存症など) 2. 認知症の発症機序・症状・診断・治 療および予防	樺沢 勇司, 杉原 玄一	到達目標:14 講義中に、演習、 討論を実施する。
30	1/27	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	全体のまとめ	歯科衛生士と臨床医学について	樺沢 勇司, 沼沢 祥行	到達目標:15 講義中に、演習、 討論を実施する。

成績評価の方法

随時の小テスト・レポートで形成的評価、期末の客観的試験、記述試験で総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

試験の受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。

モジュールの単位判定

2 学年後期末に試験を行なう。

出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

参考書

メディックメディア社 病気が見える シリーズ に代表される、
医科臨床系教科書など

時間割番号	022232																										
科目名	口腔疾患予防基礎学 I	科目ID	DH-251601-L																								
担当教員	品田 佳世子[SHINADA KAYOKO]																										
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2																								
実務経験のある教員による授業	該当する																										
ユニット名: 口腔疾患予防基礎学 I 科目名: 口腔疾患予防学 時間数: 2 単位 30 時間 授業形態: 講義																											
主な講義場所 口腔保健学科第 4 講義室																											
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔衛生学(母子保健、学校保健、産業保健、成人保健、高齢者保健、地域保健等)に関して理解する。 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識を修得する。 																											
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔衛生学(母子保健、学校保健、産業保健、成人保健、高齢者保健、地域保健等)に関して理解する。 ・歯・口腔の健康と予防の定義について説明できる。 ・歯・口腔の健康と予防の方法と健康づくりについて説明できる。 ・セルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティーケアの内容を説明できる。 ・歯・口腔の付着物、沈着物について説明できる。 ・口腔清掃について説明できる。 ・ブランクコントロールについて説明できる。 ・歯磨剤や洗口剤について説明できる。 ・歯周病の症状、種類、検査を説明できる。 ・歯周病の予防について説明できる。 ・う蝕発生のメカニズムについて説明できる。 ・う蝕の発生要因とう蝕活動性試験について説明できる。 ・フッ化物の応用とう蝕予防効果について説明できる。 ・フッ化物の代謝や毒性について説明できる。 ・歯質損耗(tooth wear)の症状、種類、予防、治療法を説明できる。 ・口臭の分類、原因、予防、処置について説明できる。 ・歯科予防処置のうち、う蝕予防処置・フッ化物歯面塗布・フッ化物洗口を実施できる。 																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>4/6</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>保健生態学Ⅱ編 1章 総論 歯・口腔の健康と 予防、歯・口腔の付着 物・沈着物 4章 う蝕 の予防</td> <td>保健生態学Ⅱ編 1章 総論 歯・口腔の健康と予防、歯・口腔の 付着物・沈着物 4章 う蝕の予防</td> <td>品田 佳世子</td> <td>遠隔授業: Webclass の 2 年 生授業の中にパ ワーポイントの音 声付き動画をアッ プするので視聴 すること。資料や 課題を Webclass にアップするので 指示に従う事</td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>4/9</td> <td>10:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4</td> <td>Ⅲ編 健康に関わる地 域の役割 1章 地域保</td> <td>Ⅲ編 健康に関わる地域の役割 1章 地域保健・公衆衛生</td> <td>品田 佳世子</td> <td>遠隔授業: Webclass の 2 年</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-3	4/6	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健生態学Ⅱ編 1章 総論 歯・口腔の健康と 予防、歯・口腔の付着 物・沈着物 4章 う蝕 の予防	保健生態学Ⅱ編 1章 総論 歯・口腔の健康と予防、歯・口腔の 付着物・沈着物 4章 う蝕の予防	品田 佳世子	遠隔授業: Webclass の 2 年 生授業の中にパ ワーポイントの音 声付き動画をアッ プするので視聴 すること。資料や 課題を Webclass にアップするので 指示に従う事	4-5	4/9	10:00-11:50	口腔保健 学科第4	Ⅲ編 健康に関わる地 域の役割 1章 地域保	Ⅲ編 健康に関わる地域の役割 1章 地域保健・公衆衛生	品田 佳世子	遠隔授業: Webclass の 2 年
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																				
1-3	4/6	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健生態学Ⅱ編 1章 総論 歯・口腔の健康と 予防、歯・口腔の付着 物・沈着物 4章 う蝕 の予防	保健生態学Ⅱ編 1章 総論 歯・口腔の健康と予防、歯・口腔の 付着物・沈着物 4章 う蝕の予防	品田 佳世子	遠隔授業: Webclass の 2 年 生授業の中にパ ワーポイントの音 声付き動画をアッ プするので視聴 すること。資料や 課題を Webclass にアップするので 指示に従う事																				
4-5	4/9	10:00-11:50	口腔保健 学科第4	Ⅲ編 健康に関わる地 域の役割 1章 地域保	Ⅲ編 健康に関わる地域の役割 1章 地域保健・公衆衛生	品田 佳世子	遠隔授業: Webclass の 2 年																				

			講義室	健・公衆衛生			生授業の中にパワーポイントの音声付き動画をアップするので視聴すること。資料や課題を Webclass にアップするので指示に従う事
6-7	4/20	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅱ編 1章 総論、歯・口腔の付着物・沈着物、4章う蝕の予防の小テスト 1, 2, 3の解答、5章フッ化物のう蝕予防①	Ⅱ編 1章 総論、歯・口腔の付着物・沈着物、4章う蝕の予防の小テスト 1, 2, 3の解答、5章フッ化物のう蝕予防①フッ化物急性中毒量の計算演習、	品田 佳世子	遠隔授業: Webclassの2年生授業の中にパワーポイントの音声付き動画をアップするので視聴すること。小テストをWebclassにアップするので指示に従う事
8-9	4/27	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅱ編 5章 フッ化物によるう蝕予防②	Ⅱ編 5章 フッ化物によるう蝕予防 局所応用:フッ化物配合歯磨剤、フッ化物洗口、フッ化物歯面塗布など、練習問題	品田 佳世子	遠隔授業: Webclassの2年生授業の中にパワーポイントの音声付き動画をアップするので視聴すること。資料や課題を Webclass にアップするので指示に従う事
10-11	5/7	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅲ編 1章④地域保健活動の進め方⑤健康づくり対策と地域歯科保健	Ⅲ編 1章④地域保健活動の進め方⑤健康づくり対策と地域歯科保健	品田 佳世子	遠隔授業: Webclassの2年生授業の中にパワーポイントの音声付き動画をアップするので視聴すること。資料や課題を Webclass にアップするので指示に従う事
12-13	5/12	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅲ編 1章の小テストの解答 2章母子保健	Ⅲ編 1章の小テストの解答 2章母子保健	品田 佳世子	遠隔授業: Webclassの2年生授業の中にパワーポイントの音声付き動画をアップするので視聴すること。資料や課題を Webclass にアップするので指示に従う事
14-15	5/14	10:00-11:50	口腔保健 学科第4	Ⅲ編 2章の小テストの解答 3章学校保健	Ⅲ編 2章の小テストの解答 3章学校保健	品田 佳世子	遠隔授業: Webclassの2年

			講義室	健			生授業の中にパワーポイントの音声付き動画をアップするので視聴すること。資料や課題を Webclass にアップするので指示に従う事
16-17	5/19	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科疾患に関するイン デックス	歯科疾患に関するインデックス Ⅱ編 3章 歯科疾患の疫学、歯 科疾患実態調査	品田 佳世子	遠隔授業: Webclass の2年 生授業の中にパ ワーポイントの音 声付き動画をアッ プするので視聴 すること。資料や 課題を Webclass にアップするので 指示に従う事
18-20	5/26	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	インデックスの小テスト 解答、Ⅱ編 3章 歯科 疾患の疫学、歯科疾患 実態調査	インデックスの小テスト解答、Ⅱ編 3章 歯科疾患の疫学、歯科疾患 実態調査	品田 佳世子	遠隔授業: Webclass の2年 生授業の中にパ ワーポイントの音 声付き動画をアッ プするので視聴 すること。資料や 課題を Webclass にアップするので 指示に従う事
21-22	5/27	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅲ編 3章の小テストの 解答 4章成人保 健 5章産業保健	Ⅲ編 3章の小テストの解答 4章成人保健 5章産業保健	品田 佳世子	遠隔授業: Webclass の2年 生授業の中にパ ワーポイントの音 声付き動画をアッ プするので視聴 すること。資料や 課題を Webclass にアップするので 指示に従う事
23	5/28	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅲ編 4章成人保健、5 章産業保健 の小テ スト解答 6章老人(高齢 者)保健	Ⅲ編 4章成人保健、5章産業保健 の小テスト解答 6章老人(高齢 者)保健	品田 佳世子	遠隔授業: Webclass の2年 生授業の中にパ ワーポイントの音 声付き動画をアッ プするので視聴 すること。資料や 課題を Webclass にアップするので 指示に従う事
24-25	6/2	13:00-14:50	口腔保健 学科基礎	Ⅱ編3章、歯科疾患実態 調査の小テスト解答、7	Ⅱ編3章、歯科疾患実態調査の小 テスト解答、7章 特に口臭につい	品田 佳世子	遠隔授業: Webclass の2年

			科学実習室 口腔保健学科 第4講義室	章 特に口臭について	て		生授業の中にパワーポイントの音声付き動画をアップするので視聴すること。資料や課題を Webclass にアップするので指示に従う事
26-27	7/16	13:00-14:50	口腔保健学科第4講義室	Ⅲ編 5章 産業保健: 保護具、7章精神保健、8章災害時の歯科保健、9章国際保健	Ⅲ編 5章 産業保健: 保護具、7章精神保健、8章災害時の歯科保健、9章国際保健	品田 佳世子、田中 健一	非常勤講師講義(産業: 保護具マスキ 村田 克、国際保健 田中 健一)
28	7/27	16:00-16:50	口腔保健学科第4講義室	口腔疾患予防学基礎のまとめ	口腔疾患予防学基礎のまとめ	品田 佳世子	知識確認の練習テスト

成績評価の方法

提出レポート、期末の客観試験、記述試験で総合的評価を行う。出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義の 2/3 以上出席すること。

教科書

最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版/可児徳子, 松井恭平, 眞木吉信 編: 医歯薬出版, 2015

最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論/全国歯科衛生士教育協議会 監修, 高阪利美 ほか著: 医歯薬出版, 2011

参考書

- ・フッ化物応用の科学/日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会 編
- ・ずっとずっとじぶんの歯: 児童・生徒向/丸森英史, 竹内博朗 監修: 少年写真新聞社, 2007
- ・歯が溶ける!: エロージョンの診断から予防まで/小林賢一 著: 医歯薬出版, 2009
- ・口腔保健推進ハンドブック: 地域を支えるオーラルヘルスプロモーション/深井稔博, 池主憲夫, 川口陽子, 米山武義 編: 医歯薬出版, 2009

備考

田中健一(非常勤講師)、吉津智慧(非常勤講師)

連絡先(メールアドレス)

品田 佳世子: shinada.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

品田 佳世子: 月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1号館西8階品田室

時間割番号	022233					
科目名	口腔疾患予防基礎学Ⅱ	科目ID	DH-251602-L			
担当教員						
開講時期	2020年度前期	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する					
時間数:30時間 授業形態:講義・実習						
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室・臨床基礎実習室・相互実習室						
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。						
授業の到達目標 ・歯・口腔の健康と予防の定義について説明できる。 ・歯・口腔の健康と予防の方法と健康づくりについて説明できる。 ・セルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティケアの内容を説明できる。 ・歯・口腔の付着物、沈着物について説明できる。 ・歯周病の症状、種類、検査を説明できる。 ・歯周病の予防について説明できる。 ・歯質損耗(tooth wear)の症状、種類、予防、治療法を説明できる。 ・生体への配慮(器具の消毒・滅菌、感染予防、手指消毒法、偶発事故の防止)の基本を実践しながら、歯科予防処置を実施できる。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去・歯面清掃を実施できる。 ・歯科衛生過程における情報収集・アセスメントの実践方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/16	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	実習の進め方1	実習の目的と基本事項 実習使 用器材の準備	近藤 圭子, 安達 奈穂子
4-5	4/20	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	実習の基本1	実習室の使い方 インストルメン トの種類	近藤 圭子, 安達 奈穂子
6-7	4/23	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の基本2	位置と姿勢、インストルメント(診 査・検査器具、スケーラー)の把持 法と操作法	近藤 圭子, 安達 奈穂子
8-9	4/30	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床	インストルメンテーショ ン1	インストルメントの基本操作	近藤 圭子, 安達 奈穂子

			基礎実習室			
10-11	5/7	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン2	スケーラーについて スケーリン グの基本操作	近藤 圭子, 安達 奈穂子
12-13	5/14	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン3	前歯部のスケーリング1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
14-15	6/8	15:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン4	前歯部のスケーリング2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
16-17	6/11	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン5	前歯部のスケーリング3	近藤 圭子, 安達 奈穂子
18	6/18	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン6	臼歯部のスケーリング1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
19-20	6/19	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン7	臼歯部のスケーリング2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
21	6/25	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン8	臼歯部のスケーリング3	近藤 圭子, 安達 奈穂子
22	7/2	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン9	臼歯部のスケーリング4	近藤 圭子, 安達 奈穂子
23	7/9	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン10	ブローピング	近藤 圭子, 安達 奈穂子
24-25	7/17	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン11	スケーリング・ルートプレーニング 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
26	7/30	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン12	スケーリング・ルートプレーニング 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
27	10/8	13:00-13:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習	スキル評価	スケーリングの基本技術の評価2	近藤 圭子, 安達 奈穂子

			室				
28	10/15	13:00-13:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	シャープニング	シャープニングの基本	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
29-30	11/9	16:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯面研磨1	歯面研磨に使用する器材と取扱、 方法	近藤 圭子, 安達 奈穂子	

成績評価の方法

提出レポート、期末の記述試験で総合的評価を行う。出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義の 2/3 以上出席すること。

教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著、医歯薬出版、2020
:医歯薬出版

参考書

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション I ベーシックスキル／Jill S.Nield-Gehrig 著、吉田直美、小森朋栄 監訳、堀江明子、富田裕子 訳、医歯薬出版、2009

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション II アセスメントとインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳、医歯薬出版、2010

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション III デブライドメント／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳、医歯薬出版、2009

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション IV アドバンススキル／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳、医歯薬出版、2010

ウィルキンス歯科衛生士の臨床／E・M・ウィルキンス 著、遠藤圭子、中垣晴男、西真紀子、眞木吉信、松井恭平、山根瞳、若林則幸 監訳、医歯薬出版、2015

履修上の注意事項

実習の際は身だしなみを整え、白衣を着用すること。授業毎に使用する器材を確認し、準備すること。

時間割番号	022234					
科目名	口腔疾患予防基礎学実習	科目ID	DH-251603-E			
担当教員						
開講時期	2020年度通年	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する					
時間数:90時間 授業形態:講義・実習						
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室・臨床基礎実習室・相互実習室						
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態を把握するためのアセスメント方法を修得する。 ・口腔疾患予防に必要なアセスメント、スケーリング、歯面清掃に必要な技術を修得する。 						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・生体への配慮(器具の消毒・滅菌、感染予防、手指消毒法、偶発事故の防止)の基本を実践しながら、歯科予防処置を実施できる。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去・歯面清掃を実施できる。 ・歯科衛生過程における情報収集・アセスメントの実践方法を理解する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/23	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の基本2	位置と姿勢、インスツルメント(診 査・検査器具、スケーラー)の把持 法と操作法	近藤 圭子, 安達 奈穂子
2	4/30	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン1	インスツルメントの基本操作	近藤 圭子, 安達 奈穂子
3	5/7	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン2	スケーリングの基本操作	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
4	5/14	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン3	前歯部のスケーリング1	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
5	6/8	17:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン4	前歯部のスケーリング2	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
6	6/11	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン5	前歯部のスケーリング3	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
7-8	6/18	10:00-11:50	口腔保健	インスツルメンテーショ	臼歯部のスケーリング1	近藤 圭子,

			学科臨床 基礎実習 室	ン6		安達 奈穂子, 戸田 花奈子
9	6/19	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インストルメンテーシ ン7	臼歯部のスケーリング2	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
10-11	6/25	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インストルメンテーシ ン8	臼歯部のスケーリング3	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
12-13	7/2	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インストルメンテーシ ン9	臼歯部のスケーリング4	近藤 圭子, 戸田 花奈子
14-15	7/9	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インストルメンテーシ ン10	ブローピング	近藤 圭子, 戸田 花奈子
16-17	7/17	15:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インストルメンテーシ ン11	スケーリング・ルートプレーニング 1 基本操作 前歯部 SRP	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
18-19	7/30	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インストルメンテーシ ン12	スケーリング・ルートプレーニング 2 基本操作 臼歯部 SRP	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
20-24	10/5	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インストルメンテーシ ン13	スケーリングの基本技術の評価1 (シックル) スケーリング・ルート プレーニング3 臼歯部 SRP	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
25	10/8	14:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	スキル評価	スケーリングの基本技術の評価2 (グレーシーキュレット)	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
26	10/15	14:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	シャープニング	シックルスケーラー・グレーシー キュレットスケーラーのシャープ ニング	近藤 圭子, 安達 奈穂子
27-31	11/16	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯面研磨2 相互実 習について	歯面研磨の実際 マネキン実習 相互実習について 実習で使用 する器材の準備	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
32-34	11/26	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習	相互実習1	アセスメント1 医療面接、口腔内 診査、検査	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴 品田 佳世子

			室			
35-36	11/26	16:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 1	実習後の片付け、次回の準備、記録の整理	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴
37-39	11/30	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 2	アセスメント2 プラーク付着及び 歯石沈着状態の評価	品田 佳世子, 近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴
40-41	11/30	16:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 2	実習後の片付け、次回の準備、記録の整理	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴
42-43	12/3	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯面研磨 3	歯面研磨の実際	近藤 圭子, 安達 奈穂子
44-48	12/7	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 3	手用スケーラーでのスケーリング 上顎前歯	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
49-53	12/10	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 4	手用スケーラーでのスケーリング 下顎前歯	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴
54-58	1/7	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 5	手用スケーラーでのスケーリング 下顎臼歯	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴
59-61	1/12	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習	インストルメンテーション 14	超音波スケーラーでのスケーリング 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子

			室			
62-66	1/14	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 6	手用スケーラーでのスケーリング 上顎臼歯	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴
67-69	1/19	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 15	超音波スケーラーでのスケーリン グ 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
70-74	1/21	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 7	超音波スケーリング 上顎	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴
75-79	1/25	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 8	超音波スケーリング 下顎	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴
80-84	1/28	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 9	歯面研磨	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴
85-89	2/2	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 10	処置後の評価 医療面接、口腔内 観察、検査	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子
90	2/4	17:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	まとめ		近藤 圭子, 安達 奈穂子
91-94	2/9	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習	OSCE		戸田 花奈子, 河野 章江, 米倉 里枝, 富田 裕子, 田澤 千鶴, 近藤 圭子

			室			安達 奈穂子	
成績評価の方法							
提出レポート、期末の客観試験で総合的評価を行う。出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示							
・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格							
全講義の 3/4 以上出席すること。							
教科書							
歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 2 版／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著, :医歯薬出版, 2020 :医歯薬出版							
参考書							
目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション I ベーシックスキル／Jill S.Nield-Gehrig 著,吉田直美, 小森朋栄 監訳,堀江明子, 富田裕子 訳: 医歯薬出版, 2009							
目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション II アセスメントとインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳: 医歯薬出版, 2010							
目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション III デブライドメント／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳: 医歯薬出版, 2009							
目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション IV アドバンススキル／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳: 医歯薬出版, 2010							
ウィルキンス歯科衛生士の臨床／E・M・ウィルキンス 著,遠藤圭子, 中垣晴男, 西真紀子, 眞木吉信, 松井恭平, 山根瞳, 若林則幸 監訳: 医歯薬出版, 2015							
履修上の注意事項							
実習の際は身だしなみを整え、所定の白衣およびユニフォームを着用すること。 授業毎の使用器材を確認し、準備すること。							

時間割番号	022236						
科目名	健康教育の基礎 I	科目ID	DH-231701-L				
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健学科第4講義室							
授業の目的、概要等							
口腔健康教育の実践に必要な基本的知識・技術を修得する。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育の概念を説明する。 ・行動変容に関する理論を説明する。 ・歯口清掃の方法、用具の種類、用途を説明する。 ・地域保健活動の概要を説明する。 ・小学校や幼稚園における健康教育の準備を上級学年とともに体験する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	09:00-09:50	口腔保健学科第4講義室	歯科保健指導・健康教育の概念	歯科保健指導・健康教育の定義 発達段階について	吉田 直美	2~13
2	4/21	09:00-09:50	口腔保健学科第4講義室	健康教育の基礎 1	学童期の特徴と健康教育	吉田 直美	332~337
3	5/12	09:00-09:50	口腔保健学科第4講義室	健康教育の基礎 2	保健行動・行動変容に関わる理論	吉田 直美	86~97
4	5/19	09:00-09:50	口腔保健学科第4講義室	健康教育の基礎 3	地域保健活動の概要	吉田 直美	397~406
5-7	5/26	09:00-11:50	口腔保健学科臨床基礎実習室	健康教育の基礎 4	口腔清掃法と口腔清掃用具について	吉田 直美	264~288
8-9	6/1	15:00-16:50	口腔保健学科第3講義室	健康教育の基礎 5	健康教育実習に向けた打ち合わせと準備(3年合同)	吉田 直美 鈴木 瞳	
10-12	6/9	09:00-11:50	口腔保健学科臨床基礎実習室	健康教育の基礎 6	歯ブラシと歯磨剤および歯垢染色についてL	吉田 直美	Lion 白衣着用・身支度
13	6/17	09:00-09:50	口腔保健学科第3講義室	健康教育の基礎 7	地域保健活動(幼稚園)の準備体験(3年生と合同)	吉田 直美 鈴木 瞳	
14-15	7/28	09:00-10:50	口腔保健学科第4講義室	健康教育の基礎 8	まとめ	吉田 直美	

成績評価の方法 課題レポート、小テスト、期末の試験で総括的評価を行う。受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。
準備学習等についての具体的な指示 事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 2/3 以上の出席
教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著、医歯薬出版、2011
備考 演習、実習

時間割番号	022237						
科目名	健康教育の基礎Ⅱ	科目ID	DH-231702-L				
担当教員							
開講時期	2020年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健学科 第4講義室							
授業の目的、概要等							
口腔健康教育の実践に必要な知識・技術・態度を修得し、実践力を培う。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・生活と健康行動の関連を説明する。 ・対象をアセスメントするために必要な基本的知識を説明する。 ・小学校における健康教育の実践の流れを説明する。 ・ライフステージ別の口腔健康課題への解決方法を説明する。 ・口腔内写真を撮影する。 ・口腔内写真から読み取れる情報を述べる。 ・日本語並びに英語の科学的根拠となる文献を検索する。 ・電動歯ブラシの仕組みを説明し、適切に使用する。 ・効果的に健康教育をおこなうためのポイントを説明する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/4	09:00-11:50	その他 (口腔保健学科口腔保健衛生学専攻)	健康教育の実践1	T 小学校健康教育実習	吉田 直美	
4-5	6/17	10:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	健康教育の実践2	幼稚園健康教育の準備体験(3年生と合同)	吉田 直美	
6-7	10/1	10:00-11:50	口腔保健学科第4講義室	健康教育の基礎演習1	歯磨剤について	吉田 直美	歯磨工業会
8-10	10/13	13:00-15:50	口腔保健学科臨床基礎実習室	健康教育の基礎演習2	ソニックケア電動歯ブラシ実習	吉田 直美	
11-12	10/15	09:00-10:50	口腔保健学科第4講義室	健康教育の基礎演習3	ライフステージ別健康課題の進め方 今後の予定	吉田 直美	
13-14	10/22	09:00-10:50	情報検索室	文献検索(情報検索室)	医中誌	吉田 直美	渋川先生
15-16	10/29	09:00-10:50	情報検索室	文献検索(情報検索室)	パブメド	吉田 直美	渋川先生
17	10/29	11:00-11:50	情報検索室	ライフステージ別健康課題演習1	ライフステージ別歯科的課題の抽出と対応策 胎生期～老年期	吉田 直美	
18-20	11/5	09:00-11:50	口腔保健	ライフステージ別健康課題	ライフステージ別歯科的課題の抽出	吉田 直美	

			学科第4 講義室	題演習 2	出と対応策 胎生期～老年期		
21-23	11/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ別健康課 題演習 3	発表	吉田 直美	
24-26	11/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ別健康課 題演習 4	発表	吉田 直美	
27-30	12/1	09:00-13:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	健康教育の基礎演習 4	口腔内写真撮影 写真の整理	吉田 直美 鈴木 瞳	
31-33	12/3	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	健康教育の基礎演習 5	口腔内写真撮影(相互)	吉田 直美 鈴木 瞳	
34-36	12/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の基礎演習 6	幼児期、学童期における効果的な 健康教育のために	吉田 直美 武井 典子	
37-38	12/8	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	健康教育の基礎演習 7	CURAPROX 電動ブラシ実習(仮)	鈴木 瞳	ヨシダ
39-40	12/18	13:00-14:50	特別講堂	卒業研究発表会	卒業研究発表会	吉田 直美 鈴木 瞳	
41-42	1/20	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の基礎演習 8	健康教育の計画(過去のビデオと 媒体の確認 グループ・役割決 め)	吉田 直美 鈴木 瞳	
43	1/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の基礎演習 9	健康教育の時に抑えるべきポイント (仮) 貨泉氏	吉田 直美 鈴木 瞳	
44-45	1/27	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の基礎演習 10	健康教育の計画(テーマ/調査)	鈴木 瞳	

成績評価の方法

・課題レポート、期末の試験で総合的評価を行う。受講態度、出席状況、TOFLE の結果等を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

4 分の 3 以上の出席

教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著、医歯薬出版、2011

備考

時間割番号	022239			科目ID	DH-231800-L		
科目名	食生活教育			科目ID	DH-231800-L		
担当教員	品田 佳世子, 豊島 瑞枝[SHINADA KAYOKO, TOYOSHIMA MIZUE]						
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:食生活教育 時間数:30 時間(3 時間は 2 年の衛生・工学合同のPBL) 授業形態:講義・演習・実習							
主な講義場所							
口腔保健学科 第 4 講義室							
授業の目的、概要等							
栄養と代謝の知識を基に、健康を維持するための栄養と食生活について理解し、食生活教育に必要な知識と技能を修得する。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養や食生活に関する国の取り組みについて理解し説明できる。 ・日本人の食事摂取基準について理解し説明できる。 ・健康づくりのための食育の必要性を理解し説明できる。 ・日本人の食生活の現状を理解できる。 ・ライフステージに適した食生活について理解し説明できる。 ・保健機能食品について理解し説明できる。 ・食生活指導の意義を理解し説明できる。 ・食生活と口腔保健の関連を理解し説明できる。 ・食品の形態と食べやすさの関係について理解し説明できる。 ・疾病と食生活指導の必要性を理解し説明できる。 ・個人の栄養・食事バランスを分析できる。 ・自らの食生活の現状を知り問題および課題を発見し、食生活教育方法を検討できる。 ・事例検討を通し、口腔健康教育のひとつとして食生活教育を企画立案する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/11	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康日本21(第2次):食 生活・栄養、国民の健康 と栄養状況:国民健康・ 栄養調査	健康日本21(第2次):食生活・栄 養、国民の健康と栄養状況:国民 健康・栄養調査	品田 佳世子	遠隔授業 (Webclass にパワ ーポイント動画と 資料をアップしま すので視聴のこ と)
3-4	5/18	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	栄養の基礎:基礎代謝、 食事摂取基準、食事バ ランスガイド、分類	栄養の基礎:基礎代謝、食事摂取 基準、食事バランスガイド、分類	品田 佳世子	遠隔授業 (Webclass にパワ ーポイント動画と 資料をアップしま すので視聴のこ と)小テスト1を行 っていただき。 い。
5-6	5/25	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	日本人の食生活指針、 食育、	日本人の食生活指針、食育、	品田 佳世子	遠隔授業 (Webclass にパワ ーポイント動画と 資料をアップしま すので視聴のこ

								と)
7-9	5/28	13:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	ライフステージ別の食生活と栄養、機能性食品、トクホ	ライフステージ別の食生活と栄養、機能性食品、トクホ	品田 佳世子	遠隔授業 (Webclass にパワーポイント動画と資料をアップしますので視聴のこと)小テスト2を行ってみてください。	
10-12	7/20	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	4月、5月中の授業の振り返りと復習問題(演習)	4月、5月中の授業の振り返りと復習問題(演習)	品田 佳世子	演習問題と解答	
13-15	7/27	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ別の食生活と栄養: 幼児期、学童期、成人期	ライフステージ別の食生活と栄養: 幼児期、学童期、成人期 幼児および学童のおやつ、間食例を考える(演習)	品田 佳世子	幼児および学童のおやつ、間食例を考える(演習)	
16-18	11/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	病態栄養、歯学部附属病院の栄養管理	病態栄養、歯学部附属病院の栄養管理	品田 佳世子、 豊島 瑞枝	歯学部附属病院で使用されている栄養補助食品の試食	
19-21	12/14	14:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔に関わる甘味料、飲料、	口腔に関わる甘味料、飲料、	品田 佳世子	実習: 飲料の糖度、pH測定	
22-24	12/21	14:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	特定保健用食品(トクホ)、食生活調査に用いる質問紙、食品成分	特定保健用食品(トクホ)、食生活調査に用いる質問紙、食品成分	品田 佳世子	実習: 食生活調査に用いる質問紙回答、食品成分計算	
25-27	1/8	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔保健工学専攻4年生の卒研発表聴講、伝承食の発表	口腔保健工学専攻4年生の卒研発表聴講、伝承食の発表	品田 佳世子	伝承食の発表、質疑応答	
28-30	1/18	14:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	食生活指導: 相互演習、まとめ	食生活指導: 相互演習、まとめ	品田 佳世子	演習	

成績評価の方法

演習の課題レポートおよび前期・後期の期末客観試験・記述試験で総合的評価を行う。

出席状況、グループ討論、発表の態度等を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

授業の2/3以上の出席を要する。

教科書

人体の構造と機能2 栄養と代謝/高橋信博, 江指隆年 ほか著: 医歯薬出版, 2016

保健生態学/可児徳子, 松井恭平, 眞木吉信 編/可児, 徳子, 1935-, 松井, 恭平, 1947-, 眞木, 吉信, 1954-, 全国歯科衛生士教育協議会: 医歯薬出版, 2015

参考書

糖尿病食事療法のための食品交換表/日本糖尿病学会 編・著: 日本糖尿病協会, 2013

腎臓病食品交換表: 治療食の基準/黒川清 監修, 中尾俊之 編集代表: 医歯薬出版, 2016

日本食品成分表 = STANDARD TABLES OF FOOD COMPOSITION IN JAPAN: 文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会報告/医歯薬出版 編: 医歯薬出版, 2016

備考

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
後期の午前に歯学部附属病院管理栄養士(豊島瑞穂)講義と演習あり。

連絡先(メールアドレス)

品田 佳世子:shinada.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

品田 佳世子:月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1号館西8階品田室

時間割番号	022240					
科目名	生体材料学	科目ID	DH-231900-L			
担当教員						
開講時期	2020年度前期	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
科目名:生体材料学 時間数:15時間 授業形態:講義, 討論						
主な講義場所 口腔保健学科 第4講義室						
授業の目的、概要等 顎口腔歯科領域の治療に使用される歯科生体材料の種類と使用方法について学習する。						
授業の到達目標 1. 歯科生体材料の一般的性質を理解する。 2. 歯科生体材料の安全性について理解する。 3. 印象材の種類と使用方法について理解する。 4. 石膏の種類と使用方法を理解する。 5. セメント(合着用セメント、成形修復用セメント)の種類と使用方法について説明する。6. 成形修復材料の種類と使用方法を説明する。 7. 歯科補綴装置(義歯、金属冠、セラミックス、インプラントを含む)に使用する材料の種類とその製法を概説する。 8. 矯正装置に用いる材料を理解する 9. 歯ブラシの構造を理解する						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/7	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科材料の基礎知識	物質の構造, 金属材料・無機材料・有機材料・複合材料の特徴, 単位系, 計測実習機械的性質, 応力ひずみ曲線と特性値, 模型用材料,	高橋 英和 岩崎 直彦
3-4	4/14	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科材料の基礎知識・ 模型用材料	機械的性質, 応力ひずみ曲線と特性値, 衝撃強さ, 硬さ, 疲労, 粘弾性, 熱的性質, 色, 化学的性質, 生物学的安全性, 薬機法, 石膏の種類, 硬化反応, 理論的混水比, 硬化時間の調整法	高橋 英和
5-6	4/21	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	印象材	印象に用いる器材, 印象材の分類, 寒天印象材, アルジネート印象材, ポリサルファイドゴム印象材, シリコンゴム印象材, ポリエーテルゴム印象材, 非弾性印象材, 印象材の粘弾性特性, 印象材と石膏の相互作用	高橋 英和
7-9	4/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科材料と成形法	歯科用合金の特徴と組成 鑄造と用いる材料, 加熱重合用レジンの粉末と液の組成, 加熱重合用レジンの重合時の寸法変化, 歯科用陶材の分類と組成, 金属陶材 焼付冠の特徴, ジルコニアの特	高橋 英和

					微, 2 系酸リチウムの特徴	
10-11	5/12	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	合着用材料・接着用材料	ポリカルボキシレートセメント 従 来型ガラスアイオノマーセメント レジン添加型ガラスアイオノマー セメント リン酸亜鉛セメント MMA系レジンセメント コンポジ ット系レジンセメント 仮封用, 仮 着用セメント	高橋 英和
12-13	5/19	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形修復材料	コンポジットレジン, グラスアイオ ノマーセメント, 歯科用アマルガム	高橋 英和
14-15	6/2	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	その他の歯科で用いら れる材料 歯の理工学 的性質	口腔清掃用具 予防充填材 矯 正治療用材料 インプラント用材 料 歯の理工学的性質	高橋 英和
授業方法						
講義, 討論						
成績評価の方法						
出席状況(10点), 授業態度(10点), および発表の内容(10点), 総括試験(70点)から総合的評価を行う。総括試験で得点が6割未満の場合は再試験を行う。						
準備学習等についての具体的な指示						
Webclass に講義資料をアップするので, 疑問点があれば質問すること。						
試験の受験資格						
3分の2以上の出席						
教科書						
歯科材料/全国歯科衛生士教育協議会 監修,末瀬一彦 ほか 著,末瀬 一彦, 1951-,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2017						
参考書						
スタンダード歯科理工学 = STANDARD DENTAL MATERIALS SCIENCE : 生体材料と歯科材料/中畠裕 宮崎隆, 米山隆之 編集幹事,中 畠 裕,宮崎 隆, 1953-,米山 隆之,:学建書院, 2019						
・小倉英夫ほか編「コア歯科理工学」医歯薬出版 2008年						
・必要に応じてプリントを配布する。						
備考						
事前に資料の配付, e-learning システム上へのアップロード等があった場合は, 各自予習して授業に臨むこと。また, 学習する内容につい て各自で参考文献を読み, 理解を深めること。						

時間割番号	022241																																																																														
科目名	臨床検査			科目ID	DH-252000-L																																																																										
担当教員																																																																															
開講時期	2020年度後期	対象年次	2	単位数	1																																																																										
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																														
科目名:臨床検査 時間数:15時間 授業形態:講義																																																																															
主な講義場所 口腔保健学科 第4講義室																																																																															
授業の目的、概要等 口腔保健の実践に必要な臨床検査についての理論と実際を理解し、個々の対象者に応用できる問題解決能力を身につける。																																																																															
授業の到達目標 SBOs 1. 臨床検査の目的および意義を理解する。 2. 血液検査について理解する。 3. 口腔領域の検査について理解する。 4. 口腔病理検査について理解する。 5. 口腔領域のエックス線写真を読影できる。 6. 歯科金属アレルギー検査を理解する。																																																																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>12/9</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>臨床検査1</td> <td>臨床検査概論 血液検査1</td> <td>樺沢 勇司</td> <td>到達目標:1 講義中は、討論、演習等を実施する。</td> </tr> <tr> <td>3-5</td> <td>12/15</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>画像検査</td> <td>歯と歯周組織のX線診断 X線写真の読影法等</td> <td>中村 伸</td> <td>到達目標:5 講義中は、討論、演習等を実施する。</td> </tr> <tr> <td>6-7</td> <td>12/16</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>臨床検査2</td> <td>血液検査2 肝機能検査 腎機能検査</td> <td>樺沢 勇司</td> <td>到達目標:2 講義中は、討論、演習等を実施する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/22</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>臨床検査3</td> <td>血液検査3 感染症検査</td> <td>樺沢 勇司</td> <td>到達目標:2 講義中は、討論、演習等を実施する。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/22</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>咀嚼機能検査</td> <td>咀嚼機能検査について</td> <td>瀧 洋平</td> <td>到達目標:3 講義中は、討論、演習等を実施する。</td> </tr> <tr> <td>10-11</td> <td>1/6</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>臨床検査4</td> <td>病理検査</td> <td>栢森 高</td> <td>到達目標:4 講義中は、討論、演習等を実施する。</td> </tr> <tr> <td>12-13</td> <td>1/13</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科用金属アレルギー検査</td> <td>歯科用金属アレルギー検査について</td> <td>三浦 宏之</td> <td>到達目標:6 講義中は、討論、演習等を実施する。</td> </tr> <tr> <td>14-15</td> <td>1/20</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>まとめ</td> <td>臨床検査のまとめと演習</td> <td>樺沢 勇司</td> <td>到達目標:1-6 講義中は、討論、演習等を実施する。</td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-2	12/9	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査1	臨床検査概論 血液検査1	樺沢 勇司	到達目標:1 講義中は、討論、演習等を実施する。	3-5	12/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	画像検査	歯と歯周組織のX線診断 X線写真の読影法等	中村 伸	到達目標:5 講義中は、討論、演習等を実施する。	6-7	12/16	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査2	血液検査2 肝機能検査 腎機能検査	樺沢 勇司	到達目標:2 講義中は、討論、演習等を実施する。	8	12/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査3	血液検査3 感染症検査	樺沢 勇司	到達目標:2 講義中は、討論、演習等を実施する。	9	12/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	咀嚼機能検査	咀嚼機能検査について	瀧 洋平	到達目標:3 講義中は、討論、演習等を実施する。	10-11	1/6	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査4	病理検査	栢森 高	到達目標:4 講義中は、討論、演習等を実施する。	12-13	1/13	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科用金属アレルギー検査	歯科用金属アレルギー検査について	三浦 宏之	到達目標:6 講義中は、討論、演習等を実施する。	14-15	1/20	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	臨床検査のまとめと演習	樺沢 勇司	到達目標:1-6 講義中は、討論、演習等を実施する。
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																																								
1-2	12/9	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査1	臨床検査概論 血液検査1	樺沢 勇司	到達目標:1 講義中は、討論、演習等を実施する。																																																																								
3-5	12/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	画像検査	歯と歯周組織のX線診断 X線写真の読影法等	中村 伸	到達目標:5 講義中は、討論、演習等を実施する。																																																																								
6-7	12/16	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査2	血液検査2 肝機能検査 腎機能検査	樺沢 勇司	到達目標:2 講義中は、討論、演習等を実施する。																																																																								
8	12/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査3	血液検査3 感染症検査	樺沢 勇司	到達目標:2 講義中は、討論、演習等を実施する。																																																																								
9	12/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	咀嚼機能検査	咀嚼機能検査について	瀧 洋平	到達目標:3 講義中は、討論、演習等を実施する。																																																																								
10-11	1/6	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査4	病理検査	栢森 高	到達目標:4 講義中は、討論、演習等を実施する。																																																																								
12-13	1/13	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科用金属アレルギー検査	歯科用金属アレルギー検査について	三浦 宏之	到達目標:6 講義中は、討論、演習等を実施する。																																																																								
14-15	1/20	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	臨床検査のまとめと演習	樺沢 勇司	到達目標:1-6 講義中は、討論、演習等を実施する。																																																																								
成績評価の方法																																																																															

<p>講義、グループ討論、発表の態度等を総括的評価に加味する。 定期試験を実施する。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>
<p>試験の受験資格 受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。</p>
<p>教科書 臨床検査／井上孝ほか著,全国歯科衛生士教育協議会,井上, 孝,:医歯薬出版, 2012</p>
<p>参考書 :医歯薬出版</p>
<p>備考 事前に資料の配布・アップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。</p>

時間割番号	022243																																																																		
科目名	歯科診療補助論 I	科目ID	DH-252101-Z																																																																
担当教員																																																																			
開講時期	2020年度前期	対象年次	2																																																																
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																		
科目名: 歯科診療補助論 I 時間数: 60 時間 授業形態: 演習・実習・講義																																																																			
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室・臨床基礎実習室・相互実習室																																																																			
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。 ・ 歯科診療の補助における医療安全、感染予防の概要および留意点を理解する。 ・ 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、基本的な歯科衛生士に必要な技術を身につける。 ・ 歯科材料を実際に使用し、その性質や特徴を知り、取り扱い方を学ぶ。 																																																																			
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全、スタンダードプリコーションの基本的概念を説明する。 ・ 歯科診療補助の基本的な枠組みと法的定義について説明する。 ・ 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明する。 ・ 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的技術を修得する。 ・ 石膏の所要性質および操作時の注意点を説明する。 ・ 印象材の種類とその特徴を説明する。 ・ 合着材やコンポジットレジンの特徴を説明する。 																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>4/7</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科診療補助の概要</td> <td>三大業務について 歯科診療補助の範囲、法的な定義</td> <td>伊藤 奏</td> <td>Zoomによる遠隔授業</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>4/8</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科診療における医療安全</td> <td>医療安全の基本的概念、BLS、医療法 医療安全に関わる用語の整理</td> <td>伊藤 奏</td> <td>Zoomによる遠隔授業 グループワーク</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>4/14</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>感染予防 I</td> <td>感染予防の重要性、スタンダードプリコーションの概念、手指衛生</td> <td>伊藤 奏</td> <td>Zoomによる遠隔授業</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>4/21</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>滅菌と消毒、医療廃棄物の取扱い</td> <td>滅菌、消毒、洗浄の概念 歯科用器材の滅菌と管理 医療廃棄物の取扱い</td> <td>伊藤 奏</td> <td>Zoomによる遠隔授業</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>4/22</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科診療室の基礎知識</td> <td>歯科診療室の環境、設備と構造</td> <td>伊藤 奏</td> <td>Zoomによる遠隔授業 グループワーク</td> </tr> <tr> <td>11-13</td> <td>5/13</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科診療における患者対応</td> <td>歯科診療の流れと患者の接遇 医療者としての心構え</td> <td>伊藤 奏</td> <td>Zoomによる遠隔授業 演習 グループワーク</td> </tr> <tr> <td>14-16</td> <td>5/20</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室 保存矯正 実習室</td> <td>教材演習</td> <td>シミュレーション教材の実施</td> <td>伊藤 奏</td> <td>演習</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-2	4/7	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療補助の概要	三大業務について 歯科診療補助の範囲、法的な定義	伊藤 奏	Zoomによる遠隔授業	3-4	4/8	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療における医療安全	医療安全の基本的概念、BLS、医療法 医療安全に関わる用語の整理	伊藤 奏	Zoomによる遠隔授業 グループワーク	5-6	4/14	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染予防 I	感染予防の重要性、スタンダードプリコーションの概念、手指衛生	伊藤 奏	Zoomによる遠隔授業	7-8	4/21	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	滅菌と消毒、医療廃棄物の取扱い	滅菌、消毒、洗浄の概念 歯科用器材の滅菌と管理 医療廃棄物の取扱い	伊藤 奏	Zoomによる遠隔授業	9-10	4/22	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療室の基礎知識	歯科診療室の環境、設備と構造	伊藤 奏	Zoomによる遠隔授業 グループワーク	11-13	5/13	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療における患者対応	歯科診療の流れと患者の接遇 医療者としての心構え	伊藤 奏	Zoomによる遠隔授業 演習 グループワーク	14-16	5/20	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室 保存矯正 実習室	教材演習	シミュレーション教材の実施	伊藤 奏	演習
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																												
1-2	4/7	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療補助の概要	三大業務について 歯科診療補助の範囲、法的な定義	伊藤 奏	Zoomによる遠隔授業																																																												
3-4	4/8	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療における医療安全	医療安全の基本的概念、BLS、医療法 医療安全に関わる用語の整理	伊藤 奏	Zoomによる遠隔授業 グループワーク																																																												
5-6	4/14	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染予防 I	感染予防の重要性、スタンダードプリコーションの概念、手指衛生	伊藤 奏	Zoomによる遠隔授業																																																												
7-8	4/21	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	滅菌と消毒、医療廃棄物の取扱い	滅菌、消毒、洗浄の概念 歯科用器材の滅菌と管理 医療廃棄物の取扱い	伊藤 奏	Zoomによる遠隔授業																																																												
9-10	4/22	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療室の基礎知識	歯科診療室の環境、設備と構造	伊藤 奏	Zoomによる遠隔授業 グループワーク																																																												
11-13	5/13	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療における患者対応	歯科診療の流れと患者の接遇 医療者としての心構え	伊藤 奏	Zoomによる遠隔授業 演習 グループワーク																																																												
14-16	5/20	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室 保存矯正 実習室	教材演習	シミュレーション教材の実施	伊藤 奏	演習																																																												

17-20	6/3	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	フォーハンドシステム	講義と実習(マネキン) トランス ファーゾーン、デンジャラスゾーン	伊藤 奏、日 高 玲奈	実習
21-24	6/10	13:00-16:50	口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健 学科第4 講義室	医療面接	主訴、現病歴、既往歴について 医療コミュニケーション(良い例、 悪い例)	伊藤 奏	演習 グループ ワーク
25-28	6/12	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料学実習①:石 膏	石膏の練和方法、硬化時間、硬化 膨張、硬化時の発熱	高橋 英和 伊藤 奏	実習
29	6/17	13:00-13:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	バキューム、ライティン グ、3way シリンジの操 作	バキューム、ライティング、3way シリンジの基本操作	伊藤 奏	
30-33	6/19	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料実習②:石膏	練和溶液が石膏の効果に及ぼす 影響	高橋 英和 伊藤 奏	実習
34-35	6/24	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	感染予防Ⅱ	手指衛生、グローブ、エプロン、マ スクの装着方法	伊藤 奏、日 高 玲奈	実習
36-39	6/26	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料実習③:印象	ハイドロコロイド印象材と模型の 再現性	高橋 英和 伊藤 奏	実習
40-42	6/29	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科材料の取り扱いと 管理について	石膏、印象材、薬品等の管理と取 り扱い	伊藤 奏	
43-44	7/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	診療室の環境整備①	下拭き、中拭き、清拭の違い	伊藤 奏	
45-46	7/2	13:00-14:50	口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健 学科第4 講義室	診療室の環境整備②	下拭き、中拭き、清拭について 3 年生の実習見学	伊藤 奏	グループワーク
47-50	7/3	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料実習④:印象	ゴム質印象材と模型の再現性	高橋 英和 伊藤 奏	実習

51-54	7/8	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	衛生材料の作製	綿球、ロールワッテ、小折ガーゼ、アルコールワッテ等	伊藤 奏	実習
55-57	7/10	13:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料実習⑤:成形 修復材料と合着材の種 類と特徴	成形修復材料と合着材の種類と特徴	高橋 英和 伊藤 奏	実習
58-60	7/17	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	スキル評価(OSCE 方 式)	トレーセッティングから患者の導 入、位置と姿勢	伊藤 奏、日 高 玲奈	実習

成績評価の方法

- ・提出課題、試験の結果により総合的評価を行う。
- ・出席状況および平常学習態度等を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。
- ・Webclass に実験結果をアップするので、レポートの作成に用いること。
- ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
- ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席が必要

教科書

歯科診療補助論(第 2 版) / 合場千佳子 ほか 著, 合場, 千佳子, 全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版, 2017

デンタルスタッフのクリニカルマナー : 歯科医院における受付・患者対応と事務 / 合場千佳子, 品田和美, 水木さとみ, 山根瞳 編, 合場, 千佳子, 品田, 和美, 水木, さとみ, 医歯薬出版, 2018

歯科材料 / 全国歯科衛生士教育協議会 監修, 末瀬一彦 ほか 著, 末瀬, 一彦, 1951-, 全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版, 2017

履修上の注意事項

・教科書「歯科診療補助論 第 2 版」を必携とする。 ・講義場所が実習室となっている場合は、必ず白衣を着用し、実習の身だしなみを整えた状態で、講義開始時間までに実習室に集合すること。 ・授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。 ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。 ※Zoom での同期型授業に関しては、原則授業に参加した場合出席と認める。ただし、ネット環境等の問題で参加を試みたが参加できない場合、必ず授業時間内に伊藤 (ito.ocsh@tmd.ac.jp) に連絡すること。連絡があった場合のみ、事後の動画視聴および課題提出によって出席と認める。

時間割番号	022244																																										
科目名	歯科診療補助論Ⅱ	科目ID	DH-252102-Z																																								
担当教員																																											
開講時期	2020年度後期	対象年次	2																																								
実務経験のある教員による授業	該当する																																										
科目名: 歯科診療補助論Ⅰ 時間数: 60時間 授業形態: 演習・実習・講義																																											
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室・臨床基礎実習室・相互実習室																																											
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。 ・ 歯科診療の補助における医療安全、感染予防の概要および留意点を理解する。 ・ 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、基本的な歯科衛生士に必要な技術を身につける。 ・ 歯科材料を実際に使用し、その性質や特徴を知り、取り扱い方を学ぶ。 																																											
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全、スタンダードプリコーションの基本的概念を説明する。 ・ 歯科診療補助の基本的な枠組みと法的定義について説明する。 ・ 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明する。 ・ 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的技術を修得する。 ・ 石膏の所要性質および操作時の注意点を説明する。 ・ 印象材の種類とその特徴を説明する。 ・ 合着材やコンポジットレジンの特徴を説明する。 																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>10/1</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>医療安全管理</td> <td>危険予知トレーニング、医療安全管理 相互実習マニュアル配布</td> <td>伊藤 奏</td> <td>演習 グループワーク</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>10/6</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室</td> <td>滅菌と消毒の実施①</td> <td>各種機器材の準備実習(リネン包み、滅菌パック)</td> <td>伊藤 奏</td> <td>実習</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>10/8</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室</td> <td>滅菌と消毒の実際②</td> <td>診療室の管理(下拭き、中拭き、清拭)</td> <td>伊藤 奏</td> <td>実習</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>10/8</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習</td> <td>滅菌と消毒の実際③</td> <td>相互実習シミュレーション 診療室の管理(トラップ清掃等)</td> <td>伊藤 奏</td> <td>実習</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-3	10/1	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療安全管理	危険予知トレーニング、医療安全管理 相互実習マニュアル配布	伊藤 奏	演習 グループワーク	4-6	10/6	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌と消毒の実施①	各種機器材の準備実習(リネン包み、滅菌パック)	伊藤 奏	実習	7-9	10/8	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌と消毒の実際②	診療室の管理(下拭き、中拭き、清拭)	伊藤 奏	実習	10-12	10/8	15:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習	滅菌と消毒の実際③	相互実習シミュレーション 診療室の管理(トラップ清掃等)	伊藤 奏	実習
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																				
1-3	10/1	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療安全管理	危険予知トレーニング、医療安全管理 相互実習マニュアル配布	伊藤 奏	演習 グループワーク																																				
4-6	10/6	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌と消毒の実施①	各種機器材の準備実習(リネン包み、滅菌パック)	伊藤 奏	実習																																				
7-9	10/8	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌と消毒の実際②	診療室の管理(下拭き、中拭き、清拭)	伊藤 奏	実習																																				
10-12	10/8	15:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習	滅菌と消毒の実際③	相互実習シミュレーション 診療室の管理(トラップ清掃等)	伊藤 奏	実習																																				

			室				
13-15	10/15	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科疾患と全身疾患	課題演習および発表	伊藤 奏	演習、グループ ワーク、課題発表 ノートパソコン持 参
16-19	10/19	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	概形印象採得(マネキ ン)	アルジネート印象材と石膏の取り 扱い	伊藤 奏	実習
20-22	10/20	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科用セメントの取り扱 い(実習)	グラスアイオノマーセメント(フジ IX)	伊藤 奏	実習
23-25	10/27	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	診療補助各論(保存修 復)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	実習
26	11/6	11:00-11:50	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	留学報告会	2, 3, 4 年生合同	伊藤 奏	場所は適宜指示
27-29	11/9	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	診療補助各論(歯内療 法)	診療補助の概要、器材を扱う実習	樺沢 勇司, 伊藤 奏	実習
30-32	11/10	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	バイタルサイン	バイタルサイン関連実習	樺沢 勇司, 伊藤 奏	実習 秒付き砂 時計持参(あれ ば)
33-36	12/15	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	診療補助各論(歯周治 療)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	実習
37-39	12/22	11:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	器材試験 1	保存、歯内、歯周	伊藤 奏	実習

40-42	1/13	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	診療補助各論(歯科補綴 1)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	実習
43-45	1/21	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	診療補助各論(歯科補綴 2・口腔外科 1)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	実習
46-48	1/26	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	診療補助各論(口腔外科 2)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	実習
49-51	1/28	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	スキルチェック	各自練習	伊藤 奏	実習
52-56	2/3	13:00-17:50	その他	見学実習	障害者口腔保健センターの見学	伊藤 奏	実習 学外施設 (飯田橋) 現地 集合現地解散 スーツ着用
57-60	2/4	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	器材試験 2(歯科補綴・ 口腔外科)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	実習

成績評価の方法

- ・提出課題、試験の結果により総合的評価を行う。
- ・出席状況および平常学習態度等を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。
- ・Webclass に実験結果をアップするので、レポートの作成に用いること。
- ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
- ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席が必要

教科書

歯科診療補助論(第 2 版)／合場千佳子 (ほか) 著、:医歯薬出版、2017

デンタルスタッフのクリニカルマナー：歯科医院における受付・患者対応と事務／合場千佳子、品田和美、水木さとみ、山根瞳 編、合場千佳子、品田、和美、水木、さとみ、:医歯薬出版、2018

歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック／宮田孝義、三浦英司 著、宮田、孝義、1946-、三浦、英司、1957-、:学建書院、2018

歯科衛生士講座 歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助／【編集委員】松村英雄 大久保力廣 二川浩樹 吉田直美:永末書店、2020

履修上の注意事項

- ・教科書「歯科診療補助論 第 2 版」を必携とする。 ・講義場所が実習室となっている場合は、必ず白衣を着用し、実習の身だしなみを整えた状態で、講義開始時間までに実習室に集合すること。 ・授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。 ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022246						
科目名	臨床口腔保健衛生実習 I	科目ID	DH-252201-E				
担当教員							
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 臨床口腔保健衛生実習 I 時間数: 45 時間 授業形態: 演習・実習・講義							
主な講義場所 口腔保健学科第 4 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室・歯学科補綴実習室							
授業の目的、概要等 ・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な技術を身につける。 ・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。							
授業の到達目標 ・器材の種類・特性・用途を理解する。 ・診療に必要な器械・材料・薬品の適切な準備と取り扱いを行う。 ・器材の特性にあわせ、滅菌・消毒を行う。 ・器材の管理方法を説明する。 ・患者を安全に誘導する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/17	14:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	バキューム、ライティ ング、3way シリンジの操 作	マネキン実習	伊藤 奏、日 高 玲奈	実習
4-6	7/3	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌物の取り扱い	リネン、滅菌パックの準備と取扱 い カスト、ピンセット、鉗子の取 り扱い	伊藤 奏	実習
7-9	7/10	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	診療室の管理	ユニットの整備(トラップ、バキュー ーム装置の管理)	伊藤 奏	実習
10-11	7/20	16:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科用セメントの取り扱 い	各セメントの特徴、違い、練和方法 等	伊藤 奏	実習
12-16	10/26	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔	共同動作(相互実習 1)	姿勢と位置の確認、ライティング、 バキューム、3way シリンジの操作	伊藤 奏、近 藤 圭子、日 高 玲奈、鈴 木 瞳	実習

			保健学科 相互実習 室				
17-20	10/29	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	概形印象採得(相互実 習・下顎)	アルジネート印象材と石膏の取り 扱い	伊藤 奏 安 達 奈穂子, 鈴木 瞳	実習
21-24	11/5	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	概形印象採得(相互実 習・上顎)	アルジネート印象材と石膏の取り 扱い	伊藤 奏 日 高 玲奈 安 達 奈穂子	実習
25-28	11/12	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	共同動作(相互実習2)	フォーハンドテクニックの実際、器 具の受け渡し	伊藤 奏 安 達 奈穂子, 鈴木 瞳	実習
29-31	11/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室 その他 (医学科)	頭頸部、顎関節、軟組織 の評価	シミュレーターを用いた実習	樺沢 勇司, 伊藤 奏	実習 M&Dタワ ーB1 スキルスラ ボ1
32-36	11/20	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室 補綴実習 室 口腔 保健学科 臨床基礎 実習室	平行模型の作製1	平行模型の作製実習	上條 真吾, 伊藤 奏	持ち物:上下顎模 型、ワックスパイ ト、ゴーグル、マ スク、筆記用具
37-40	11/25	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室 その他 (歯学科)	課題演習	スキルスラボの利用	伊藤 奏	実習
41-45	12/4	13:00-17:50	口腔保健 学科第4	平行模型の作製2	平行模型の作製実習	上條 真吾, 伊藤 奏	持ち物:上下顎模 型、ワックスパイ

			講義室 補綴実習 室 口腔 保健学科 臨床基礎 実習室				ト、Google、マ スク、筆記用具
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験、実技試験及び提出レポート・課題により総合的評価する。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 							
準備学習等についての具体的な指示							
<ul style="list-style-type: none"> ・e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。 							
試験の受験資格							
<p>全講義の 2/3 以上出席すること。 実習は 3/4 以上出席すること。</p>							
教科書							
<p>歯科診療補助論(第2版) / 合場千佳子 ほか 著、: 医歯薬出版, 2017</p>							
参考書							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 器材準備マニュアル第5版 全国歯科衛生士教育協議会編 財団法人 口腔保健協会 							
履修上の注意事項							
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「歯科診療補助論 第2版」を必携とする。 ・実習では必ず白衣を着用し、実習の身だしなみを整えた状態で、講義開始時間までに実習室に集合すること。 ・授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。 ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。 							

時間割番号	022248																																																																										
科目名	歯科衛生過程の基礎	科目ID	DH-252301-L																																																																								
担当教員																																																																											
開講時期	2020年度後期	対象年次	2																																																																								
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																										
科目名: 歯科衛生過程の基礎 時間数: 15 時間 授業形態: 講義 演習																																																																											
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室																																																																											
授業の目的、概要等 人々の健康ニーズにあった支援を提供するために、論理的に思考し、問題を解決する知識・技術を理解する。																																																																											
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生過程の概念を説明する。 ・歯科衛生過程の構成要素を説明する。 ・歯科衛生過程の必要性と重要性を説明する。 ・対象者の情報を分類・整理する。 ・対象者の歯科衛生分野における問題を明確化し、優先順位をつける。 ・明確化した問題の関連因子を特定し、歯科衛生診断文を作成する。 ・歯科衛生計画を立案する(目標・歯科衛生介入・期待される結果)。 ・歯科衛生評価を説明する。 																																																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>10/1</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生過程の概念 歯科衛生アセスメント</td> <td>歯科衛生過程とは、歯科衛生過程 の構成要素、情報収集</td> <td>吉田 直美</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/15</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生アセスメント2</td> <td>情報処理(分類・整理・解釈・分析)</td> <td>吉田 直美</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>11/18</td> <td>10:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生診断</td> <td>情報の統合・歯科衛生診断文</td> <td>吉田 直美</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-7</td> <td>11/24</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生過程基礎演習 ①</td> <td>GC(電動歯ブラシ 音波ブラシの 特徴と使用方法の指導)</td> <td>吉田 直美</td> <td>臨床系基礎実習 室で行う</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/1</td> <td>14:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生計画から歯科 衛生評価まで</td> <td>計画立案 業務記録 評価</td> <td>吉田 直美</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>12/3</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生過程基礎演習 ②</td> <td>事例演習</td> <td>吉田 直美</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>12/8</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>1・2年生合同演習</td> <td>1・2年生合同演習</td> <td>吉田 直美</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>12/18</td> <td>09:00-11:50</td> <td>特別講堂</td> <td>卒業研究発表会</td> <td>卒業研究発表会</td> <td>吉田 直美</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-2	10/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程の概念 歯科衛生アセスメント	歯科衛生過程とは、歯科衛生過程 の構成要素、情報収集	吉田 直美		3	10/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生アセスメント2	情報処理(分類・整理・解釈・分析)	吉田 直美		4-5	11/18	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生診断	情報の統合・歯科衛生診断文	吉田 直美		6-7	11/24	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程基礎演習 ①	GC(電動歯ブラシ 音波ブラシの 特徴と使用方法の指導)	吉田 直美	臨床系基礎実習 室で行う	8	12/1	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生計画から歯科 衛生評価まで	計画立案 業務記録 評価	吉田 直美		9-10	12/3	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程基礎演習 ②	事例演習	吉田 直美		11-12	12/8	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	1・2年生合同演習	1・2年生合同演習	吉田 直美		13-15	12/18	09:00-11:50	特別講堂	卒業研究発表会	卒業研究発表会	吉田 直美	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																																				
1-2	10/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程の概念 歯科衛生アセスメント	歯科衛生過程とは、歯科衛生過程 の構成要素、情報収集	吉田 直美																																																																					
3	10/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生アセスメント2	情報処理(分類・整理・解釈・分析)	吉田 直美																																																																					
4-5	11/18	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生診断	情報の統合・歯科衛生診断文	吉田 直美																																																																					
6-7	11/24	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程基礎演習 ①	GC(電動歯ブラシ 音波ブラシの 特徴と使用方法の指導)	吉田 直美	臨床系基礎実習 室で行う																																																																				
8	12/1	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生計画から歯科 衛生評価まで	計画立案 業務記録 評価	吉田 直美																																																																					
9-10	12/3	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程基礎演習 ②	事例演習	吉田 直美																																																																					
11-12	12/8	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	1・2年生合同演習	1・2年生合同演習	吉田 直美																																																																					
13-15	12/18	09:00-11:50	特別講堂	卒業研究発表会	卒業研究発表会	吉田 直美																																																																					
成績評価の方法 課題レポート、小テスト、期末の試験で総合的評価を行う。 受講態度、出席状況等を総合的評価に加味する。																																																																											

<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の出席</p>
<p>教科書</p> <p>よくわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会編全国歯科衛生士教育協議会：医歯薬出版，2015</p> <p>歯科衛生過程 HAND BOOK：歯科衛生士教育サブテキスト：やさしく学べる・これならわかる／吉田直美，遠藤圭子，渡邊麻理，鈴木純子 著：クインテッセンス出版，2015</p>
<p>参考書</p> <p>歯科衛生ケアプロセス／下野正基 監修，佐藤陽子，齋藤淳 編著，下野正基，保坂誠，Ginny Cathcart 著：医歯薬出版，2007</p> <p>よくわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会 編：医歯薬出版，2015</p> <p>歯科衛生ケアプロセス実践ガイド／佐藤陽子，齋藤淳：医歯薬出版株式会社，2015</p>
<p>備考</p> <p>演習</p>

時間割番号	022249						
科目名	児童・家庭福祉 I			科目ID	DH-292400-L		
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:児童・家庭福祉 I 時間数:15 時間 授業形態:講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第1 講義室							
授業の目的、概要等 GIO ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について理解するとともに、現代社会における児童福祉の社会的背景、理念と意義について理解する。 ・社会福祉士に必要な児童福祉の特質への理解を深める。							
授業の到達目標 SBOs 1. 現代社会における児童の成長・発達と生活実態について説明できる。 2. ライフサイクルにおける児童期の位置づけ・とらえ方を説明できる。 3. 近代・現代社会における子どもの権利および子どもを巡る問題について説明できる。 4. 現代社会における児童福祉の理念と意義について説明できる。 5. 児童福祉に関する法とサービス体系について説明できる。 6. 児童のための地域・住環境整備と相談援助活動について説明できる。 7. 近代・現代社会における国家・家族・児童の関連について説明できる。 8. 児童福祉の歴史、児童福祉の仕組み、問題発生の際の機序について説明できる。 9. 児童福祉サービスの種類やあり方について説明できる。 10. 少年非行や社会的養護について説明できる。 11. 母子保健、保育政策など発達期の児童福祉について説明できる。 12. 子ども虐待の問題とその防止の取り組みについて概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	5/8	13:00-15:50	口腔保健 学科第1 講義室	現代社会と子ども、家庭	児童を取り巻く社会環境 子育て ニーズ	雨宮 由紀枝	遠隔講義となる。 到達目標:1, 2 講義中に、討論、 演習を実施する。
4-6	5/15	13:00-15:50	口腔保健 学科第1 講義室	児童・家庭福祉とは何か、子どもと家庭の権利保障	児童観、児童の権利に関する条約 理念・意義	雨宮 由紀枝	遠隔講義となる。 到達目標:3, 4 講義中に、討論、 演習を実施する。
7-9	5/22	13:00-15:50	口腔保健 学科第1 講義室	児童福祉の発展 児童福祉と法	児童・家庭福祉の歴史(日本・欧米) 関連法、実施体制、行財政、専門職、権利擁護	雨宮 由紀枝	遠隔講義となる。 到達目標:5, 6, 7, 8 講義中に、討論、演習を実施する。
10-12	5/29	13:00-15:50	口腔保健 学科第1 講義室	母子保健 障害・難病のある子どもと家庭への支援地域における子育てと青少年育成保育	母子保健施策、母子保健法、障害・難病のある子どもと家族のニーズ、支援制度、児童健全育成施策、保育制度、保育施策	雨宮 由紀枝	遠隔講義となる。 到達目標:9, 10, 11, 12 講義中に、討論、演

							習を実施する。
13-15	6/5	13:00-15:50	口腔保健 学科第1 講義室	子育て支援 ひとり親 家庭の福祉	子育て支援施策 母子及び父子並 びに寡婦福祉法、自立支援	雨宮 由紀枝	到達目標:5, 6, 9, 11 講義中 に、討論、演習を 実施する。
成績評価の方法							
講義内のディスカッション、授業への参加状況、課題レポート等により総合的に評価する。							
準備学習等についての具体的な指示							
試験の受験資格							
全講義 15 時間の 2/3 以上出席すること							
教科書							
新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版，2019							
備考							
担当教員(非常勤) 雨宮由紀枝 日本女子体育大学							

時間割番号	022250			科目ID	DH-292500-L																																											
科目名	障害児・者福祉 I			科目ID	DH-292500-L																																											
担当教員	日高 玲奈, 山田 美代子[NAKAYAMA Rena, YAMADA MIYOKO]																																															
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	単位数	1																																											
実務経験のある教員による授業	該当する																																															
<p>時間数:15 時間 1 単位</p> <p>授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員: 山田美代子(西片医療福祉研究会)、日高玲奈、ほか</p>																																																
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第4 講義室</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉制度の変遷について学び、保健・医療・福祉・教育・労働の連携について理解する。 ・障害者福祉の理念の変化を概観し、障害者自身の活躍に注目する中で「共に歩む」を考える。 																																																
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者に必要な障害児・者福祉について理解できる。 ・国際的な障害の概念と障害者福祉制度の変遷と現代社会における障害者の福祉課題を理解できる。 ・障害者と家族の生き方や社会的役割、保健・医療・福祉などの専門職に共通する価値・倫理との関連を説明できる。 ・ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョンなどの障害者福祉の理念を説明できる。 ・障害児教育の変遷について学び、「共に学ぶ」「共に生きる」の意義を理解し、福祉教育や心のバリアフリーと社会のあり方を理解できる。 ・現代の障害者福祉の法体系について学び、「障害者が地域で生きる」ことの意義、ユニバーサル社会の本質について説明できる。 ・国連・障害者権利条約の特徴と意義について理解し、障害者差別とは何かを考え、「共生社会」を築くためのわが国の課題について理解できる。 																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>6/16</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>障害者福祉の現状</td> <td>わが国の障害者の生活実態、現代社会における障害児・者福祉の課題</td> <td>山田 美代子, 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>6/23</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>障害者福祉制度の変遷 「障害」概念の変遷</td> <td>「障害」概念とわが国の障害者観の変遷</td> <td>山田 美代子</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>6/30</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>障害者福祉の理念1 障害者福祉の理念2</td> <td>リハビリテーション理念の進展 国際的な ICIDH,ICF モデル 自立生活運動と当事者活動 優生保護法と障害者観</td> <td>山田 美代子</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>7/7</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>障害者福祉の理念3 障害者福祉の理念4</td> <td>ノーマライゼーション理念の進展 特殊教育、特別支援教育 インクルージョン理念と多様性の尊重</td> <td>山田 美代子</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>7/14</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>障害者と「生命の尊厳」 障害者福祉のまとめ</td> <td>障害者福祉制度の現状、改革 グループディスカッション</td> <td>山田 美代子, 日高 玲奈</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	6/16	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者福祉の現状	わが国の障害者の生活実態、現代社会における障害児・者福祉の課題	山田 美代子, 日高 玲奈	4-6	6/23	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者福祉制度の変遷 「障害」概念の変遷	「障害」概念とわが国の障害者観の変遷	山田 美代子	7-9	6/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者福祉の理念1 障害者福祉の理念2	リハビリテーション理念の進展 国際的な ICIDH,ICF モデル 自立生活運動と当事者活動 優生保護法と障害者観	山田 美代子	10-12	7/7	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者福祉の理念3 障害者福祉の理念4	ノーマライゼーション理念の進展 特殊教育、特別支援教育 インクルージョン理念と多様性の尊重	山田 美代子	13-15	7/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者と「生命の尊厳」 障害者福祉のまとめ	障害者福祉制度の現状、改革 グループディスカッション	山田 美代子, 日高 玲奈
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																										
1-3	6/16	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者福祉の現状	わが国の障害者の生活実態、現代社会における障害児・者福祉の課題	山田 美代子, 日高 玲奈																																										
4-6	6/23	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者福祉制度の変遷 「障害」概念の変遷	「障害」概念とわが国の障害者観の変遷	山田 美代子																																										
7-9	6/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者福祉の理念1 障害者福祉の理念2	リハビリテーション理念の進展 国際的な ICIDH,ICF モデル 自立生活運動と当事者活動 優生保護法と障害者観	山田 美代子																																										
10-12	7/7	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者福祉の理念3 障害者福祉の理念4	ノーマライゼーション理念の進展 特殊教育、特別支援教育 インクルージョン理念と多様性の尊重	山田 美代子																																										
13-15	7/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者と「生命の尊厳」 障害者福祉のまとめ	障害者福祉制度の現状、改革 グループディスカッション	山田 美代子, 日高 玲奈																																										
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。 																																																
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>																																																

<ul style="list-style-type: none">・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3分の2以上の出席
教科書 新・社会福祉士養成講座 14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集、中央法規出版、2019
備考 課題発表、グループワークを含む

時間割番号	022251			科目ID	DH-292600-L																																											
科目名	地域福祉 I			科目ID	DH-292600-L																																											
担当教員	日高 玲奈, 藤高 直之[NAKAYAMA Rena, FUJITAKA Naoyuki]																																															
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	単位数	1																																											
実務経験のある教員による授業																																																
<p>時間数:15 時間 1 単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:藤高直之(立正大学)、日高玲奈、ほか</p>																																																
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第4 講義室</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の歴史や基本的考え方を理解する。 ・地域福祉に係る組織や専門職の役割について理解する。 																																																
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉に関わる基本的な用語を理解し、説明できる。 ・地域福祉の関わる法制度を理解し説明できる。 ・地域福祉の歴史と発展に寄与した人物について説明できる。 ・地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について説明できる。 ・地域福祉の推進方法(ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む)について説明できる。 																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>4/10</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>地域福祉の基本概念</td> <td>地域コミュニティと住民、社会福祉法、人権尊重、権利擁護、社会的包摂</td> <td>藤高 直之 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>4/17</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>地域福祉の歴史的展開</td> <td>地域福祉の源流、COS 活動とセツルメント運動、戦後日本の地域福祉</td> <td>藤高 直之</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>4/24</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>コミュニティケアの展開</td> <td>地域コミュニティ視点の登場</td> <td>藤高 直之</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>5/1</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>地域福祉を支える組織</td> <td>行政組織、地方自治体、民間組織、社会福祉協議会、地域住民、民生委員、児童委員の役割と実際</td> <td>藤高 直之</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>5/8</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>地域福祉の現状と課題、まとめ</td> <td>地域福祉に関する基本的用語、今日の地域福祉における課題</td> <td>藤高 直之 日高 玲奈</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	4/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉の基本概念	地域コミュニティと住民、社会福祉法、人権尊重、権利擁護、社会的包摂	藤高 直之 日高 玲奈	4-6	4/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉の歴史的展開	地域福祉の源流、COS 活動とセツルメント運動、戦後日本の地域福祉	藤高 直之	7-9	4/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	コミュニティケアの展開	地域コミュニティ視点の登場	藤高 直之	10-12	5/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉を支える組織	行政組織、地方自治体、民間組織、社会福祉協議会、地域住民、民生委員、児童委員の役割と実際	藤高 直之	13-15	5/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉の現状と課題、まとめ	地域福祉に関する基本的用語、今日の地域福祉における課題	藤高 直之 日高 玲奈
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																										
1-3	4/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉の基本概念	地域コミュニティと住民、社会福祉法、人権尊重、権利擁護、社会的包摂	藤高 直之 日高 玲奈																																										
4-6	4/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉の歴史的展開	地域福祉の源流、COS 活動とセツルメント運動、戦後日本の地域福祉	藤高 直之																																										
7-9	4/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	コミュニティケアの展開	地域コミュニティ視点の登場	藤高 直之																																										
10-12	5/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉を支える組織	行政組織、地方自治体、民間組織、社会福祉協議会、地域住民、民生委員、児童委員の役割と実際	藤高 直之																																										
13-15	5/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉の現状と課題、まとめ	地域福祉に関する基本的用語、今日の地域福祉における課題	藤高 直之 日高 玲奈																																										
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。 																																																
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 																																																

・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

新・社会福祉士養成講座 9 地域福祉の理論と方法 第3版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2015

備考

課題発表、グループワークを含む

時間割番号	022252																																																																																						
科目名	高齢者福祉 I				科目ID	DH-292700-L																																																																																	
担当教員	日高 玲奈, 古屋 純一[NAKAYAMA Rena, FURUYA JUNICHI]																																																																																						
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2		単位数	1																																																																																	
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																																						
<p>時間数:15 時間 1 単位</p> <p>授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員: 古屋純一、清水行栄、日高玲奈ほか</p>																																																																																							
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第4 講義室</p>																																																																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>・地域で活躍する歯科衛生士に必要となる、高齢者の特徴や社会情勢、高齢者の生活支援に必要な医療・保健・福祉の知識、生活機能や栄養など生活支援に必要な評価法を理解する。</p>																																																																																							
<p>授業の到達目標</p> <p>・超高齢社会について説明できる。</p> <p>・高齢者の身体的・精神的特徴や高齢者に多い全身疾患や口腔の変化を説明できる。</p> <p>・高齢者の生活支援に必要な生活機能評価や栄養評価を説明できる。</p> <p>・包括的な高齢者支援を理解する。</p>																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>超高齢社会とは</td> <td>高齢者を取り巻く社会環境の変化、高齢者・高齢化の定義</td> <td>古屋 純一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/13</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>高齢者の特性 1</td> <td>身体・精神機能の変化</td> <td>古屋 純一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/13</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>高齢者の特性 2</td> <td>口腔機能の変化、高齢者の総合的理解</td> <td>古屋 純一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/20</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>高齢者に多い全身疾患 1</td> <td>脳血管疾患、循環器疾患、変性疾患、認知症、糖尿病</td> <td>古屋 純一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>4/20</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>高齢者に多い全身疾患 2</td> <td>脳血管疾患、循環器疾患、変性疾患、認知症、糖尿病</td> <td>古屋 純一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>4/20</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>高齢者に多い全身疾患 3</td> <td>脳血管疾患、循環器疾患、変性疾患、認知症、糖尿病</td> <td>古屋 純一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>4/27</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>高齢者の居住と生活</td> <td>高齢者の居住環境、生活環境</td> <td>古屋 純一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>4/27</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>高齢者の生活機能の評価</td> <td>ADL、IADL、ICF、ICIDH</td> <td>古屋 純一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>4/27</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>認知機能の評価</td> <td>MMSE、HSDR、ウェクスラー知能検査、ADAS</td> <td>古屋 純一</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	4/13	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	超高齢社会とは	高齢者を取り巻く社会環境の変化、高齢者・高齢化の定義	古屋 純一		2	4/13	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の特性 1	身体・精神機能の変化	古屋 純一		3	4/13	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の特性 2	口腔機能の変化、高齢者の総合的理解	古屋 純一		4	4/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者に多い全身疾患 1	脳血管疾患、循環器疾患、変性疾患、認知症、糖尿病	古屋 純一		5	4/20	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者に多い全身疾患 2	脳血管疾患、循環器疾患、変性疾患、認知症、糖尿病	古屋 純一		6	4/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者に多い全身疾患 3	脳血管疾患、循環器疾患、変性疾患、認知症、糖尿病	古屋 純一		7	4/27	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の居住と生活	高齢者の居住環境、生活環境	古屋 純一		8	4/27	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の生活機能の評価	ADL、IADL、ICF、ICIDH	古屋 純一		9	4/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	認知機能の評価	MMSE、HSDR、ウェクスラー知能検査、ADAS	古屋 純一	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																																																
1	4/13	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	超高齢社会とは	高齢者を取り巻く社会環境の変化、高齢者・高齢化の定義	古屋 純一																																																																																	
2	4/13	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の特性 1	身体・精神機能の変化	古屋 純一																																																																																	
3	4/13	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の特性 2	口腔機能の変化、高齢者の総合的理解	古屋 純一																																																																																	
4	4/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者に多い全身疾患 1	脳血管疾患、循環器疾患、変性疾患、認知症、糖尿病	古屋 純一																																																																																	
5	4/20	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者に多い全身疾患 2	脳血管疾患、循環器疾患、変性疾患、認知症、糖尿病	古屋 純一																																																																																	
6	4/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者に多い全身疾患 3	脳血管疾患、循環器疾患、変性疾患、認知症、糖尿病	古屋 純一																																																																																	
7	4/27	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の居住と生活	高齢者の居住環境、生活環境	古屋 純一																																																																																	
8	4/27	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の生活機能の評価	ADL、IADL、ICF、ICIDH	古屋 純一																																																																																	
9	4/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	認知機能の評価	MMSE、HSDR、ウェクスラー知能検査、ADAS	古屋 純一																																																																																	

10	5/11	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の栄養管理	栄養評価法、必要栄養量、高齢者 で不足しやすい栄養	日高 玲奈	臨床栄養部 清 水 行栄
11	5/11	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の栄養ケア	栄養ケアの実際	日高 玲奈	臨床栄養部 清 水 行栄
12	5/11	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の食事・栄養と口 腔機能	栄養サポートチーム(NST)と歯科 医療	日高 玲奈	
13	5/18	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者福祉の実際 1	高齢者福祉の実際例、ゴミ屋敷	古屋 純一	
14	5/18	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者福祉の実際 2	高齢者福祉の実際例、介護殺人	古屋 純一	
15	5/18	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	これまでのまとめ	古屋 純一	

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

新・社会福祉士養成講座 13 高齢者に対する支援と介護保険制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2016
高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著：医歯薬出版、2015

備考

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022253						
科目名	介護福祉 I				科目ID	DH-292800-L	
担当教員	日高 玲奈, 早田 雅美, 中澤 栄理[NAKAYAMA Rena, Masami Hayata, Eri Nakazawa]						
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
<p>時間数:15 時間 1 単位</p> <p>授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員: 古屋純一、日高玲奈、早田雅美(NPO 法人ハート・リング運動)、腰越智子、中澤栄理(特別養護老人ホームベタニアホーム)、ほか</p>							
主な講義場所							
口腔保健学科 第4 講義室							
授業の目的、概要等							
<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍する歯科衛生士に必要となる、介護が必要な高齢者の特徴や社会における介護の問題点、高齢者の生活支援に必要な介護・福祉の知識、介護の実際を知る。 							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・介護と介護予防の概念、対象について説明できる。 ・生活支援に必要な介護の技術について説明できる。 ・認知症とその生活支援について説明できる。 ・介護の実際例から社会における介護の問題点を説明できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/25	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援と介護 1	自宅での介護の実際	早田 雅美 日高 玲奈	
2	5/25	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援と介護 2	自宅での介護の実際	早田 雅美	
3	5/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援と介護 3	介護に関わる多職種と連携の重要性	早田 雅美	
4	6/1	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護の概念と対象	介護と介護予防の概念・理念と対象	中澤 栄理 日高 玲奈	
5	6/1	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	ケアプランと自立支援	自立支援と介護過程	中澤 栄理	
6	6/1	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護の実際	介護の実際	中澤 栄理	
7	6/8	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術 1	口腔衛生・食事の看護と介護	日高 玲奈	
8	6/8	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術 2	身支度・移動・睡眠の看護と介護	日高 玲奈	看護部 腰越 智子
9	6/8	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術 3	入浴・清潔・排泄の看護と介護	日高 玲奈	看護部 腰越 智子

10	6/15	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の生活支援 1	認知症ケア	古屋 純一	
11	6/15	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の生活支援 2	認知症ケアと介護の実際 1	古屋 純一	
12	6/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の生活支援 3	認知症ケアと介護の実際 2	古屋 純一	
13	6/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術 4	車いすの操作・解除方法、杖の種 類および使用・介助方法	日高 玲奈	
14	6/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術 5	車いすの操作・解除方法、杖の種 類および使用・介助方法	日高 玲奈	
15	6/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術 6	車いすの操作・解除方法、杖の種 類および使用・介助方法	日高 玲奈	

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

教科書

新・社会福祉士養成講座 13 高齢者に対する支援と介護保険制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版，2016
高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著：医歯薬出版，2015

備考

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022254					
科目名	相談援助の基盤と専門職 I			科目ID	DH-242900-L	
担当教員						
開講時期	2020年度前期	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
主な講義場所						
口腔保健学科第4講義室						
授業の目的、概要等						
保健・医療・福祉に携わる専門職として、対象との信頼関係を構築するためにカウンセリングの基本知識、基本技術、基本的態度を修得する						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉サービスの専門職として対象とコミュニケーションをとる際の基本的態度・基本姿勢を説明する ・保健・医療・福祉サービスの専門職として対象とコミュニケーションをとる際のカウンセリング基本スキルを説明する ・保健・医療・福祉サービスの専門職としてカウンセリング基本スキルを用いて、コミュニケーションする。 ・保健・医療・福祉サービスの専門職として有効なコミュニケーション方法を概説する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	5/11	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	カウンセリング基本演習 1	カウンセリング、コーチング概説	吉田 直美
4-6	5/18	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	カウンセリング基本演習 2	基本的態度、基本姿勢・質問法	吉田 直美
7-9	5/25	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	カウンセリング基本演習 3	確認・要約	吉田 直美
10-12	5/27	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	カウンセリング基本演習 4	感情・共感	吉田 直美
13-15	6/18	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	カウンセリング基本演習 5	動機づけ面接	吉田 直美
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内でのレポートおよび小テストで総括的評価を行う。 ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。 						
準備学習等についての具体的な指示						
e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。						
試験の受験資格						
2/3 以上の出席						
教科書						
みるみる身につく歯科衛生士のコミュニケーション力／中村千賀子, 吉田直美 著.: 口腔保健協会, 2014						
備考						
演習						

時間割番号	022255			科目ID	DH-293000-S	
科目名	相談援助演習 I			科目ID	DH-293000-S	
担当教員	日高 玲奈[NAKAYAMA Rena]					
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
時間数:30 時間 1 単位 授業形態: 演習 担当教員: 日高玲奈						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等 ・社会福祉における相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、歯科衛生士に求められる相談援助の係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。						
授業の到達目標 ・相談援助の特徴を説明することができる。 ・相談援助の内容・方法・プロセスを説明することができる。 ・相談援助に関する実践上の課題について、自ら意見を述べるすることができる。 ・相談援助と口腔保健における実践の関連性について関心をもち、調べ考えることができる。 ・相談援助実習に向けた自分の興味や関心を持ったことと学習課題を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-4	10/9	09:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	オリエンテーション ソーシャルワーク実践	演習の進め方についてのグループワーク	日高 玲奈
5-7	10/23	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	専門職としての価値・倫理と自己覚知	事例検討、ロールプレイ	日高 玲奈
8-10	10/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の基礎 I	言語・非言語コミュニケーション	日高 玲奈
11-12	11/6	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の基礎 II	面接技法について	日高 玲奈
13-15	11/13	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の基礎 III	記録法と情報整理法	日高 玲奈
16-18	11/20	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際 I	グループワーク	日高 玲奈
19-21	11/27	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際 II	グループワーク	日高 玲奈
22-24	12/4	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の基礎 IV	事例検討(アセスメントまで)	日高 玲奈
25-27	12/11	09:00-11:50	口腔保健	相談援助の基礎 V	事例検討(アフターケアまで)	日高 玲奈

			学科第4 講義室				
28-30	1/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	これまでのまとめ	日高 玲奈	
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。 							
準備学習等についての具体的な指示							
試験の受験資格							
3分の2以上の出席							
教科書							
新・社会福祉士養成講座7 相談援助の理論と方法Ⅰ／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2015							
参考書							
ソーシャルワーカーの力量を高める理論・アプローチ／川村隆彦：中央法規、2011							
履修上の注意事項							
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 ・地域への見学があるため、集合場所等に注意すること。 							
備考							
課題発表、グループワーク含む							

時間割番号	022256			科目ID	DH-293100-L																										
科目名	児童・家庭福祉Ⅱ			科目ID	DH-293100-L																										
担当教員																															
開講時期	2020年度前期	対象年次	2	単位数	1																										
実務経験のある教員による授業	該当する																														
科目名:児童・家庭福祉Ⅱ 時間数:15時間 授業形態:講義																															
主な講義場所 口腔保健学科 第4講義室																															
授業の目的、概要等 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について理解するとともに、現代社会における児童福祉の社会的背景、理念と意義について理解する。 ・社会福祉士に必要な児童福祉の特質への理解を深める。																															
授業の到達目標 SBOs 1. 現代社会における児童の成長・発達と生活実態について説明できる。 2. ライフサイクルにおける児童期の位置づけ・とらえ方を説明できる。 3. 近代・現代社会における子どもの権利および子どもを巡る問題について説明できる。 4. 現代社会における児童福祉の理念と意義について説明できる。 5. 児童福祉に関する法とサービス体系について説明できる。 6. 児童のための地域・住環境整備と相談援助活動について説明できる。 7. 近代・現代社会における国家・家族・児童の関連について説明できる。 8. 児童福祉の歴史、児童福祉の仕組み、問題発生の際の機序について説明できる。 9. 児童福祉サービスの種類やあり方について説明できる。 10. 少年非行や社会的養護について説明できる。 11. 母子保健、保育政策など発達期の児童福祉について説明できる。 12. 子ども虐待の問題とその防止の取り組みについて概説できる。																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-8</td> <td>8/31</td> <td>09:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>障害児の福祉、児童虐待対策</td> <td>障害について、療育・福祉施策、特別支援教育、自立支援、社会的背景・実態、被虐待児保護、児童虐待防止法</td> <td>雨宮 由紀枝</td> <td>到達目標: 1,2,3,4,5,7,12 講義中には随時演習を行う</td> </tr> <tr> <td>9-15</td> <td>10/2</td> <td>09:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>非行児童・情緒障害児の支援、社会的養護、子ども家庭への相談援助活動</td> <td>非行・情緒障害の理解・動向、非行児童・情緒障害児とその家族への支援、相談援助の方法、社会的養護と児童・家庭福祉援助活動</td> <td>雨宮 由紀枝</td> <td>到達目標: 6,8,9,10,11 講義中には随時演習を行う</td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-8	8/31	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害児の福祉、児童虐待対策	障害について、療育・福祉施策、特別支援教育、自立支援、社会的背景・実態、被虐待児保護、児童虐待防止法	雨宮 由紀枝	到達目標: 1,2,3,4,5,7,12 講義中には随時演習を行う	9-15	10/2	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	非行児童・情緒障害児の支援、社会的養護、子ども家庭への相談援助活動	非行・情緒障害の理解・動向、非行児童・情緒障害児とその家族への支援、相談援助の方法、社会的養護と児童・家庭福祉援助活動	雨宮 由紀枝	到達目標: 6,8,9,10,11 講義中には随時演習を行う
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																								
1-8	8/31	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害児の福祉、児童虐待対策	障害について、療育・福祉施策、特別支援教育、自立支援、社会的背景・実態、被虐待児保護、児童虐待防止法	雨宮 由紀枝	到達目標: 1,2,3,4,5,7,12 講義中には随時演習を行う																								
9-15	10/2	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	非行児童・情緒障害児の支援、社会的養護、子ども家庭への相談援助活動	非行・情緒障害の理解・動向、非行児童・情緒障害児とその家族への支援、相談援助の方法、社会的養護と児童・家庭福祉援助活動	雨宮 由紀枝	到達目標: 6,8,9,10,11 講義中には随時演習を行う																								
成績評価の方法 講義内のディスカッション、授業への参加状況、課題レポート等により総合的に評価する。																															
準備学習等についての具体的な指示																															
試験の受験資格 全講義 15 時間の 2/3 以上出席すること。																															
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集、中央法規出版、2019																															
備考 担当教員(非常勤)																															

時間割番号	022257			科目ID	DH-293200-L																						
科目名	障害児・者福祉Ⅱ			科目ID	DH-293200-L																						
担当教員	日高 玲奈, 山田 美代子[NAKAYAMA Rena, YAMADA MIYOKO]																										
開講時期	2020年度前期	対象年次	2	単位数	1																						
実務経験のある教員による授業	該当する																										
<p>時間数:15時間 1単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:山田美代子(西片医療福祉研究会)、日高玲奈、ほか</p>																											
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第4講義室</p>																											
<p>授業の目的、概要等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害種別の特性について理解し、具体的な支援の在り方を学び、自分なりの障害者観・関わり方を確立できるよう学ぶ。 ・現代社会における障害児・者福祉の課題について、保険・医療・福祉専門職として果たせる役割を考える。 																											
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害など、具体的な障害種別の特性について理解し、支援にあたり求められる視点・姿勢を獲得する。 ・知的障害と出生前診断、発達障害と児童虐待、精神障害の長期入院と隔離施策、重症心身障害児と医療的ケア・生命の尊厳など、障害児・者福祉と医療的課題に着目し、医療専門職として自分なりの視点や姿勢の確立をめざす。 ・障害者雇用施策の変遷と就労支援の現状について学ぶなかで、「働くこと」の意義、ILOが提唱する「ディーセントワーク(decent work)(人間らしい尊厳をもった働き方)」について説明できる。 ・エンパワメントの視点に立った支援について学び、障害児・者が地域で暮らすことの意義、まちづくりについて考え、自分なりの支援の在り方・関わり方を修得することをめざす。 ・当事者主体の視点から、自己決定の尊重、意思決定支援などについて学び、自分なりに実践する具体的な方法の修得をめざす。 ・障害児・者福祉の学びを通して、医療者として福祉的な支援を必要とする人に関わる際の価値観・倫理観を獲得する。 																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-8</td> <td>9/29</td> <td>09:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>障害児・者福祉の現状、 障害者の種類と特性、 障害と出生前診断、精神 障害と「隔離施策」、発達 障害の種類と特性</td> <td>日本の障害児・者福祉の現状、現 代社会における障害児・者福祉の 課題、3障害の分類と「障害」の定 義、出生前診断の変遷と「障害者 の生命」、精神障害者福祉の変遷 と「隔離施策」の関係性、発達障害 者支援法と自閉症、学習障害、注 意欠陥多動性障害の特性</td> <td>山田 美代子, 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>9-15</td> <td>9/30</td> <td>09:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>発達障害児と児童虐待、 高次脳機能障害と特性、 エンパワメントと地域生 活、重症心身障害児・者 と生命の尊厳、当事者 主体と自己決定 の尊 重・意思決定支援</td> <td>発達障害児と虐待の関係、人格形 成への影響、高次脳機能障害の 種類と特性、支援における課題、 重症心身障害児・者の概念と支援 の実態、「生命の尊厳」を考える、 当事者主体の地域生活支援、自己 決定の尊重と意思決定支援</td> <td>山田 美代子, 日高 玲奈</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-8	9/29	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害児・者福祉の現状、 障害者の種類と特性、 障害と出生前診断、精神 障害と「隔離施策」、発達 障害の種類と特性	日本の障害児・者福祉の現状、現 代社会における障害児・者福祉の 課題、3障害の分類と「障害」の定 義、出生前診断の変遷と「障害者 の生命」、精神障害者福祉の変遷 と「隔離施策」の関係性、発達障害 者支援法と自閉症、学習障害、注 意欠陥多動性障害の特性	山田 美代子, 日高 玲奈	9-15	9/30	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	発達障害児と児童虐待、 高次脳機能障害と特性、 エンパワメントと地域生 活、重症心身障害児・者 と生命の尊厳、当事者 主体と自己決定 の尊 重・意思決定支援	発達障害児と虐待の関係、人格形 成への影響、高次脳機能障害の 種類と特性、支援における課題、 重症心身障害児・者の概念と支援 の実態、「生命の尊厳」を考える、 当事者主体の地域生活支援、自己 決定の尊重と意思決定支援	山田 美代子, 日高 玲奈
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																					
1-8	9/29	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害児・者福祉の現状、 障害者の種類と特性、 障害と出生前診断、精神 障害と「隔離施策」、発達 障害の種類と特性	日本の障害児・者福祉の現状、現 代社会における障害児・者福祉の 課題、3障害の分類と「障害」の定 義、出生前診断の変遷と「障害者 の生命」、精神障害者福祉の変遷 と「隔離施策」の関係性、発達障害 者支援法と自閉症、学習障害、注 意欠陥多動性障害の特性	山田 美代子, 日高 玲奈																					
9-15	9/30	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	発達障害児と児童虐待、 高次脳機能障害と特性、 エンパワメントと地域生 活、重症心身障害児・者 と生命の尊厳、当事者 主体と自己決定 の尊 重・意思決定支援	発達障害児と虐待の関係、人格形 成への影響、高次脳機能障害の 種類と特性、支援における課題、 重症心身障害児・者の概念と支援 の実態、「生命の尊厳」を考える、 当事者主体の地域生活支援、自己 決定の尊重と意思決定支援	山田 美代子, 日高 玲奈																					
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。 																											

<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
<p>試験の受験資格</p> <p>3 分の 2 以上の出席</p>
<p>教科書</p> <p>新・社会福祉士養成講座 14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2019</p>
<p>備考</p> <p>課題発表、グループワーク含む</p>

時間割番号	022258																							
科目名	地域福祉Ⅱ	科目ID	DH-293300-L																					
担当教員	日高 玲奈, 藤高 直之[NAKAYAMA Rena, FUJITAKA Naoyuki]																							
開講時期	2020年度前期	対象年次	2																					
実務経験のある教員による授業	該当する	単位数	1																					
<p>時間数:15時間 1単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:藤高直之(立正大学)、日高玲奈、ほか</p>																								
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第4講義室</p>																								
<p>授業の目的、概要等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の基本的考え方を踏まえ、地域福祉の現状を理解する。 ・ネットワーキングをはじめとする地域福祉の推進方法と課題について理解する。 																								
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者、地域によって異なる地域福祉の現状を理解し、課題について考察することができる。 ・地域福祉を推進していくために、必要な資源や対策を考察することができる。 ・地域福祉の推進方法(ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む)について具体的に説明できる。 																								
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-8</td> <td>8/3</td> <td>09:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>地域福祉の推進法 地 域福祉の実際Ⅰ</td> <td>社会福祉法、コミュニティワーク、 ネットワーキング、社会資源の活 用・調整・開発、社会福祉施設の地 域拠点、福祉教育とボランティア 活動</td> <td>藤高 直之 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>9-15</td> <td>8/4</td> <td>09:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>地域福祉計画策定 地 域福祉の実際Ⅱ</td> <td>地域福祉計画策定の流れ、実践 「住民参加による福祉のまちづく り」地域福祉計画における住民主 体形成、福祉輪—ピスの評価方 法、第三者評価事業、福祉の情報 提供と苦情解決システム</td> <td>藤高 直之 日高 玲奈</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-8	8/3	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉の推進法 地 域福祉の実際Ⅰ	社会福祉法、コミュニティワーク、 ネットワーキング、社会資源の活 用・調整・開発、社会福祉施設の地 域拠点、福祉教育とボランティア 活動	藤高 直之 日高 玲奈	9-15	8/4	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉計画策定 地 域福祉の実際Ⅱ	地域福祉計画策定の流れ、実践 「住民参加による福祉のまちづく り」地域福祉計画における住民主 体形成、福祉輪—ピスの評価方 法、第三者評価事業、福祉の情報 提供と苦情解決システム	藤高 直之 日高 玲奈
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																		
1-8	8/3	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉の推進法 地 域福祉の実際Ⅰ	社会福祉法、コミュニティワーク、 ネットワーキング、社会資源の活 用・調整・開発、社会福祉施設の地 域拠点、福祉教育とボランティア 活動	藤高 直之 日高 玲奈																		
9-15	8/4	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉計画策定 地 域福祉の実際Ⅱ	地域福祉計画策定の流れ、実践 「住民参加による福祉のまちづく り」地域福祉計画における住民主 体形成、福祉輪—ピスの評価方 法、第三者評価事業、福祉の情報 提供と苦情解決システム	藤高 直之 日高 玲奈																		
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。 																								
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 																								
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の出席</p>																								
<p>教科書</p> <p>新・社会福祉士養成講座9 地域福祉の理論と方法 第3版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2015</p>																								

備考

課題発表、グループワークを含む

時間割番号	022259																																																																										
科目名	高齢者福祉Ⅱ	科目ID	DH-293400-L																																																																								
担当教員	日高 玲奈, 古屋 純一, 清水 文, 郷田 瑛[NAKAYAMA Rena, FURUYA JUNICHI, Aya Shimizu, Akira Gohda]																																																																										
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	1																																																																						
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																										
<p>時間数:15 時間 1 単位</p> <p>授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員: 古屋純一、清水文(東大病院口腔顎顔面外科)、日高玲奈、郷田瑛(返子メディスタイルクリニック訪問診療センター)</p>																																																																											
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第4 講義室</p>																																																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>・地域で活躍する歯科衛生士に必要となる、高齢者福祉の歴史、高齢者福祉に関する法律、介護保険制度、介護保険サービス、高齢者支援の実際を理解する。</p>																																																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>・高齢者福祉の成り立ちを説明できる。</p> <p>・高齢者福祉に関する法律を説明できる。</p> <p>・介護保険制度と介護保険サービスを説明できる。</p> <p>・包括的な高齢者支援の実際を理解できる。</p>																																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>高齢者福祉の歴史</td> <td>高齢者保健福祉の起源と生成、発展</td> <td>古屋 純一</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/5</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>高齢者医療保険福祉に関する法律 1</td> <td>高齢者医療保険福祉の法体系と関連法規</td> <td>古屋 純一</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/5</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>高齢者医療保険福祉に関する法律 2</td> <td>老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者虐待防止法</td> <td>古屋 純一</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/19</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>介護保険制度 1</td> <td>介護保険制度の概要、目的</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/19</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>介護保険制度 2</td> <td>要介護認定、保険給付、介護報酬</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/19</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>介護保険制度 3</td> <td>地域支援事業、介護保険事業計画</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10/26</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>介護保険サービス 1</td> <td>居宅サービス</td> <td>古屋 純一</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>10/26</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>介護保険サービス 2</td> <td>施設サービス</td> <td>古屋 純一</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>10/26</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>介護保険サービス 3</td> <td>介護予防サービス</td> <td>古屋 純一</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者福祉の歴史	高齢者保健福祉の起源と生成、発展	古屋 純一	2	10/5	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者医療保険福祉に関する法律 1	高齢者医療保険福祉の法体系と関連法規	古屋 純一	3	10/5	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者医療保険福祉に関する法律 2	老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者虐待防止法	古屋 純一	4	10/19	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険制度 1	介護保険制度の概要、目的	日高 玲奈	5	10/19	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険制度 2	要介護認定、保険給付、介護報酬	日高 玲奈	6	10/19	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険制度 3	地域支援事業、介護保険事業計画	日高 玲奈	7	10/26	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険サービス 1	居宅サービス	古屋 純一	8	10/26	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険サービス 2	施設サービス	古屋 純一	9	10/26	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険サービス 3	介護予防サービス	古屋 純一
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																					
1	10/5	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者福祉の歴史	高齢者保健福祉の起源と生成、発展	古屋 純一																																																																					
2	10/5	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者医療保険福祉に関する法律 1	高齢者医療保険福祉の法体系と関連法規	古屋 純一																																																																					
3	10/5	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者医療保険福祉に関する法律 2	老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者虐待防止法	古屋 純一																																																																					
4	10/19	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険制度 1	介護保険制度の概要、目的	日高 玲奈																																																																					
5	10/19	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険制度 2	要介護認定、保険給付、介護報酬	日高 玲奈																																																																					
6	10/19	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険制度 3	地域支援事業、介護保険事業計画	日高 玲奈																																																																					
7	10/26	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険サービス 1	居宅サービス	古屋 純一																																																																					
8	10/26	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険サービス 2	施設サービス	古屋 純一																																																																					
9	10/26	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険サービス 3	介護予防サービス	古屋 純一																																																																					

10	11/2	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者支援の実際 1	急性期病院における高齢者支援	清水 文 日 高 玲奈
11	11/2	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者支援の実際 2	施設における高齢者支援	日高 玲奈
12	11/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者支援の実際 3	地域における高齢者支援	日高 玲奈
13	11/9	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者支援の実際 4	在宅における高齢者支援	郷田 瑛 日 高 玲奈
14	11/9	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者支援の実際 5	多職種連携による高齢者支援、食 支援	郷田 瑛
15	11/9	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	これまでのまとめ	日高 玲奈

成績評価の方法

- ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

新・社会福祉士養成講座 13 高齢者に対する支援と介護保険制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版，2016
高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著：医歯薬出版，2015

備考

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022260		
科目名	現代社会と福祉 I	科目ID	DH-293500-L
担当教員	日高 玲奈[NAKAYAMA Rena]		
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業	該当する		
<p>時間数:30 時間 2 単位 授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員:古屋純一、日高玲奈</p>			
主な講義場所			
口腔保健学科 第4 講義室			
授業の目的、概要等			
<ul style="list-style-type: none"> 保健・医療・福祉の専門職に共通する人権擁護や社会正義などの価値・倫理を理解する。 現代社会における社会福祉の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 			
授業の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> 事実としての社会福祉が、なぜ現代社会に存在しているのかを、人々の生活と社会のあり方から理解する 現代の社会福祉の課題を多様な側面から理解する 社会福祉の手段と利用資格を規定している考え方について考えることが出来る 社会福祉を仕掛けている主体、利用者、専門職の多様性を理解する 市民参加の必要性を理解することが出来る 			
成績評価の方法			
<ul style="list-style-type: none"> 放送大学での試験を実施する。 出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 課題発表、グループワークの内容や参加態度を総合的評価に加味する。 			
準備学習等についての具体的な指示			
<ul style="list-style-type: none"> 放送大学による授業のため事前に教務係に申し込むこと 事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 			
試験の受験資格			
3 分の 2 以上の出席			
教科書			
放送大学テキスト			
履修上の注意事項			
<ul style="list-style-type: none"> 放送大学による授業のため事前に教務係に申し込むこと 授業履修者は、事前に担当教員に履修について相談すること 			
備考			
課題発表、グループワーク含む			

時間割番号	022261					
科目名	現代社会と福祉Ⅱ			科目ID	DH-293600-L	
担当教員	日高 玲奈, 遠藤 康裕[NAKAYAMA Rena, ENNDOU Yasuhiro]					
開講時期	2020年度前期	対象年次	2	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
<p>時間数:30時間 2単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:遠藤康裕、日高玲奈</p>						
主な講義場所						
口腔保健学科 第4講義室						
授業の目的、概要等						
<ul style="list-style-type: none"> ・本講義では多様化する社会、その社会が抱える課題と福祉のかかわりについて学ぶ中で、自分自身の生活が社会とつながっていることを理解し、社会の課題について考える。 						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の課題と福祉について説明できる。 ・現代社会における社会福祉の価値やその意義を説明できる。 ・福祉政策の展開過程や方法について説明できる。 ・国際的な比較を踏まえ今後の福祉のあり方について考えられる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	現代社会と福祉	現代社会と福祉について、社会の変化と福祉	遠藤 康裕 日高 玲奈
4-7	9/1	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉政策と福祉の思想・哲学	福祉と福祉政策、福祉の思想と哲学	遠藤 康裕
8-10	9/2	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	社会政策と福祉政策	社会政策と福祉政策	遠藤 康裕
11-14	9/2	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉政策の展開	福祉政策の発展過程、少子高齢化時代の福祉政策	遠藤 康裕
15-17	9/3	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉政策の実際	福祉政策における必要と資源、福祉政策の理念・主体・手法	遠藤 康裕
18-22	9/3	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	制度体系と関連領域	福祉政策の関連領域、社会福祉制度の体系	遠藤 康裕
23-25	9/4	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉サービスと方法	福祉サービスの提供、福祉サービスと援助活動	遠藤 康裕
26-30	9/4	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉政策の国際比較と今後の展望	福祉政策の国際比較、福祉政策の課題と展望	遠藤 康裕
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 						

<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の出席</p>
<p>教科書</p> <p>新・社会福祉士養成講座4 現代社会と福祉 第4版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集、中央法規出版、2014</p>
<p>備考</p> <p>課題発表、グループワーク含む</p>

時間割番号	022262																																																																																	
科目名	ソーシャルワーク I			科目ID	DH-293700-L																																																																													
担当教員	日高 玲奈, 金原 明子[NAKAYAMA Rena, KANEHARA Akiko]																																																																																	
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2	単位数	4																																																																													
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																																	
<p>時間数:60 時間 4 単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:中山玲奈、金原明子ほか</p>																																																																																		
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第4 講義室</p>																																																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談援助の理論と方法に関する基本的事項について学ぶ。 ・相談援助の事例を通じて、相談援助の実際について学ぶ。 																																																																																		
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談援助の対象者が置かれている社会的背景を理解できる。 ・相談援助の知識・技術を具体的な事例の提示を通して理解できる。 ・相談援助に対する考え方(人権尊重・権利擁護・自立支援等)を理解し、総合的かつ包括的な援助のあり方を説明できる。 																																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-5</td> <td>4/24</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>相談援助とは</td> <td>ソーシャルワークの定義と構成要素について</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>6-10</td> <td>5/1</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>相談援助の構造と機能</td> <td>ソーシャルワークの構造、ソーシャルワークの機能から導き出されるソーシャルワーカーの役割とは</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>11-15</td> <td>5/15</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>人と環境の交互作用</td> <td>ソーシャルワーク理論の展開</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>16-17</td> <td>6/12</td> <td>16:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>相談援助における援助 関係 I</td> <td>ケースの発見、インテーク</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>18-19</td> <td>6/19</td> <td>16:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>相談援助における援助 関係 II</td> <td>課題発見から支援の実施まで</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>20-21</td> <td>6/26</td> <td>16:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>相談援助の展開過程 I</td> <td>事例検討</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>22-23</td> <td>7/3</td> <td>16:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>相談援助の展開過程 II</td> <td>事例検討</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>24-25</td> <td>7/10</td> <td>16:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>相談援助の展開過程 III</td> <td>事例検討</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>26-33</td> <td>7/31</td> <td>09:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>相談援助の実際 I・II</td> <td>アウトリーチの機能と方法、留意点</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>34-37</td> <td>10/9</td> <td>14:00-17:50</td> <td>口腔保健</td> <td>相談援助のための契約</td> <td>契約の意義と目的</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-5	4/24	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助とは	ソーシャルワークの定義と構成要素について	日高 玲奈	6-10	5/1	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の構造と機能	ソーシャルワークの構造、ソーシャルワークの機能から導き出されるソーシャルワーカーの役割とは	日高 玲奈	11-15	5/15	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	人と環境の交互作用	ソーシャルワーク理論の展開	日高 玲奈	16-17	6/12	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助における援助 関係 I	ケースの発見、インテーク	日高 玲奈	18-19	6/19	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助における援助 関係 II	課題発見から支援の実施まで	日高 玲奈	20-21	6/26	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の展開過程 I	事例検討	日高 玲奈	22-23	7/3	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の展開過程 II	事例検討	日高 玲奈	24-25	7/10	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の展開過程 III	事例検討	日高 玲奈	26-33	7/31	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際 I・II	アウトリーチの機能と方法、留意点	日高 玲奈	34-37	10/9	14:00-17:50	口腔保健	相談援助のための契約	契約の意義と目的	日高 玲奈
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																												
1-5	4/24	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助とは	ソーシャルワークの定義と構成要素について	日高 玲奈																																																																												
6-10	5/1	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の構造と機能	ソーシャルワークの構造、ソーシャルワークの機能から導き出されるソーシャルワーカーの役割とは	日高 玲奈																																																																												
11-15	5/15	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	人と環境の交互作用	ソーシャルワーク理論の展開	日高 玲奈																																																																												
16-17	6/12	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助における援助 関係 I	ケースの発見、インテーク	日高 玲奈																																																																												
18-19	6/19	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助における援助 関係 II	課題発見から支援の実施まで	日高 玲奈																																																																												
20-21	6/26	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の展開過程 I	事例検討	日高 玲奈																																																																												
22-23	7/3	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の展開過程 II	事例検討	日高 玲奈																																																																												
24-25	7/10	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の展開過程 III	事例検討	日高 玲奈																																																																												
26-33	7/31	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際 I・II	アウトリーチの機能と方法、留意点	日高 玲奈																																																																												
34-37	10/9	14:00-17:50	口腔保健	相談援助のための契約	契約の意義と目的	日高 玲奈																																																																												

			学科第4 講義室	の技術		金原 明子
38-39	10/23	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のためのアセ スメントの技術	アセスメントツールや得た情報の 使い方について	金原 明子
40-41	10/30	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のための介入 の技術	介入の意義と戦略について、ソー シャルワークにおける援助関係	金原 明子
42-43	11/6	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のための介入 の技術	援助関係の形成と活用	金原 明子
44-45	11/13	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のための経過 観察、再アセスメント、 効果測定、評価の技術	モニタリングの手続きや効果測定 のための方法について	金原 明子
46-50	11/27	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のための面接 技術・事例検討	面接技法	金原 明子
51-55	12/11	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のための記録 と交渉の技術・事例検討	マイクロ・メゾ・マクロレベルでの記 録の活用法、コミュニティエンパワ メントの理論と技術	金原 明子
56-60	1/15	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	これまでのまとめ	金原 明子、 日高 玲奈

成績評価の方法

- ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

教科書

新・社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法 I 第3版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2015

備考

課題発表、グループワークを含む

第3学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022263																																																			
科目名	歯科薬理・薬剤学	科目ID	DH-331105-L																																																	
担当教員	坂本 裕次郎, 田村 幸彦, 青木 和広[SAKAMOTO YUJIRO, TAMURA YUKIHIKO, AOKI KAZUHIRO]																																																			
開講時期	2020年度前期	対象年次	3																																																	
実務経験のある教員による授業	該当する																																																			
科目名: 歯科薬理・薬剤学 ユニット番号: 3001 授業形態: 講義 時間数: 必修1単位・15時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・田村 幸彦																																																				
主な講義場所 口腔保健学科 第3講義室																																																				
授業の目的、概要等 医薬品の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に利用するために必要な基本的知識を修得する。																																																				
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系作用薬の種類と作用について概説できる。 ・消化器系作用薬の種類と作用について概説できる。 ・内分泌系薬物、ホルモン剤の種類と作用について概説できる。 ・悪性腫瘍治療薬の種類と作用について概説できる。 ・血液・造血系に作用する薬物について概説できる。 ・免疫系作用薬の種類と作用について概説できる。 ・歯科用医薬品の特徴および使用の留意点について概説できる。 ・歯内療法薬、歯周疾患治療薬の種類と作用について概説できる。 ・病原微生物作用薬(消毒薬・化学療法薬)の種類と作用について概説できる。 ・漢方薬物療法について概説できる。 ・医薬品の剤形、処方箋および保管方法について概説できる。 ・薬事関連法規について概説できる。 ・臨床試験と薬害について概説できる。 																																																				
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>免疫調節薬・免疫療法薬</td> <td>免疫抑制薬、免疫増強薬、ワクチン製剤、抗アレルギー薬、特異的抗リウマチ薬、抗ヒスタミン薬</td> <td>青木 和広</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>血液と薬物</td> <td>貧血治療薬、局所性・全身性止血薬、抗血栓療法薬、血液製剤</td> <td>青木 和広</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>循環器作用薬</td> <td>貧血治療薬、局所性・全身性止血薬、抗血栓療法薬、血液製剤</td> <td>青木 和広</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>呼吸器系作用薬</td> <td>鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、喘息治療薬、呼吸促進</td> <td>田村 幸彦</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>消化器系作用薬</td> <td>食欲・消化作用薬、消化性潰瘍治療薬、胃腸運動改善薬、腸疾患作用薬</td> <td>田村 幸彦</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科第2</td> <td>歯科用医薬品の特徴と使用</td> <td>歯科保存薬・歯内療法薬・歯周疾患治療薬</td> <td>大槻 昌幸</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/7	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	免疫調節薬・免疫療法薬	免疫抑制薬、免疫増強薬、ワクチン製剤、抗アレルギー薬、特異的抗リウマチ薬、抗ヒスタミン薬	青木 和広	2	4/14	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	血液と薬物	貧血治療薬、局所性・全身性止血薬、抗血栓療法薬、血液製剤	青木 和広	3	4/21	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	循環器作用薬	貧血治療薬、局所性・全身性止血薬、抗血栓療法薬、血液製剤	青木 和広	4	4/28	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	呼吸器系作用薬	鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、喘息治療薬、呼吸促進	田村 幸彦	5	5/12	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	消化器系作用薬	食欲・消化作用薬、消化性潰瘍治療薬、胃腸運動改善薬、腸疾患作用薬	田村 幸彦	6	5/19	13:00-13:50	口腔保健 学科第2	歯科用医薬品の特徴と使用	歯科保存薬・歯内療法薬・歯周疾患治療薬	大槻 昌幸
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	4/7	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	免疫調節薬・免疫療法薬	免疫抑制薬、免疫増強薬、ワクチン製剤、抗アレルギー薬、特異的抗リウマチ薬、抗ヒスタミン薬	青木 和広																																														
2	4/14	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	血液と薬物	貧血治療薬、局所性・全身性止血薬、抗血栓療法薬、血液製剤	青木 和広																																														
3	4/21	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	循環器作用薬	貧血治療薬、局所性・全身性止血薬、抗血栓療法薬、血液製剤	青木 和広																																														
4	4/28	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	呼吸器系作用薬	鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、喘息治療薬、呼吸促進	田村 幸彦																																														
5	5/12	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	消化器系作用薬	食欲・消化作用薬、消化性潰瘍治療薬、胃腸運動改善薬、腸疾患作用薬	田村 幸彦																																														
6	5/19	13:00-13:50	口腔保健 学科第2	歯科用医薬品の特徴と使用	歯科保存薬・歯内療法薬・歯周疾患治療薬	大槻 昌幸																																														

			講義室			
7	5/26	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	内分泌系作用薬・代謝系 疾患治療	糖尿病治療薬、ホルモン拮抗薬	田村 幸彦
8	6/2	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	悪性腫瘍治療薬	化学療法薬、口腔領域の悪性腫瘍 治療薬	田村 幸彦
9	6/9	13:00-13:50	口腔保健 学科第2 講義室 口腔保健 学科第3 講義室	漢方薬物療法	漢方薬	田村 幸彦
10-11	6/16	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	感染と薬物 1, 2	消毒薬、抗菌薬(抗生物質、抗真 菌薬、抗結核薬、抗ウイルス薬)	田村 幸彦
12	6/23	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	医薬品の分類・薬事関 連法規	薬機法、日本薬局方及び局方薬、 毒薬劇薬、麻薬、向精神薬、覚せ い剤、医薬部外品、化粧品	小林 英文
13	6/30	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	薬物の取り扱い・服薬指 導	処方箋、調剤と製剤、配合変化、 保存方法、剤形	小林 英文
14	7/7	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	医薬品の特徴と使用	医薬品の特徴と剤形、医薬品の使 用方法と留意点	小林 英文
15	7/14	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床試験と薬害	臨床試験に関わる倫理規定、臨床 試験のあり方・方法、臨床試験の 課題、薬害	小林 英文

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。
- ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

参考書

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編:医歯薬出版, 2018

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編,川口充, 大浦清, 大谷啓一, 戸苅彰史, 加藤有三, 篠原光子 著,川口, 充, 1948-,大浦, 清, 1950-,
大谷, 啓一, 1949-,全国歯科衛生士教育協議会.: 医歯薬出版, 2015

現代歯科薬理学／鈴木邦明, 戸苅彰史, 青木和広他編, 大谷啓一監修: 医歯薬出版, 2018

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会: 医歯薬出版, 2013

最新薬理学: 疾病の成り立ち及び回復過程の促進／大浦清, 戸苅彰史 編集,大浦, 清, 1950-,戸苅, 彰史.: 学建書院, 2017

絵でみる和漢診療学／寺沢捷年 著,寺沢, 捷年, 1944-,: 医学書院, 1996

ラング・デール薬理学: 電子書籍(日本語・英語版)付／渡邊 直樹 監修,渡邊 直樹 翻訳,渡邊 直樹.:丸善出版, 2018-12-17

コメディカルのための薬理学／渡邊泰秀, 樋口マキエ 編集,渡邊, 泰秀, 1954-,樋口, マキエ, 1944-,: 朝倉書店, 2012

履修上の注意事項

- ・アクティブラーニング型講義中に各自の学内無線 LAN につながるスマートフォン、PC あるいはタブレット端末をクリック一代わりに用いて回答を求める場合がある

備考

演習によるアクティブラーニングの実施

連絡先(メールアドレス)

坂本 裕次郎:y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp

青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp

田村 幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎:随時 1号館西8階

青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)

田村 幸彦:毎週金曜日 16:00-19:00 MDタワー7階北 研究室(N713)

事前にメールなどで御連絡下さい。

時間割番号	022264						
科目名	矯正歯科学	科目ID	DH-351405-L				
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:臨床歯科学 時間数:15時間 授業形態:講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第3講義室							
授業の目的、概要等 ・顎口腔機能の発達過程および不正咬合との関連を理解し、顎口腔機能の育成および個性正常咬合獲得を、口腔保健の立場から支援するための知識を修得する。							
授業の到達目標 SBOs 1.正常な歯列咬合の状態を理解する。 2.不正咬合の種類とその影響を理解する。 3.不正咬合の診断に必要な資料・情報を理解する。 4.不正咬合の診断・治療法を概説できる。 5.歯科矯正器材と装置の種類・取り扱い方を概説できる。 6.歯科矯正治療におけるチーム医療を理解する。 7.歯科矯正治療中の患者の口腔保健指導を理解する。 8.歯科矯正治療中の患者の口腔ケアと心理的支援を理解する。 9.顎口腔機能の育成を概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/9	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科矯正学概論/成長発 育/咬合	不正咬合の生理的・心理的障害、 矯正治療の目的とその必要性、矯 正歯科治療の歴史、矯正歯科臨床 における歯科衛生士の役割、成長 発育曲線、顎・顔面・頭蓋の成長発 育歯列の成長発育、正常咬合の 定義、不正咬合の種類と分類、不 正咬合の原因、不正咬合の予防	辻 美千子	到達目標:1, 2, 3, 4 講義中に 討論、演習を行 う。
3-4	10/23	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	口腔習癖/歯の移動	口腔習癖の種類と頻度、咬合・咀 嚼・発音・嚥下への影響、口腔筋 機能療法、矯正力、歯の移動・組 織反応、歯の移動様式	辻 美千子	到達目標:1, 2, 3, 4 講義中に 討論、演習を行 う。
5-7	10/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	矯正診断 1,2	診査と情報の収集(相談・問診・写 真・口腔模型・パノラマエックス線 写真・頭部エックス線規格写真、口 腔機能検査等)、症例分析法、治 療方針の立て方	辻 美千子	到達目標:1, 2, 3, 4 講義中に 討論、演習を行 う。
8-9	11/6	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	矯正器具/矯正材料	矯正用器具の種類とその取扱い、 矯正材料の種類と取扱い	辻 美千子	到達目標:5 講 義中に討論、演 習を行う。
10-11	11/13	09:00-10:50	口腔保健 学科第3	矯正装置/不正咬合の 治療法と保定	舌側弧線装置、マルチブラケット 装置、床矯正装置、機能的顎矯正	辻 美千子	到達目標:4, 5 講義中に討論、

			講義室		装置、側方拡大装置、顎外固定装置、保定装置など、各装置の説明と注意事項、前後の関係・垂直の関係の不調和に対する治療法とその保定		演習を行う。
12	11/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	矯正歯科外来における 歯科衛生士の役割1	矯正歯科外来における歯科衛生士の役割	辻 美千子	到達目標:6, 7, 8 講義中に討論、演習を行う。 歯科衛生保健部: 古澤実夏先生の講義
13	11/20	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	矯正歯科外来における 歯科衛生士の役割2	診査の補助、歯科矯正治療の補助、各種装置の取扱い、矯正治療中の口腔保健管理等	辻 美千子, 近藤 圭子	到達目標:6, 7, 8 講義中に討論、演習を行う。
14	11/27	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療/矯正歯科 関連実習説明	先天異常疾患・顎変形症に対する チーム医療、矯正歯科関連実習説明	辻 美千子	到達目標:6, 7, 8 講義中に討論、演習を行う。
15	12/11	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	まとめ	まとめ、国家試験対策	辻 美千子	到達目標:9 講義中に討論、演習を行う。

成績評価の方法

随時の小テスト・レポートで形成的評価、期末の客観試験、記述試験で総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

・3分の2以上の出席が望ましい

教科書

咀嚼障害・咬合異常／全国歯科衛生士教育協議会 監修、水室利彦 ほか著、水室 利彦, 1953-, 全国歯科衛生士教育協議会: 医歯薬出版, 2011

参考書

歯科矯正学／相馬 邦道／編集、飯田 順一郎／編集、山本 照子／編集、葛西 一貴／編集、後藤 滋巳／編集、相馬 邦道／〔ほか〕執筆、相馬 邦道、飯田 順一郎、山本 照子、葛西 一貴、後藤 滋巳、相馬 邦道: 医歯薬出版, 2011

歯科矯正学(新・歯科衛生士教育マニュアル)／葛西一貴, 新井一仁, 須田直人, 三浦廣行 編集: クインテッセンス出版, 2015

歯科矯正学と診療補助／遠藤敏哉 著: クインテッセンス出版, 2001

矯正歯科治療とオーラルハイジーン・コントロール／高田健治 監修、保田好隆, 日高修 著: クインテッセンス出版, 2000

履修上の注意事項

事前に資料の配布、e-learning 上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

時間割番号	022265						
科目名	歯科放射線学	科目ID	DH-351406-L				
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
1号館西7階、第3講義室							
授業の目的、概要等							
歯科診療の診断に必要な放射線に関して、チーム医療に必要な知識、基本的手技を習得する。							
授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 放射線物理の基本的な内容を説明できる。 歯科放射線の撮影方法について説明できる。 放射線撮影にあたり、撮影の意味とその被曝の程度や適切な防護について説明できる。 放射線治療の概要について説明できる。 CTやMRIなどの画像診断法について概説できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/7	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	放射線物理	放射線と放射能って何？ X線の性質、X線の発生、物質との相互作用	大林 尚人	到達目標:1、2、3 Web講義となる予定である 必要に応じて討論、演習を行う
3-4	4/14	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	X線撮影法と画像形成	X線撮影装置の基本構造、フィルムの現像と管理	大林 尚人	到達目標:2、3 Web講義となる予定である 必要に応じて討論、演習を行う
5-6	4/21	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	X線撮影の補助1	パノラマX線装置と撮影用機材、口内法撮影(二等分法、平行法、咬合法)	大林 尚人	到達目標:2、3 Web講義となる予定である 必要に応じて討論、演習を行う
7-8	4/28	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	X線撮影の補助2	パノラマX線写真の撮影と読影、デジタルX線撮影法の仕組み	大林 尚人	到達目標:2、3 Web講義となる予定である 必要に応じて討論、演習を行う
9-10	5/12	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	放射線治療-腫瘍学と生物学	放射線の生物学的影響とその防護	大林 尚人	到達目標:3、4 Web講義となる予定である 必要に応じて討論、演習を行う
11-12	5/19	14:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	放射線の管理と防護	放射線被曝、被曝線量の測定、放射線防護学	大林 尚人	到達目標:3 Web講義となる予定である 必要に応じて討論、演習を行う

13	5/26	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	顎口腔領域の放射線診 断1	画像診断1	大林 尚人	到達目標:2, 3 Web講義となる 予定である 必 要に応じて討論、 演習を行う
14	6/2	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	顎口腔領域の放射線診 断2	画像診断2	大林 尚人	到達目標:2, 3 必要に応じて討 論、演習を行う
15	6/9	14:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	画像診断機器	CT, MRI, PET/CT, RI 検査、超音波画 像	大林 尚人	到達目標:5 必 要に応じて討論、 演習を行う

成績評価の方法

必要に応じてレポートの提出を課すとともに、期末の客観試験、記述試験で総括的評価を行う。出席状況、授業態度を総括評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に対応する講義内容の教科書等にて事前学習を行なって参加すること。

試験の受験資格

全講義 15 時間の 2/3 以上出席することが望ましい。

教科書

歯科放射線／全国歯科衛生士教育協議会監修；岡野友宏〔ほか〕執筆, 岡野, 友宏.: 医歯薬出版, 2009

時間割番号	022266						
科目名	チーム医療の基礎				科目ID	DH-353800-Z	
担当教員							
開講時期	2020年度後期	対象年次	3		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 口腔保健学科第3講義室							
授業の目的、概要等 ・チーム医療の重要性を理解し、歯科衛生活動の実践に生かすために必要な知識・技能・態度を修得する。							
授業の到達目標 ・医科歯科連携の重要性を説明する。 ・多職種連携によるチーム医療の意義目的を説明する。 ・多職種連携における歯科衛生士の役割を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/2	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療における 歯科衛生士の役割	多職種連携の実際、口腔衛生管理 の重要性	鈴木 瞳	演習、グループ ワーク
3-4	10/30	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の実際 1	急性期病院における歯科衛生士 の役割	鈴木 瞳	演習、グループ ワーク
5	11/13	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の実際 2	地域一体型 NST における歯科の 役割	鈴木 瞳 柴 崎 美紀	
6	11/13	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の実際 3	歯学部附属病院の口腔ケア、有病 者に対する口腔ケアと医科歯科連 携	鈴木 瞳	歯学附属病院 歯科衛生士 森 下 琴以
7	11/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の実際 4	歯科を標榜しない急性期病院にお ける活動	鈴木 瞳 西 川 利恵	
8-9	11/20	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の実際 5	病院歯科におけるチーム医療の 実践	鈴木 瞳 高 柳 久与	演習、グループ ワーク
10-11	11/27	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の実際 6	歯科診療所における周術期口腔 機能管理	鈴木 瞳 河 野 章江	演習、グループ ワーク
12-13	11/27	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の実際 7	在宅における歯科衛生士の活動	鈴木 瞳 篠 原 弓月	
14-15	12/4	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の実際 8	緩和ケア	鈴木 瞳 本 松 裕子	
成績評価の方法 講義への出席状況、態度、課題により総合的に判断する。							

準備学習等についての具体的な指示

- ・講義において必要な資料があれば、e-learning にアップしておくので、事前に確認の上、講義に出席すること。
- ・高齢者歯科学で使用した講義資料をもとに、高齢者に対する基本知識を事前に確認しておくこと。

試験の受験資格

2/3 以上出席のこと。

履修上の注意事項

講義中に行う演習に対する取り組み状況も成績評価に加味する。

時間割番号	022267						
科目名	チーム医療の実践			科目ID	DH-353900-Z		
担当教員							
開講時期	2020年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健学科第3講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等							
・多職種連携実践に必要な知識・技術・態度を修得する。							
授業の到達目標							
・医科歯科連携の重要性を説明する。							
・口腔衛生管理の観点から、多職種連携実践の意義を説明する。							
・有病者および高齢者における口腔衛生上の問題を抽出し、必要な支援方法を計画・立案できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	1/15	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療実践1	歯科衛生ケアプランの立案・発表	鈴木 瞳	演習、グループ ワーク
4-6	1/22	11:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療実践2	有病高齢者の口腔健康管理に関する指導の展開	鈴木 瞳 吉 田 直美	演習、グループ ワーク
7-9	1/29	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療実践3	指導案計画	鈴木 瞳	演習、グループ ワーク
10-12	2/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科相互 実習室	チーム医療実践4	指導の展開・合同実習準備 合同実習のシミュレーション	鈴木 瞳	演習、グループ ワーク
13-15	2/5	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療実践5	実習の振り返り・シナリオの修正	鈴木 瞳	演習、グループ ワーク
成績評価の方法							
・出席状況、授業態度、提出レポートを総合的に評価する。							
準備学習等についての具体的な指示							
・指定された教科書の内容を確認しておくこと。							
・事前に e-learning に資料がアップされている場合は、事前に内容を確認しておくこと。							
試験の受験資格							
2/3 以上の出席が必要							
教科書							
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション = Dysphagia Rehabilitation for Dental Hygienists / 日本歯科衛生士会 監修 植田耕一郎 編集代表 植田 耕一郎, 1959-, 日本歯科衛生士会, 医歯薬出版, 2019							
履修上の注意事項							

講義中に行う演習に対する取り組み状況も成績評価に加味する。

備考

演習、実習

時間割番号	022268						
科目名	口腔機能管理実習			科目ID	DH-354000-E		
担当教員							
開講時期	2020年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健学科 第3講義室・臨床基礎実習室・相互実習室 歯学部附属病院内、学外施設他							
授業の目的、概要等							
加齢や障害に伴う身体・精神諸機能の変化や、高齢者・障害者の疾病の特徴を理解し、高齢者・障害者の医療・歯科医療に関する知識や技能の基礎を修得する。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢や障害に伴う身体的・精神的・社会的変化を理解する ・ 高齢者や障害者の疾病の特徴を理解する ・ 高齢者や障害者の医療・歯科医療の留意点を理解する 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	12/14	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	有病者・高齢者への口 腔衛生管理の実際 合 同実習のオリエンテー ション	要介護高齢者・有病者への口腔健 康管理の実際 合同実習の概要 説明	鈴木 瞳	演習、グループ ワーク
3-5	1/8	14:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	口腔機能評価	口腔機能評価の実習	鈴木 瞳	実習
6-8	1/15	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	要介護高齢者の口腔内 アセスメント マナボット	口腔ケアシミュレータを用いた実 習	鈴木 瞳 吉 田 直美 伊 藤 奏	実習
9-11	1/18	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	有病高齢者の口腔衛生 管理 マナボット	各種口腔ケア用品の特徴 専門的 口腔衛生管理の実際(口腔ケアシ ミュレータを用いた実習)	日高 玲奈 鈴木 瞳	実習
12-13	1/22	15:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	有病高齢者の口腔衛生 管理(相互実習)	専門的口腔衛生管理の実際 (相互実習)	鈴木 瞳 安 達 奈穂子	実習
14-16	1/29	11:00-14:50	口腔保健 学科臨床	摂食嚥下リハビリテーシ ョン	専門的口腔機能管理の実際(相互 実習)	鈴木 瞳	実習

			基礎実習室 口腔保健学科 相互実習室				
17-19	2/1	13:00-15:50	第1総合診療室	合同口腔ケア実習	医学科・歯学科3年生との合同実習	鈴木 瞳 吉田 直美 近藤 圭子, 日高 玲奈, 安達 奈穂子, 伊藤 奏	
20-22	2/5	09:00-11:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科 相互実習室	吸引実習	吸引実習(相互実習)	樺沢 勇司, 鈴木 瞳 日高 玲奈	実習
23-25	2/8	09:00-11:50	口腔保健学科臨床基礎実習室	食事介助実習	食事介助実習・合同実習の準備	鈴木 瞳	
26-28	2/8	13:00-15:50	第1総合診療室	合同口腔ケア実習2	医学科・歯学科3年生との合同実習	鈴木 瞳 吉田 直美 伊藤 奏, 近藤 圭子, 安達 奈穂子, 日高 玲奈	
29-34	2/9	09:00-15:50	その他	高齢者施設体験実習	高齢者施設体験実習	鈴木 瞳	実習
35-37	2/10	09:00-11:50	口腔保健学科第3講義室 口腔保健学科相互実習室	高齢者疑似体験	高齢者疑似体験実習	本村 一朗, 鈴木 瞳 安達 奈穂子	実習
38-40	2/12	09:00-11:50	口腔保健学科臨床基礎実習室	栄養管理と食支援		鈴木 瞳 豊島 瑞枝	演習
41-42	2/12	13:00-14:50	口腔保健学科第3講義室	施設見学発表会	施設見学の報告	鈴木 瞳	課題報告
43-45	2/15	09:00-11:50	口腔保健学科基礎科学実習室	嚥下食の調理	調理実習	鈴木 瞳 伊藤 奏	

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。

<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・高齢者の生理的特徴、口腔清掃用具の使用方法を復習しておくこと。
<p>試験の受験資格</p> <p>3/4 以上出席のこと。</p>
<p>教科書</p> <p>歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション = Dysphagia Rehabilitation for Dental Hygienists / 日本歯科衛生士会 監修 植田耕一郎 編集代表 植田 耕一郎, 1959-, 日本歯科衛生士会, : 医歯薬出版, 2019</p>
<p>参考書</p> <p>食べる機能の障害 : その考え方とリハビリテーション / 金子芳洋 著 ; 向井美恵 著 ; 尾本和彦 著 ; 金子芳洋 編 金子芳洋, 向井美恵, 尾本和彦, 金子芳洋, : 医歯薬出版, 2005</p>
<p>履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設見学の実習に際しては、事前のオリエンテーションを受けなければ実習に出席することはできない。
<p>備考</p> <p>演習、実習</p>

時間割番号	022269																																																																			
科目名	高齢者歯科学	科目ID	DH-354100-L																																																																	
担当教員	日高 玲奈, 戸原 玄, 大庭 優香, 松尾 浩一郎, 猪原 光, 中根 綾子, 原 豪志, 中川 量晴[NAKAYAMA Rena, TOHARA HARUKA, OBA YUKA, Koichiroh Matsuo, Hikaru Inohara, NAKANE AYAKO, HARA Kouji, NAKAGAWA Kazuharu]																																																																			
開講時期	2020年度後期	対象年次	3	単位数	1																																																															
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																			
<p>時間数:15時間 1単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:日高玲奈、戸原玄、大庭優香、松尾浩一郎(藤田保健衛生大学歯科学講座)、猪原光(猪原歯科・リハビリテーション科)他</p>																																																																				
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第3講義室</p>																																																																				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>・超高齢社会で活躍する歯科衛生士に必要となる、高齢者歯科学を理解する。特に、訪問診療による、入院や施設、在宅で療養する高齢者・要介護高齢者の口腔ケアや、口腔機能管理、摂食嚥下リハビリテーション、食支援を理解する。</p>																																																																				
<p>授業の到達目標</p> <p>・高齢者歯科学の概要を説明できる。</p> <p>・摂食嚥下のメカニズムと病態を説明できる。</p> <p>・摂食嚥下障害のスクリーニングテスト、VF、VEなどの検査と診断を説明できる。</p> <p>・摂食嚥下リハビリテーションの目的と概要、間接訓練と直接訓練を説明できる。</p> <p>・在宅、チーム医療における摂食嚥下リハビリテーション、口腔機能管理、口腔ケアを理解できる。</p> <p>・誤嚥性肺炎予防、食支援、QOLの向上を目的とした訪問歯科診療を理解できる。</p> <p>・オーラルフレイルと口腔機能低下症を説明できる。</p>																																																																				
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>11/16</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>高齢者歯科学とは 摂食嚥下のメカニズム</td> <td>高齢者歯科学概論、口から食べる機能のメカニズム、解剖、生理</td> <td>中根 綾子, 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11/16</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>摂食嚥下障害の病態</td> <td>摂食嚥下障害の原疾患、異常像</td> <td>中根 綾子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11/16</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>摂食嚥下障害の検査と診断</td> <td>スクリーニングテスト、診察法、VF、VE、総合評価</td> <td>原 豪志、日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/30</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>摂食嚥下リハビリテーション1</td> <td>間接訓練</td> <td>大庭 優香, 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/30</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>摂食嚥下リハビリテーション2</td> <td>直接訓練</td> <td>大庭 優香</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/30</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>高齢者歯科医療の実際</td> <td>チーム医療の考え方、OHAT、NST</td> <td>中川 量晴, 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>12/7</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>在宅における摂食嚥下リハビリテーションの実際1</td> <td>事例検討、ロールプレイ</td> <td>戸原 玄、日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/7</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健</td> <td>在宅における摂食嚥下</td> <td>事例検討、ロールプレイ</td> <td>戸原 玄</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	11/16	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者歯科学とは 摂食嚥下のメカニズム	高齢者歯科学概論、口から食べる機能のメカニズム、解剖、生理	中根 綾子, 日高 玲奈	2	11/16	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下障害の病態	摂食嚥下障害の原疾患、異常像	中根 綾子	3	11/16	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下障害の検査と診断	スクリーニングテスト、診察法、VF、VE、総合評価	原 豪志、日高 玲奈	4	11/30	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下リハビリテーション1	間接訓練	大庭 優香, 日高 玲奈	5	11/30	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下リハビリテーション2	直接訓練	大庭 優香	6	11/30	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者歯科医療の実際	チーム医療の考え方、OHAT、NST	中川 量晴, 日高 玲奈	7	12/7	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	在宅における摂食嚥下リハビリテーションの実際1	事例検討、ロールプレイ	戸原 玄、日高 玲奈	8	12/7	10:00-10:50	口腔保健	在宅における摂食嚥下	事例検討、ロールプレイ	戸原 玄
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																														
1	11/16	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者歯科学とは 摂食嚥下のメカニズム	高齢者歯科学概論、口から食べる機能のメカニズム、解剖、生理	中根 綾子, 日高 玲奈																																																														
2	11/16	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下障害の病態	摂食嚥下障害の原疾患、異常像	中根 綾子																																																														
3	11/16	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下障害の検査と診断	スクリーニングテスト、診察法、VF、VE、総合評価	原 豪志、日高 玲奈																																																														
4	11/30	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下リハビリテーション1	間接訓練	大庭 優香, 日高 玲奈																																																														
5	11/30	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下リハビリテーション2	直接訓練	大庭 優香																																																														
6	11/30	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者歯科医療の実際	チーム医療の考え方、OHAT、NST	中川 量晴, 日高 玲奈																																																														
7	12/7	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	在宅における摂食嚥下リハビリテーションの実際1	事例検討、ロールプレイ	戸原 玄、日高 玲奈																																																														
8	12/7	10:00-10:50	口腔保健	在宅における摂食嚥下	事例検討、ロールプレイ	戸原 玄																																																														

			学科第3 講義室	リハビリテーションの実 際2			
9	12/7	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	在宅における摂食嚥下 リハビリテーションの実 際3	事例検討、ロールプレイ	戸原 玄	
10	12/14	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者の口腔ケアと誤 嚥性肺炎予防	経口摂取支援を目的とした口腔ケ ア	中根 綾子	
11	1/15	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	急性期・周術期の口腔 機能管理と口腔衛生管 理 1	急性期や周術期における口腔機 能管理・口腔衛生管理と多職種連 携	松尾 浩一郎 日高 玲奈	
12	1/15	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	回復期・終末期の口腔 機能管理と口腔衛生管 理 2	回復期・終末期における口腔機能 管理・口腔衛生管理と多職種連携	松尾 浩一郎	
13	1/25	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	訪問歯科診療1	誤嚥性肺炎予防、経口摂取確立、 食支援、低栄養改善、QOL 向上を 目的とした訪問歯科診療	猪原 光 日 高 玲奈	
14	1/25	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	訪問歯科診療2	誤嚥性肺炎予防、経口摂取確立、 食支援、低栄養改善、QOL 向上を 目的とした訪問歯科診療	猪原 光	
15	1/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	オーラルフレイルと口腔 機能低下症、まとめ	オーラルフレイルと口腔機能低下 症、これまでのまとめ	日高 玲奈	

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総合的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総合的評価に加える。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

高齢者歯科／植田耕一郎ほか著、植田 耕一郎、全国歯科衛生士教育協議会：医歯薬出版、2013

歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション = Dysphagia Rehabilitation for Dental Hygienists／日本歯科衛生士会 監修、植田耕一郎
編集代表、植田 耕一郎、1959-、日本歯科衛生士会：医歯薬出版、2019

備考

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022270						
科目名	障害者歯科学			科目ID	DH-354200-L		
担当教員							
開講時期	2020年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
1号館西7階 口腔保健学科 第3講義室							
授業の目的、概要等							
障害児・者に対して口腔保健の立場から支援する際に必要な知識、技術を習得する。							
授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害の概念を理解する。 2. 障害の種類と歯科的特徴について理解する。 3. 障害児・者の歯科治療における行動調整について理解する。 4. 障害児・者の歯科治療における健康支援と口腔管理について理解する。 5. 障害児・者のチーム医療における歯科衛生士の役割について理解する。 6. 障害児・者の歯科治療における医療体制(一次、二次、三次歯科医療体制)について理解する。 7. 障害児・者のリスク評価と安全管理について理解する。 8. 障害児・者の摂食嚥下障害とリハビリテーションの基本について理解する。 9. 発音機能の発達とその異常について理解し、構音障害の訓練法を概説できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	11/16	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害と歯科医療1	障害の分類およびその特徴、歯科的特徴について、行動調整法について。	楠本 康香	到達目標:12 講義中に討論、演習を行う。
3-4	11/30	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害と歯科治療2	診療計画立案、予後管理、医療体制など	楠本 康香	到達目標:2, 3、 4、6、7 講義中に討論、演習を行う。
5-6	12/7	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	広汎性発達障害児・者への歯科治療	広汎性発達障害児・者への歯科治療の実際	浅川 剛吉	到達目標:3, 4, 5 講義中に討論、演習を行う。
7-8	12/14	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下機能の遅滞、重症障害児の摂食訓練	摂食嚥下機能の発達遅滞、遅滞を助長する外部環境因子、異常パターンの定着、重症心身障害児の摂食訓練	綾野 理加	到達目標:8 講義中に討論、演習を行う。
9-10	12/22	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	発達障害児の食べる機能、発達障害とその対応	顎口腔の先天異常と摂食機能の発達、唇顎口蓋裂児の哺乳と離乳、ホッツ床、PNAMの治療効果、家族・本人への精神的支援	落合 聡	到達目標:4, 5 講義中に討論、演習を行う。
11-12	1/18	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	言語聴覚療法	構音発達、機能性構音障害、器質性構音障害(口蓋裂、舌小帯短縮症)について	樺沢 勇司	到達目標:9 講義中に討論、演習を行う。正木先生の講義
13	1/25	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯学部附属病院における障害児・者に対する口腔健康教育の実際	ニーズ診断、障害に対応したセルフケア、ホームケア、歯科予防処置の実際、患者対応上の留意点	十川 裕子	到達目標:3, 4, 5 講義中に討論、演習を行う。
14	1/25	14:00-14:50	口腔保健	2次医療機関における	障害児センター等の対応、障害	鈴木 瞳 樺	到達目標:5, 6,

			学科第3 講義室	障害児・者と歯科衛生士 の関わり1	児・者と歯科衛生士の関わり	沢 勇司	7 講義中に討 論、演習を行う。
15	2/15	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	2次医療機関における 障害児・者と歯科衛生士 の関わり2	事例紹介・まとめ	鈴木 瞳 樺 沢 勇司	到達目標:1-9 講義中に討論、 演習を行う。
成績評価の方法							
<p>期末の記述試験で総括的評価を行う。出席状況および授業態度を総括的評価する。随時の小テスト等で形成的評価を行う。 出席、講義、グループ討論、発表の態度等を総括評価に加味する。</p>							
準備学習等についての具体的な指示							
<p>授業では、授業範囲についてのディスカッションも行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。</p>							
試験の受験資格							
<p>全講義 15 時間の 2/3 以上出席することが望ましい。</p>							
教科書							
<p>障害者歯科／向井美恵 ほか 著、:医歯薬出版, 2013</p>							
履修上の注意事項							
<p>授業では、授業範囲についてのディスカッションも行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。</p>							

時間割番号	022271						
科目名	臨床医学Ⅱ	科目ID	DH-351502-L				
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:30時間 授業形態:演習・講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第3講義室							
授業の目的、概要等 基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口保健活動を行うために必要な臨床医学の知識を習得するとともに、患者の QOL 向上に寄与する継続的な口腔健康管理(口腔ケア)のための多職種連携および多職種協働を検討する。							
授業の到達目標 SBOs 1. 感染の成り立ちおよび感染対策について学び、有病者に対して感染対策に配慮した口腔健康管理を検討できる。また、感染症患者および易感染患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 2. 小児科疾患について学び、小児患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 3. 遺伝性疾患、染色体異常および遺伝カウンセリングについて学び、それらの患者の心情に配慮して、適切な口腔健康管理を検討できる。 4. 皮膚科疾患について学び、皮膚科疾患患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 5. 耳鼻咽喉科、頭頸部外科であつかう疾患について学び、患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 6. 眼科疾患について学び、眼科疾患患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 7. 泌尿器科疾患について学び、泌尿器科疾患患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 8. リハビリテーション医学について学び、リハビリテーションが必要な患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 9. スポーツ関連外傷・障害・疾患について学び、それらの患者に対して適切な口腔健康管理を検討できる。 10. 救急災害医学について学び、被災者に対する災害フェーズに適した口腔健康管理を検討できる。 11. 緩和医療・緩和ケア・心療医療について学び、患者の心身を支えつつ QOL を向上させるために、適切な口腔健康管理を検討できる。 12. 総合診療医学について学び、有病者に対する適切な口腔健康管理について検討できる。 13. 遺伝医学について学び、口腔健康管理に活かすことができる。 14. 臨床医学を学び、基礎疾患をもつ患者に対して継続的な口腔健康管理を提供するための多職種連携と協働を検討する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/8	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	小児科1	小児が罹患しやすい感染症、幼児期以降にみられる小児内科疾患の発症機序・症状・診断・治療	樺沢 勇司, 神谷 尚宏	到達目標:2 Web講義を行う予定です。講義中に討論、演習を実施する。
3-4	4/15	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	小児科2	低出生体重児・先天性疾患など新生児期から乳児期に多くみられる疾患の発症機序・症状・診断・治療	樺沢 勇司, 滝 敦子	到達目標:2 Web講義を行う予定です。講義中に討論、演習を実施する。
5-6	4/22	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	皮膚科	主な皮膚科疾患の発症機序・症状・診断・治療(加齢に伴う皮膚疾患の変化を含む)	樺沢 勇司, 宇賀神 つかさ	到達目標:4 Web講義を行う予定です。講義中に討論、演習を実施する。

7	4/24	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	中間のまとめ	これまで臨床医学1で学んだ学習 内容のまとめと今後の臨床医学 の学び方について	樺沢 勇司, 沼沢 祥行	到達目標:14 Web 講義を行う予 定です。講義中 に討論、演習を実 施する。
8	5/12	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	高気圧治療	スポーツ関連の外傷・障害・疾患 の治療とその予防	樺沢 勇司, 大原 敏之	到達目標:9 Web 講義を行う予 定です。講義中 に討論、演習を実 施する。
9	5/19	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	総合診療医学	総合診療医学について	樺沢 勇司, 竹村 洋典	到達目標:12 Web 講義を行う予 定です。講義中 に討論、演習を実 施する。
10-11	5/27	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	頭頸部外科	頭頸部腫瘍の症状、診断、治療	樺沢 勇司, 朝蔭 孝宏	到達目標:5 Web 講義を行う予 定です。講義中 に討論、演習を実 施する。
12-13	6/3	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	耳鼻咽喉科	主な耳鼻咽喉科疾患の発症機序・ 症状・診断・治療	樺沢 勇司, 堤 剛	到達目標:5 Webclass での資 料学習の予定。
14-16	6/17	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	リハビリテーション医学	リハビリテーション医学について	樺沢 勇司, 酒井 朋子	到達目標:8 Webclass での資 料学習の予定。
17-18	6/23	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	眼科	主な眼科疾患の発症機序、症状、 診断、治療	樺沢 勇司, 浦本 賢吾	到達目標:6 Zoom 講義中に討 論、演習を実施す る予定。
19-20	7/2	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	心身・緩和医療	患者の心身を支える心療・緩和医 療	樺沢 勇司, 宮島 美穂	到達目標:11 講義中に討論、 演習を実施する。
21-22	7/8	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	泌尿器科	主な泌尿器科疾患の発症機序・症 状・診断・治療(腎臓移植、加齢に 伴う変化を含む)	樺沢 勇司, 上原 翔	到達目標:7 講 義中に討論、演 習を実施する。
23-24	7/14	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	救急災害医学	災害時における救急医療	樺沢 勇司, 植木 穂	到達目標:10 講義中に討論、 演習を実施する。
25-26	7/15	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	緩和医療	緩和医療・緩和ケアの役割と早期 診断時からの緩和医療・緩和ケア	樺沢 勇司, 三宅 智	到達目標:11 講義中に討論、 演習を実施する。
27-28	7/27	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	感染医学	感染性疾患の発症機序・症状・診 断・治療・感染対策(予防接種を含 む)	樺沢 勇司, 貫井 陽子	到達目標:1 講 義中に討論、演 習を実施する。
29	7/29	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	遺伝病学	遺伝性疾患について	吉田 雅幸, 樺沢 勇司, 江花 有亮	到達目標:13 講義中に討論、 演習を実施する。
成績評価の方法							

3 学年前期末に試験を行う。

講義中に行なう演習、討論、出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。

準備学習等についての具体的な指示

授業では、授業範囲についてのディスカッションも行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。担当教員数も資料も多い講義なので、必ず復習して内容を確認すること。

試験の受験資格

試験の受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。

時間割番号	022272						
科目名	口腔疾患予防応用学	科目ID	DH-351604-L				
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健学科 第3講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等							
<ul style="list-style-type: none"> ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防法について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。 							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕予防と歯周歯科疾患予防の基礎を理解する。 ・歯、口腔(歯、歯肉、歯の付着物・沈着物)状態を把握できる。 ・器具の消毒・滅菌、感染予防、手指の消毒法、偶発事故の予防など生体への配慮の基本を実践しながら、歯科予防処置に必要な知識と技術を修得する。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去、歯面清掃、SRP、う蝕予防処置、フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口を実施できる。 ・歯科衛生過程にそって、介入および歯科衛生業務記録を記載する。 ・集団を対象としたう蝕予防の処置を計画実践する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/9	13:00-14:50		実習のガイダンス	試験ケースシミュレーション実習の進め方	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
3	4/17	09:00-09:50		セルフケア用品の選択1	各種口腔衛生用品の選択について	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
4	4/20	09:00-09:50		口腔内写真撮影	撮影および編集について	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
5	4/23	13:00-13:50		セルフケア用品の選択2	各種口腔衛生用品の選択と実践	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
6-7	4/24	13:00-14:50		歯科衛生士の職業性障害	作業関連性筋骨格系障害	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
8	4/30	13:00-13:50		計画書の作成1	シミュレーション	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
9	5/13	13:00-13:50	口腔保健学科第3講義室	歯科衛生業務記録の作成	情報の整理・解釈、業務記録の記載	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
10	5/18	11:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	歯科衛生業務記録の作成	情報の整理・解釈、業務記録の記載	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
11	6/1	11:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	歯科衛生業務記録の作成	情報の整理・解釈、業務記録の記載	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
12	7/1	11:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	リーフレット、終了報告書、ケースプレゼンテーション	リーフレットの作成と終了報告書の作成 ケースプレゼンテーションの基本	近藤 圭子, 安達 奈穂子	PC 持参
13	7/2	11:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	歯科衛生業務記録の作成	記録の整理と記載	安達 奈穂子	
14	7/6	11:00-11:50	口腔保健	歯科衛生業務記録の作	記録の整理と記載	近藤 圭子	

			学科第3 講義室	成		安達 奈穂子	
15	7/8	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生業務記録の作 成	記録の整理と記載	近藤 圭子, 安達 奈穂子	

成績評価の方法

- ・定期試験、実技試験及び提出レポート・課題により総括的評価する。
- ・出席状況、実習態度などを総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
- ・歯科予防処置、歯科保健指導、口腔疾患予防等に関する復習しておくこと。

試験の受験資格

2/3 以上出席が必要

教科書

保健生態学／可児徳子, 松井恭平, 眞木吉信 編:医歯薬出版, 2007

歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著.:医歯薬出版, 2011

参考書

口腔保健推進ハンドブック：地域を支えるオーラルヘルスプロモーション／深井稜博, 池主憲夫, 川口陽子, 米山武義 編:医歯薬出版, 2009

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅠ／Jill S.Nield-Gehrig 著,吉田直美, 小森朋栄 監訳,堀江明子, 富田裕子 訳:医歯薬出版, 2009

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅡ／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2010

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅢ／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2009

ウィルキンス歯科衛生士の臨床／E・M・ウィルキンス著；遠藤圭子 [ほか] 監訳,Wilkins, Esther M.,遠藤, 圭子,中垣, 晴男,西, 真紀子,眞木, 吉信,松井, 恭平,山根, 瞳若林, 則幸.:医歯薬出版, 2015

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅣ／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳,Nield-Gehrig, Jill Shiffer, 和泉, 雄一,吉田, 直美,小森, 朋栄,村上, 恵子,1959-,野村, 正子,1957-.:医歯薬出版, 2010

よくわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会編,全国歯科衛生士教育協議会.:医歯薬出版, 2015

歯科衛生過程 HAND BOOK：歯科衛生士教育サブテキスト：やさしく学べる・これならわかる／吉田直美, 遠藤圭子, 渡邊麻理, 鈴木純子 著,吉田, 直美,遠藤, 圭子,渡邊, 麻理.:クインテッセンス出版, 2015

事例でわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会 編,全国歯科衛生士教育協議会.:医歯薬出版, 2019

履修上の注意事項

- ・実習態度いかんによっては、実習停止とすることがある。 ・原則として、欠席した実習について補講は行わないので、必ず全実習に出席すること。

時間割番号	022273						
科目名	口腔疾患予防応用学実習	科目ID	DH-351605-E				
担当教員							
開講時期	2020年度通年	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健学科 第3講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等							
<ul style="list-style-type: none"> ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防法について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。 							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕予防と歯周歯科疾患予防の基礎を理解する。 ・歯、口腔(歯、歯肉、歯の付着物・沈着物)状態を把握できる。 ・器具の消毒・滅菌、感染予防、手指の消毒法、偶発事故の予防など生体への配慮の基本を実践しながら、歯科予防処置に必要な知識と技術を修得する。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去、歯面清掃、SRP、う蝕予防処置、フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口を実施できる。 ・歯科衛生過程にそって、口腔ケアを実施できる。 ・集団を対象としたう蝕予防の処置を計画実践する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/9	15:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科衛生業務記録の作成	SOAP形式による歯科衛生業務の記載方法の原則 情報の整理・解釈、業務記録の記載	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
3-4	4/17	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	セルフケア用品の選択1	各種口腔衛生用品の選択	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
5-6	4/20	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	口腔内写真撮影 相互実習準備	シミュレーション実習	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
7-9	4/23	14:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	セルフケア用品の選択2	各種口腔衛生用品の選択と実践	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
10	4/27	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	課題実施1		近藤 圭子, 安達 奈穂子	スマホ持参
11-13	4/30	14:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	計画書の作成1	シミュレーション	近藤 圭子, 安達 奈穂子	PC持参
14-18	5/7	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	相互実習について 相互実習準備		近藤 圭子, 安達 奈穂子	相互実習(ケースシミュレーション)1

			室 口腔保健学科相互実習室				
19-22	5/11	13:00-16:50	口腔保健学科第3講義室	相互実習(ケースシミュレーション)1	アセスメント1回目 口腔内写真撮影 主観情報、歯周組織検査、プラークチャート等	近藤 圭子、 安達 奈穂子、 戸田 花奈子、 品田 佳世子	PC 持参
23	5/11	17:00-17:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	相互実習(ケースシミュレーション)1	記録、後片付け及び次回の準備	近藤 圭子、 安達 奈穂子、 戸田 花奈子	
24-28	5/14	13:00-17:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	相互実習(ケースシミュレーション)2	アセスメント2回目 口腔内写真撮影 主観情報、歯周組織検査、プラークチャート等 記録、片付け・準備	近藤 圭子、 安達 奈穂子、 田澤 千鶴	
29-31	5/21	09:00-11:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	計画書の作成2	データの整理・歯科衛生ケア計画の立案	近藤 圭子、 安達 奈穂子	PC 持参
32	5/25	11:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	課題実施2		近藤 圭子、 安達 奈穂子	スマホ持参
33-37	5/28	13:00-17:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室 第1総合診療室	相互実習(ケースシミュレーション)3 口腔ケア臨床体験実習1	歯科衛生介入1 口腔ケア診療室見学1	近藤 圭子、 安達 奈穂子、 戸田 花奈子、 田澤 千鶴	
38-42	6/11	13:00-17:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	集団に対する口腔疾患予防の実践1	小児に対するフッ化物応用	近藤 圭子、 安達 奈穂子、 戸田 花奈子	歯ブラシ持参
43-47	6/18	13:00-17:50	口腔保健学科臨床	相互実習(ケースシミュレーション)4 口腔ケア	歯科衛生介入2 口腔ケア診療室見学2	近藤 圭子、 安達 奈穂子、	

			基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 第1 総合診療 室	臨床体験実習2		田澤 千鶴 戸田 花奈子	
48-52	6/25	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 第1 総合診療 室	相互実習(ケースシミュレーション)5 口腔ケア 臨床体験実習3	歯科衛生介入3 口腔ケア診療 室見学3	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
53-55	6/29	09:00-11:50	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	集団に対する口腔疾患 予防の実践2	根岸幼稚園でのフッ化物塗布実習	吉田 直美 樺沢 勇司, 品田 佳世子, 近藤 圭子, 戸田 花奈子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子, 伊藤 奏	
56-57	6/29	13:00-14:50	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	集団に対する口腔疾患 予防の実践2	口腔衛生指導実習	吉田 直美 近藤 圭子, 戸田 花奈子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子	
58-61	7/1	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	根分岐部病変の評価	フアーケーションプローブの操作 方法(マネキン実習)	近藤 圭子, 安達 奈穂子	
62-66	7/2	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 第1 総合診療 室	相互実習(ケースシミュレーション)6 口腔ケア 臨床体験実習4	歯科衛生介入4 口腔ケア診療 室見学4	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
67-71	7/7	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔	相互実習(ケースシミュレーション)7	評価1	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴	

			保健学科 相互実習 室				
72	7/9	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	終了報告書の作成 ケ ースプレゼンテーション の準備	終了報告書の作成 ケースプレ ゼンテーションの準備	安達 奈穂子	PC 持参
73-77	7/9	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)8	評価2	近藤 圭子, 戸田 花奈子, 安達 奈穂子	
78-82	7/14	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室 シミュレ ーション 実習室	終了報告書の作成 ケ ースプレゼンテーション の準備 *シムロイド 体験	終了報告書の作成 ケースプレ ゼンテーションの準備 *シムロ イド体験	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 鈴木 瞳 伊 藤 奏	PC 持参
83-85	7/16	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	スキル評価		近藤 圭子, 安達 奈穂子	
86-88	7/20	13:00-15:50	口腔保健 学科第1 講義室 口腔保健 学科第2 講義室 口腔保健 学科第3 講義室	ケースプレゼンテーショ ン1	グループ発表	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子, 鈴木 瞳	
89-90	7/20	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	ケースプレゼンテーショ ン1	グループ発表	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 戸田 花奈子	
91-94	7/21	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	ケースプレゼンテーショ ン2 まとめ	全体発表	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
95-98	7/28	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床	臨床実技試験	OSCE	吉田 直美 近藤 圭子, 安達 奈穂子, 伊藤 奏, 鈴 木 瞳, 日高	3科目合同試験

			基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室			玲奈, 田澤 千鶴, 富田 裕子, 米倉 里枝, 戸田 花奈子, 荒川 真一, 品田 佳世子		
成績評価の方法								
<ul style="list-style-type: none"> ・期末の実技試験(臨床技能試験)及び提出レポート・課題により総合的評価する。 ・出席状況、実習態度などを総合的評価に加味する。 								
準備学習等についての具体的な指示								
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・歯科予防処置、歯科保健指導、口腔疾患予防等に関する復習しておくこと。 								
試験の受験資格								
3/4 以上の出席が必要								
教科書								
保健生態学／可児徳子, 松井恭平, 眞木吉信 編:医歯薬出版, 2007								
歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,:医歯薬出版, 2011								
参考書								
口腔保健推進ハンドブック : 地域を支えるオーラルヘルスプロモーション／深井稜博, 池主憲夫, 川口陽子, 米山武義 編:医歯薬出版, 2009								
目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション I / Jill S.Nield-Gehrig 著,吉田直美, 小森朋栄 監訳,堀江明子, 富田裕子 訳:医歯薬出版, 2009								
目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション II / Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2010								
目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション III / Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2009								
履修上の注意事項								
<ul style="list-style-type: none"> ・実習態度いかんによって、実習中止とすることがある。 ・スキルスラボ等の利用による技術に関わる自己学習を奨励する。 								

時間割番号	022275					
科目名	健康教育の企画と実践 I	科目ID	DH-354301-Z			
担当教員						
開講時期	2020年度前期	対象年次	3			
実務経験のある教員による授業	該当する					
主な講義場所 口腔保健学科1号館7階第3講義室						
授業の目的、概要等 ・地域歯科保健活動を展開するために必要なアセスメント、ニーズ診断、企画立案能力を高めるとともに、介入後の変化を評価する手法を培う。 ・ライフステージごとの健康課題に応じた健康教育の計画立案、実践を行う。						
授業の到達目標 ・ライフステージごとの健康課題を説明する。 ・多様なライフステージの歯科衛生ニーズを把握する。 ・小学生および幼稚園児対象の健康教育を企画立案し、実践する。 ・健康教育実施後の健康行動の変容を評価する						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康教育1	学童期の生活習慣と歯科的問題	鈴木 瞳
4-5	4/13	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	幼稚園児対象健康教育1	幼稚園歳児の健康課題、	鈴木 瞳
6-8	5/11	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康教育2 幼稚園児 対象健康教育2	幼稚園の指導内容・使用媒体の決定 小学校・幼稚園に分かれシナリオ作成	鈴木 瞳
9-11	5/13	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康教育3 幼稚園児対 象健康教育3	シナリオ・媒体案作成(小学校1.2 年、幼稚園3.4.5歳)	鈴木 瞳
12-14	5/18	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康教育4 幼稚園児対 象健康教育4	シナリオ・媒体案作成(小学校1.2 年、幼稚園3.4.5歳)	鈴木 瞳
15-17	5/20	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	幼稚園児対象健康教育 5 小学1・2年生への健 康教育5	シナリオ・媒体案作成(小学校1.2 年、幼稚園3.4.5歳)	鈴木 瞳
18-19	6/1	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康教育6	OH2.4と合同 シナリオに関する 意見校間、媒体作成	鈴木 瞳

20-21	6/2	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育7	媒体作成	鈴木 瞳
22-24	6/3	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育8	媒体作成、練習	鈴木 瞳 吉 田 直美
25-28	6/4	09:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育9	最終リハーサル、実習準備(媒 体、歯磨きカレンダー確認)	鈴木 瞳 吉 田 直美
29	6/4	16:00-16:50	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	小学1・2年生への健康 教育10	最終リハーサル 事前準備物品 の確認	吉田 直美 鈴木 瞳
30-32	6/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育11	H小学校での健康教育実習	鈴木 瞳 吉 田 直美
33-34	6/10	13:00-14:50	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	小学1・2年生への健康 教育12 幼稚園児対 象健康教育5	H小学校実習の振り返り、幼稚園 用媒体作成、練習	鈴木 瞳 吉 田 直美
35-37	6/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育13 幼稚園児対 象健康教育3	OH2 との合同実習、リハーサルお よびシナリオ修正、媒体作成、練 習	鈴木 瞳 吉 田 直美
38-40	6/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	幼稚園児対象健康教育 3	媒体作成、リハーサル、物品準備	鈴木 瞳
41-43	7/9	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育14	T小学校健康教育	鈴木 瞳 吉 田 直美 近 藤 圭子 安 達 奈穂子
44-45	8/14	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育14	小学校健康教育の振り返り 歯磨 きカレンダーの評価	鈴木 瞳

成績評価の方法

- ・期末試験、レポートによる総括的評価を行う。
- ・出席状況、意欲・授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・2年次の健康教育の基礎で使用した資料を事前に確認しておくこと。

試験の受験資格

試験規則を確認すること。出席時間不足の場合は、受験することができない。

履修上の注意事項

備考

演習 実習

時間割番号	022276						
科目名	健康教育の企画と実践Ⅱ	科目ID	DH-354302-Z				
担当教員							
開講時期	2020年度後期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健学科1号館7階第3講義室							
授業の目的、概要等							
・個別性を重視した健康教育を実践するために必要な知識・技術・態度を修得する。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・インプラントの特徴とセルフケアの重要性を説明する。 ・医療コミュニケーションの重要性を説明する。 ・医療コミュニケーションスキルを実演する。 ・医療コミュニケーション演習において患者役に配慮する。 ・海外の歯科保健医療活動について概説する。 ・看護の視点について概説する。 ・看護過程について概説する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/2	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	インプラント患者への口腔健康管理	インプラントの特徴とセルフケアの重要性	吉田 直美 河野 章江	
3-5	10/9	11:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	医療コミュニケーション ①	“医療コミュニケーションの重要性 禁煙指導5A5R”	吉田 直美 渡邊 麻理	
6-8	10/23	11:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	医療コミュニケーション ②	モチベーションインタビューイン グの実際 医療面接の分析	吉田 直美 渡邊 麻理	
9	11/6	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	海外における歯科保健 医療活動1	海外研修発表会	吉田 直美	
10-11	12/4	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	海外における歯科保健 医療活動2	スウェーデンの歯科事情	吉田 直美	クロスフィールド
12-13	1/22	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	看護概論	看護の視点 看護の基本となるもの	吉田 直美	看護部 山口さおり師長
14-15	1/29	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	看護過程	看護過程による看護の実践	吉田 直美	看護部 小山雅美師長
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、期末試験、レポートによる総合的評価を行う。 ・出席状況、意欲・授業態度を総合的評価に加味する。 							
準備学習等についての具体的な指示							
<ul style="list-style-type: none"> ・2年次3年次の健康教育の基礎で使用した資料を事前に確認しておくこと。 ・Webclassに事前に配布された資料を確認しておくこと。 							

<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験規則を確認すること。 ・出席時間不足の場合は、受験することができない。
<p>教科書</p> <p>歯科予防処置論・歯科保健指導論2版／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,高阪 利美,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2020</p>
<p>参考書</p> <p>ウィルキンス歯科衛生士の臨床／E・M・ウィルキンス 著,遠藤圭子, 中垣晴男, 西真紀子, 眞木吉信, 松井恭平, 山根瞳, 若林則幸 監訳,Wilkins, Esther M,遠藤 圭子,中垣 晴男, 1945-,西, 真紀子,:医歯薬出版, 2015</p>
<p>備考</p> <p>演習</p>

時間割番号	022277						
科目名	歯科診療補助論Ⅲ	科目ID	DH-352103-Z				
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:30時間 授業形態:講義・演習・実習							
主な講義場所 口腔保健学科第3講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等 ・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な技術を身につける。 ・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。							
授業の到達目標 ・器材の種類・特性・用途を理解する。 ・患者の誘導の方法・患者とのコミュニケーションの取り方を理解する。 ・チーム医療に必要な技能を理解し実践する。 ・各科に必要な器材を選択し、診療の流れにそって説明できる。 ・バイタルサイン(意識レベルを含む)を測定し、判断できる。 ・救急蘇生について説明し、ダミーを使用し体験する。 ・歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明できる。 ・ライフサイクルに合わせた、歯科衛生士の関わりを理解する。 ・歯科診療報酬について理解する							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/13	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科保険について1	社会保障制度の体系と医療保険	伊藤 奏	Zoomによる遠隔 授業
4-6	4/15	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科保険について2	歯科診療報酬の構成と各論	伊藤 奏	Zoomによる遠隔 授業
7-10	5/8	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	診療補助各論(小児歯 科)	診療補助の概要、器材を扱う演習	伊藤 奏	Zoomによる遠隔 授業
11-12	5/20	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科保険について3	事例演習	伊藤 奏	WebClass 演習
13-14	6/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	顎顔面補綴学 顎顔面 補綴治療の実際1	顎顔面補綴学が対応する症例、補 綴症例 顎顔面補綴治療におけ る口腔衛生指導	隅田 由香、 伊藤 奏	
15-16	6/8	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	顎顔面補綴学 顎顔面 補綴治療の実際2	顎顔面補綴治療の実際に求めら れる心理ケア 顎顔面補綴治療 におけるチーム医療	隅田 由香、 伊藤 奏	
17-20	6/15	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科保存処置関連実習	防湿法について ラバーダム防 湿法(基礎実習)	伊藤 奏、近 藤 圭子	実習
21-24	6/15	13:00-16:50	口腔保健 学科第3	歯科保険について4	事例演習	伊藤 奏	演習

			講義室				
25-28	7/8	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	インプラントの臨床と制 作過程	インプラントの歴史、手技、管理 インプラントの埋入法、補綴法	黒田 真司, 伊藤 奏	
29-32	7/16	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	外科手術における診療 補助	手術用ガウンの着用方法 メス、 縫合針の取り扱い 手術用器材 の展開方法	樺沢 勇司, 伊藤 奏, 安 達 奈穂子, 鈴木 瞳	実習

成績評価の方法

- ・中間試験、前期末の筆記試験、提出レポート課題により 総合的評価する。
- ・出席状況、意欲・授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。
 - ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
 - ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
- ※Zoom での同期型授業に関しては、原則授業に参加した場合出席と認める。ただし、ネット環境等の問題で参加を試みたが参加できない場合、必ず授業時間内に伊藤(ito.ocsh@tmd.ac.jp)に連絡すること。連絡があった場合のみ、事後の動画視聴および課題提出によって出席と認める。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席が必要

教科書

歯科診療補助論(第 2 版)／合場千佳子 ほか 著:医歯薬出版, 2017

歯科衛生士のための歯科診療報酬入門／日本歯科衛生士会 監修,鳥山佳則, 石井拓男, 武井典子, 金澤紀子, 吉田直美 編集,鳥山, 佳則,石井, 拓男,武井, 典子,日本歯科衛生士会:医歯薬出版, 2018

口腔インプラント学実習書 = Oral implant practice manual／日本口腔インプラント学会編,日本口腔インプラント学会:永末書店, 2014

参考書

歯科材料／全国歯科衛生士教育協議会 監修,末瀬一彦 ほか 著,末瀬, 一彦, 1951-,全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2017

歯科機器／末瀬一彦 ほか 著,末瀬, 一彦, 1951-,全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2017

口腔インプラント治療指針 = Treatment Guideline of Oral Implant／日本口腔インプラント学会 編,日本口腔インプラント学会:医歯薬出版, 2016

履修上の注意事項

- ・教科書「歯科診療補助論 第 2 版」を必携とする。
- ・講義場所が実習室となっている場合は、必ず白衣を着用し、実習の身だしなみを整えた状態で、講義開始時間までに実習室に集合すること。講義開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。
- ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022278						
科目名	臨床口腔保健衛生実習Ⅱ	科目ID	DH-352202-E				
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:臨床口腔保健衛生実習Ⅱ 時間数:45時間 授業形態:実習・演習・講義							
主な講義場所 口腔保健学科第3講義室・臨床基礎実習室・相互実習室 歯学科補綴実習室 歯学科保存・矯正実習室							
授業の目的、概要等 ・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な技術を身につける。 ・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。							
授業の到達目標 ・器材の種類・特性・用途を理解する。 ・診療に必要な器械・材料・薬品の適切な準備と取り扱いを行う。 ・器材の特性にあわせ、滅菌・消毒を行う。 ・器材の管理の方法を説明できる。 ・患者の誘導の方法・患者とのコミュニケーションの取り方を理解する。 ・チーム医療に必要な技能を理解し実践する。 ・各科に必要な器材を選択し、診療の流れにそって説明できる。 ・バイタルサイン(意識レベルを含む)を測定し、判断できる。 ・救急蘇生について説明し、ダミーを使用し体験する。 ・歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明できる。 ・ライフサイクルに合わせた、歯科衛生士の関わりを理解する。 ・歯科保健医療に関わる職種をあげ、それぞれの役割を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	5/25	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科保存処置関連実習 3	防湿法の実際 ラバーダム防湿 法演習	金子 友厚 伊藤 奏	WebClass 演習
5-7	5/26	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科用材料の取り扱い	セメント練和、印象材練和等の演 習(復習含む)	伊藤 奏	WebClass 演習
8-9	6/4	14:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科診療補助演習	各分野の歯科診療補助について まとめ	伊藤 奏	演習 実習
10-12	6/16	15:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科材料の取り扱い	各種印象材の取り扱い	伊藤 奏、日 高 玲奈	実習
13-16	6/22	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習	小児歯科関連実習	小児における診療補助の実際(相 互実習)	和田 奏絵 伊藤 奏、安 達 奈穂子、 鈴木 瞳	実習

			室				
17-21	6/30	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科補綴関連実習 2	精密印象。硬石膏の取り扱い(相互実習)	伊藤 奏 安 達 奈穂子, 鈴木 瞳	実習
22-25	7/6	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	口腔外科・歯科麻酔関連 実習	浸潤麻酔、静脈確保の実際	馬場 有希子, 樺沢 勇司, 伊藤 奏	実習
26-29	7/13	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	救急蘇生法の実際	救急蘇生法実習	馬場 有希子, 樺沢 勇司, 伊藤 奏	実習
30-33	7/15	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インプラントの臨床と制 作過程	インプラントの埋入法 インプラ ントの補綴法	黒田 真司, 伊藤 奏	実習
34-37	7/28	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科補綴関連実習1	暫間被覆冠の種類と作製の実際	大竹 志保 伊藤 奏	実習
38-41	8/14	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科保存処置関連実習 1	器材の取り扱いの実際(接着材)	井上 剛 伊 藤 奏	実習
42-45	8/18	13:00-16:50	保存矯正 実習室	歯科保存処置関連実習 2	器材の取り扱いの実際(充填物)	井上 剛 伊 藤 奏	実習

成績評価の方法

- ・中間試験、前期末の筆記試験、実習評価、提出レポート課題により 総括的評価する。
- ・出席状況、意欲・授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。
- ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
- ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。

試験の受験資格

- 全講義の 2/3 以上出席すること。
- 実習は 3/4 以上出席すること。

教科書

歯科診療補助論(第2版)／合場千佳子 ほか 著,合場, 千佳子,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2017
歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック／宮田孝義, 三浦英司 著,宮田, 孝義, 1946-,三浦, 英司, 1957-,.:学建書院, 2018

参考書

- ・最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
- ・よくわかる口腔インプラント学 赤川安正、松浦正朗編 医歯薬出版
- ・声と言葉のしくみ 亀田和夫 口腔保健協会
- ・口唇裂口蓋裂の補綴治療 大山喬史編 医歯薬出版社
- ・顎顔面補綴の臨床 大山喬史・谷口 尚著 医学情報社
- ・言語聴覚士に必要な歯科の知識 谷口 尚・片倉伸郎・大野友久・墨田由香著 インテルナ出版

履修上の注意事項

- ・2年次の臨床歯科医学(歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学)の講義内容を復習して授業に臨むこと。

備考

- ・教科書「歯科診療補助論 第2版」を必携とする。
- ・実習では必ず白衣もしくはユニフォームを着用し、実習の身だしなみを整えた状態で、講義開始時間までに実習室に集合すること。
- ・授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。
- ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022280					
科目名	歯科衛生臨床実習 I	科目ID	DH-374401-E			
担当教員						
開講時期	2020年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3			
実務経験のある教員による授業	該当する					
主な講義場所 歯学部附属病院						
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。						
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-5	4/6	11:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	4年生 臨床・臨地実習 ガイダンス1	臨床実習 各科ガイダンス 臨地 実習 ガイダンス1	荒川 真一, 品田 佳世子, 近藤 圭子, 安達 奈穂子, 伊藤 奏
6-7	4/10	15:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室 歯学科第 4 講義室	4年生 臨床・臨地実習 ガイダンス2	D6-OH4 連携実習について	近藤 圭子, 伊藤 奏
8-10	4/13	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	4年生 臨床実習 演習	口腔ケア実習 試験ケース発表	吉田 直美 古屋 純一, 樺沢 勇司, 荒川 真一, 品田 佳世子, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安

						達 奈穂子, 日高 玲奈, 伊藤 奏, 佐々木 好幸
11-14	4/13	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	4年生 臨床実習 演習	口腔ケア実習 試験ケース発表	吉田 直美, 古屋 純一, 樺沢 勇司, 荒川 真一, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子, 佐々木 好幸
15-17	6/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	4年生 隣地実習関連講 義		近藤 圭子, 安達 奈穂子, 日高 玲奈, 伊藤 奏
18-24	9/30	09:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	3年生 臨床実習ガイダ ンス1		荒川 真一, 品田 佳世子, 近藤 圭子, 安達 奈穂子
25-31	10/1	09:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	3年生 臨床実習ガイダ ンス2		近藤 圭子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子, 日高 玲奈, 伊藤 奏
32-33	10/2	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	4年生 臨床・隣地実習 ガイダンス	後期ガイダンス	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 伊藤 奏
34	10/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	4年生 臨床実習 演習	口腔ケア試験ケース リコール発 表	樺沢 勇司, 荒川 真一, 佐々木 好幸, 近藤 圭子, 安達 奈穂子, 伊藤 奏, 品 田 佳世子
35-38	10/2	13:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	4年生 臨床実習 演習	口腔ケア試験ケース リコール発 表	品田 佳世子, 近藤 圭子, 安達 奈穂子, 日高 玲奈, 佐々木 好幸
39-41	10/5	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	4年生 臨床実習 演習	口腔ケア試験ケース リコール発 表	近藤 圭子, 伊藤 奏, 安 達 奈穂子, 日高 玲奈, 吉田 直美 鈴木 瞳 樺 沢 勇司, 佐々木 好幸
42-45	10/5	13:00-16:50	口腔保健	4年生 隣地実習ガイダ	後期 隣地実習ガイダンス	伊藤 奏

			学科第2 講義室	ンス			
46-49	12/11	09:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	3年生 歯科矯正学基礎 実習		樺沢 勇司, 近藤 圭子, 安達 奈穂子, 辻 美千子	

授業内容

●3年生

- ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習
- ・臨床実習(本実習)
 - 口腔ケア実習
 - 歯周病外来実習
 - 口腔ケア外来実習
 - 歯科総合診療部実習

●4年生

- ・臨床実習ガイダンス
- ・臨床実習(本実習)
 - 口腔ケア実習
 - 歯周病外来実習
 - 病棟実習
 - 歯科アレルギー外来実習
 - 歯科心身医療外来実習
 - 顎関節治療部実習
 - スポーツ歯科外来実習
 - 息さわやか外来実習
 - 検査部実習
 - 薬剤部実習

成績評価の方法

- ・実習報告書・実習記録、出席状況、臨床実習指導者評価等により総合的評価を行う。
- ・実習態度・取組み、提出物の提出状況を総合的評価に加味する。
- ・提出レポート、課題発表等で総合的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。
実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。

試験の受験資格

各科実習時間における3/4以上の出席

教科書

:医歯薬出版

参考書

歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著, :医歯薬出版, 2011
 歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編 :医歯薬出版, 2007
 歯周病学／申基喆ほか著, 申, 基喆 :医歯薬出版, 2015

臨床検査／井上孝ほか著,全国歯科衛生士教育協議会,井上, 孝,:医歯薬出版, 2012

:医歯薬出版

講義資料

履修上の注意事項

附属病院等では服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とすることがある。

時間割番号	022283						
科目名	歯科衛生過程専門演習	科目ID	DH-352302-S				
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健学科 第3講義室							
授業の目的、概要等							
人々の歯科衛生ニーズにあった支援を提供するために活用する問題解決思考ツールの歯科衛生過程の概念と展開の方法を理解する。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・事例を通して、対象者の情報を分類・整理、統合する。 ・事例を通して、対象者の歯科衛生関連の問題を明確化し、優先順位をつける。 ・明確化した問題の関連因子を特定し、歯科衛生診断文を作成する。 ・歯科衛生計画を立案する(目標・歯科衛生介入・期待される結果)。 ・計画を実施する。 ・歯科衛生評価を行う。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/25	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践へ活用するための演習1	口腔衛生用品の選択について	吉田 直美	GC 星野氏
3-4	6/1	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実践へ活用するための演習3	対象者からの情報収集のための準備	吉田 直美 鈴木 瞳	
5	6/3	15:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	臨床実践へ活用するための演習4	情報収集のための器材、ユニット準備	鈴木 瞳 吉 田 直美 安 達 奈穂子	
6	6/3	16:00-16:50	口腔保健 学科相互 実習室	臨床実践へ活用するための演習5	工学専攻学生からの情報収集	安達 奈穂子, 鈴木 瞳 吉 田 直美 塩 沢 真穂 大 木 明子	
7	6/3	17:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	臨床実践へ活用するための演習6	片付け、記録整理	吉田 直美 鈴木 瞳 安 達 奈穂子	
8-9	6/8	10:00-11:50	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛	臨床実践へ活用するための演習2	音波歯ブラシについて	吉田 直美	GC 星野氏

			生学専攻)				
10-11	6/9	10:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	臨床実践へ活用のための演習 7	対象者の情報分析、計画立案	吉田 直美	
12-14	6/15	09:00-11:50	口腔保健学科臨床基礎実習室	臨床実践へ活用のための演習 8	患者に合わせたセルフケア用品の選択	吉田 直美	LION 傳坂氏
15-16	6/22	10:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	臨床実践へ活用のための演習 9	対象者の計画修正	吉田 直美	
17-18	7/1	09:00-10:50	口腔保健学科第3講義室	臨床実践へ活用のための演習 10	対象者の計画修正 歯科衛生介入のための準備(媒体を含む)	吉田 直美	
19-20	7/6	09:00-10:50	口腔保健学科第3講義室	臨床実践へ活用のための演習 11	歯科衛生介入のための準備(媒体を含む)	吉田 直美	
21-23	7/21	09:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	臨床実践へ活用のための演習 12	問題分析・解決能力を高めるための演習	吉田 直美 杉本 久美子	
24	7/22	11:00-11:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	臨床実践へ活用のための演習 13	歯科衛生介入シミュレーション	吉田 直美 鈴木 瞳	
25	7/22	13:00-13:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	臨床実践へ活用のための演習 14	歯科衛生介入のための準備	鈴木 瞳 吉田 直美 伊藤 奏 安達 奈穂子	
26-27	7/22	14:00-15:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	臨床実践へ活用のための演習 15	工学2年生への健康教育	鈴木 瞳 吉田 直美 安達 奈穂子 伊藤 奏 大木 明子 塩沢 真穂	
28	7/22	16:00-16:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	臨床実践へ活用のための演習 16	工学2年生への歯科衛生介入の記録、片付け	吉田 直美 鈴木 瞳 安達 奈穂子 伊藤 奏	

29-30	7/27	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実践へ活用のため の演習 17	評価	吉田 直美 鈴木 瞳		
成績評価の方法								
小テスト、課題レポートで総括的評価を行う。受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。								
準備学習等についての具体的な指示								
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・2年次の健康教育および歯科衛生過程の講義・実習で使用した資料・教本を確認しておくこと。 								
試験の受験資格								
2/3 以上の出席								
教科書								
歯科衛生過程 HAND BOOK : 歯科衛生士教育サブテキスト : やさしく学べる・これならわかる / 吉田直美, 遠藤圭子, 渡邊麻理, 鈴木純子 著.: クインテッセンス出版, 2015 事例でわかる歯科衛生過程 / 全国歯科衛生士教育協議会 編 全国歯科衛生士教育協議会.: 医歯薬出版, 2019								
参考書								
よくわかる歯科衛生過程 / 全国歯科衛生士教育協議会編 全国歯科衛生士教育協議会.: 医歯薬出版, 2015								
備考								
実習・演習								

時間割番号	022284						
科目名	社会調査の基礎				科目ID	DH-344500-L	
担当教員	品田 佳世子, 大山 篤, 甲畑 宏子, 吉田 雅幸[SHINADA KAYOKO, Atsushi Ohyama, KOBATA HIROKO, YOSHIDA MASAYUKI]						
開講時期	2020年度前期	対象年次	3		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:社会調査の基礎 時間数:30時間 授業形態:講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第3講義室							
授業の目的、概要等 ・社会調査の意義と目的を理解し、調査票の作成と模擬実施、集計解析など実践的に学習する。 ・社会調査における倫理や個人情報保護について理解する。 ・医療法、歯科医師法、歯科技工士法他に関して理解する。							
授業の到達目標 ・社会調査の意義と目的及び方法の概要について説明できる。 ・量的調査及び質的調査の基本的な方法を説明することができる。 ・統計法の概要、社会調査における倫理や個人情報保護について説明できる。 ・医療法、歯科医師法、歯科技工士法他に関する知識がある。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/7	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	社会調査に関する総論	社会調査に関する総論	品田 佳世子	遠隔授業、 Webclassの3年生の授業にPPTの動画と資料をアップしますので視聴すること。
3-4	4/10	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	社会調査の歴史と概要、小テスト1の解説	社会調査の歴史と概要、小テスト1の解説	品田 佳世子	遠隔授業、 Webclassの3年生の授業にPPTの動画と資料をアップしますので視聴すること。
5-6	4/14	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	社会調査の対象と方法 調査票(質問紙)の作成 方法と留意点	社会調査の対象と方法、調査票(質問紙)の作成方法と留意点	安達 奈穂子、 品田 佳世子	ZOOMによる中継授業、授業開始時間にPCにより授業参加のこと。課題を出しますので期日までに提出のこと。
7-8	4/16	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	量的調査におけるデータ解析1、小テスト2の解説	量的調査におけるデータ解析1、小テスト2の解説	品田 佳世子	遠隔授業、 Webclassの3年生の授業にPPTの動画と資料をアップしますので視聴すること。
9-10	4/17	13:00-14:50	口腔保健	質的調査の方法1	質的調査の方法1、	品田 佳世子	ZOOMによる中

			学科第3 講義室			大山 篤 安 達 奈穂子	継授業、授業開 始時間にPCによ り授業参加のこ と。課題を出しま すので期日まで に提出のこと。
11-12	4/20	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	スクリーニングテスト	スクリーニングテスト	品田 佳世子	遠隔授業、 Webclassの3年 生の授業にPPT の動画と資料を アップしますので 視聴すること。
13-14	4/21	10:00-11:50	第1講義 室	倫理審査の必要性	倫理審査の必要性	甲畑 宏子, 品田 佳世子	遠隔授業、 Webclassの3年 生の授業にPPT の動画と資料を アップしますので 視聴すること。
15-16	4/28	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	量的調査におけるデー タ解析2	量的調査におけるデータ解析2	品田 佳世子, 安達 奈穂子	ZOOMによる中 継授業、授業開 始時間にPCによ り授業参加のこ と。課題を出しま すので期日まで に提出のこと。
17-18	5/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	質的調査方法2	質的調査方法2	品田 佳世子, 大山 篤 安 達 奈穂子	ZOOMによる中 継授業、授業開 始時間にPCによ り授業参加のこ と。課題を出しま すので期日まで に提出のこと。
19-20	5/12	10:00-11:50	第1講義 室	個人情報保護	個人情報保護	品田 佳世子, 吉田 雅幸, 安達 奈穂子	遠隔授業、ZOOM による中継授業、 授業開始時間に PCにより授業参 加のこと。
21-22	5/14	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	医療法	医療法	品田 佳世子	遠隔授業、 Webclassの3年 生の授業にPPT の動画と資料を アップしますので 視聴すること。
23-24	5/19	10:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯科医師法、歯科技工 士法	歯科医師法、歯科技工士、演習問 題	品田 佳世子	遠隔授業、 Webclassの3年 生の授業にPPT の動画と資料を アップしますので 視聴すること。
25-26	5/26	10:00-11:50	口腔保健	医療法、歯科医師法、歯	医療法、歯科医師法、歯科技工士	品田 佳世子	遠隔授業、

			学科第2 講義室	科技工士法に関する小 テストの解説、その他の 口腔保健の関連法	法に関する小テストの解説、その 他の口腔保健の関連法		Webclass の3年 生の授業にPPT の動画と資料を アップしますので 視聴すること。
27-28	6/16	10:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	社会調査の基礎講義に 関する練習問題とその 解答	社会調査の基礎講義に関する練 習問題とその解答	品田 佳世子	遠隔授業、 Webclass の3年 生の授業にPPT の動画と資料を アップしますので 視聴すること。
29-30	6/23	10:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ、理解度確認テス ト	まとめ、理解度確認テストと解説	品田 佳世子	理解度確認テスト と解説
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・出欠状況と授業参加の態度 (20%) ・調査課題に関するレポートおよび筆記試験(ミニテスト、確認テスト含む) (80%)を総合評価する。 							
準備学習等についての具体的な指示							
統計の基礎を復習しておくこと。							
試験の受験資格							
全講義の2/3以上出席すること							
参考書							
新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集、中央法規出版、2015 歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険／末高武彦 著、末高、武彦、1941-、医歯薬出版、2018							
備考							
担当教員(非常勤) 大山 篤(4時間 神戸製鋼 歯科室)							
連絡先(メールアドレス)							
品田 佳世子:shinada.ohp@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
品田 佳世子:月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1号館西8階品田室							

時間割番号	022285			科目ID	DH-464600-Z		
科目名	卒業研究			科目ID	DH-464600-Z		
担当教員	品田 佳世子[SHINADA KAYOKO]						
開講時期	2020 年度2年通年	対象年次	3~4	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:卒業研究 時間数:3 学年 73 時間、4 学年 107 時間 授業形態:演習・講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室 他							
授業の目的、概要等 各学生の知的興味、将来の方向性に沿ってテーマを選択し、計画・立案に基づいて研究を実施する。さらに結果を論文にまとめて十分考察することにより、研究への理解と意欲を培う。							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。 ・研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見が整理できる。 ・EBM・EBHC の概念を説明できる。 ・知見や問題点に基づいた研究の計画・立案ができる。 ・実験・調査などの研究を実施できる。 ・実験・調査などの結果を分析整理し、統計学的な解析ができる。 ・結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/10	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究の進め方	卒業研究の進め方	品田 佳世子	
2-3	5/13	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究の進め方、3年 前期の説明、各教員か らの研究例に関するプ レゼン	卒業研究の進め方、3年前期の説 明、各教員からの研究例に関する プレゼン	品田 佳世子、 荒川 真一	遠隔授業、パワ ーポイント動画を Webclass にアップ しますので視聴 のこと。
4-8	5/21	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	各教員からの研究例に 関するプレゼン、卒業研 究のテーマに関する文 献検索	各教員からの研究例に関するプレ ゼン、卒業研究のテーマに関する 文献検索	品田 佳世子、 安達 奈穂子、 坂本 裕次郎、 樺沢 勇司	遠隔授業、研究 例は ZOOM また は PPT 動画で、 ZOOM の場合は 参加すること、 PPT 動画は Webclass にアップ しますので視聴 のこと。文献検索
9-10	6/24	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	各教員からの研究例に 関するプレゼン、卒業研 究のテーマに関する文 献検索	各教員からの研究例に関するプレ ゼン、卒業研究のテーマに関する 文献検索	吉田 直美 品田 佳世子、 近藤 圭子、 鈴木 瞳、日 高 玲奈、伊 藤 奏	
11-12	6/29	15:00-16:50	口腔保健 学科第3	各教員からの研究例に 関するプレゼン、卒業研	各教員からの研究例に関するプレ ゼン、卒業研究のテーマに関する	吉田 直美 品田 佳世子、	演習

			講義室	究のテーマに関する案 作成	案作成	近藤 圭子, 鈴木 瞳 日 高 玲奈, 伊 藤 奏	
13	11/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	品田 佳世子	文献検索
14	11/12	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	品田 佳世子	文献検索
15	11/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	品田 佳世子	文献検索
16	11/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	品田 佳世子	文献検索
17	11/25	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
18	11/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマ例	卒業研究テーマ例:各教員の講義	品田 佳世子	
19	12/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
20	12/3	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
21	12/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
22	12/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
23	12/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
24	12/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
25-32	12/18	09:00-17:50	特別講堂	4年生の卒業研究発表 聴講・質疑	4年生の卒業研究発表聴講・質疑	品田 佳世子	4年生の卒業研 究発表聴講・質疑
33-34	12/21	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、面談	テーマ候補と研究内容に関する準 備、面談	品田 佳世子	面談、文献検索
35-37	12/22	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、面談	テーマ候補と研究内容に関する準 備、面談	品田 佳世子	面談、文献検索
38	1/6	17:00-17:50	口腔保健	卒業研究テーマと内容	卒業研究テーマと内容に関する個	品田 佳世子	卒業研究テーマ

			学科第3 講義室	に関する個別面談	別面談		と内容に関する 個別面談
39	1/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマと内容 に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個 別面談	品田 佳世子	卒業研究テーマ と内容に関する 個別面談
40	1/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマと内容 に関する個別面談、担 当分野との打ち合わせ	卒業研究担当分野との打ち合わ せテーマと内容に関する個別面 談、	品田 佳世子	担当分野との打 ち合わせ
41	1/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマと内容 に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個 別面談	品田 佳世子	
42-45	1/8	09:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	工学専攻4年生の卒業 研究発表聴講・質疑	工学専攻4年生の卒業研究発表 聴講・質疑	品田 佳世子	工学専攻4年生 の卒業研究発表 聴講・質疑
46-53	1/8	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	担当分野との打 ち合わせ
54-57	1/8	09:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	口腔保健工学専攻4年 生の卒業研究発表聴 講・質疑	口腔保健工学専攻4年生の卒業 研究発表聴講・質疑	品田 佳世子	口腔保健工学専 攻4年生の卒業 研究発表聴講・質 疑
58	1/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、面談	テーマ候補と研究内容に関する準 備、面談	品田 佳世子	面談、文献検索
59	1/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室		担当分野(教員)決定	品田 佳世子	
60	1/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、面談	テーマ候補と研究内容に関する準 備、面談	品田 佳世子	面談、文献検索
61	1/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	テーマと担当分 野に関する面接、 文献検索
62	2/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマと内容 に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個 別面談	品田 佳世子	面談、文献検索
63-64	2/9	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、面談	テーマ候補と研究内容に関する準 備、面談	品田 佳世子	面談
65-66	2/10	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマと内容 に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個 別面談	品田 佳世子	面談、文献検索
67-68	2/10	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	担当教員とのディスカッ ション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	吉田 直美 樺沢 勇司、 荒川 真一、 品田 佳世子、 坂本 裕次郎、 近藤 圭子、 鈴木 瞳 安	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始

						達 奈穂子, 伊藤 奏 日 高 玲奈	
69-72	2/16	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、担当分 野(教員)決定	テーマ候補と研究内容に関する準 備、担当分野(教員)決定	品田 佳世子	テーマと担当分 野に関する面接、 文献検索
73-75	2/16	14:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	担当教員とのディスカッ ション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	品田 佳世子, 荒川 真一, 樺沢 勇司, 吉田 直美 坂本 裕次郎, 近藤 圭子, 伊藤 奏, 鈴 木 瞳, 日高 玲奈, 安達 奈穂子	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始
76-83	2/17	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	担当教員とのディスカッ ション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	品田 佳世子	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始
84-90	2/17	10:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、担当分 野との打ち合わせ	テーマ候補と研究内容に関する準 備、担当分野との打ち合わせ	品田 佳世子	テーマ候補と研 究内容に関する 準備、担当分野と の打ち合わせ
91	2/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、担当分 野との打ち合わせ	テーマ候補と研究内容に関する準 備、担当分野との打ち合わせ	品田 佳世子	担当分野との打 ち合わせ
92-96	3/8	13:00-17:50	特別講堂	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
97-10 1	3/9	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマと内容 に関する個別面談、担 当分野との打ち合わせ	卒業研究担当分野との打ち合わ せテーマと内容に関する個別面 談、	品田 佳世子	担当分野との打 ち合わせ
102-1 05	3/9	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	担当教員とのディスカッ ション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	品田 佳世子, 荒川 真一, 樺沢 勇司, 吉田 直美 坂本 裕次郎, 近藤 圭子, 伊藤 奏, 鈴 木 瞳, 日高 玲奈, 安達 奈穂子	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始

成績評価の方法

- ・単位認定(4単位)は4学年終了時に行う。
- ・単位認定は、3年次から各課題(論文抄録、研究計画書、中間発表会プレゼンテーションファイル、成果報告会プレゼンテーションファイル、卒業研究論文ファイル)の期限内提出、研究計画書・中間発表会プレゼンテーション・成果報告会プレゼンテーション・論文についての総括的評価により行う。

準備学習等についての具体的な指示

研究テーマを考え、それに関する文献を検索し、文献を読んでおくこと。

試験の受験資格

<p>卒業研究の発表および卒業論文を提出すること</p> <p>参考書</p> <p>卒業研究 HAND BOOK／眞木吉信 監著,薄井由枝,品田佳世子,白鳥たかみ,杉原直樹,田村清美,松田裕子 著,:クインテッセンス出版, 2011</p> <p>SPSSによる医学・歯学・薬学のための統計解析／石村貞夫, 謝承泰, 久保田基夫 著,:東京図書, 2011</p> <p>SPSSで学ぶ医療系多変量データ解析／対馬栄輝 著,:東京図書, 2008</p> <p>歯科衛生研究の進め方論文の書き方／武井典子 [ほか] 編,武井, 典子,金澤, 紀子(歯科衛生士),合場, 千佳子,石井, 拓男,岩久, 正明,日本歯科衛生学会,:医歯薬出版, 2015</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保健・医療のための研究法入門」、朝倉隆司監訳、協同医書出版社 ・「歯科衛生研究の進め方、論文の書き方」、金澤紀子、武井典子、合場千佳子、岩久正明 編、医歯 薬出版 ・「医薬研究者の視点からみた道具としての統計学」、奥田千恵子、金芳堂
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に指導教員、副指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進めること。
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>shinada.ohp@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1号館西8階品田室</p>

時間割番号	022286																																																																				
科目名	相談援助演習Ⅱ	科目ID	DH-394700-S																																																																		
担当教員	日高 玲奈, 山田 美代子[NAKAYAMA Rena, YAMADA MIYOKO]																																																																				
開講時期	2020年度前期	対象年次	3	単位数	1																																																																
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																				
<p>時間数:60時間 2単位</p> <p>授業形態:演習</p> <p>担当教員:山田美代子(西片医療福祉研究会)、日高玲奈</p>																																																																					
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第3講義室</p>																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>・社会福祉における相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、専門的な相談援助に係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。</p>																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>・相談援助の内容・方法・プロセスを説明できる。</p> <p>・相談援助の実際について、事例を通じて理解できる。</p> <p>・ロールプレイを通じて相談援助の実践を理解できる。</p>																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>5/1</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>相談の技法を身に付けるⅠ</td> <td>高齢者</td> <td>山田 美代子, 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>5/8</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>相談の技法を身に付けるⅡ</td> <td>障害者</td> <td>山田 美代子</td> </tr> <tr> <td>7-10</td> <td>5/22</td> <td>13:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>相談の技法を身に付けるⅢ</td> <td>複数課題を抱える家族</td> <td>山田 美代子</td> </tr> <tr> <td>11-14</td> <td>5/29</td> <td>13:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>相談の技法を身に付けるⅣ</td> <td>チームアプローチ</td> <td>山田 美代子</td> </tr> <tr> <td>15-18</td> <td>6/5</td> <td>13:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>相談の技法を身に付けるⅤ</td> <td>ネットワーキング</td> <td>山田 美代子</td> </tr> <tr> <td>19-22</td> <td>6/12</td> <td>13:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>相談の技法を身に付けるⅥ</td> <td>その他</td> <td>山田 美代子</td> </tr> <tr> <td>23-25</td> <td>7/30</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>相談援助技法の応用Ⅰ</td> <td>事例に基づくロールプレイ、事例 検討</td> <td>山田 美代子</td> </tr> <tr> <td>26-30</td> <td>7/30</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>相談援助技法の応用Ⅱ、 まとめ</td> <td>事例に基づくロールプレイ、事例 検討 これまでのまとめ</td> <td>山田 美代子</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	5/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅠ	高齢者	山田 美代子, 日高 玲奈	4-6	5/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅡ	障害者	山田 美代子	7-10	5/22	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅢ	複数課題を抱える家族	山田 美代子	11-14	5/29	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅣ	チームアプローチ	山田 美代子	15-18	6/5	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅤ	ネットワーキング	山田 美代子	19-22	6/12	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅥ	その他	山田 美代子	23-25	7/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助技法の応用Ⅰ	事例に基づくロールプレイ、事例 検討	山田 美代子	26-30	7/30	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助技法の応用Ⅱ、 まとめ	事例に基づくロールプレイ、事例 検討 これまでのまとめ	山田 美代子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																															
1-3	5/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅠ	高齢者	山田 美代子, 日高 玲奈																																																															
4-6	5/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅡ	障害者	山田 美代子																																																															
7-10	5/22	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅢ	複数課題を抱える家族	山田 美代子																																																															
11-14	5/29	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅣ	チームアプローチ	山田 美代子																																																															
15-18	6/5	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅤ	ネットワーキング	山田 美代子																																																															
19-22	6/12	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅥ	その他	山田 美代子																																																															
23-25	7/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助技法の応用Ⅰ	事例に基づくロールプレイ、事例 検討	山田 美代子																																																															
26-30	7/30	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助技法の応用Ⅱ、 まとめ	事例に基づくロールプレイ、事例 検討 これまでのまとめ	山田 美代子																																																															
<p>成績評価の方法</p> <p>・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。</p> <p>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</p>																																																																					

<ul style="list-style-type: none">・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。
準備学習等についての具体的な指示 <ul style="list-style-type: none">・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3分の2以上の出席
備考 課題発表、グループワークを含む

時間割番号	022287						
科目名	口腔保健と国際協力			科目ID	DH-334800-L		
担当教員	樺沢 勇司, 伊藤 玲, 安田 昌代, 吉津 智慧, 木野 志保[KABASAWA YUJI, Akira Itoh, Masayo Yasuda, YOSHIZU Chie, KINO Shiho]						
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 1号館西7階、第3講義室							
授業の目的、概要等 国際保健医療福祉の現状を知り、国際的な視点から、歯科衛生士・社会福祉士として活躍できる人材になるための、基礎を学習する。							
授業の到達目標 SBOs 1. 国際歯科保健医療福祉とは何かを説明できる。 2. それぞれの国の歯科保健医療福祉を説明できる。 3. 国際保健医療福祉で、活躍するために必要な基礎的事項を説明できる。 4. 海外での口腔保健活動について、自分の関心のあることをまとめ、説明できる。 5. 海外での保健医療福祉活動の目標、計画、実施を立案し、説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際保健医療福祉1	グローバルヘルスの歴史と基本概念	安達 奈穂子, 樺沢 勇司	到達目標1、3 Web 講義を予定 する 講義中に 討論および演習 を行う。
2	4/14	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 2	国際保健の目指すもの	樺沢 勇司, 安達 奈穂子	到達目標1、3 Web 講義を予定 する 講義中に 討論および演習 を行う。
3	4/21	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際保健医療福祉3	国際保健の戦略と理論	安達 奈穂子, 樺沢 勇司	到達目標1、3 Web 講義を予定 する 講義中に 討論および演習 を行う。
4	4/28	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療	国際保健医療の実際: 大きな枠組み	安達 奈穂子, 樺沢 勇司	到達目標1、3 Web講義を予定 する 講義中に 討論および演習 を行う。
5	5/26	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療1	海外医療援助の実際	樺沢 勇司, 安達 奈穂子, 吉津 智慧	到達目標3、4 Web講義を予定 する 講義中に 討論および演習 を行う。
6	5/27	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療2	海外歯科医療救援活動の実際	樺沢 勇司, 伊藤 玲	到達目標3、4 Web講義を予定 する 講義中に 討論および演習

							を行う。
7	5/27	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療3	口腔保健分野における国際協力: WHO Oral Health Programme	安達 奈穂子, 樺沢 勇司	到達目標2、3 Web講義を予定 する 講義中に 討論および演習 を行う。
8	6/2	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療4	世界の口腔保健事情について	安達 奈穂子, 樺沢 勇司	到達目標2、3 講義中に討論お よび演習を行う。
9	6/9	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療5	世界の歯科衛生士の活動につい て(グループ発表)	安達 奈穂子, 樺沢 勇司	到達目標2、3 講義中にグルー プ発表を行う。
10	6/16	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療6	国際歯科保健医療福祉の状況、在 日外国人の歯科事情	中久木 康一	到達目標2、3 講義中に討論お よび演習を行う。
11	6/23	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療7	海外での多職種と活動連携1	樺沢 勇司, 安達 奈穂子, 鶴田 潤	到達目標4、5 講義中に討論お よび演習を行う。
12	6/30	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療8	海外での多職種と活動連携2	樺沢 勇司, 安達 奈穂子, 鶴田 潤	到達目標4、5 講義中に討論お よび演習を行う。
13	6/30	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療9	海外での多職種と活動連携3	樺沢 勇司, 安達 奈穂子, 鶴田 潤	到達目標4、5 マヒドン大学、ポ ーンボット先生に よるライブ講義 講義中に討論お よび演習を行う。
14-15	7/7	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療	歯科衛生士の海外歯科保健活動、 研究について	樺沢 勇司, 安達 奈穂子, 木野 志保	到達目標4、5 講義中に討論お よび演習を行う。

成績評価の方法

期末の記述試験、提出レポートで総括的評価を行う。出席状況および授業態度を総括的評価する。
出席、講義、グループ討論、発表の態度等を総括評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

授業では、授業範囲についてのディスカッション等のアクティブラーニングにて行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義 15 時間の 2/3 以上出席することが望ましい。

時間割番号	022288			
科目名	歯科衛生研究	科目ID	DH-494900-L	
担当教員				
開講時期	2020年度通年(秋)	対象年次	3~4	単位数
実務経験のある教員による授業	該当する			
主な講義場所 第1講義室				
授業の目的、概要等 歯科衛生関連分野の研究を知るために必要な知識を理解する。				
授業の到達目標 歯科衛生学分野に関連する多くの文献を読み、それらを説明する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	
1	10/6	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	
2	10/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	
3	11/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	
4	11/13	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	
5	11/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	
6	11/24	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	
7	12/1	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	
8	1/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	
9	1/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	
10	1/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	
11	1/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	
12	1/27	17:00-17:50	口腔保健	

			学科第3 講義室
13	2/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室
14	2/3	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室
15	2/5	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室
成績評価の方法			
課題レポートで総括的評価を行う。授業態度を総括的評価に加味する。			
準備学習等についての具体的な指示			
・事前に確認すべき課題がある場合は、Webclass にアップロードする。			
試験の受験資格			
課題レポートで総括的評価を行う。出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。			
参考書			
歯科衛生研究の進め方論文の書き方／武井典子 [ほか] 編、武井, 典子, 金澤, 紀子(歯科衛生士), 合場, 千佳子, 石井, 拓男, 岩久, 正明, 日本歯科衛生学会.: 医歯薬出版, 2018			

時間割番号	022289				
科目名	口腔保健衛生エクスターンシップ			科目ID	DH-495000-Z
担当教員					
開講時期	2020年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3~4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1-2	2/8	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室		
3-4	2/15	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室		
5-7	2/18	14:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室		
8-12	2/19	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室		
13-15	3/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室		
16-18	3/9	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室		
成績評価の方法					
それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
準備学習等についての具体的な指示					
外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 以下の履修上の注意事項に従うこと。					
試験の受験資格					
○単位認定条件 1)海外研修奨励賞による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催される場合は、研修報告のプレゼンテーションを行う。(5) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催される場合は、研修報告のプレゼンテーションを行う。(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上)					
履修上の注意事項					
1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励賞による研修プログラム(事前研修を含む) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は					

1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。

時間割番号	022290																																														
科目名	公的扶助				科目ID	DH-395100-L																																									
担当教員																																															
開講時期	2020年度前期	対象年次	3		単位数	2																																									
実務経験のある教員による授業	該当する																																														
科目名:公的扶助																																															
主な講義場所 口腔保健学科第2講義室																																															
授業の目的、概要等 本講義では公的扶助の制度体系・考え方について学びます。併せて公的扶助や社会保障の当面する課題について学び、考えます。受講する皆さんには、公的扶助、ひいては社会保障、社会福祉の問題が、自分自身の生活と結びついていることを理解し、これら制度について自分で考えられるようになってほしいと思います。																																															
授業の到達目標 SBOs 1. 公的扶助の概念・理念・対象を説明できる。 2. 生活保護制度や低所得者対策について、その制度の仕組み、最近の動向や運営実施体制について説明できる。 3. 貧困・低所得者対策の歴史的展開から社会福祉の課題について、自らの意見を具体的に述べるができる。																																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-7</td> <td>9/11</td> <td>10:00-17:50</td> <td>口腔保健学科第3講義室</td> <td>公的扶助の概念 公的扶助の歴史</td> <td>公的扶助の概念と範囲、公的扶助の意義と役割、海外の歴史、日本の歴史、貧困・低所得者対策の動向</td> <td>遠藤 康裕</td> <td>到達目標:1 講義中に討論および演習を行う。</td> </tr> <tr> <td>8-15</td> <td>9/16</td> <td>09:00-17:50</td> <td>口腔保健学科第3講義室</td> <td>生活保護制度の動向 低所得者対策</td> <td>保護の開始・廃止の動向、医療扶助・介護扶助の動向、生活保護の運営実施体制と関係機関・団体</td> <td>遠藤 康裕</td> <td>到達目標:1 講義中に討論および演習を行う。</td> </tr> <tr> <td>16-22</td> <td>9/23</td> <td>09:00-16:50</td> <td>口腔保健学科第3講義室</td> <td>生活保護制度の仕組み 最低生活保障水準と生活保護基準</td> <td>生活保護法の構成、目的と原理原則、保護の種類、最低生活水準と生活保護基準の考え</td> <td>遠藤 康裕</td> <td>到達目標:2 講義中に討論および演習を行う。</td> </tr> <tr> <td>23-30</td> <td>9/28</td> <td>09:00-17:50</td> <td>口腔保健学科第3講義室</td> <td>貧困・低所得者に対する相談援助活動 生活保護における自立</td> <td>相談援助活動、他機関・他職種との連携・協働 自立支援プログラムの位置づけ</td> <td>遠藤 康裕</td> <td>到達目標:1, 2, 3 講義中に討論および演習を行う。</td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1-7	9/11	10:00-17:50	口腔保健学科第3講義室	公的扶助の概念 公的扶助の歴史	公的扶助の概念と範囲、公的扶助の意義と役割、海外の歴史、日本の歴史、貧困・低所得者対策の動向	遠藤 康裕	到達目標:1 講義中に討論および演習を行う。	8-15	9/16	09:00-17:50	口腔保健学科第3講義室	生活保護制度の動向 低所得者対策	保護の開始・廃止の動向、医療扶助・介護扶助の動向、生活保護の運営実施体制と関係機関・団体	遠藤 康裕	到達目標:1 講義中に討論および演習を行う。	16-22	9/23	09:00-16:50	口腔保健学科第3講義室	生活保護制度の仕組み 最低生活保障水準と生活保護基準	生活保護法の構成、目的と原理原則、保護の種類、最低生活水準と生活保護基準の考え	遠藤 康裕	到達目標:2 講義中に討論および演習を行う。	23-30	9/28	09:00-17:50	口腔保健学科第3講義室	貧困・低所得者に対する相談援助活動 生活保護における自立	相談援助活動、他機関・他職種との連携・協働 自立支援プログラムの位置づけ	遠藤 康裕	到達目標:1, 2, 3 講義中に討論および演習を行う。
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																								
1-7	9/11	10:00-17:50	口腔保健学科第3講義室	公的扶助の概念 公的扶助の歴史	公的扶助の概念と範囲、公的扶助の意義と役割、海外の歴史、日本の歴史、貧困・低所得者対策の動向	遠藤 康裕	到達目標:1 講義中に討論および演習を行う。																																								
8-15	9/16	09:00-17:50	口腔保健学科第3講義室	生活保護制度の動向 低所得者対策	保護の開始・廃止の動向、医療扶助・介護扶助の動向、生活保護の運営実施体制と関係機関・団体	遠藤 康裕	到達目標:1 講義中に討論および演習を行う。																																								
16-22	9/23	09:00-16:50	口腔保健学科第3講義室	生活保護制度の仕組み 最低生活保障水準と生活保護基準	生活保護法の構成、目的と原理原則、保護の種類、最低生活水準と生活保護基準の考え	遠藤 康裕	到達目標:2 講義中に討論および演習を行う。																																								
23-30	9/28	09:00-17:50	口腔保健学科第3講義室	貧困・低所得者に対する相談援助活動 生活保護における自立	相談援助活動、他機関・他職種との連携・協働 自立支援プログラムの位置づけ	遠藤 康裕	到達目標:1, 2, 3 講義中に討論および演習を行う。																																								
成績評価の方法 ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッション、演習(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。																																															
準備学習等についての具体的な指示																																															
試験の受験資格 全講義30時間の2/3以上出席すること																																															
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集、中央法規出版、2019																																															
参考書 教科書として、「新・社会福祉士養成講座16 低所得者に対する支援と生活保護制度」中央法規出版 を指定する。																																															

他は随時授業中に紹介する。

時間割番号	022291																																							
科目名	コミュニティーワーク			科目ID	DH-395200-L																																			
担当教員																																								
開講時期	2020年度前期	対象年次	3	単位数	2																																			
実務経験のある教員による授業	該当する																																							
<p>時間数:30時間 2単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:古屋純一、中山玲奈、横地厚(NPO法人 福祉と市民活動研究所)、ほか</p>																																								
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第3講義室</p>																																								
<p>授業の目的、概要等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーワークの成果として、コミュニティーケアの実態を知ることで、コミュニティーワークの意義と手段を理解する。 ・様々な施設など、実際の現場にて地域福祉の実態を理解する。 																																								
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーワークを概説できる。 ・障害者の地域生活の実態について理解できる。 ・高齢者の地域生活の実態について理解できる。 ・地域の福祉社会資源について説明できる。 																																								
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-6</td> <td>9/14</td> <td>11:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>オリエンテーション オリエンテーション コミュニティーワークとフィールドワークとは</td> <td>地域の福祉・介護と医療 高齢者の地域生活 障害者の地域生活</td> <td>日高 玲奈 横地 厚</td> </tr> <tr> <td>7-14</td> <td>9/15</td> <td>09:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>フィールドワーク1</td> <td>地域活動の見学とニーズ調査</td> <td>日高 玲奈 横地 厚</td> </tr> <tr> <td>15-22</td> <td>9/18</td> <td>09:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>フィールドワーク2</td> <td>福祉施設の見学とニーズ調査</td> <td>日高 玲奈 横地 厚</td> </tr> <tr> <td>23-30</td> <td>9/24</td> <td>09:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>フィールドワークの振り返り 発表と討論 まとめ</td> <td>グループワーク グループワークの発表 これまでのまとめ</td> <td>日高 玲奈 横地 厚</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-6	9/14	11:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション オリエンテーション コミュニティーワークとフィールドワークとは	地域の福祉・介護と医療 高齢者の地域生活 障害者の地域生活	日高 玲奈 横地 厚	7-14	9/15	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	フィールドワーク1	地域活動の見学とニーズ調査	日高 玲奈 横地 厚	15-22	9/18	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	フィールドワーク2	福祉施設の見学とニーズ調査	日高 玲奈 横地 厚	23-30	9/24	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	フィールドワークの振り返り 発表と討論 まとめ	グループワーク グループワークの発表 これまでのまとめ	日高 玲奈 横地 厚
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																		
1-6	9/14	11:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション オリエンテーション コミュニティーワークとフィールドワークとは	地域の福祉・介護と医療 高齢者の地域生活 障害者の地域生活	日高 玲奈 横地 厚																																		
7-14	9/15	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	フィールドワーク1	地域活動の見学とニーズ調査	日高 玲奈 横地 厚																																		
15-22	9/18	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	フィールドワーク2	福祉施設の見学とニーズ調査	日高 玲奈 横地 厚																																		
23-30	9/24	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	フィールドワークの振り返り 発表と討論 まとめ	グループワーク グループワークの発表 これまでのまとめ	日高 玲奈 横地 厚																																		
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。 																																								
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 ・地域への見学があるため、集合場所等に注意すること。 																																								
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の出席</p>																																								

備考

担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと)

古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022292						
科目名	相談援助の基盤と専門職Ⅱ				科目ID	DH-395300-L	
担当教員	日高 玲奈, 小山 幸[NAKAYAMA Rena, OYAMA Tsukasa]						
開講時期	2020年度前期	対象年次	3		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
<p>時間数:15時間 1単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:小山 幸(東京都立大学大学院)、日高 玲奈</p>							
主な講義場所							
口腔保健学科 第3講義室							
授業の目的、概要等							
<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワークの共通基盤(価値・知識・技術等)について体系的に学ぶ。 ・ソーシャルワークを展開する専門職のあるべき姿を理解する。 							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーカーの概念と理念を理解し説明できる。 ・ソーシャルワークの形成過程を理解し説明できる。 ・専門職倫理について理解する。 ・日本社会福祉士会の行動規範から、相談援助場面での専門職としてのあり方を理解する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/9	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	社会福祉士の役割と意義、相談援助の定義と構成要素	社会福祉士の役割と意義、現代社会と地域生活、ソーシャルワークの概念、ソーシャルワークの構成要素	小山 幸, 日高 玲奈	SBOs1
4-6	4/16	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の形成過程 I・II	ソーシャルワークの源流、ソーシャルワークの基礎確立期、発展期・展開期、ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワーク	小山 幸	SBOs2
7-9	4/23	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の理念 I・II	ソーシャルワーカーと価値、ソーシャルワーク実践と価値、ソーシャルワーク実践と権利擁護、クライアントの尊厳と自己決定、ノーマライゼーションと社会的包摂	小山 幸	SBOs3
10-12	4/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	専門職倫理	専門職倫理の概念、倫理綱領の意義と内容	小山 幸	SBOs3
13-15	5/7	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	倫理的ジレンマ	ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマ	小山 幸, 日高 玲奈	SBOs4
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。 							

準備学習等についての具体的な指示 <ul style="list-style-type: none">・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 <p>3分の2以上の出席</p>
教科書 <p>新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職 第3版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2015</p>
備考 <p>課題発表、グループワークを含む</p>

時間割番号	022293					
科目名	相談援助の基盤と専門職Ⅲ			科目ID	DH-395400-L	
担当教員	日高 玲奈, 藤高 直之[NAKAYAMA Rena, FUJITAKA Naoyuki]					
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
<p>時間数:30 時間 2 単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:藤高直之(立正大学)、日高玲奈</p>						
主な講義場所						
口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等						
・福祉専門職の役割と意義、実践活動の状況の概観を通して、社会福祉士の役割と意義、専門性について理解する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉専門職の種類とそれぞれの業務等の概要を理解する。 ・社会福祉士の役割と意義、実践活動分野を理解する。 ・社会福祉士と精神保健福祉士の固有性と共通性、医療ソーシャルワーカーにおける両資格のあり方について理解する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	5/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション 総合的かつ包括的な相談援助	総合的かつ包括的な相談援助の動向と背景、理論、地域を基盤と下ソーシャルワークの基本的視座、8つの機能	藤高 直之 日高 玲奈
4-6	5/22	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助に関わる専門職とその機能	相談援助に関わる専門職の概念と範囲、諸外国の動向	藤高 直之
7-9	5/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	総合的かつ包括的な相談援助 1	ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と特質、基本的視点、地域を基盤としたソーシャルワーク	藤高 直之
10-12	6/5	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	総合的かつ包括的な相談援助 2	ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と特質、基本的視点、地域を基盤としたソーシャルワーク	藤高 直之
13-15	6/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	総合的かつ包括的な相談援助 3	ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と特質、基本的視点、地域を基盤としたソーシャルワーク	藤高 直之
16-18	6/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	社会福祉士、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー	社会福祉士の役割と意義、法制度見直しとその背景、社会福祉士の実践分野、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカーの歴史と業務	藤高 直之
19-21	6/26	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	その他の専門職の資格と業務、チームアプローチ	介護福祉士、介護支援専門員等の資格と役割、チームアプローチ、多職種協働の実際	藤高 直之
22-24	7/3	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	総合的かつ包括的な相談業務の実際 I	総合的かつ包括的な相談援助における専門機能の実際例、個と地域の一体的支援機能、予防機能、新しいニーズへの対応機能、総合的支援機能、権利擁護機能、社会資源開発機能	藤高 直之

25-27	7/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	総合的かつ包括的な相 談業務の実際Ⅱ	総合的かつ包括的な相談援助に おける専門機能の実際例、個と地 域の一体的支援機能、予防機能、 新しいニーズへの対応機能、総合 的支援機能、権利擁護機能、社会 資源開発機能	藤高 直之
28-30	7/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	総合的かつ包括的な相 談業務の実際Ⅲ	総合的かつ包括的な相談援助に おける専門機能の実際例、個と地 域の一体的支援機能、予防機能、 新しいニーズへの対応機能、総合 的支援機能、権利擁護機能、社会 資源開発機能	藤高 直之 日高 玲奈

成績評価の方法

- ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

教科書

新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職 第3版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版，2015

備考

課題発表、グループワークを含む

時間割番号	022294																																																																																	
科目名	介護福祉Ⅱ	科目ID	DH-395500-L																																																																															
担当教員	日高 玲奈, 古屋 純一, 竹内 周平[NAKAYAMA Rena, FURUYA JUNICHI, Shuhei Takeuchi]																																																																																	
開講時期	2020年度前期	対象年次	3	単位数	1																																																																													
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																																	
<p>時間数:15時間 1単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:古屋純一、竹内周平(竹内歯科医療院)、日高玲奈</p>																																																																																		
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第3講義室</p>																																																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <p>・地域で活躍する歯科衛生士に必要となる、介護が必要な高齢者の特徴や社会における介護の問題点、高齢者の生活支援に必要な介護・福祉の知識、介護の実際を知る。</p>																																																																																		
<p>授業の到達目標</p> <p>・介護と介護予防の概念、介護保険制度、介護保険サービスについて説明できる。</p> <p>・地域包括ケアシステム、高齢者支援の組織と役割、介護における多職種連携について説明できる。</p> <p>・介護における様々な高齢者支援の方法を理解できる。</p> <p>・認知症ケア、栄養ケア、緩和ケア、終末期ケアについて説明できる。</p>																																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5/27</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>介護保険における多職種連携1</td> <td>個人・家族に対する支援、グループを活用した支援、地域を活用した支援</td> <td>竹内 周平, 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/27</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>介護保険における多職種連携2</td> <td>ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント</td> <td>竹内 周平</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5/27</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>介護保険における多職種連携3</td> <td>介護保険と口腔機能向上</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>地域包括ケアシステム</td> <td>地域包括ケアシステムの概念と仕組み</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6/24</td> <td>14:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>高齢者支援の組織と多職種連携</td> <td>高齢者を支援する組織と役割</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6/24</td> <td>15:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>介護保険法における連携と実際</td> <td>介護保険法における連携と高齢者支援の実際</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/13</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>介護と介護予防</td> <td>介護と介護予防の概念と対象</td> <td>古屋 純一</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>7/13</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>介護保険制度</td> <td>介護保険制度の仕組み</td> <td>古屋 純一</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>7/13</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>介護保険サービス</td> <td>介護保険サービスの体系</td> <td>古屋 純一</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>7/20</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健</td> <td>要介護高齢者とは</td> <td>認知症高齢者と家族の支援、新才</td> <td>古屋 純一</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	5/27	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険における多職種連携1	個人・家族に対する支援、グループを活用した支援、地域を活用した支援	竹内 周平, 日高 玲奈	2	5/27	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険における多職種連携2	ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント	竹内 周平	3	5/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険における多職種連携3	介護保険と口腔機能向上	日高 玲奈	4	6/24	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステムの概念と仕組み	日高 玲奈	5	6/24	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者支援の組織と多職種連携	高齢者を支援する組織と役割	日高 玲奈	6	6/24	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険法における連携と実際	介護保険法における連携と高齢者支援の実際	日高 玲奈	7	7/13	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護と介護予防	介護と介護予防の概念と対象	古屋 純一	8	7/13	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険制度	介護保険制度の仕組み	古屋 純一	9	7/13	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険サービス	介護保険サービスの体系	古屋 純一	10	7/20	09:00-09:50	口腔保健	要介護高齢者とは	認知症高齢者と家族の支援、新才	古屋 純一
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																												
1	5/27	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険における多職種連携1	個人・家族に対する支援、グループを活用した支援、地域を活用した支援	竹内 周平, 日高 玲奈																																																																												
2	5/27	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険における多職種連携2	ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント	竹内 周平																																																																												
3	5/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険における多職種連携3	介護保険と口腔機能向上	日高 玲奈																																																																												
4	6/24	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステムの概念と仕組み	日高 玲奈																																																																												
5	6/24	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者支援の組織と多職種連携	高齢者を支援する組織と役割	日高 玲奈																																																																												
6	6/24	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険法における連携と実際	介護保険法における連携と高齢者支援の実際	日高 玲奈																																																																												
7	7/13	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護と介護予防	介護と介護予防の概念と対象	古屋 純一																																																																												
8	7/13	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険制度	介護保険制度の仕組み	古屋 純一																																																																												
9	7/13	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険サービス	介護保険サービスの体系	古屋 純一																																																																												
10	7/20	09:00-09:50	口腔保健	要介護高齢者とは	認知症高齢者と家族の支援、新才	古屋 純一																																																																												

			学科第3 講義室		レンジプラン、地域での連携体制		
11	7/20	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	様々な高齢者の医療と 介護1	NST、栄養ケアマネジメント、リハ ビリテーション栄養	古屋 純一	
12	7/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	様々な高齢者の医療と 介護2	PCT、緩和ケア病棟、看取り	古屋 純一	
13	7/27	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域における高齢者支 援	事例検討	日高 玲奈	
14	7/27	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域における高齢者支 援	事例検討	日高 玲奈	
15	7/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	まとめ	これまでのまとめ	日高 玲奈	

成績評価の方法

- ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

新・社会福祉士養成講座 13 高齢者に対する支援と介護保険制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版，2016
高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著：医歯薬出版，2015

備考

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022295						
科目名	ソーシャルワークⅡ				科目ID	DH-395600-L	
担当教員	日高 玲奈, 古屋 純一, 山田 美代子, 小山 幸[NAKAYAMA Rena, FURUYA JUNICHI, YAMADA MIYOKO, Tsukasa Oyama]						
開講時期	2020 年度通年	対象年次	3		単位数	4	
実務経験のある教員による授業	該当する						
<p>時間数:60 時間 4 単位</p> <p>授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員: 山田美代子(西片医療福祉研究会)、小山幸(東京都立大学大学院)、日高玲奈</p>							
主な講義場所							
口腔保健学科 第3 講義室							
授業の目的、概要等							
・相談援助の理論および相談援助の知識・技術について理解する。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。 ・相談援助の様々な実践モデルについて理解する。 ・相談援助のプロセスとそれに関する知識・技術について理解する。 ・実践場面における理論的背景を理解し、説明できる。 ・相談援助の記録方法について学ぶ。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	5/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助における対象 の理解	社会福祉援助活動の概念と定義、 相談援助の対象をどうとらえるか	小山 幸, 日 高 玲奈	SBOs1
4-6	5/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	さまざまな実践モデルと アプローチⅠ	実践モデルとその意味、治療モデル・ 生活モデル・ストレングスモデル、 ジェネラリスト・ソーシャルワ ークの展開と実践モデル	小山 幸	SBOs2
7-9	6/11	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	さまざまな実践モデルと アプローチⅡ	心理社会的アプローチ、機能的ア プローチ、問題解決アプローチ、 課題中心アプローチ、危機介入ア プローチ	小山 幸	SBOs2
10-12	6/18	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	さまざまな実践モデルと アプローチⅢ	行動変容アプローチ、エンパワメ ントアプローチ、ナラティブアプロ ーチ、その他の実践アプローチと 課題	小山 幸	SBOs2
13-17	6/19	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	コーディネーションとネ ットワーキング	コーディネーションの目的・意義・ 方法・技術・留意点、ネットワーキ ングの目的・意義、地域福祉の総 合的なネットワーキングの形成と システム化	小山 幸	SBOs3
18-20	6/25	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助における社会 資源の活用・調整・開発	社会資源の活用・調整・開発の意 義と目的、方法と留意点、ソーシャ ルアクションに基づくシステムづく り	小山 幸	SBOs3
21-24	6/26	13:00-16:50	口腔保健 学科第3	相談援助における社会 資源の活用・調整・開発	ファシリテーション、プレゼンテー ション、ネゴシエーション、コーデ	小山 幸	SBOs3

			講義室	の実際	イネーション		
25-28	7/3	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例研究・事例分析 I	事例研究・事例分析 I	小山 幸	SBOs4
29-32	7/10	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	ケースマネジメント	ケースマネジメントの基本と過程、 ケースマネジメントにおけるアセ スメントの特徴、ケアプランの作 成・実施の特徴	山田 美代子、 日高 玲奈	SBOs3,4,5
33-36	7/17	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	グループを活用した相 談援助	グループを活用した相談援助と は、自助グループを活用した相談 援助	山田 美代子	SBOs3
37-39	10/23	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	スーパービジョンとコン サルテーションの技術	スーパービジョンの意義・目的・方 法・留意点、コンサルテーション	山田 美代子	SBOs4
40-42	10/30	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	ソーシャルワークのプロ セスの理解	インテーク、アセスメント、プラン ニング、インターベンション、モニ タリング、エバリュエーション、タ ーミネーション	山田 美代子	SBOs4,5
43-45	11/6	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	ケースカンファレンスの 技術	ケースカンファレンスの意義・目 的、運営と展開方法	山田 美代子	SBOs4,5
46-48	11/13	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例研究・事例分析 II	事例研究・事例分析 II	山田 美代子	SBOs4
49-51	11/20	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の記録 I	記録の意義と定義、方法	山田 美代子	SBOs5
52-54	11/27	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の記録 II	記録の実際	山田 美代子	SBOs5
55-57	12/4	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助における個人 情報の保護、情報通信 技術(ICT)の活用	個人情報保護と ICT 技術	山田 美代子	SBOs5
58-60	12/11	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	まとめ	まとめ	山田 美代子、 日高 玲奈	

成績評価の方法

- ・提出レポート等で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

教科書

新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法 II 第 3 版 / 社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2015

備考

課題発表、グループワーク含む

時間割番号	022296			科目ID	DH-395700-L																																											
科目名	権利擁護																																															
担当教員																																																
開講時期	2020年度前期	対象年次	3	単位数	1																																											
実務経験のある教員による授業	該当する																																															
<p>時間数:15時間 1単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:金原明子、國見真理子、ほか</p>																																																
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科第3講義室</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>・相談援助活動に必要とされている法律の知識の概要を学ぶ。権利擁護に関する基本的な考え方、成年後見制度をはじめとする権利擁護の仕組みとその実際について学ぶ。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>・相談援助にかかわる日本国憲法、行政法、民法の基本的理解ができる。</p> <p>・成年後見及び関係する支援事業の概要が理解できる。</p> <p>・権利擁護に関わる組織・団体・専門職の役割が理解できる。</p> <p>・成年後見活動、権利擁護活動の実際が理解できる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>4/22</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>成年後見制度の概要</td> <td>成年後見制度の動向と課題の理解、日常生活自立支援事業及び成年後見制度利用支援事業についての理解</td> <td>日高 玲奈 金原 明子</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>5/13</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>権利擁護に関わる組織・団体の役割</td> <td>家庭裁判所、法務局、市町村、社会福祉協議会、児童相談所が果たすそれぞれの役割</td> <td>金原 明子</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>5/20</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>成年後見活動の実際</td> <td>認知症、知的・精神障害者への支援の実際</td> <td>金原 明子</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>6/2</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>相談援助の活動と法、成年後見制度と法律</td> <td>日本国憲法、行政法、民法等の理解、法定後見制度及び任意後見制度の理解</td> <td>國見 真理子、 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>6/9</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>権利擁護に関わる専門職の役割</td> <td>弁護士、司法書士、公証人、医師が果たすそれぞれの役割と社会福祉士の活動の実際</td> <td>國見 真理子</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	4/22	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	成年後見制度の概要	成年後見制度の動向と課題の理解、日常生活自立支援事業及び成年後見制度利用支援事業についての理解	日高 玲奈 金原 明子	4-6	5/13	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	権利擁護に関わる組織・団体の役割	家庭裁判所、法務局、市町村、社会福祉協議会、児童相談所が果たすそれぞれの役割	金原 明子	7-9	5/20	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	成年後見活動の実際	認知症、知的・精神障害者への支援の実際	金原 明子	10-12	6/2	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の活動と法、成年後見制度と法律	日本国憲法、行政法、民法等の理解、法定後見制度及び任意後見制度の理解	國見 真理子、 日高 玲奈	13-15	6/9	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	権利擁護に関わる専門職の役割	弁護士、司法書士、公証人、医師が果たすそれぞれの役割と社会福祉士の活動の実際	國見 真理子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																										
1-3	4/22	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	成年後見制度の概要	成年後見制度の動向と課題の理解、日常生活自立支援事業及び成年後見制度利用支援事業についての理解	日高 玲奈 金原 明子																																										
4-6	5/13	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	権利擁護に関わる組織・団体の役割	家庭裁判所、法務局、市町村、社会福祉協議会、児童相談所が果たすそれぞれの役割	金原 明子																																										
7-9	5/20	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	成年後見活動の実際	認知症、知的・精神障害者への支援の実際	金原 明子																																										
10-12	6/2	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の活動と法、成年後見制度と法律	日本国憲法、行政法、民法等の理解、法定後見制度及び任意後見制度の理解	國見 真理子、 日高 玲奈																																										
13-15	6/9	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	権利擁護に関わる専門職の役割	弁護士、司法書士、公証人、医師が果たすそれぞれの役割と社会福祉士の活動の実際	國見 真理子																																										
<p>成績評価の方法</p> <p>・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。</p> <p>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</p> <p>・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。</p> <p>・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。</p>																																																
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。</p> <p>・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。</p> <p>・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。</p>																																																
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の出席</p>																																																

教科書

新・社会福祉士養成講座 19 権利擁護と成年後見制度 第4版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2014

参考書

- ・「厚生指標 国民の福祉の動向 各年度版」厚生統計協会
- ・「社会福祉小六法」(最新年度版)ミネルヴァ書房
- ・他随時授業中に紹介する。

備考

担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと)

古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022297																							
科目名	社会福祉行政	科目ID	DH-395800-L																					
担当教員																								
開講時期	2020年度前期	対象年次	3																					
実務経験のある教員による授業	該当する																							
<p>時間数:15時間 1単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:日高玲奈、國見真理子(田園調布学園大学)、ほか</p>																								
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第3講義室</p>																								
<p>授業の目的、概要等</p> <p>・福祉の関わる社会福祉制度は、法律によってその大枠が規定されている。その運用の実際は諸制度の運営に関わる行財政のあり方によって規定されている。その仕組みを学ぶ。</p>																								
<p>授業の到達目標</p> <p>・福祉の行財政の実施体制(国・都道府県・市区町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む)について説明できる。</p> <p>・福祉行財政の実際について説明できる。</p>																								
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-8</td> <td>8/4</td> <td>09:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>福祉行政の実施体制1 福祉行政の実施体制2 福祉行政の実施体制3 福祉行政の組織1</td> <td>わが国における社会福祉の定義 の変遷 福祉の法制度の展開 行政の骨格 社会福祉と法制度、 福祉行政の組織</td> <td>國見 真理子、 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>9-15</td> <td>8/5</td> <td>09:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>福祉行政の組織2 福 祉行政の団体と福祉行 政の専門職の役割1 福祉行政の団体と福祉 行政の専門職の役割2 まとめ</td> <td>社会福祉基礎構造改革、相談過程 相談体制、専門職機関 地域相談 システム、専門職 まとめ</td> <td>國見 真理子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-8	8/4	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	福祉行政の実施体制1 福祉行政の実施体制2 福祉行政の実施体制3 福祉行政の組織1	わが国における社会福祉の定義 の変遷 福祉の法制度の展開 行政の骨格 社会福祉と法制度、 福祉行政の組織	國見 真理子、 日高 玲奈	9-15	8/5	09:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	福祉行政の組織2 福 祉行政の団体と福祉行 政の専門職の役割1 福祉行政の団体と福祉 行政の専門職の役割2 まとめ	社会福祉基礎構造改革、相談過程 相談体制、専門職機関 地域相談 システム、専門職 まとめ	國見 真理子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																		
1-8	8/4	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	福祉行政の実施体制1 福祉行政の実施体制2 福祉行政の実施体制3 福祉行政の組織1	わが国における社会福祉の定義 の変遷 福祉の法制度の展開 行政の骨格 社会福祉と法制度、 福祉行政の組織	國見 真理子、 日高 玲奈																		
9-15	8/5	09:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	福祉行政の組織2 福 祉行政の団体と福祉行 政の専門職の役割1 福祉行政の団体と福祉 行政の専門職の役割2 まとめ	社会福祉基礎構造改革、相談過程 相談体制、専門職機関 地域相談 システム、専門職 まとめ	國見 真理子																		
<p>成績評価の方法</p> <p>・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。</p> <p>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</p> <p>・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。</p> <p>・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。</p>																								
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。</p> <p>・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。</p> <p>・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。</p>																								
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の出席</p>																								
<p>教科書</p> <p>新・社会福祉士養成講座 10 福祉行財政と福祉計画 第5版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2017</p>																								
<p>備考</p> <p>担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと)</p> <p>古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp</p> <p>授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。</p>																								

時間割番号	022299			科目ID	DH-396000-L	
科目名	司法福祉					
担当教員						
開講時期	2020年度前期	対象年次	3	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
<p>時間数:15時間 1単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:日高玲奈、長谷川洋昭(田園調布学園大学)、ほか</p>						
主な講義場所						
口腔保健学科第3講義室						
授業の目的、概要等						
・現代社会における更生保護制度の実効性(エビデンス)について理解する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・刑事司法のなかの更生保護制度の概要が説明できる。 ・更生保護制度における関係機関・団体との連携を説明できる。 ・更生保護の実際と今後の展望について考えることができる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-8	9/10	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	更生保護制度の概要 更生保護制度の担い手	刑事司法のなかの更生保護 保護観察官、保護司、更生保護施設等	日高 玲奈、 長谷川 洋昭
9-15	9/17	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	更生保護制度における 関係機関・団体との連携 更生保護の実際と今後の 展望	裁判所、検察庁、矯正施設、児童 相談所、公共職業安定所・福祉事 務所等 社会復帰にむけて	長谷川 洋昭
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。 						
準備学習等についての具体的な指示						
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 						
試験の受験資格						
3分の2以上の出席						
教科書						
新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2014						
参考書						
新・社会福祉士養成講座 更生保護制度 第4版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2017						
備考						
<p>担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと)</p> <p>古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp</p> <p>授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。</p>						

時間割番号	022301						
科目名	就労支援サービス				科目ID	DH-396200-L	
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	3		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:就労支援サービス							
主な講義場所 口腔保健学科第2講義室							
授業の目的、概要等 ・社会的に不利な立場にある人々の就労を通じた社会経済的な参加とこれを支える社会の仕組みを理解する。 ・就労支援が人の生活保障や少子高齢社会における活力ある社会・経済の形成に関わっていることを把握する。 ・各種の就労支援に関わる法制度や組織、専門職について理解し、福祉や教育等の他分野との連携を学ぶ。							
授業の到達目標 SBOs 1. 労働や労働保護の意味を理解し、労働参加と社会的不利、さらには就労支援との関係を説明できる。 2. 就労支援分野の専門職とその役割、相談援助活動において必要となる就労支援制度について説明できる。 3. 就労支援に係る組織や団体の連携や、実際の支援過程について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-8	9/25	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	労働市場の動向、労働 に関わる法制度、就労 支援制度の現状と課題	労働の意義、社会的不利と労働参 加、労働に関わる法制度、社会経 済情勢と雇用就労の現状	引馬 知子	到達目標:1, 3 講義中に討論お よび演習を行う。
9-15	9/29	09:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	就労支援制度における 専門職、就労支援の過 程及び実際、他分野と の連携、就労支援に関 わる国際的動向及び国 内の新たな取り組み	一般市場及び福祉的就労におけ る制度、就労支援員・生活支援員・ ジョブコーチ・生活保護の現業員 等の業務、就労支援過程、均等待 遇政策を含む、就労支援の関わる 新たな動向と実際	引馬 知子	到達目標:2, 3 講義中に討論お よび演習を行う。
成績評価の方法 ・授業内の小テストで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッションの参加状況やリアクションペーパーを評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示							
試験の受験資格 全講義 15 時間の 2/3 以上出席すること。							
教科書 新・社会福祉士養成講座 18 就労支援サービス／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2016							
備考 事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 担当教員(非常勤) 引馬知子 田園調布学園大学							

時間割番号	022304				
科目名	相談援助実習	科目ID	DH-496500-E		
担当教員					
開講時期	2020年度2年通年	対象年次	3	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				
<p>時間数:180時間 4単位 授業形態:実習 3学年後期(春季集中)、4学年(夏季集中) 実習日数(時間)は、24日間(180時間)・16日間(120時間)・8日間(60時間)で合計180時間以上が必要。 担当教員:日高玲奈、ほか</p>					
主な講義場所					
社会福祉施設・機関					
授業の目的、概要等					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士として求められる資質や倫理、相談援助に係る知識と技術について、具体的かつ実際に理解し、支援に必要な技術を体得する。 					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉分野における相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に経験し、実践的な技術等を経験知として整理できる。 ・社会福祉士として求められる資質、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を体験的に把握できる。 ・関連分野の専門職との連携のあり方や具体的内容を把握し、事後学習で整理できる。 					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・実習計画、実習記録ノート、実習報告書および実習指導者評価表により、総括的評価を行う。 ・教員が週1回実習先を巡回し、総括的評価に加味する。 					
準備学習等についての具体的な指示					
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に十分な準備の上で、実習に臨むこと。 ・実習については、指導教員の判断を常におおぐこと。 ・資料の配付、e-learningへのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 					
試験の受験資格					
180時間以上の出席					

時間割番号	022303			科目ID	DH-496400-Z	
科目名	相談援助実習指導			科目ID	DH-496400-Z	
担当教員	日高 玲奈[NAKAYAMA Rena]					
開講時期	2020年度2年通年	対象年次	3	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
科目名:相談援助実習指導 時間数:3学年42時間、4学年48時間 授業形態:実習(課題発表、グループワーク含む)						
主な講義場所 口腔保健学科 第3講義室(3学年) 口腔保健学科 第2講義室(4学年)						
授業の目的、概要等 ・社会福祉における相談援助実習の意義について理解する。 ・授業で学んだ専門知識と相談援助の具体的な実践を結びつけるとともに、実習後は実習体験を意識化し、体系立てていくことをめざす。						
授業の到達目標 ・社会福祉における相談援助実習の意義を事前に理解し、実習後は経験知として説明できる。 ・相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に体験し、経験知として説明できる。 ・社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得し、意識化できる。 ・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化・理論化し、体系立てて整理できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	11/16	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション	相談援助実習とは	日高 玲奈
4-6	11/30	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助実習に必要な 知識技術	相談援助実習に必要な知識技術	日高 玲奈
7-9	12/7	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所Ⅰ	高齢者施設、地域包括支援センタ ー、病院実習	日高 玲奈
10-12	12/14	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所Ⅱ	障害者施設、児童相談所・児童養 護施設	日高 玲奈
13-15	12/22	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助実習における 記録の書き方	実習目的の作成方法、相談援助実 習における記録の書き方	日高 玲奈
16-18	1/18	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助実習の準備Ⅰ	実習における注意と準備	日高 玲奈
19-21	1/25	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	実習先・機関	地理的条件や関連する社会資源	日高 玲奈
22-23	2/1	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助実習の準備Ⅱ	実習先アセスメントの活用、利用 者ニーズの理解、地域を理解する 必要性	日高 玲奈
24-26	2/10	13:00-15:50	口腔保健	事例検討Ⅰ	事例検討	日高 玲奈

			学科第3 講義室				
27-29	2/12	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例検討Ⅱ	事例検討	日高 玲奈	
30-31	2/15	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例分析Ⅰ	事例分析	日高 玲奈	
32-35	2/16	09:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例分析Ⅱ	事例分析	日高 玲奈	
36-39	2/18	09:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例分析Ⅲ	事例分析	日高 玲奈	
40-42	2/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	まとめ	実習計画書の作成、まとめ	日高 玲奈	
成績評価の方法							
事前・事後学習の成果による総合的評価を行う。(4年後期)							
準備学習等についての具体的な指示							
試験の受験資格							
4分の3以上の出席							
備考							
課題発表、グループワークを含む							

第4学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022305						
科目名	臨床口腔保健応用学				科目ID	DH-456600-L	
担当教員							
開講時期	2020年度前期	対象年次	4		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
1号館西7階、第3講義室							
授業の目的、概要等							
多様な患者に対して、その医療・歯科医療内容を理解し、歯科衛生過程に基づいて、歯科衛生活動を展開できる知識と応用力を修得する。							
授業の到達目標							
SBOs							
1. 口腔がん患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。							
2. 顎関節症患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。							
3. 地域医療における多職種連携を理解し、その概要を説明できる。							
4. 地域医療(訪問診療)において患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。							
5. 睡眠時無呼吸症候群患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。							
6. 災害時における被災者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。							
7. 歯科心身症患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。							
8. 歯科衛生過程に基づいて、必要な医療情報を収集できる。							
9. 個々の症例に対して、歯科衛生診断を行ない、歯科衛生活動計画を立案できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/24	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	臨床口腔保健応用学1	口腔がん患者への対応	樺沢 勇司, 黒嶋 雄志	遠隔講義を予定 する。講義中に 討論および演習 を実施する
3-4	5/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	臨床口腔保健応用学2	顎関節患者への対応	樺沢 勇司, 西山 暁	遠隔講義を予定 する。講義中に 討論および演習 を実施する
5-6	5/8	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	臨床口腔保健応用学6	睡眠時無呼吸症候群患者への対応	樺沢 勇司, 秀島 雅之	遠隔講義を予定 する。講義中に 討論および演習 を実施する
7-8	5/15	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	臨床口腔保健応用学3	地域医療における多職種連携	樺沢 勇司, 川越 正平	遠隔講義を予定 する。講義中に 討論および演習 を実施する
9	5/22	13:00-13:50	口腔保健 学科第2 講義室	臨床口腔保健応用学4	地域医療における歯科衛生士の役割	樺沢 勇司, 山口 朱見	遠隔講義を予定 する。講義中に 討論および演習 を実施する
10	5/22	14:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	臨床口腔保健応用学5	地域医療における医科と歯科の連携	樺沢 勇司, 沼沢 祥行	遠隔講義を予定 する。講義中に 討論および演習 を実施する

11-12	5/29	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	臨床口腔保健応用学7	災害時における歯科の対応	中久木 康一, 樺沢 勇司	遠隔講義を予定 する。講義中に 討論および演習 を実施する
13-14	6/5	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	臨床口腔保健応用学8	歯科心身症患者への対応	樺沢 勇司, 豊福 明	講義中に討論お よび演習を実施 する
15	6/12	13:00-13:50	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ	科目全体のまとめ、評価	樺沢 勇司, 近藤 圭子	学習のまとめ、課 題に解答する

成績評価の方法

講義最終日には記述式試験を行ない、総括的評価を行なう。

出席状況および授業態度も評価に加味する。

講義中はグループ討論や発表の機会をできる限り設け、評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

授業では、授業範囲についてのディスカッション等のアクティブラーニングにて行うので、事前にWeb classに配付資料等のアップロードがあった場合にはよく予習の上、授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義 15 時間の 2/3 以上出席することが望ましい。

時間割番号	022306						
科目名	健康教育の企画と実践Ⅲ	科目ID	DH-454303-Z				
担当教員							
開講時期	2020年度通年	対象年次	4				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健学科1号館7階2講義室							
授業の目的、概要等							
個別性を重視した健康教育を実践するために必要な知識・技術・態度を理解する。							
授業の到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ歯学の基本を理解し、口腔保健との関係を説明する。 2. ライフステージ別の口腔健康教育について説明する。 3. 地域における歯科衛生士のセルフケア支援を説明する。 4. 歯科保健指導の今後の展開を考え、説明する。 5. 周術期口腔機能管理、在宅療養管理指導の意義目的を説明する。 6. 東洋医学の基本を理解し、口腔保健との関係を説明する。 7. 口腔健康の啓発活動の実際を説明する。 8. 行政歯科衛生士の健康教育活動を説明する。 9. 産業保健における歯科衛生士の取組みを説明する。 10. 保健医療福祉専門職の生涯学習の重要性を説明する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/17	09:00-09:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康教育の企画と実践	ガイダンス	吉田 直美	Zoom
2-3	4/17	10:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	スポーツと口腔健康	スポーツ歯学	上野 俊明	Zoom 目標 1.4
4-6	4/23	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	口腔健康教育における 研究的視点	口腔健康教育における研究的視点と教育への活かし方	吉田 直美 杉本 久美子	Zoom 目標 2.4
7-9	4/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	有病者に対する口腔健康 教育	口腔健康管理	吉田 直美 鈴木 瞳	Zoom 目標 4.5
10-12	4/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	多様なライフステージに おける口腔健康教育	各ライフステージにおける口腔健康 教育の実際	吉田 直美 杉本 久美子	目標 2.4
13-15	5/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域歯科医療における 健康教育	地域歯科診療所におけるセルフ ケア支援	吉田 直美 渡邊 麻理	目標 3.4
16	6/1	15:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室 口腔保健 学科第3 講義室	海外における歯科保健 医療活動	海外研修発表会	吉田 直美	目標 3.4
17-19	6/12	09:00-11:50	口腔保健	全身疾患を有する患者	口腔衛生管理と口腔機能管理	吉田 直美	目標 4.5

			学科第2 講義室	への歯科保健指導			
20-21	6/12	14:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	口腔健康と東洋医学	歯科領域における漢方療法	嶋田 昌彦	森田 大津 目標 4,5
22-24	6/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域歯科保健	地域包括ケアシステムにおける歯 科の役割	吉田 直美	長優子 目標 7,8
25-27	6/26	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	学校歯科保健における 健康教育	“アクティブラーニング ライフ スタイルをはぐくむ健康教育 生涯学 習の重要性 ”	吉田 直美 武井 典子	目標 4, 7, 10
28-30	7/3	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	産業歯科保健における 健康教育	禁煙支援 産業保健における歯科 衛生士の取り組み	吉田 直美 茂木 美保	目標 4, 8, 10
成績評価の方法							
課題レポート、期末試験で総合的評価を行う。 受講態度、出席状況等を総合的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示							
・事前に確認すべき課題がある場合は、Webclass にアップロードする。・2年次、3年次の健康教育の講義・実習で使用した資料を確認する。							
試験の受験資格							
試験規則を確認すること。出席時間不足の場合は、受験することができない。							
備考							
実習、演習、グループワーク							

時間割番号	022281		
科目名	歯科衛生臨床実習Ⅱ	科目ID	DH-474402-E
担当教員			
開講時期	2020年度1.5通年 (秋)	対象年次	3～4
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所 歯学部附属病院			
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。			
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。			
授業内容 ●3年生 ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習 ・臨床実習(本実習) -むし歯外来実習 口腔外科外来実習 義歯外来実習 歯科放射線外来実習 中央器材室実習 ●4年生 ・臨床実習ガイダンス ・臨床実習(本実習) -歯科麻酔外来実習			
成績評価の方法 ・実習報告書・実習記録、出席状況、臨床実習指導者評価等により総括的評価を行う。 ・実習態度・取り組み、提出物の提出状況を総括的評価に加味する。 ・提出レポート、課題発表等で総括的評価を行う。			

<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。 実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>各科実習時間における 3/4 以上の出席</p>
<p>教科書</p> <p>保存修復・歯内療法：歯の硬組織・歯髄疾患 ：医歯薬出版</p>
<p>参考書</p> <p>口腔外科・歯科麻酔：顎・口腔粘膜疾患／全国歯科衛生士教育協議会監修；山根源之 [ほか]執筆；松井恭平 [ほか]編集,全国歯科衛生士教育協議会,山根, 源之,松井, 恭平,:医歯薬出版, 2011 歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編.:医歯薬出版, 2007 歯の硬組織・歯髄疾患-保存修復・歯内療法／千田彰, 中村洋 [ほか]著.:医歯薬出版, 2010 咀嚼障害・咬合異常／全国歯科衛生士教育協議会 監修,氷室利彦 [ほか]著,氷室, 利彦, 1953-,全国歯科衛生士教育協議会.:医歯薬出版, 2011 歯科放射線／全国歯科衛生士教育協議会監修；岡野友宏 [ほか] 執筆,岡野, 友宏.:医歯薬出版, 2009, 2011 ：医歯薬出版 ／大嶋隆 [ほか]著.:医歯薬出版, 2009 ：医歯薬出版, 2013 各科講義資料</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>附属病院等では服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とする場合がある。</p>

時間割番号	022282		
科目名	歯科衛生臨床実習Ⅲ	科目ID	DH-474403-E
担当教員			
開講時期	2020年度1.5通年 (秋)	対象年次	3～4
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所 歯学部附属病院			
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。			
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。			
授業内容 ●3年生 ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習 ・臨床実習(本実習) -小児歯科外来実習 インプラント外来実習 ●4年生 ・臨床実習ガイダンス ・臨床実習(本実習) -矯正歯科外来実習 顎義歯外来実習 スペシャルケア外来1(高齢者歯科)実習 スペシャルケア外来2(障害者歯科)実習			
成績評価の方法 ・実習記録・実習報告書、出席状況、臨床実習指導者評価等により総括的評価を行う。 ・実習態度・取組み、提出物の提出状況を総括的評価に加味する。 ・提出レポート、課題発表等で総括的評価を行う。			

<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。 実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>各科実習時間の 3/4 以上の出席</p>
<p>教科書</p> <p>:医歯薬出版</p>
<p>参考書</p> <p>小児歯科／大嶋隆ほか著,大嶋, 隆,全国歯科衛生士教育協議会.:医歯薬出版, 2009 歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編.:医歯薬出版, 2007 障害者歯科／向井美恵ほか著,向井, 美恵.:医歯薬出版, 2013 高齢者歯科／植田耕一郎ほか著,植田, 耕一郎,全国歯科衛生士教育協議会.:医歯薬出版, 2013 , 2009 :医歯薬出版 各科講義資料</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>附属病院等では服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とする場合がある。</p>

時間割番号	022307				
科目名	歯科衛生臨地実習	科目ID	DH-476700-E		
担当教員					
開講時期	2020 年度通年	対象年次	4	単位数	6
実務経験のある教員による授業	該当する				
科目名: 歯科衛生臨地実習 時間数 3 学年 45 時間、4 学年 225 時間 授業形態: 実習					
主な講義場所					
口腔保健学科 第3 講義室(3 年生)、第2 講義室(4 年生)、学外施設、病院 等					
授業の目的、概要等					
歯科衛生活動を展開するために必要な知識、技術、態度を習得して、実践力を養う。					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域、病院、企業における歯科衛生活動を説明する。 ・対象のニーズ判断に基づいた介入計画を立案する。 ・介入後の変化を評価する。 					
準備学習等についての具体的な指示					
参考書					
臨床実習 hand book / 眞木吉信, 藤原愛子, 高阪利美, 石井実和子, 泉野裕美 監著, 眞木, 吉信, 1954-藤原, 愛子, 歯科, 高阪, 利美, クインテッセンス出版, 2010					
履修上の注意事項					
<ul style="list-style-type: none"> ・学外実習時の服装、態度、言葉遣いに留意する。 ・実習への取り組み、出席状況、報告書の提出状況などが不適切な場合には、実習停止とすることがある。 					
備考					
<ul style="list-style-type: none"> ・実習前に実習先施設について情報収集を行い十分に理解した上で臨む。 ・実習に関連する内容を復習しておく。 					

時間割番号	022285						
科目名	卒業研究				科目ID	DH-464600-Z	
担当教員	品田 佳世子[SHINADA KAYOKO]						
開講時期	2020 年度2年通年	対象年次	3~4		単位数	4	
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:卒業研究 時間数:3 学年 73 時間、4 学年 107 時間 授業形態: 演習・講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室 他							
授業の目的、概要等 各学生の知的興味、将来の方向性に沿ってテーマを選択し、計画・立案に基づいて研究を実施する。さらに結果を論文にまとめて十分考察することにより、研究への理解と意欲を培う。							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。 ・研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見が整理できる。 ・EBM・EBHC の概念を説明できる。 ・知見や問題点に基づいた研究の計画・立案ができる。 ・実験・調査などの研究を実施できる。 ・実験・調査などの結果を分析整理し、統計学的な解析ができる。 ・結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/10	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究の進め方	卒業研究の進め方	品田 佳世子	
2-3	5/13	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究の進め方、3年 前期の説明、各教員か らの研究例に関するプ レゼン	卒業研究の進め方、3年前期の説 明、各教員からの研究例に関する プレゼン	品田 佳世子、 荒川 真一	遠隔授業、パワ ーポイント動画を Webclass にアップ しますので視聴 のこと。
4-8	5/21	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	各教員からの研究例に 関するプレゼン、卒業研 究のテーマに関する文 献検索	各教員からの研究例に関するプレ ゼン、卒業研究のテーマに関する 文献検索	品田 佳世子、 安達 奈穂子、 坂本 裕次郎、 樺沢 勇司	遠隔授業、研究 例は ZOOM また は PPT 動画で、 ZOOM の場合は 参加すること、 PPT 動画は Webclass にアップ しますので視聴 のこと。文献検索
9-10	6/24	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	各教員からの研究例に 関するプレゼン、卒業研 究のテーマに関する文 献検索	各教員からの研究例に関するプレ ゼン、卒業研究のテーマに関する 文献検索	吉田 直美 品田 佳世子、 近藤 圭子、 鈴木 瞳、日 高 玲奈、伊 藤 奏	
11-12	6/29	15:00-16:50	口腔保健 学科第3	各教員からの研究例に 関するプレゼン、卒業研	各教員からの研究例に関するプレ ゼン、卒業研究のテーマに関する	吉田 直美 品田 佳世子、	演習

			講義室	究のテーマに関する案 作成	案作成	近藤 圭子, 鈴木 瞳 日 高 玲奈, 伊 藤 奏	
13	11/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	品田 佳世子	文献検索
14	11/12	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	品田 佳世子	文献検索
15	11/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	品田 佳世子	文献検索
16	11/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	品田 佳世子	文献検索
17	11/25	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
18	11/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマ例	卒業研究テーマ例:各教員の講義	品田 佳世子	
19	12/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
20	12/3	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
21	12/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
22	12/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
23	12/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
24	12/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索
25-32	12/18	09:00-17:50	特別講堂	4年生の卒業研究発表 聴講・質疑	4年生の卒業研究発表聴講・質疑	品田 佳世子	4年生の卒業研 究発表聴講・質疑
33-34	12/21	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、面談	テーマ候補と研究内容に関する準 備、面談	品田 佳世子	面談、文献検索
35-37	12/22	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、面談	テーマ候補と研究内容に関する準 備、面談	品田 佳世子	面談、文献検索
38	1/6	17:00-17:50	口腔保健	卒業研究テーマと内容	卒業研究テーマと内容に関する個	品田 佳世子	卒業研究テーマ

			学科第3 講義室	に関する個別面談	別面談		と内容に関する 個別面談
39	1/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマと内容 に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個 別面談	品田 佳世子	卒業研究テーマ と内容に関する 個別面談
40	1/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマと内容 に関する個別面談、担 当分野との打ち合わせ	卒業研究担当分野との打ち合わ せテーマと内容に関する個別面 談、	品田 佳世子	担当分野との打 ち合わせ
41	1/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマと内容 に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個 別面談	品田 佳世子	
42-45	1/8	09:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	工学専攻4年生の卒業 研究発表聴講・質疑	工学専攻4年生の卒業研究発表 聴講・質疑	品田 佳世子	工学専攻4年生 の卒業研究発表 聴講・質疑
46-53	1/8	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	担当分野との打 ち合わせ
54-57	1/8	09:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	口腔保健工学専攻4年 生の卒業研究発表聴 講・質疑	口腔保健工学専攻4年生の卒業 研究発表聴講・質疑	品田 佳世子	口腔保健工学専 攻4年生の卒業 研究発表聴講・質 疑
58	1/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、面談	テーマ候補と研究内容に関する準 備、面談	品田 佳世子	面談、文献検索
59	1/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室		担当分野(教員)決定	品田 佳世子	
60	1/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、面談	テーマ候補と研究内容に関する準 備、面談	品田 佳世子	面談、文献検索
61	1/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	テーマと担当分 野に関する面接、 文献検索
62	2/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマと内容 に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個 別面談	品田 佳世子	面談、文献検索
63-64	2/9	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、面談	テーマ候補と研究内容に関する準 備、面談	品田 佳世子	面談
65-66	2/10	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマと内容 に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個 別面談	品田 佳世子	面談、文献検索
67-68	2/10	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	担当教員とのディスカッ ション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	吉田 直美 樺沢 勇司、 荒川 真一、 品田 佳世子、 坂本 裕次郎、 近藤 圭子、 鈴木 瞳 安	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始

							達 奈穂子, 伊藤 奏 日 高 玲奈	
69-72	2/16	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、担当分 野(教員)決定	テーマ候補と研究内容に関する準 備、担当分野(教員)決定	品田 佳世子	テーマと担当分 野に関する面接、 文献検索	
73-75	2/16	14:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	担当教員とのディスカッ ション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	品田 佳世子, 荒川 真一, 樺沢 勇司, 吉田 直美 坂本 裕次郎, 近藤 圭子, 伊藤 奏, 鈴 木 瞳, 日高 玲奈, 安達 奈穂子	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始	
76-83	2/17	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	担当教員とのディスカッ ション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	品田 佳世子	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始	
84-90	2/17	10:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、担当分 野との打ち合わせ	テーマ候補と研究内容に関する準 備、担当分野との打ち合わせ	品田 佳世子	テーマ候補と研 究内容に関する 準備、担当分野と の打ち合わせ	
91	2/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	テーマ候補と研究内容 に関する準備、担当分 野との打ち合わせ	テーマ候補と研究内容に関する準 備、担当分野との打ち合わせ	品田 佳世子	担当分野との打 ち合わせ	
92-96	3/8	13:00-17:50	特別講堂	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	品田 佳世子	文献検索	
97-10 1	3/9	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマと内容 に関する個別面談、担 当分野との打ち合わせ	卒業研究担当分野との打ち合わ せテーマと内容に関する個別面 談、	品田 佳世子	担当分野との打 ち合わせ	
102-1 05	3/9	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	担当教員とのディスカッ ション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	品田 佳世子, 荒川 真一, 樺沢 勇司, 吉田 直美 坂本 裕次郎, 近藤 圭子, 伊藤 奏, 鈴 木 瞳, 日高 玲奈, 安達 奈穂子	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始	

成績評価の方法

- ・単位認定(4単位)は4学年終了時に行う。
- ・単位認定は、3年次から各課題(論文抄録、研究計画書、中間発表会プレゼンテーションファイル、成果報告会プレゼンテーションファイル、卒業研究論文ファイル)の期限内提出、研究計画書・中間発表会プレゼンテーション・成果報告会プレゼンテーション・論文についての総括的評価により行う。

準備学習等についての具体的な指示

研究テーマを考え、それに関する文献を検索し、文献を読んでおくこと。

試験の受験資格

<p>卒業研究の発表および卒業論文を提出すること</p> <p>参考書</p> <p>卒業研究 HAND BOOK／眞木吉信 監著,薄井由枝,品田佳世子,白鳥たかみ,杉原直樹,田村清美,松田裕子 著,:クインテッセンス出版, 2011</p> <p>SPSSによる医学・歯学・薬学のための統計解析／石村貞夫, 謝承泰, 久保田基夫 著,:東京図書, 2011</p> <p>SPSSで学ぶ医療系多変量データ解析／対馬栄輝 著,:東京図書, 2008</p> <p>歯科衛生研究の進め方論文の書き方／武井典子 [ほか] 編,武井, 典子,金澤, 紀子(歯科衛生士),合場, 千佳子,石井, 拓男,岩久, 正明,日本歯科衛生学会,:医歯薬出版, 2015</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保健・医療のための研究法入門」、朝倉隆司監訳、協同医書出版社 ・「歯科衛生研究の進め方、論文の書き方」、金澤紀子、武井典子、合場千佳子、岩久正明 編、医歯 薬出版 ・「医薬研究者の視点からみた道具としての統計学」、奥田千恵子、金芳堂
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に指導教員、副指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進めること。
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>shinada.ohp@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1号館西8階品田室</p>

時間割番号	022308						
科目名	歯科衛生学演習	科目ID	DH-456800-S				
担当教員	吉田 直美, 日高 玲奈[YOSHIDA Naomi, NAKAYAMA Rena]						
開講時期	2020 年度通年	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 歯学部演習室 鈴木章夫記念講堂 その他							
授業の目的、概要等 心身の状態が口腔機能の低下や口腔衛生状態の不良へ及ぼす影響の実際を知り、歯科医療従事者としてそれらを改善するための知識・態度を理解する。 歯科臨床における歯科衛生士の役割を考え、応用に必要な知識と技術および態度を習得する。							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 対象の口腔機能の状態を説明する。 口腔機能が低下する要因について概説する。 口腔機能評価法を説明する。 口腔機能に応じた食形態や障害に応じた食具を説明する。 疾病や障害に応じた食事摂取法を説明する。 口腔ケア支援の方法を概説する。 入院患者ならびに家族に配慮する。 多職種連携における歯科衛生士の役割を説明する。 患者の安全と安心を配慮する。 チーム医療に必要な技能を応用する方法を説明する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/1	15:00-16:50	その他 (口腔保健学科口腔保健衛生学専攻)	口腔健康管理の実際	医病における歯科医療従事者の活動	樺沢 勇司, 吉田 直美, 日高 玲奈	日高玲奈 日程については別途配分表を確認すること
3	5/8	15:00-15:50	その他 (口腔保健学科口腔保健衛生学専攻)	口腔健康管理の実際	医病における歯科医療従事者の活動	樺沢 勇司, 吉田 直美, 日高 玲奈	日程については別途配分表を確認すること
4	5/8	16:00-16:50	歯学部演習室	D6-OH4 合同症例検討授業	OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美, 樺沢 勇司, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安達 奈穂子	
5	5/12	17:00-17:50	その他 (口腔保	口腔健康管理の実際	医病における歯科医療従事者の活動	樺沢 勇司, 吉田 直美	日程については別途配分表を確

			健学科口腔保健衛生学専攻)			日高 玲奈	認すること
6	5/14	17:00-17:50	その他 (口腔保健学科口腔保健衛生学専攻)	口腔健康管理の実際	医病における歯科医療従事者の活動	樺沢 勇司, 吉田 直美 日高 玲奈	日高玲奈 日程については別途配分表を確認すること
7	5/15	15:00-15:50	その他 (口腔保健学科口腔保健衛生学専攻)	口腔健康管理の実際	医病における歯科医療従事者の活動	樺沢 勇司, 吉田 直美 日高 玲奈	日程については別途配分表を確認すること
8	5/15	16:00-16:50	歯学部演習室	D6-OH4 合同症例検討授業	OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美, 樺沢 勇司, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安達 奈穂子	
9	5/22	15:00-15:50	その他 (口腔保健学科口腔保健衛生学専攻)	口腔健康管理の実際	医病における歯科医療従事者の活動	樺沢 勇司, 吉田 直美 日高 玲奈	日程については別途配分表を確認すること
10	5/22	16:00-16:50	歯学部演習室	D6-OH4 合同症例検討授業	OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美, 樺沢 勇司, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安達 奈穂子	
11	5/29	15:00-15:50	その他 (口腔保健学科口腔保健衛生学専攻)	口腔健康管理の実際	医病における歯科医療従事者の活動	樺沢 勇司, 吉田 直美 日高 玲奈	日程については別途配分表を確認すること
12	5/29	16:00-16:50	歯学部演習室	D6-OH4 合同症例検討授業	OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美, 樺沢 勇司, 鈴木 瞳 安達 奈穂子, 伊藤 奏	
13	6/5	15:00-15:50	その他 (口腔保健学科口腔保健衛生学専攻)	口腔健康管理の実際	医病における歯科医療従事者の活動	吉田 直美, 樺沢 勇司, 日高 玲奈	日程については別途配分表を確認すること

14	6/5	16:00-16:50	歯学部演習室	D6-OH4 合同症例検討授業	OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美 樺沢 勇司, 近藤 圭子, 鈴木 瞳, 安達 奈穂子	
15	6/12	16:00-16:50	その他(口腔保健学科口腔保健衛生学専攻)	D6-OH4 合同症例検討授業	OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	樺沢 勇司, 安達 奈穂子, 鈴木 瞳, 荒川 真一, 伊藤 奏	
16	6/12	17:00-17:50	歯学部演習室	口腔健康管理の実際	医病における歯科医療従事者の活動	樺沢 勇司, 吉田 直美, 日高 玲奈	日高玲奈 日程については別途配分表を確認すること
17-23	6/30	09:00-16:50	歯学部演習室 その他(口腔保健学科口腔保健衛生学専攻)	チーム医療入門	多職種連携教育	吉田 直美 日高 玲奈	日高玲奈
24-30	7/1	09:00-16:50	歯学部演習室 その他(口腔保健学科口腔保健衛生学専攻)	チーム医療入門	多職種連携教育	樺沢 勇司	

成績評価の方法

- ・課題レポートならびに試験で総合的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

D6-H4 合同症例検討授業およびチーム医療入門はそれぞれにおいて全履修時間の4分3以上出席する。

課題レポートをすべて提出する。

医病歯病において口腔衛生管理・口腔機能管理の事例を見学する。

備考

演習、実習、グループワーク

時間割番号	022309					
科目名	歯科衛生臨床・臨地応用論			科目ID	DH-496900-Z	
担当教員	近藤 圭子, 遠藤 圭子[KONDO KEIKO, ENDOH Keiko]					
開講時期	2020 年度通年	対象年次	4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
科目名: 歯科衛生臨床・臨地応用論						
主な講義場所 口腔保健学科第2 講義室						
授業の目的、概要等 既習の臨床実習および臨地実習で関心を抱いた場での実習、ボランティア活動、また学会等への参加を通して、その領域に関する知識を深め、技能を高める。 特別な配慮が必要な対象者に対して、対象者本位の口腔保健活動を実施するための、態度、知識、技術を習得する。						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の身体的・精神的・社会的特性を配慮して、生活上の問題を抽出、整理する。 ・対象者の価値観の多様性を理解して、対応する。 ・利用者の心理状態や体調の変化に対応する。 ・専門職間の連携について説明する。 ・歯科衛生士の専門性をより深く理解する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	5/11	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	授業の進め方	概要の説明	近藤 圭子
4-6	6/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	演習	医療・福祉関連ボランティアについて	近藤 圭子
7-9	6/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	演習	医療・福祉関連セミナーについて	近藤 圭子
10-12	6/22	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	演習	専門学会について	近藤 圭子
13-15	7/13	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	成果発表	報告会	近藤 圭子
授業内容 ボランティア活動: 高齢者施設、地域のイベント参加 学会: 歯科衛生分野の学会、関連学会参加 歯科関連セミナー: 産業保健研究会、大学院講義、その他への参加 報告書の作成: 活動報告書 成果発表: 活動報告会						
成績評価の方法 出席と演習への参加、レポート・発表による						
準備学習等についての具体的な指示						

試験の受験資格

2/3 以上の出席とレポート提出、課題の発表

時間割番号	022310					
科目名	口腔保健マネジメント論			科目ID	DH-497000-L	
担当教員	近藤 圭子, 遠藤 圭子[KONDO KEIKO, ENDOH Keiko]					
開講時期	2020 年度通年	対象年次	4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
主な講義場所						
第2 講義室						
授業の目的、概要等						
口腔保健におけるマネージメントを考え、その方法を理解する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージにおけるマネージメントを考える。 ・対象によるマネージメントを考える。 ・地域や環境によるマネージメントを考える。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	10/23	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	マネージメントとは	授業の進め方 課題の提示	近藤 圭子
4-6	10/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	ライフステージとマネー ジメント	演習	近藤 圭子
7-9	11/13	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	対象によるマネー ジメン ト	演習	近藤 圭子
10-12	11/20	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域・環境によるマネー ジメント	演習	近藤 圭子
13-15	11/27	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ		近藤 圭子
成績評価の方法						
出席、レポートと試験により、総合評価を行う。						
準備学習等についての具体的な指示						
事前学習を行う。						
試験の受験資格						
2/3 以上出席、レポートの提出						

時間割番号	022311																																														
科目名	保健行動科学	科目ID	DH-497100-L																																												
担当教員																																															
開講時期	2020年度通年	対象年次	4																																												
実務経験のある教員による授業	該当する																																														
主な講義場所 口腔保健学科第2講義室																																															
授業の目的、概要等 保健医療福祉分野における行動変容を支援するために必要な知識・技術・態度を理解する。																																															
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・医療コミュニケーションの技法を用いる。 ・コーチングスキルを用いた支援について説明する。 ・基礎的なコーチングスキルを用いる。 ・リラクゼーション技法を説明する。 ・リラクゼーション技法を用いる。 ・動機づけ面接を説明する 																																															
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/2</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/9</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/16</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/17</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	4/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	2	4/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	3	4/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	4	4/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	5	5/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	6	5/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	7	6/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	8	6/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	9	6/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	10	6/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第2
回	日付	時刻	講義室																																												
1	4/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室																																												
2	4/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室																																												
3	4/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室																																												
4	4/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室																																												
5	5/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室																																												
6	5/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室																																												
7	6/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室																																												
8	6/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室																																												
9	6/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室																																												
10	6/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第2																																												

			講義室
11	6/23	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室
12	6/24	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室
13	7/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室
14	7/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室
15	7/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室
成績評価の方法			
課題レポート、期末試験で総括的評価を行う。受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。			
準備学習等についての具体的な指示			
・事前に確認すべき課題がある場合は、Webclass にアップロードする。			
試験の受験資格			
・試験規則を確認すること。出席時間不足の場合は、受験することができない。			
備考			
演習			

時間割番号	022312																																																																																														
科目名	地域口腔保健論				科目ID	DH-497200-L																																																																																									
担当教員																																																																																															
開講時期	2020年度前期	対象年次	4		単位数	1																																																																																									
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																																														
<p>科目名:地域口腔保健論</p> <p>時間数:15時間</p> <p>授業形態:講義、演習含む</p>																																																																																															
<p>主な講義場所</p> <p>1号館西口腔保健学科第1講義室</p>																																																																																															
<p>授業の目的、概要等</p> <p>公表されている地域の口腔保健の実態を調べ、口腔保健推進に関して計画や施策を考える力を培う。</p>																																																																																															
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の地域の口腔保健の実態を知る。 ・地域の口腔保健を推進するための計画を考える。 ・地域に合った施策を考える。 																																																																																															
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>地域の口腔保健状況: 東京都23区</td> <td>地域の口腔保健状況:東京都23区</td> <td>品田 佳世子</td> <td>課題学習</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>地域の口腔保健状況: 東京都23区</td> <td>地域の口腔保健状況:東京都23区</td> <td>品田 佳世子</td> <td>課題学習</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/23</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>地域の口腔保健状況: 東京都23区</td> <td>地域の口腔保健状況:東京都23区</td> <td>品田 佳世子</td> <td>課題発表、討論</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/30</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>地域の口腔保健状況: 関東近県</td> <td>地域の口腔保健状況:関東近県</td> <td>品田 佳世子</td> <td>課題学習</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/7</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>地域の口腔保健状況: 関東近県</td> <td>地域の口腔保健状況:関東近県</td> <td>品田 佳世子</td> <td>課題学習</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/13</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>地域の口腔保健状況: 関東近県</td> <td>地域の口腔保健状況:関東近県</td> <td>品田 佳世子</td> <td>課題発表、討論</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/20</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>地域の口腔保健状況: 都道府県</td> <td>地域の口腔保健状況:都道府県</td> <td>品田 佳世子</td> <td>課題学習</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/21</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>地域の口腔保健状況: 都道府県</td> <td>地域の口腔保健状況:都道府県</td> <td>品田 佳世子</td> <td>課題学習</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>5/27</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>地域の口腔保健状況: 都道府県</td> <td>地域の口腔保健状況:都道府県</td> <td>品田 佳世子</td> <td>課題発表、討論</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>5/28</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健</td> <td>地域の口腔保健状況:</td> <td>地域の口腔保健状況:都道府県</td> <td>品田 佳世子</td> <td>課題発表、討論</td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	4/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 東京都23区	地域の口腔保健状況:東京都23区	品田 佳世子	課題学習	2	4/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 東京都23区	地域の口腔保健状況:東京都23区	品田 佳世子	課題学習	3	4/23	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 東京都23区	地域の口腔保健状況:東京都23区	品田 佳世子	課題発表、討論	4	4/30	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 関東近県	地域の口腔保健状況:関東近県	品田 佳世子	課題学習	5	5/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 関東近県	地域の口腔保健状況:関東近県	品田 佳世子	課題学習	6	5/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 関東近県	地域の口腔保健状況:関東近県	品田 佳世子	課題発表、討論	7	5/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 都道府県	地域の口腔保健状況:都道府県	品田 佳世子	課題学習	8	5/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 都道府県	地域の口腔保健状況:都道府県	品田 佳世子	課題学習	9	5/27	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 都道府県	地域の口腔保健状況:都道府県	品田 佳世子	課題発表、討論	10	5/28	17:00-17:50	口腔保健	地域の口腔保健状況:	地域の口腔保健状況:都道府県	品田 佳世子	課題発表、討論
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																																																								
1	4/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 東京都23区	地域の口腔保健状況:東京都23区	品田 佳世子	課題学習																																																																																								
2	4/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 東京都23区	地域の口腔保健状況:東京都23区	品田 佳世子	課題学習																																																																																								
3	4/23	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 東京都23区	地域の口腔保健状況:東京都23区	品田 佳世子	課題発表、討論																																																																																								
4	4/30	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 関東近県	地域の口腔保健状況:関東近県	品田 佳世子	課題学習																																																																																								
5	5/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 関東近県	地域の口腔保健状況:関東近県	品田 佳世子	課題学習																																																																																								
6	5/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 関東近県	地域の口腔保健状況:関東近県	品田 佳世子	課題発表、討論																																																																																								
7	5/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 都道府県	地域の口腔保健状況:都道府県	品田 佳世子	課題学習																																																																																								
8	5/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 都道府県	地域の口腔保健状況:都道府県	品田 佳世子	課題学習																																																																																								
9	5/27	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健状況: 都道府県	地域の口腔保健状況:都道府県	品田 佳世子	課題発表、討論																																																																																								
10	5/28	17:00-17:50	口腔保健	地域の口腔保健状況:	地域の口腔保健状況:都道府県	品田 佳世子	課題発表、討論																																																																																								

			学科第2 講義室	都道府県			
11	6/3	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健を推進 するための方策検討	地域の口腔保健を推進するた めの方策検討	品田 佳世子	課題学習
12	6/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健を推進 するための方策検討	地域の口腔保健を推進するた めの方策検討	品田 佳世子	課題学習
13	6/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健を推進 するための方策検討	地域の口腔保健を推進するた めの方策検討	品田 佳世子	課題学習
14	6/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健を推進 するための方策検討	地域の口腔保健を推進するた めの方策検討	品田 佳世子	課題発表、討論
15	7/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の口腔保健を推進 するための方策検討	地域の口腔保健を推進するた めの方策検討	品田 佳世子	課題発表、討論
16	7/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域口腔保健のまとめ	地域口腔保健のまとめ	品田 佳世子	討論

成績評価の方法

出席点(20点)とレポート点(80点)を合わせて評価する。

準備学習等についての具体的な指示

全国の都道府県、市区町村の保健に関するホームページの中に、口腔保健に関してどのような情報が公表されているのか調べておく。

試験の受験資格

15時間の授業のうち2/3以上出席すること

時間割番号	022313					
科目名	在宅訪問・災害口腔保健医療			科目ID	DH-497300-L	
担当教員						
開講時期	2020年度通年	対象年次	4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
<p>時間数:15時間 1単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:日高玲奈、ほか</p> <p>地域に出るため、履修の際には事前に担当教員に相談のこと</p>						
主な講義場所						
口腔保健学科 第2講義室						
授業の目的、概要等						
<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会で活躍する歯科衛生士に必要となる、訪問歯科診療の実際について理解する。特に、病院、在宅、施設への訪問診療による、療養中の高齢者・要介護高齢者の口腔衛生管理や、口腔機能管理、摂食嚥下リハビリテーション、食支援の実際について理解する。また、一部、災害時の訪問歯科診療についても触れる。 						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・歯科訪問診療と往診の違いを説明できる ・病院への訪問歯科診療を説明できる ・居宅(自宅、施設)への訪問歯科診療を説明できる ・在宅、チーム医療における摂食嚥下リハビリテーション、口腔機能管理、口腔ケアの実際を理解できる。 ・誤嚥性肺炎予防、食支援、QOLの向上を目的とした訪問歯科診療の実際を理解できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/10	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯科訪問診療とは 高齢者の訪問歯科診療	歯科訪問診療と往診の違い、訪問 歯科診療の概要	古屋 純一、 日高 玲奈
3	4/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	訪問歯科診療の実際1	病院への訪問歯科診療	古屋 純一、 日高 玲奈
4-8	4/17	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	訪問歯科診療の実際2	居宅(在宅、施設)への訪問歯科 診療	古屋 純一、 日高 玲奈
9-11	4/24	15:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	訪問歯科診療の在り方	医療介護連携、地域連携、多職種 協働	古屋 純一、 日高 玲奈
12	5/1	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	災害と訪問歯科診療1	災害時の訪問歯科診療	古屋 純一、 日高 玲奈
13	5/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	災害と訪問歯科診療2	災害時の訪問歯科診療	古屋 純一、 日高 玲奈
14-15	6/19	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ	これまでのまとめ	古屋 純一、 日高 玲奈
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総合的評価に加味する。 						

<p>・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の出席</p>
<p>教科書</p> <p>高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著：医歯薬出版, 2015</p>
<p>参考書</p> <p>歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション／金子芳洋 編 日本歯科衛生士会 監修：医歯薬出版, 2011</p>
<p>備考</p> <p>担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと)</p> <p>古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp</p> <p>授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。</p> <p>地域の現場に出るため、履修の際には事前に担当教員に相談のこと</p>

時間割番号	022314						
科目名	先端歯科医療学			科目ID	DH-497400-L		
担当教員							
開講時期	2020年度通年	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 第2講義室							
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・歯周治療における最先端の知見および治療法を修得する。 ・これからの歯科衛生士としてあるべき姿の未来像の提案と共に、歯科衛生士として大切な能力であるコミュニケーションの最新の考え方を修得する ・最新の歯科マネジメント(ミッションの重要性・PDCAの重要性)の考えなど臨床を通じて解説する。 							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・歯周治療における最先端の知見および治療法を説明できる。 ・患者の心理状態を的確に把握するコミュニケーションの最新の考え方を実践できる。 ・最新の歯科マネジメント方法を実践できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/18	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	マイクロバイオータと歯周炎	歯周炎の発症進行の原因因子として、歯周病原細菌があるが、単一の細菌毎ではなく、マイクロバイオータ(細菌叢)として捉えることが重要であることが明らかになった。この点に関して、最新の知見を述べる。	荒川 真一、 竹内 康雄	
3	5/18	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	マイクロバイオータと歯周炎	マイクロバイオータと歯周炎に関して、討論を行う。	荒川 真一	討論を行う。
4-5	5/25	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	予防を軸に歯科の未来へ	最新の歯科マネジメント(ミッション・PDCAの重要性)の考えなどを臨床を通じて解説するとともに、これからの歯科衛生士としてあるべき姿の未来像の提案する。さらに、コミュニケーションの最新の考え方についても解説する。	荒川 真一、 井上 裕之	
6	5/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	予防を軸に歯科の未来へ	上記に関して、討論を行う。	荒川 真一	討論を行う。
7-8	6/26	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯周治療におけるレーザーの応用	歯周治療において、各種レーザーが用いられている。そこで、レーザーの基本原理、種類ごとの特徴、およびそれらの特性を活かした臨床応用について、最新の知見を交えて学ぶ	荒川 真一、 青木 章	
9-10	6/26	15:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	再生医療	再生医療として、歯根膜シートが開発されている。本講義では、当該シートに関する最先端の研究結果と臨床応用について学ぶ	荒川 真一、 岩田 隆紀	

11-12	7/2	10:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯周専門開業医にお ける DH の役割	歯周専門開業医における再生治 療をはじめとする歯周治療と DH の役割について学ぶ	荒川 真一, 大西 英知	
13-14	7/27	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	全身疾患と歯周炎の関 係	歯周炎がいかに糖尿病などの全 身疾患に関係するかについて、最 新の知見を踏まえて学ぶ	荒川 真一, 片桐 さやか	
15	7/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	総合討論	これまでの講義内容について、総 合的に討論を行い、かつレポート を作成する	荒川 真一	討論を行う。

成績評価の方法

- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・提出レポート、発表等で総括的評価を行う

準備学習等についての具体的な指示

- ・歯周治療の基本的流れについて、今一度確認し、書けるようにしておくこと。
- ・なぜ、歯科衛生士になろうとしたのか。どのような歯科衛生士になりたいのか。
それは、なぜなのかを考えておく。
- ・コミュニケーション、PDCA について、基本的な知識を習得しておくこと。
- ・事前に、ドキュメンタリー動画<<https://youtu.be/IW2oyMLMRbg>>を観ておくこと。

備考

- ・講義内容について討論を行う。

時間割番号	022298																																							
科目名	福祉計画	科目ID	DH-395900-L																																					
担当教員	日高 玲奈, 藤高 直之, 遠藤 康裕[NAKAYAMA Rena, FUJITAKA Naoyuki, ENNDOU Yasuhiro]																																							
開講時期	2020 年度前期	対象年次	4	単位数	1																																			
実務経験のある教員による授業	該当する																																							
<p>時間数:15 時間 1 単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:藤高 直之(立正大学)、遠藤 康裕、日高玲奈、ほか</p>																																								
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科第3講義室</p>																																								
<p>授業の目的、概要等</p> <p>・福祉計画の基本的事項を理解し、社会福祉の位置づけ、枠組みを修得する。</p>																																								
<p>授業の到達目標</p> <p>・福祉計画の意義と目的を説明できる。</p> <p>・福祉計画の主体と方法について説明できる。</p> <p>・福祉計画についてその種類、内容について説明できる。</p>																																								
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>9/4</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>福祉計画の意義と目的</td> <td>行政の総合計画と福祉計画、福祉計画の法的根拠など</td> <td>藤高 直之 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>4-8</td> <td>9/4</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>福祉計画の実際 I</td> <td>次世代育成支援行動計画、地域福祉計画</td> <td>藤高 直之</td> </tr> <tr> <td>9-11</td> <td>9/30</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>福祉計画の理論と技法</td> <td>福祉計画の基本的視座、ニーズの把握、評価、住民参加</td> <td>遠藤 康裕</td> </tr> <tr> <td>12-15</td> <td>9/30</td> <td>13:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>福祉計画の実際 II</td> <td>老人福祉計画・介護保険事業計画、障害者福祉計画・障害福祉計画</td> <td>遠藤 康裕</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	9/4	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の意義と目的	行政の総合計画と福祉計画、福祉計画の法的根拠など	藤高 直之 日高 玲奈	4-8	9/4	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の実際 I	次世代育成支援行動計画、地域福祉計画	藤高 直之	9-11	9/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の理論と技法	福祉計画の基本的視座、ニーズの把握、評価、住民参加	遠藤 康裕	12-15	9/30	13:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の実際 II	老人福祉計画・介護保険事業計画、障害者福祉計画・障害福祉計画	遠藤 康裕
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																		
1-3	9/4	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の意義と目的	行政の総合計画と福祉計画、福祉計画の法的根拠など	藤高 直之 日高 玲奈																																		
4-8	9/4	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の実際 I	次世代育成支援行動計画、地域福祉計画	藤高 直之																																		
9-11	9/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の理論と技法	福祉計画の基本的視座、ニーズの把握、評価、住民参加	遠藤 康裕																																		
12-15	9/30	13:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の実際 II	老人福祉計画・介護保険事業計画、障害者福祉計画・障害福祉計画	遠藤 康裕																																		
<p>成績評価の方法</p> <p>・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。</p> <p>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</p> <p>・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。</p> <p>・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。</p>																																								
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。</p> <p>・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。</p> <p>・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。</p>																																								
<p>教科書</p> <p>新・社会福祉士養成講座 10 福祉行政と福祉計画 第5版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2017</p>																																								
<p>備考</p> <p>課題発表、グループワークを含む</p>																																								

時間割番号	022300																																																					
科目名	福祉運営管理	科目ID	DH-396100-L																																																			
担当教員																																																						
開講時期	2020年度後期	対象年次	4	単位数	2																																																	
実務経験のある教員による授業	該当する																																																					
<p>時間数:30時間 2単位</p> <p>授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員:川淵孝一、日高玲奈、ほか</p>																																																						
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第2講義室</p>																																																						
<p>授業の目的、概要等</p> <p>・福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論およびサービス経営と管理運営の特徴について理解する。</p>																																																						
<p>授業の到達目標</p> <p>・福祉サービスに係る組織や団体(社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など)について説明できる。</p> <p>・福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論について説明できる。</p> <p>・福祉サービスの経営と管理運営について説明できる。</p>																																																						
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-5</td> <td>10/23</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>オリエンテーション 福祉サービスの組織と経営の基礎理論1</td> <td>授業の説明、学習内容の確認、重要事項の概説、ロジカルシンキング、フレームワーク リーダーシップ、組織間ネットワーク、チームアプローチ</td> <td>川淵 孝一、 日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>6-10</td> <td>10/30</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>福祉サービスの管理運営の方法</td> <td>会計管理と財務管理</td> <td>川淵 孝一</td> </tr> <tr> <td>11-15</td> <td>11/6</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>福祉サービスにおける組織と経営1 福祉サービスの組織と経営の基礎理論2</td> <td>福祉サービス提供組織の経営を支える財務と会計 戦略と事業計画</td> <td>川淵 孝一</td> </tr> <tr> <td>16-20</td> <td>11/13</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>福祉サービスにおける組織と経営2 福祉サービスの組織や団体</td> <td>福祉サービス提供組織の経営と実態 社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会・町内会など 福祉サービス提供組織の定義、組織の特徴など 福祉サービス提供組織の社会的役割、運営の実態や課題</td> <td>川淵 孝一</td> </tr> <tr> <td>21-25</td> <td>11/20</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>福祉サービスの組織と経営の基礎理論2 福祉サービスの管理運営の方法① 事例研究1</td> <td>キャリア・パスの概要(仕組みと意義)、職員研修システム、OJT、職場のメンタルヘルス対策(現状と課題) 人事管理と労務管理、人材育成 真の地域包括ケアシステムとは何か</td> <td>川淵 孝一</td> </tr> <tr> <td>26-30</td> <td>11/27</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健</td> <td>福祉サービスの管理運</td> <td>サービスマネジメント、サービス</td> <td>川淵 孝一</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-5	10/23	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	オリエンテーション 福祉サービスの組織と経営の基礎理論1	授業の説明、学習内容の確認、重要事項の概説、ロジカルシンキング、フレームワーク リーダーシップ、組織間ネットワーク、チームアプローチ	川淵 孝一、 日高 玲奈	6-10	10/30	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスの管理運営の方法	会計管理と財務管理	川淵 孝一	11-15	11/6	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスにおける組織と経営1 福祉サービスの組織と経営の基礎理論2	福祉サービス提供組織の経営を支える財務と会計 戦略と事業計画	川淵 孝一	16-20	11/13	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスにおける組織と経営2 福祉サービスの組織や団体	福祉サービス提供組織の経営と実態 社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会・町内会など 福祉サービス提供組織の定義、組織の特徴など 福祉サービス提供組織の社会的役割、運営の実態や課題	川淵 孝一	21-25	11/20	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスの組織と経営の基礎理論2 福祉サービスの管理運営の方法① 事例研究1	キャリア・パスの概要(仕組みと意義)、職員研修システム、OJT、職場のメンタルヘルス対策(現状と課題) 人事管理と労務管理、人材育成 真の地域包括ケアシステムとは何か	川淵 孝一	26-30	11/27	13:00-17:50	口腔保健	福祉サービスの管理運	サービスマネジメント、サービス	川淵 孝一
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																
1-5	10/23	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	オリエンテーション 福祉サービスの組織と経営の基礎理論1	授業の説明、学習内容の確認、重要事項の概説、ロジカルシンキング、フレームワーク リーダーシップ、組織間ネットワーク、チームアプローチ	川淵 孝一、 日高 玲奈																																																
6-10	10/30	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスの管理運営の方法	会計管理と財務管理	川淵 孝一																																																
11-15	11/6	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスにおける組織と経営1 福祉サービスの組織と経営の基礎理論2	福祉サービス提供組織の経営を支える財務と会計 戦略と事業計画	川淵 孝一																																																
16-20	11/13	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスにおける組織と経営2 福祉サービスの組織や団体	福祉サービス提供組織の経営と実態 社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会・町内会など 福祉サービス提供組織の定義、組織の特徴など 福祉サービス提供組織の社会的役割、運営の実態や課題	川淵 孝一																																																
21-25	11/20	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスの組織と経営の基礎理論2 福祉サービスの管理運営の方法① 事例研究1	キャリア・パスの概要(仕組みと意義)、職員研修システム、OJT、職場のメンタルヘルス対策(現状と課題) 人事管理と労務管理、人材育成 真の地域包括ケアシステムとは何か	川淵 孝一																																																
26-30	11/27	13:00-17:50	口腔保健	福祉サービスの管理運	サービスマネジメント、サービス	川淵 孝一																																																

			学科第2 講義室	営の方法② 事例研究2	の質の評価、リスクマネジメント 情報管理と戦略的広報 福祉サー ビス提供組織における社会福祉 士の役割と位置づけ～医療・介護 に携わる管理者の取り組み(医 療・介護の現場のあり方)		
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。 							
準備学習等についての具体的な指示							
試験の受験資格							
3分の2以上の出席							
教科書							
新・社会福祉士養成講座 11 福祉サービスの組織と経営 第5版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2017							
参考書							
<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉サービスの組織と経営 第4版(新・社会福祉士養成講座 第11巻)」社会福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 ・一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会推薦テキスト「介護福祉経営士テキスト」シリーズ(全21巻) 日本医療企画 ・随時授業中に紹介する。 							
履修上の注意事項							
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 ・地域への見学があるため、集合場所等に注意すること。 							
備考							
<p>担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと)</p> <p>古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp</p> <p>授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。</p>							

時間割番号	022302																																																																											
科目名	相談援助演習Ⅲ			科目ID	DH-496300-S																																																																							
担当教員	日高 玲奈, 堀 千鶴子, 横地 厚[NAKAYAMA Rena, HORI CHIZUKO, Atsushi Yokochi]																																																																											
開講時期	2020 年度通年	対象年次	4	単位数	3																																																																							
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																											
<p>時間数:60 時間 2 単位</p> <p>授業形態: 演習(課題発表、グループワーク含む)</p> <p>担当教員: 日高玲奈、堀千鶴子(城西国際大学)、横地厚(NPO 法人 福祉と市民活動研究所)</p>																																																																												
<p>主な講義場所</p> <p>口腔保健学科 第2 講義室</p>																																																																												
<p>授業の目的、概要等</p> <p>・社会福祉における相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。</p>																																																																												
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉援助の特徴を説明することができる。 ・社会福祉援助の内容・方法プロセスを説明することができる。 ・社会福祉援助に関する実践上の課題について、自らの意見を述べるすることができる。 ・社会福祉援助と口腔保健における実践との関連性に興味関心をもち、自ら調べ、考える態度をもつ。 ・社会福祉相談援助実習に向けた自ら興味関心と学習課題を説明することができる。 																																																																												
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>4/20</td> <td>14:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>相談援助の実施Ⅰ</td> <td>個別支援</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>3-5</td> <td>5/11</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>相談援助の実際Ⅱ</td> <td>集団支援</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>6-8</td> <td>5/18</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>相談援助の実際Ⅲ</td> <td>地域支援</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>9-11</td> <td>5/25</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>面接技術の振り返り</td> <td>ロールプレイ</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>12-13</td> <td>6/1</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>相談援助の実際Ⅳ</td> <td>事例分析</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>14-16</td> <td>6/8</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>相談援助の実際Ⅴ</td> <td>個別支援と地域支援、事例検討</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>17-19</td> <td>6/15</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>相談援助の実施Ⅵ</td> <td>集団支援と地域支援、事例検討</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>20-22</td> <td>6/22</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>相談援助技術の振り返りⅠ</td> <td>事例分析、ロールプレイ</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> <tr> <td>23-25</td> <td>6/29</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第2</td> <td>相談援助技術の振り返りⅡ</td> <td>事例分析、ロールプレイ</td> <td>日高 玲奈</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-2	4/20	14:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実施Ⅰ	個別支援	日高 玲奈	3-5	5/11	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅱ	集団支援	日高 玲奈	6-8	5/18	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅲ	地域支援	日高 玲奈	9-11	5/25	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	面接技術の振り返り	ロールプレイ	日高 玲奈	12-13	6/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅳ	事例分析	日高 玲奈	14-16	6/8	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅴ	個別支援と地域支援、事例検討	日高 玲奈	17-19	6/15	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実施Ⅵ	集団支援と地域支援、事例検討	日高 玲奈	20-22	6/22	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助技術の振り返りⅠ	事例分析、ロールプレイ	日高 玲奈	23-25	6/29	13:00-15:50	口腔保健 学科第2	相談援助技術の振り返りⅡ	事例分析、ロールプレイ	日高 玲奈
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																						
1-2	4/20	14:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実施Ⅰ	個別支援	日高 玲奈																																																																						
3-5	5/11	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅱ	集団支援	日高 玲奈																																																																						
6-8	5/18	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅲ	地域支援	日高 玲奈																																																																						
9-11	5/25	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	面接技術の振り返り	ロールプレイ	日高 玲奈																																																																						
12-13	6/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅳ	事例分析	日高 玲奈																																																																						
14-16	6/8	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅴ	個別支援と地域支援、事例検討	日高 玲奈																																																																						
17-19	6/15	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実施Ⅵ	集団支援と地域支援、事例検討	日高 玲奈																																																																						
20-22	6/22	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助技術の振り返りⅠ	事例分析、ロールプレイ	日高 玲奈																																																																						
23-25	6/29	13:00-15:50	口腔保健 学科第2	相談援助技術の振り返りⅡ	事例分析、ロールプレイ	日高 玲奈																																																																						

			講義室			
26-28	7/6	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助技術の振り返りⅢ	事例分析、ロールプレイ	日高 玲奈
29-31	7/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助における社会資源の活用・調整・開発	社会資源の活用・調整・開発の実際	日高 玲奈 横地 厚
32-34	7/10	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	ソーシャルワーク実践理論の振り返り	各理論と実践モデルの活用法	日高 玲奈
35-37	7/13	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	ソーシャルワーク理論の実践Ⅰ	事例検討	日高 玲奈
38-40	7/27	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	ソーシャルワーク理論の実践Ⅱ	事例検討	日高 玲奈
41-47	9/1	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の基礎Ⅰ	コミュニケーション技術の習得	日高 玲奈 堀 千鶴子
48-54	9/2	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の基礎Ⅱ	面接技術の習得	堀 千鶴子
55-61	9/8	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の基礎Ⅲ	相談援助技術の活用Ⅰ	堀 千鶴子
62-68	9/9	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の基礎Ⅳ	事例検討	堀 千鶴子
69-75	10/26	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の応用Ⅰ	相談援助技術の応用	日高 玲奈
76-83	11/16	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助技術の応用Ⅱ	相談援助技術の応用	日高 玲奈
84-90	12/14	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ	これまでのまとめ	日高 玲奈

成績評価の方法

- ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

社会福祉士相談援助演習 第2版／日本社会福祉士養成校協会 監修:長谷川匡俊, 上野谷加代子, 白澤政和, 中谷陽明 編集:中央法規
出版, 2015

備考

課題発表、グループワーク含む

時間割番号	022303			科目ID	DH-496400-Z	
科目名	相談援助実習指導			科目ID	DH-496400-Z	
担当教員	日高 玲奈[NAKAYAMA Rena]					
開講時期	2020年度2年通年	対象年次	3	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
科目名:相談援助実習指導 時間数:3学年42時間、4学年48時間 授業形態:実習(課題発表、グループワーク含む)						
主な講義場所 口腔保健学科 第3講義室(3学年) 口腔保健学科 第2講義室(4学年)						
授業の目的、概要等 ・社会福祉における相談援助実習の意義について理解する。 ・授業で学んだ専門知識と相談援助の具体的な実践を結びつけるとともに、実習後は実習体験を意識化し、体系立てていくことをめざす。						
授業の到達目標 ・社会福祉における相談援助実習の意義を事前に理解し、実習後は経験知として説明できる。 ・相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に体験し、経験知として説明できる。 ・社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得し、意識化できる。 ・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化・理論化し、体系立てて整理できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	11/16	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション	相談援助実習とは	日高 玲奈
4-6	11/30	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助実習に必要な 知識技術	相談援助実習に必要な知識技術	日高 玲奈
7-9	12/7	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所Ⅰ	高齢者施設、地域包括支援センタ ー、病院実習	日高 玲奈
10-12	12/14	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所Ⅱ	障害者施設、児童相談所・児童養 護施設	日高 玲奈
13-15	12/22	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助実習における 記録の書き方	実習目的の作成方法、相談援助実 習における記録の書き方	日高 玲奈
16-18	1/18	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助実習の準備Ⅰ	実習における注意と準備	日高 玲奈
19-21	1/25	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	実習先・機関	地理的条件や関連する社会資源	日高 玲奈
22-23	2/1	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助実習の準備Ⅱ	実習先アセスメントの活用、利用 者ニーズの理解、地域を理解する 必要性	日高 玲奈
24-26	2/10	13:00-15:50	口腔保健	事例検討Ⅰ	事例検討	日高 玲奈

			学科第3 講義室				
27-29	2/12	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例検討Ⅱ	事例検討	日高 玲奈	
30-31	2/15	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例分析Ⅰ	事例分析	日高 玲奈	
32-35	2/16	09:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例分析Ⅱ	事例分析	日高 玲奈	
36-39	2/18	09:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例分析Ⅲ	事例分析	日高 玲奈	
40-42	2/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	まとめ	実習計画書の作成、まとめ	日高 玲奈	
成績評価の方法							
事前・事後学習の成果による総合的評価を行う。(4年後期)							
準備学習等についての具体的な指示							
試験の受験資格							
4分の3以上の出席							
備考							
課題発表、グループワークを含む							

時間割番号	022304				
科目名	相談援助実習	科目ID	DH-496500-E		
担当教員					
開講時期	2020年度2年通年	対象年次	3	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				
<p>時間数:180時間 4単位 授業形態:実習 3学年後期(春季集中)、4学年(夏季集中) 実習日数(時間)は、24日間(180時間)・16日間(120時間)・8日間(60時間)で合計180時間以上が必要。 担当教員:日高玲奈、ほか</p>					
主な講義場所					
社会福祉施設・機関					
授業の目的、概要等					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士として求められる資質や倫理、相談援助に係る知識と技術について、具体的かつ实际的に理解し、支援に必要な技術を体得する。 					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉分野における相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に経験し、実践的な技術等を経験知として整理できる。 ・社会福祉士として求められる資質、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を体験的に把握できる。 ・関連分野の専門職との連携のあり方や具体的内容を把握し、事後学習で整理できる。 					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・実習計画、実習記録ノート、実習報告書および実習指導者評価表により、総括的評価を行う。 ・教員が週1回実習先を巡回し、総括的評価に加味する。 					
準備学習等についての具体的な指示					
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に十分な準備の上で、実習に臨むこと。 ・実習については、指導教員の判断を常におおぐこと。 ・資料の配付、e-learningへのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 					
試験の受験資格					
180時間以上の出席					

時間割番号	022289				
科目名	口腔保健衛生エクスターンシップ			科目ID	DH-495000-Z
担当教員					
開講時期	2020年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3~4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1-2	2/8	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室		
3-4	2/15	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室		
5-7	2/18	14:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室		
8-12	2/19	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室		
13-15	3/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室		
16-18	3/9	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室		
成績評価の方法					
それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
準備学習等についての具体的な指示					
外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 以下の履修上の注意事項に従うこと。					
試験の受験資格					
○単位認定条件 1)海外研修奨励賞による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催される場合は、研修報告のプレゼンテーションを行う。(5) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催される場合は、研修報告のプレゼンテーションを行う。(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上)					
履修上の注意事項					
1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励賞による研修プログラム(事前研修を含む) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は					

1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。